

平成 2 2 年 度

埼 玉 県 政 世 論 調 査

報 告 書

彩の国

埼 玉 県

は じ め に

この冊子は、平成２２年７月から８月にかけて実施した県政世論調査の結果をまとめたものです。

本県では、県民参加の行政を一層推進するため、昭和４３年度から毎年度「埼玉県政世論調査」を実施してまいりました。

今年度は、「消費生活」、「川の再生」の２つのテーマと、時系列項目である「生活意識」、「日常生活」、「県政への要望」について調査を行いました。

この調査結果が、県及び市町村の施策立案や諸事業の実施に有効に利用されるとともに、県内外の方にも幅広く活用されることを願ってやみません。

終わりに、このたび調査にご協力いただきました県民の皆様をはじめ、ご支援いただきました関係市町村の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成２２年１１月

埼玉県県民生活部長 土屋 綱男

目 次

I	調査の方法	1
1	調査のあらまし	3
2	標本抽出方法	4
3	標本構成	6
4	調査結果の見方	9
II	調査結果の解説	11
1	生活意識	13
(1)	昨年と比べた暮らし向き	14
(1-1)	暮らし向きが苦しくなった理由	19
(2)	生活程度	22
(3)	生活全体の満足度	27
(4)	生活各面の満足度	33
2	日常生活	53
(1)	地域社会活動への参加経験	54
(1-1)	地域社会活動への不参加の理由	57
(2)	文化芸術活動の経験	60
(3)	文化芸術活動の鑑賞	63
(4)	文化芸術活動の機会や環境の満足度	66
(5)	スポーツをする機会	70
(5-1)	週に1回以上スポーツをする機会がなかった理由	73
(6)	食品の安全性に対する意識	76
(7)	外国人増加に対する感想	79
(7-1)	外国人増加をよいことだと思う理由	82
(7-2)	外国人増加をよいことだと思わない理由	85
(8)	埼玉県に関する情報の入手先	88
(9)	県広報紙「彩の国だより」の閲読状況	91
	課題調査	95
3	消費生活について	96
(1)	消費者問題への関心	96
(2)	商品等の販売で困ったり、嫌な思いをした経験	99
(2-1)	困ったときの対処法	103
(3)	事故等にあった経験	106
(3-1)	事故等にあったときの対処法	109

(4) 消費生活センターの認知	112
(4-1) 消費生活センターを知った媒体・場所	115
(5) 消費生活センターに力を入れて欲しいこと	118
(6) 消費者のために必要な取り組み	121
(7) 情報提供・学習活動の分野で力を入れる必要があるもの	124

4 川の再生について	127
(1) 自然環境に関する問題への関心度	127
(2) 「みどりと川の再生」についての県の取り組みの認知度	130
(3) 近くの川の評価	133
(4) 3年前と比べた近くの川の印象	152
(4-1) 印象が良くなった理由	156
(4-2) 印象が悪くなった理由	159
(5) 近くの川の満足度	162
(6) 近くの川への愛着	165
(7) 近くの川に求める姿	168
(8) 近くの川を訪れた経験	171
(9) 川の美化活動への参加経験	175
(9-1) 川の美化活動への参加意向	178
(10) 川を汚さないために家庭で実行していること	181
(11) 「川の再生」で参加したいこと	184
(12) 「川の再生」で重点を置くべき施策	187
(13) 「川の再生」の取り組みへの評価	191

(課題調査ここまで)

5 県政への要望	195
----------	-----

Ⅲ 調査票・単純集計結果	211
--------------	-----

(参考資料) 世論調査実施状況	229
-----------------	-----

I 調査の方法

1 調査のあらまし

(1) 調査の目的

県民の県政に対する要望、意見及び県民の生活意識などを把握し、県政推進の資料とする。

(2) 調査の項目

この調査の項目は次のとおりである。

- (ア) 生活意識（昨年と比べた暮らし向き、生活程度、生活全体の満足度、生活各面の満足度）
- (イ) 日常生活
- (ウ) 消費生活
- (エ) 川の再生
- (オ) 県政への要望

(3) 調査の設計

この調査は次のように設計した。

- | | |
|--------------|---------------------|
| (ア) 調査地域 | 埼玉県全域 |
| (イ) 調査対象 | 満20歳以上の男女個人 |
| (ウ) 標本数 | 3,000 |
| (エ) 抽出方法 | 住民基本台帳による層化2段無作為抽出法 |
| (オ) 調査方法 | 調査員による個別面接聴取法 |
| (カ) 調査時期 | 平成22年7月9日～8月2日 |
| (キ) 調査実施委託機関 | 株式会社 サーベイリサーチセンター |

(4) 回収結果

- | | |
|--------------|--------------|
| (ア) 有効回収数（率） | 2,253（75.1％） |
| (イ) 調査不能数（率） | 747（24.9％） |

〔調査不能の内訳〕

- | | | | |
|------|------------|-------|----------|
| 転居 | 62（8.3％） | 長期不在 | 64（8.6％） |
| 一時不在 | 193（25.8％） | 住所不明 | 58（7.8％） |
| 拒否 | 286（38.3％） | 病気・入院 | 43（5.8％） |
| その他 | 41（5.5％） | | |

2 標本抽出方法

母集団：埼玉県内の市町村に居住する満20歳以上の男女個人

標本数：3,000

地点数：市部 152地点 郡部（町村）13地点 合計 165地点

抽出方法：層化2段無作為抽出法

（1）地域・市郡規模区分

ア 県内を次の3ゾーン10地域に分類した。（本表及び下の「地域区分図」は、平成22年4月1日現在の市町村名により表示している。）

地 域		該 当 市 町 村 名
県南	南部地域	川口市、蕨市、戸田市、鳩ヶ谷市
	南西部地域	朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町
	東部地域	春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町
	さいたま地域	さいたま市
圏央道	県央地域	鴻巣市、上尾市、桶川市、北本市、伊奈町
	川越比企地域	川越市、東松山市、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、東秩父村
	西部地域	所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市
	利根地域	行田市、加須市、羽生市、久喜市、蓮田市、幸手市、宮代町、白岡町、杉戸町
県北	北部地域	熊谷市、本庄市、深谷市、美里町、神川町、上里町、寄居町
	秩父地域	秩父市、横瀬町、皆野町、長瀨町

地域区分図



イ 各地域においては、さらに市郡規模によって次のように分類し、層化した。

人口10万以上の市／人口10万未満の市／郡部（町村）

（注）ここでいう市とは、平成22年4月1日現在市制施行の地域をいう。

（２）標本の配分

各地域・市郡規模別の層における満20歳以上の人口（平成22年1月1日現在の推定数）により、3,000の標本を比例配分した。

（３）抽出

ア 第1次抽出単位となる調査地点として、平成17年国勢調査時に設定された調査区を使用した。

イ 調査地点の抽出数については、1調査地点当たりの標本数が19程度になるように、各層に割り当てられた標本数から算出した。

調査地点抽出は、

抽出間隔＝ $\frac{\text{層における満20歳以上人口の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}}$ を算出し、等間隔抽出法によって

該当人数番目の者が含まれる基本単位区を抽出し、抽出の基点とした。

ウ 抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、総務省設定の「市町村コード」の配列順序に従った。

エ 調査地点における対象者の抽出は、住民基本台帳により、抽出の起点から等間隔抽出法によって抽出した。

オ 以上の結果、各地域・市郡規模別（層別）の標本数・調査地点数は次のとおりとなった。

地 域		市郡規模	人口10万以上の市	人口10万未満の市	郡部（町村）	計
県南	南 部 地 域		518,658	111,487		630,145
			263(15)	57(3)		320(18)
	南 西 部 地 域		407,943	121,251	30,874	560,068
			207(11)	61(4)	15(1)	283(16)
	東 部 地 域		768,093	118,553	25,109	911,755
圏央道	さいたま地域		390(21)	60(3)	13(1)	463(25)
			992,480			992,480
	県 央 地 域		503(28)			503(28)
			283,129	119,930	32,866	435,925
	川越比企地域		144(8)	61(3)	17(1)	222(12)
県北	西 部 地 域		361,546	130,351	163,762	655,659
			183(10)	66(4)	83(4)	332(18)
	利 根 地 域		535,159	115,991		651,150
			271(15)	59(3)		330(18)
	北 部 地 域		225,782	218,350	108,263	552,395
計	秩 父 地 域		115(6)	111(6)	55(3)	281(15)
			288,152	66,744	77,613	432,509
	計		146(8)	34(2)	39(2)	219(12)
				56,882	35,283	92,165
	計			29(2)	18(1)	47(3)
			4,380,942	1,059,539	473,770	5,914,251
			2,222(122)	538(30)	240(13)	3,000(165)

（注）上段…推定母集団数（満20歳以上人口） 下段左方…標本数 下段右方（カッコ内）…地点数

3 標本構成

(上段：人、下段：％、以下同)

(1) 地域別 (3区分)

総 数	県 南 圏 央 道 県	北
2,253	1,144	895
100.0	50.8	39.7
		214
		9.5

(2) 地域別

総 数	南 部 地 域	南 西 部 地 域	東 部 地 域	さいたま地域
2,253	232	226	321	365
100.0	10.3	10.0	14.2	16.2

県 央 地 域	川越比企地域	西 部 地 域	利 根 地 域
181	263	247	204
8.0	11.7	11.0	9.1

北 部 地 域	秩 父 地 域
173	41
7.7	1.8

(3) 市郡規模別

総 数	人口10万以上の市	人口10万未満の市	郡 部 (町 村)
2,253	1,648	412	193
100.0	73.1	18.3	8.6

(4) 性 別

総 数	男 性	女 性
2,253	1,133	1,120
100.0	50.3	49.7

(5) 年代別

総 数	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70歳以上
2,253	226	400	430	362	454	381
100.0	10.0	17.8	19.1	16.1	20.2	16.9

(6) 職業別

総 数	自営業・家族従業 (計)		雇用者 (計)		無職 (計)			無 回 答
	自営業主	家族従業 (家業手伝い)	勤 め (全日)	勤 め (パートタイム)	無職の主婦・主夫	学 生	その他の無職	
2,253	200	53	834	315	421	39	386	5
100.0	8.9	2.4	37.0	14.0	18.7	1.7	17.1	0.2

(7) 県内居住年数別

総 数	5 年 未 満	5 年～ 10年未満	10年～ 20年未満	20年～ 30年未満	30年以上	無 回 答
2,253 100.0	139 6.2	133 5.9	258 11.5	406 18.0	1,303 57.8	14 0.6

(8) 出生地別

総 数	埼 玉 県	埼 玉 県 外	無 回 答
2,253 100.0	1,003 44.5	1,245 55.3	5 0.2

(9) 家族人数別

総 数	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人	7人以上	無 回 答
2,253 100.0	195 8.7	604 26.8	615 27.3	476 21.1	198 8.8	100 4.4	58 2.6	7 0.3

(10) 未既婚別

総 数	未 婚	既婚・有配偶	既婚・離死別	無 回 答
2,253 100.0	409 18.2	1,579 70.1	251 11.1	14 0.6

(10-1) 子どもの有無・人数別（既婚者）

総 数	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人以上	い な い	無 回 答
1,830 100.0	388 21.2	923 50.4	280 15.3	45 2.5	12 0.7	176 9.6	6 0.3

(10-2) 子どもの段階

総 数	0 ～ 3 歳	4 歳 以上で 小学校入学前	小 学 生	中 学 生	高 校 生
1,648 100.0	168 10.2	112 6.8	278 16.9	173 10.5	155 9.4

短大生・ 専門学校生	大学生・ 大学院生	学校教育 終了・未婚	学校教育 終了・既婚	そ の 他	無 回 答
34 2.1	128 7.8	533 32.3	688 41.7	24 1.5	13 0.8

(11) 家族形態別

総 数	単 身	夫 婦 の み	二世世代世帯	三世世代世帯	そ の 他	無 回 答
2,253 100.0	204 9.1	469 20.8	1,249 55.4	278 12.3	49 2.2	4 0.2

- ・二世世代世帯とは「親と子がいる」世帯を指す。
- ・三世世代世帯とは「親と子と孫がいる」世帯を指す。

(12) 住居形態別

総 数	持家（一戸建）	持家（集合住宅）	民間の借家（賃貸マンション、一戸建の借家など）	都市機構（旧公団）・公社・公営の賃貸住宅
2,253 100.0	1,539 68.3	219 9.7	347 15.4	101 4.5

社宅・公務員住宅 など給与住宅	住み込み、寮、 寄宿舎など	そ の 他	無 回 答
25 1.1	13 0.6	7 0.3	2 0.1

(13) ライフステージ別

総 数	独 身 期	家 族 形 成 期	家 族 成 長 前 期	家 族 成 長 後 期	家 族 成 熟 期	高 齢 期	そ の 他
2,253 100.0	280 12.4	214 9.5	291 12.9	182 8.1	476 21.1	501 22.2	309 13.7

※ ライフステージの分類

「年齢」「職業」「結婚」「子どもの有無」「子どもの成長段階」「家族形態」の組み合わせにより分類した。

ライフステージ	構 成 内 容
① 独 身 期	●本人が40歳未満で未婚
② 家 族 形 成 期	●本人が40歳未満で、かつ、子どもがいない夫婦 ●第一子が小学校入学前の親
③ 家 族 成 長 前 期	●第一子が小・中学生の親
④ 家 族 成 長 後 期	●高校・大学生（院生含む）の子どもがおり、かつ、学校教育を終えた子どもは いない親
⑤ 家 族 成 熟 期	●学校教育を終えた子どもがおり、かつ、既婚の子どもがいない親 ●本人が男性の場合65歳未満、女性の場合60歳未満で、子ども全員が学校教育 を終えており、かつ、既婚の子どもがいる親
⑥ 高 齢 期	●本人が男性の場合65歳以上、女性の場合60歳以上で、子ども全員が学校教育 を終えており、かつ、既婚の子どもがいる親
⑦ そ の 他	●上記①～⑥以外（40歳以上の独身者、子どものいない40歳以上の夫婦など）

4 調査結果の見方

(1) 調査結果の誤差

この調査は、全数調査ではないので、調査結果の数値は真の値（全数を調査した場合に得られる数値）から隔たっている可能性がある。（これを標本誤差という。）

この標本誤差の大きさは、層化2段抽出の場合、経験的に95%の信頼度で、

$$2\sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}} \div 2\sqrt{2 \frac{P(1-P)}{n}}$$

を超えないことが確認されている。（N：母集団、n：標本数、P：出現率）

今回の調査では、n=2,253であるから、例えば、ある回答（調査結果）が20%（P=0.2）の場合、標本誤差は

$$2\sqrt{2 \frac{0.2 \times 0.8}{2,253}} \div 0.024$$

となり、真の値は95%の信頼度で20%±2.4の範囲内にあることとなる。同様に計算したものが次表である。

[標本誤差早見表（主なもの）]

区 分			回 答 率				
基 数		90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度	
全 体		2, 253	±1. 8	±2. 4	±2. 7	±2. 9	±3. 0
性 別	男性	1, 133	±2. 5	±3. 4	±3. 9	±4. 1	±4. 2
	女性	1, 120	±2. 5	±3. 4	±3. 9	±4. 1	±4. 2
年 代 別	20歳代	226	±5. 6	±7. 5	±8. 6	±9. 2	±9. 4
	30歳代	400	±4. 2	±5. 7	±6. 5	±6. 9	±7. 1
	40歳代	430	±4. 1	±5. 5	±6. 3	±6. 7	±6. 8
	50歳代	362	±4. 5	±5. 9	±6. 8	±7. 3	±7. 4
	60歳代	454	±4. 0	±5. 3	±6. 1	±6. 5	±6. 6
	70歳以上	381	±4. 3	±5. 8	±6. 6	±7. 1	±7. 2
地 域 別	南部	232	±5. 6	±7. 4	±8. 5	±9. 1	±9. 3
	南西部	226	±5. 6	±7. 5	±8. 6	±9. 2	±9. 4
	東部	321	±4. 7	±6. 3	±7. 2	±7. 7	±7. 9
	さいたま	365	±4. 4	±5. 9	±6. 8	±7. 3	±7. 4
	県央	181	±6. 3	±8. 4	±9. 6	±10. 3	±10. 5
	川越比企	263	±5. 2	±7. 0	±8. 0	±8. 5	±8. 7
	西部	247	±5. 4	±7. 2	±8. 2	±8. 8	±9. 0
	利根	204	±5. 9	±7. 9	±9. 1	±9. 7	±9. 9
	北部	173	±6. 5	±8. 6	±9. 9	±10. 5	±10. 8
	秩父	41	±13. 3	±17. 7	±20. 2	±21. 6	±22. 1

(2) 調査結果の見方

ア 結果は、百分率で表示し、小数第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体またはカテゴリーを小計した数値が一致しないことがある。なお、回答者を絞った質問では、質問該当者を100%とするのを原則とした。

イ 図表中の「-」は回答者が皆無のもの、「0.0」は回答者の割合が0.05%未満のため四捨五入の結果0.0%となったものである。

ウ 一人の対象者に2つ以上の回答を認めた質問では、回答の合計を回答者（n）で割った比率を算出しており、通常その百分率の合計は、100%を超える。また、この回答の合計数をM.T.（Multiple Totalの略）として表示した。

エ 調査票中の質問文中の〔カード提示〕とは、あらかじめ回答の選択肢を印刷したカードを提示して、その中から回答を選択してもらったことを示している。

オ 調査票上のFはFace Sheetの略で、回答者の基本的属性についての質問である。

Ⅱ 調査結果の解説

1 生活意識

(問1～問4)

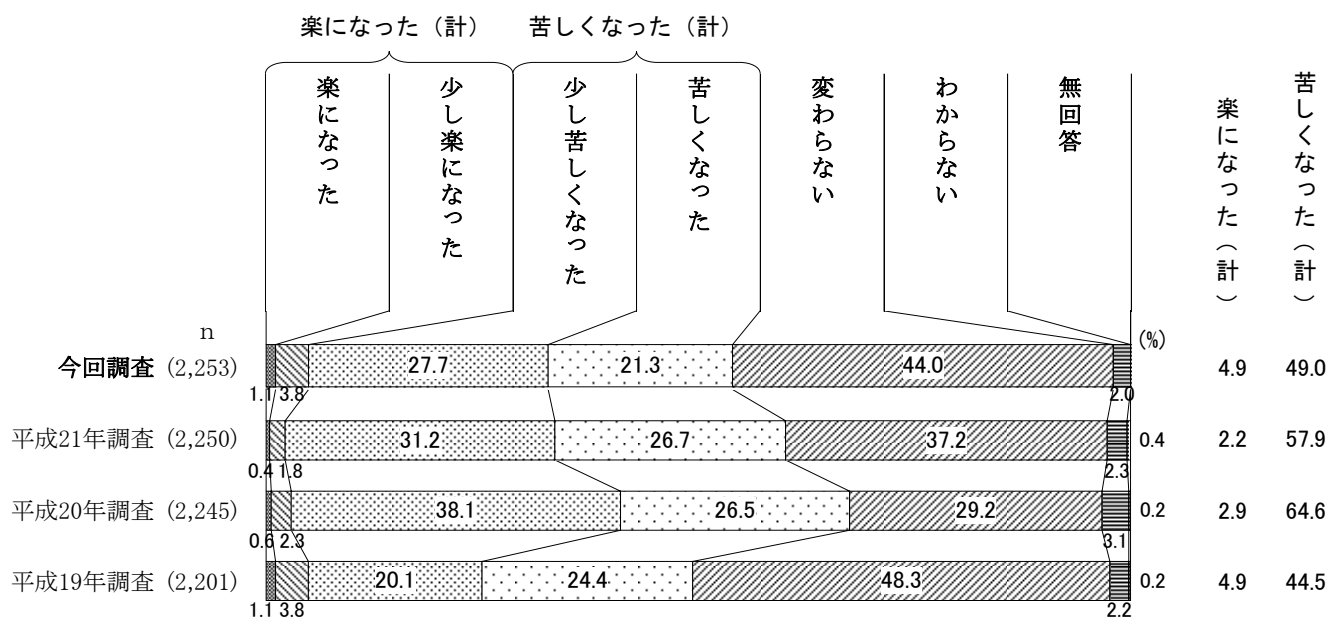
- 問1「昨年と比べた暮らし向き」、問2「生活程度」、問3「生活全体の満足度」は、昭和56年度から毎年実施しています。問1－1「暮らし向きが苦しくなった理由」は、平成20年度から実施しており、今回が3回目となります。
- 問4「生活各面の満足度」は、平成4年度以降は3年毎に実施しています。

1 生活意識

(1) 昨年と比べた暮らし向き

◇『苦しくなった（計）』が49.0%と前年より8.9ポイント減少

問1 さっそくですが、お宅の暮らし向きは、昨年の今ごろと比べて楽になりましたか、それとも、苦しくなりましたか。



暮らし向きが「楽になった」（1.1%）と「少し楽になった」（3.8%）を合わせた『楽になった（計）』は4.9%となっている。一方、「苦しくなった」（21.3%）と「少し苦しくなった」（27.7%）を合わせた『苦しくなった（計）』（49.0%）は約5割で、「変わらない」（44.0%）を上回っている。

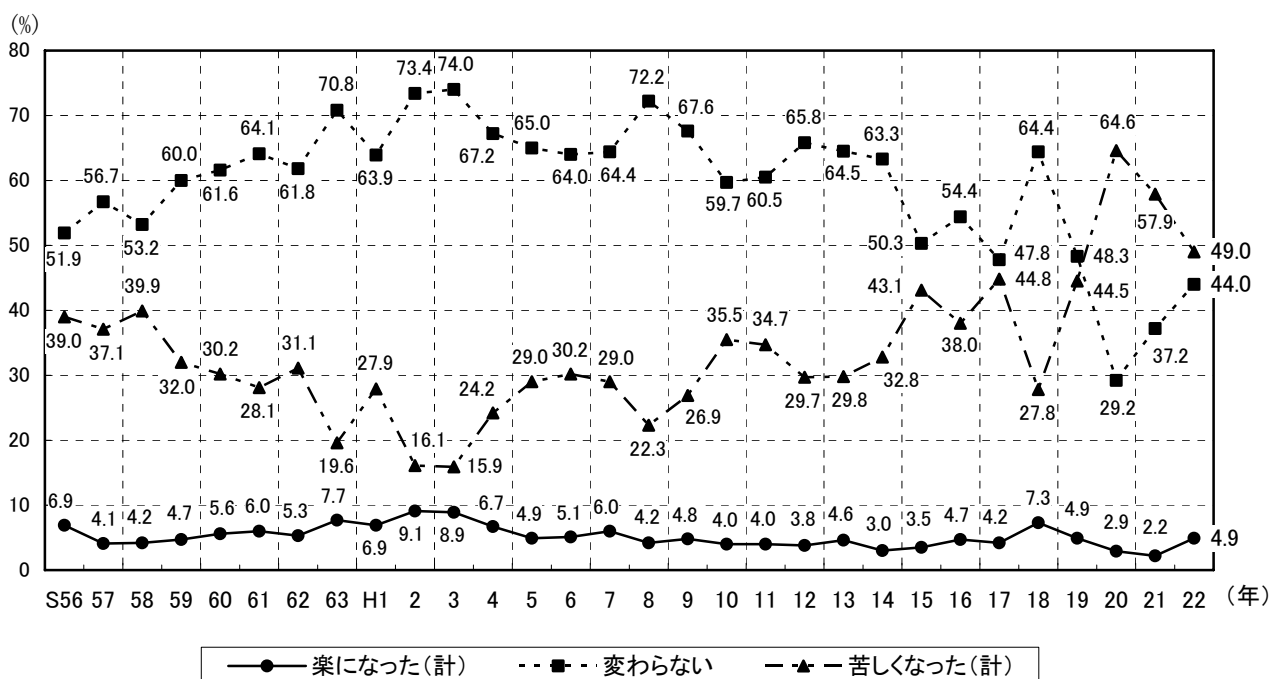
【過去3年間との比較】

前年から『苦しくなった（計）』が8.9ポイント減少した。「苦しくなった」が5.4ポイント減少し、逆に「変わらない」が6.8ポイント増加した。

【経年比較】

この調査を開始した昭和56年以降の推移をみると、『苦しくなった（計）』は最も高かった平成20年から2年連続で減少して約5割となったものの、「変わらない」を依然として上回っている。また、『楽になった（計）』は4年ぶりに増加に転じ、平成19年と同水準の結果となっている。

○ 昨年と比べた暮らし向き・昭和56年以降の推移



【生活程度別】

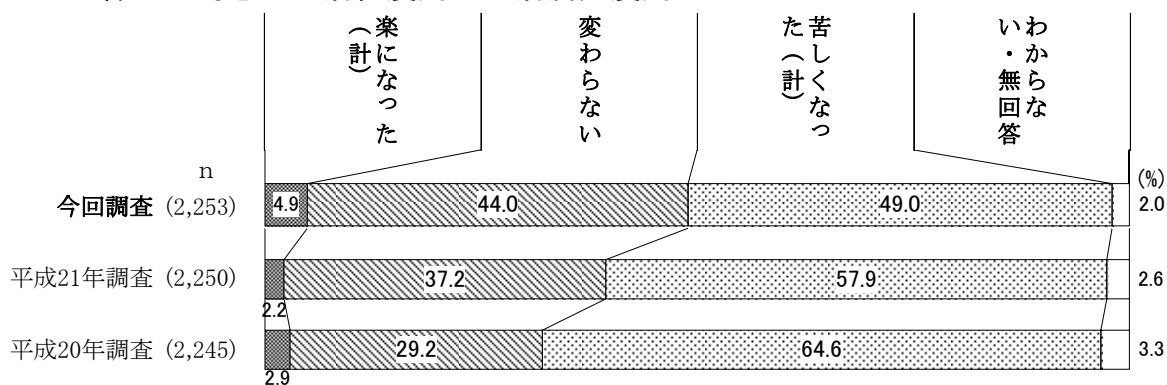
問2の生活程度別にみると、『楽になった（計）』は生活程度が上（計）（29.6％）で約3割、中（計）（5.8％）、下（計）（2.1％）で1割を下回っており差がみられる。『苦しくなった（計）』は生活程度が下（計）（70.9％）で約7割、中（計）（44.0％）で4割半ば、上（計）（25.9％）で2割半ばと差がみられ、平成21年調査から差が広がっている。逆に、「変わらない」では中（計）（49.0％）、上（計）（40.7％）、下（計）（26.1％）の順で高くなっている。

過去3年間の調査結果と比較すると、生活程度が上（計）で『楽になった（計）』が大きく増加し、『苦しくなった（計）』が減少している。

【生活満足度別】

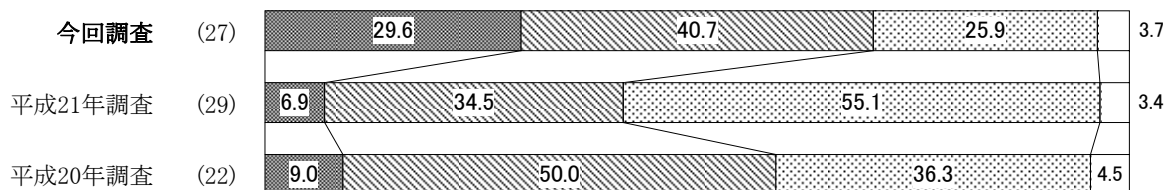
問3の生活全体の満足度別にみると、『苦しくなった（計）』は、満足している（計）（25.6％）の2割半ばに対して、不満である（計）（69.6％）では約7割と著しい差がある。一方、「変わらない」は、満足している（計）（63.8％）で6割強、不満である（計）（27.1％）で3割弱となっている。

○昨年と比べた暮らし向き・生活程度別／生活満足度別

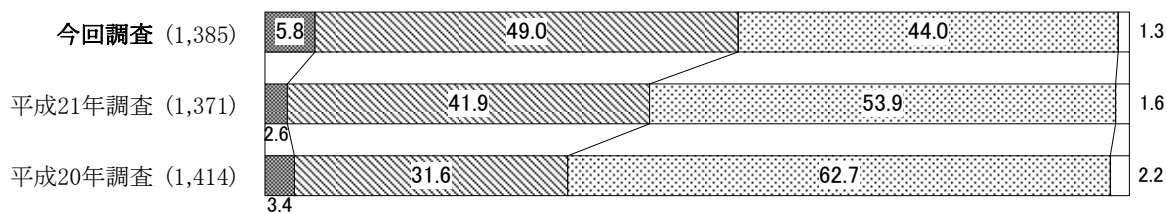


【生活程度別】

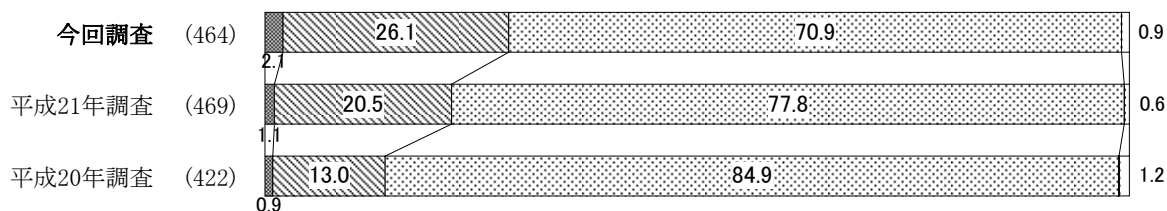
<上(計)>



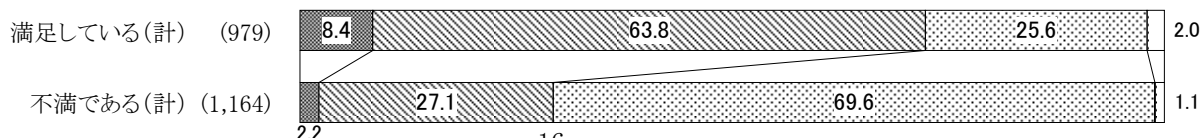
<中(計)>



<下(計)>



【生活満足度別】



【属性別比較】

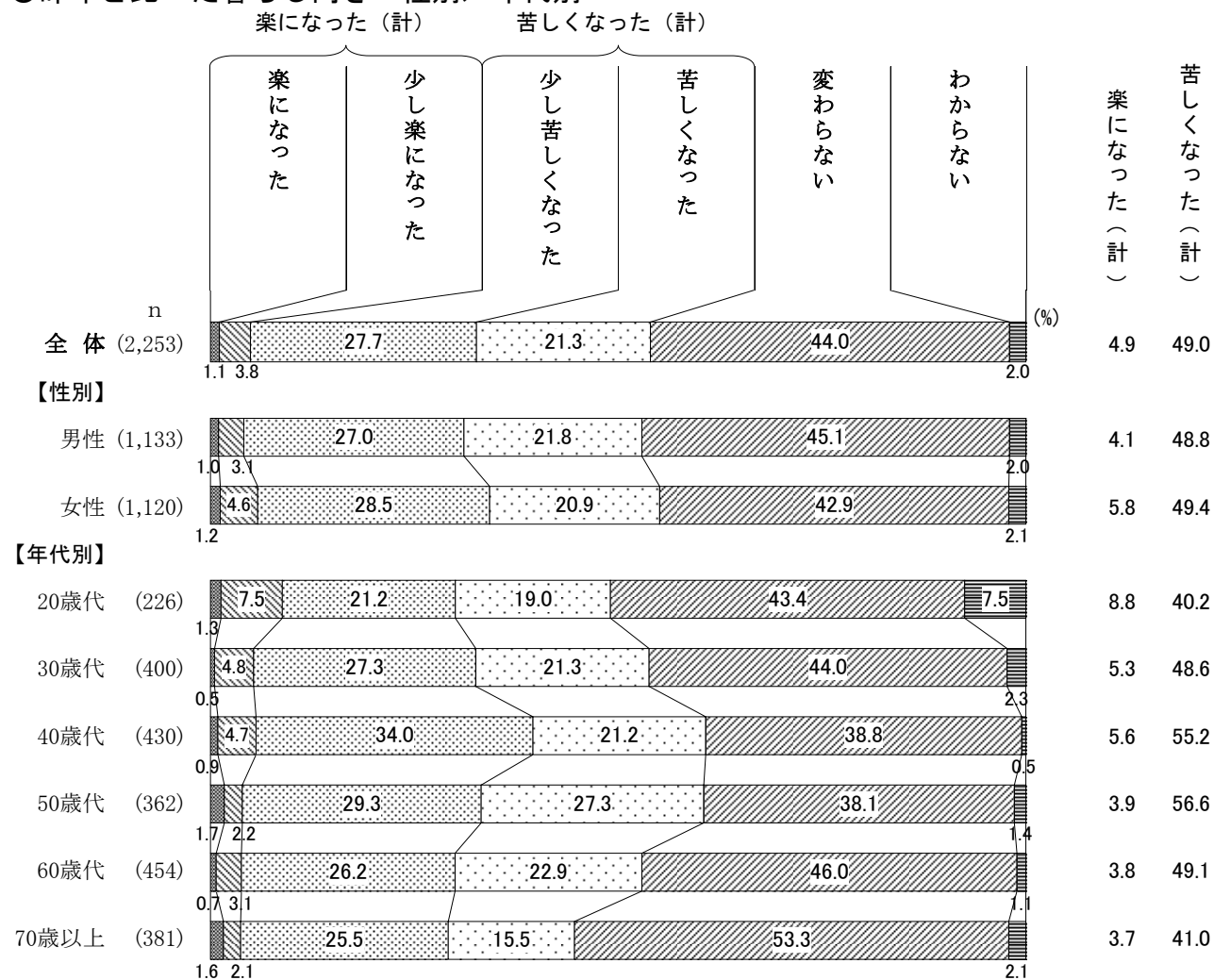
① 性別

『苦しくなった（計）』は男女で大きな差異はみられない。

②年代別

『苦しくなった（計）』は40歳代（55.2%）と50歳代（56.6%）で5割半ばを占めている。一方、20歳代（40.2%）で約4割、70歳以上（41.0%）で4割強と『苦しくなった（計）』は低くなっている。

○昨年と比べた暮らし向き・性別／年代別



③地域別

『苦しくなった（計）』は、秩父地域（61.0%）で6割強、県央地域（56.9%）で5割半ばと高く、南部地域（46.1%）、さいたま地域（44.3%）では4割半ばと低くなっている。また、南部地域とさいたま地域を除く地域では『苦しくなった（計）』が「変わらない」よりも高くなっており、特に県央地域と秩父地域でその傾向が著しくなっている。

④性・年代別

『苦しくなった（計）』は男性の50歳代（59.1%）、女性の40歳代（58.8%）で高くなっている。また、男女ともに20歳代と70歳以上を除く全ての年代で『苦しくなった（計）』が「変わらない」よりも高くなっており、特に40歳代と50歳代でその傾向が著しくなっている。

⑤職業別

『苦しくなった（計）』は自営業・家族従業（計）（56.6%）で高くなっている。

⑥ライフステージ別

『苦しくなった（計）』は独身期（41.1%）と高齢期（42.0%）で4割強、家族形成期（44.4%）で4割半ばと比較的低いが、家族成長後期（63.7%）では6割強と高くなっている。

○昨年と比べた暮らし向き・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

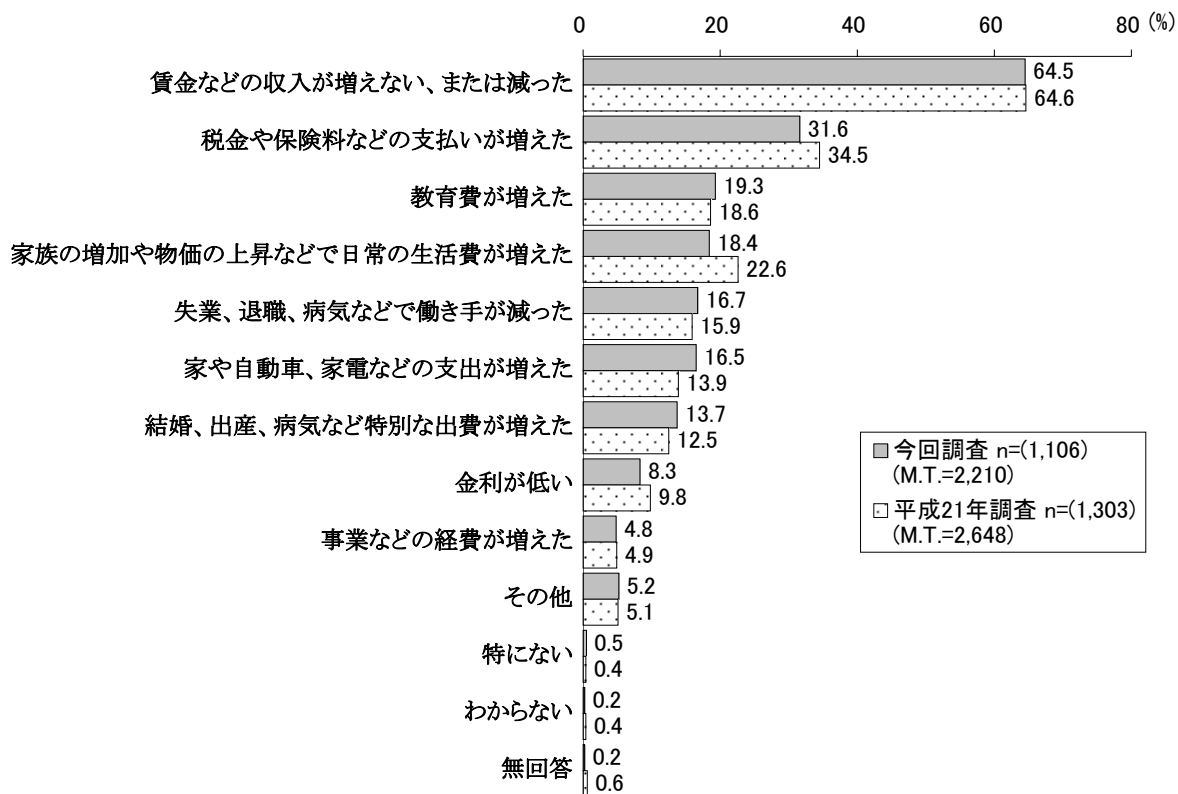
	調査数	楽になった	少し楽になった	少し苦しくなった	苦しくなった	変わらない	わからない	（計） 楽になった	（計） 苦しくなった
全 体	2253	1.1	3.8	27.7	21.3	44.0	2.0	4.9	49.0
地域別									
南部地域	232	0.9	3.0	22.0	24.1	49.1	0.9	3.9	46.1
南西部地域	226	0.4	2.2	31.9	20.4	42.5	2.7	2.6	52.3
東部地域	321	1.6	2.8	28.7	19.3	43.6	4.0	4.4	48.0
さいたま地域	365	1.9	3.0	22.7	21.6	49.6	1.1	4.9	44.3
県央地域	181	0.6	4.4	33.7	23.2	38.1	-	5.0	56.9
川越比企地域	263	1.1	6.5	26.6	24.7	38.8	2.3	7.6	51.3
西部地域	247	0.4	4.9	26.3	22.7	44.1	1.6	5.3	49.0
利根地域	204	1.5	4.4	29.9	17.2	43.6	3.4	5.9	47.1
北部地域	173	0.6	3.5	31.2	17.9	45.1	1.7	4.1	49.1
秩父地域	41	-	4.9	39.0	22.0	31.7	2.4	4.9	61.0
性・年代別									
男性・20歳代	105	1.9	6.7	15.2	24.8	44.8	6.7	8.6	40.0
30歳代	200	0.5	2.5	29.5	18.0	46.5	3.0	3.0	47.5
40歳代	231	0.9	4.8	29.0	22.9	42.0	0.4	5.7	51.9
50歳代	181	1.7	0.6	31.5	27.6	37.6	1.1	2.3	59.1
60歳代	229	0.9	3.9	25.3	24.0	44.5	1.3	4.8	49.3
70歳以上	187	0.5	1.1	26.2	14.4	55.6	2.1	1.6	40.6
女性・20歳代	121	0.8	8.3	26.4	14.0	42.1	8.3	9.1	40.4
30歳代	200	0.5	7.0	25.0	24.5	41.5	1.5	7.5	49.5
40歳代	199	1.0	4.5	39.7	19.1	35.2	0.5	5.5	58.8
50歳代	181	1.7	3.9	27.1	27.1	38.7	1.7	5.6	54.2
60歳代	225	0.4	2.2	27.1	21.8	47.6	0.9	2.6	48.9
70歳以上	194	2.6	3.1	24.7	16.5	51.0	2.1	5.7	41.2
職業別									
自営業・家族従業（計）	253	1.6	4.0	28.5	28.1	36.0	2.0	5.6	56.6
雇用者（計）	1149	1.2	5.1	28.5	21.4	41.9	1.8	6.3	49.9
無職（計）	846	0.7	1.9	26.5	19.4	49.2	2.4	2.6	45.9
ライフステージ別									
独身期	280	1.4	5.4	21.8	19.3	45.4	6.8	6.8	41.1
家族形成期	214	0.9	6.1	25.2	19.2	46.7	1.9	7.0	44.4
家族成長前期	291	0.3	5.8	35.1	18.9	38.8	1.0	6.1	54.0
家族成長後期	182	1.1	3.3	35.7	28.0	31.3	0.5	4.4	63.7
家族成熟期	476	1.3	3.2	27.9	24.6	41.8	1.3	4.5	52.5
高齢期	501	1.0	2.0	24.4	17.6	53.5	1.6	3.0	42.0
その他	309	1.3	3.2	28.5	24.3	41.1	1.6	4.5	52.8

(1-1) 暮らし向きが苦しくなった理由

◇「賃金などの収入が増えない、または減った」が64.5%

(問1で「少し苦しくなった」「苦しくなった」のいずれかを答えた方に)

問1-1 その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。



暮らし向きが苦しくなった理由は、「賃金などの収入が増えない、または減った」(64.5%)が6割半ばで最も高く、次いで「税金や保険料などの支払いが増えた」(31.6%)、「教育費が増えた」(19.3%)、「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」(18.4%)、「失業、退職、病気などで働き手が減った」(16.7%)、「家や自動車、家電などの支出が増えた」(16.5%)の順となっている。

【前年（平成21年）調査との比較】

「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」(4.2ポイント減)、「税金や保険料などの支払いが増えた」(2.9ポイント減)などが減少し、「家や自動車、家電などの支出が増えた」が2.6ポイント増加している。

【属性別比較】

① 地域別

「賃金などの収入が増えない、または減った」は南西部地域（72.0%）と県央地域（70.9%）で7割を超えて高くなっている。「税金や保険料などの支払いが増えた」は秩父地域（44.0%）で4割半ば、川越比企地域（40.0%）で4割と高くなっている。

② 性別

「賃金などの収入が増えない、または減った」は男性（68.4%）のほうが女性（60.6%）よりも7.8ポイント高くなっている。逆に「税金や保険料などの支払いが増えた」は女性（34.0%）のほうが男性（29.3%）よりも4.7ポイント高くなっている。

③ 年代別

「賃金などの収入が増えない、または減った」は30歳代から50歳代で7割を超えて高く、高年代で低くなっている。「税金や保険料などの支払いが増えた」は70歳以上（47.4%）で5割弱、60歳代（35.9%）で3割半ばと高くなっている。「教育費が増えた」は40歳代（43.0%）で特に高く、「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」は30歳代（29.9%）で最も高くなっている。

④ 性・年代別

「賃金などの収入が増えない、または減った」は男性では20歳代から50歳代で高く、女性では30歳代から50歳代で高くなっている。「税金や保険料などの支払いが増えた」は男性70歳以上（50.0%）で5割、女性60歳代（43.6%）と70歳以上（45.0%）で4割を超えて高くなっている。「教育費が増えた」は男性40歳代（40.0%）、女性30歳代（39.4%）と40歳代（46.2%）で特に高く、「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」は女性20歳代（32.7%）と30歳代（31.3%）で高くなっている。

⑤ 職業別

「賃金などの収入が増えない、または減った」は無職（計）（44.6%）を除き7割を超えて高くなっている。逆に「税金や保険料などの支払いが増えた」は無職（計）（37.9%）で高くなっている。「教育費が増えた」は雇用者（計）（26.2%）で高く、「失業、退職、病気などで働き手が減った」は無職（計）（25.0%）で特に高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「教育費が増えた」は家族成長前期（51.0%）、家族成長後期（67.2%）で特に高くなっている。「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」は家族形成期（40.0%）で4割と特に高くなっている。

【生活程度別】

問2の生活程度別でみると、「教育費が増えた」は生活程度が高いほど割合が高くなっている。また、「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」は下（計）で高くなっている。

【生活満足度別】

ほとんどの項目で不満である（計）が高く、「賃金などの収入が増えない、または減った」では不満である（計）（68.0%）が満足している（計）（53.8%）を14.2ポイント上回っており、差が大きくなっている。

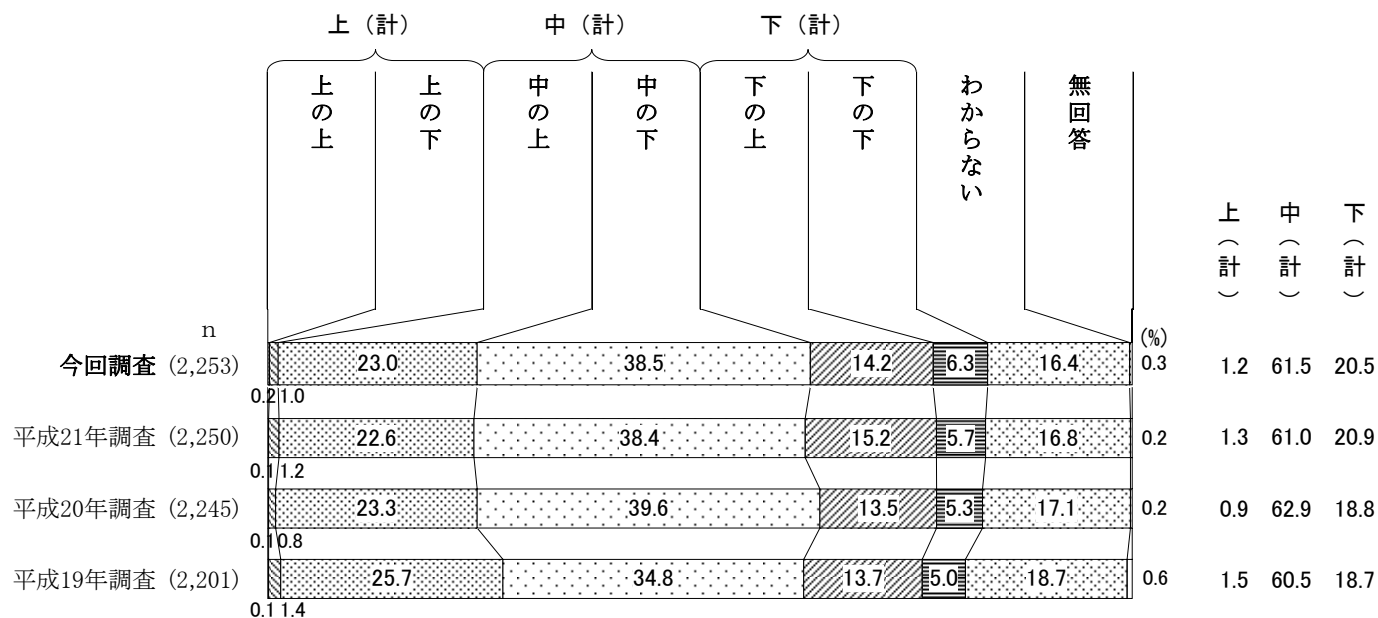
○暮らし向きが苦しくなった理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別／生活程度別／生活満足度別

	調査数	賃金などは減った	税金や保険料などの支払いが増えた	教育費が増えた	家族の増加や物価の上昇などで日常生活費が増えた	失業、退職、病氣などで働き手が減った	家や自動車、家電などの支出が増えた	結婚、出産、病氣など特別な出費が増えた	金利が低い	事業などの経費が増えた	その他	特にな	わからない	無回答
全 体	1106	64.5	31.6	19.3	18.4	16.7	16.5	13.7	8.3	4.8	5.2	0.5	0.2	0.2
地域別														
南部地域	107	67.3	31.8	16.8	12.1	15.9	5.6	14.0	3.7	3.7	2.8	-	-	0.9
南西部地域	118	72.0	34.7	23.7	14.4	15.3	12.7	12.7	5.1	3.4	1.7	0.8	-	-
東部地域	154	66.9	26.0	15.6	13.0	19.5	15.6	15.6	11.0	5.2	4.5	-	0.6	-
さいたま地域	162	61.7	34.0	20.4	21.0	14.2	18.5	11.1	8.6	3.7	8.0	-	0.6	-
県央地域	103	70.9	29.1	25.2	20.4	18.4	18.4	13.6	14.6	6.8	8.7	-	-	-
川越比企地域	135	54.8	40.0	17.0	20.7	17.8	18.5	13.3	8.9	5.9	9.6	1.5	-	0.7
西部地域	121	68.6	25.6	21.5	20.7	18.2	16.5	14.0	5.0	3.3	2.5	0.8	-	-
利根地域	96	63.5	24.0	18.8	18.8	14.6	27.1	18.8	11.5	4.2	3.1	-	-	-
北部地域	85	54.1	36.5	17.6	30.6	11.8	15.3	11.8	4.7	5.9	4.7	1.2	-	-
秩父地域	25	64.0	44.0	12.0	8.0	32.0	16.0	12.0	12.0	12.0	4.0	-	-	-
性別														
男性	553	68.4	29.3	17.7	16.8	17.9	16.8	11.6	6.3	5.2	4.2	0.4	-	-
女性	553	60.6	34.0	21.0	20.1	15.6	16.1	15.9	10.3	4.3	6.3	0.5	0.4	0.4
年代別														
20歳代	91	64.8	29.7	9.9	24.2	14.3	11.0	16.5	3.3	-	2.2	1.1	1.1	1.1
30歳代	194	70.1	29.9	27.8	29.9	13.4	23.2	16.0	3.1	3.6	3.1	-	0.5	-
40歳代	237	76.8	21.1	43.0	12.2	11.4	16.0	3.8	3.8	4.2	3.0	-	-	-
50歳代	205	76.6	29.8	20.5	20.0	17.6	13.2	16.6	7.3	8.8	7.3	-	-	-
60歳代	223	56.5	35.9	2.2	12.1	26.5	16.1	15.2	13.5	6.7	6.7	0.9	-	-
70歳以上	156	34.0	47.4	1.3	17.3	15.4	16.7	18.6	18.6	1.9	8.3	1.3	-	0.6
性・年代別														
男性・20歳代	42	73.8	28.6	9.5	14.3	19.0	9.5	4.8	4.8	-	2.4	2.4	-	-
30歳代	95	74.7	30.5	15.8	28.4	13.7	23.2	16.8	2.1	4.2	3.2	-	-	-
40歳代	120	76.7	21.7	40.0	13.3	14.2	15.0	2.5	3.3	4.2	1.7	-	-	-
50歳代	107	83.2	23.4	24.3	16.8	13.1	15.0	11.2	5.6	9.3	4.7	-	-	-
60歳代	113	60.2	28.3	3.5	11.5	28.3	15.9	13.3	8.0	7.1	5.3	0.9	-	-
70歳以上	76	35.5	50.0	1.3	17.1	19.7	19.7	21.1	15.8	2.6	7.9	-	-	-
女性・20歳代	49	57.1	30.6	10.2	32.7	10.2	12.2	26.5	2.0	-	2.0	-	2.0	2.0
30歳代	99	65.7	29.3	39.4	31.3	13.1	23.2	15.2	4.0	3.0	3.0	-	1.0	-
40歳代	117	76.9	20.5	46.2	11.1	8.5	17.1	5.1	4.3	4.3	4.3	-	-	-
50歳代	98	69.4	36.7	16.3	23.5	22.4	11.2	22.4	9.2	8.2	10.2	-	-	-
60歳代	110	52.7	43.6	0.9	12.7	24.5	16.4	17.3	19.1	6.4	8.2	0.9	-	-
70歳以上	80	32.5	45.0	1.3	17.5	11.3	13.8	16.3	21.3	1.3	8.8	2.5	-	1.3
職業別														
自営業・家族従業（計）	143	71.3	32.2	12.6	17.5	11.9	12.6	9.8	4.2	24.5	7.7	0.7	-	-
雇用者（計）	573	76.3	27.2	26.2	17.8	12.4	17.5	11.0	5.6	2.3	3.5	0.3	0.2	0.2
無職（計）	388	44.6	37.9	11.9	19.8	25.0	16.5	19.3	13.9	1.3	7.0	0.5	0.3	0.3
ライフステージ別														
独身期	115	69.6	30.4	5.2	17.4	17.4	17.4	8.7	3.5	1.7	1.7	0.9	0.9	0.9
家族形成期	95	57.9	30.5	24.2	40.0	9.5	22.1	31.6	5.3	3.2	3.2	-	1.1	-
家族成長前期	157	74.5	21.0	51.0	25.5	10.2	17.8	5.1	3.8	2.5	1.9	-	-	-
家族成長後期	116	70.7	18.1	67.2	14.7	8.6	12.9	5.2	5.2	4.3	5.2	-	-	-
家族成熟期	250	68.4	33.2	7.2	14.0	23.2	16.8	16.0	8.8	6.4	6.4	0.4	-	-
高齢期	210	44.8	45.2	1.9	17.1	17.6	16.2	18.1	18.6	3.3	7.6	1.4	-	0.5
その他	163	69.9	33.1	3.1	11.0	21.5	13.5	12.3	6.1	9.8	7.4	-	-	-
生活程度別（3区分）														
上（計）	7	28.6	71.4	28.6	-	42.9	-	28.6	-	-	-	-	-	-
中（計）	609	65.5	31.5	22.2	17.9	14.0	15.8	14.0	9.2	4.3	4.1	0.2	0.2	0.2
下（計）	329	62.9	34.0	11.6	22.2	23.4	18.5	15.2	7.3	6.7	7.3	0.3	-	0.3
生活満足度別														
満足している（計）	251	53.8	27.1	22.3	17.1	13.1	15.1	14.3	8.8	4.4	5.2	0.4	0.4	0.4
不満である（計）	810	68.0	33.1	18.8	19.0	17.8	16.5	14.0	8.0	4.9	5.4	0.5	-	0.1

（２）生活程度

◇『中（計）』程度が61.5%、『下（計）』は20.5%

問２ お宅の現在の生活程度は、世間一般からみて、この中のどれに属すると思いますか。



世間一般からみた生活程度は、「中の下」（38.5%）が最も高く、「中の上」（23.0%）がこれに次いでいる。両者を合わせた『中（計）』（61.5%）は6割強を占めている。同様に「下の上」（14.2%）と「下の下」（6.3%）を合わせた『下（計）』は20.5%、「上の下」（1.0%）と「上の上」（0.2%）を合わせた『上（計）』は1.2%となっている。

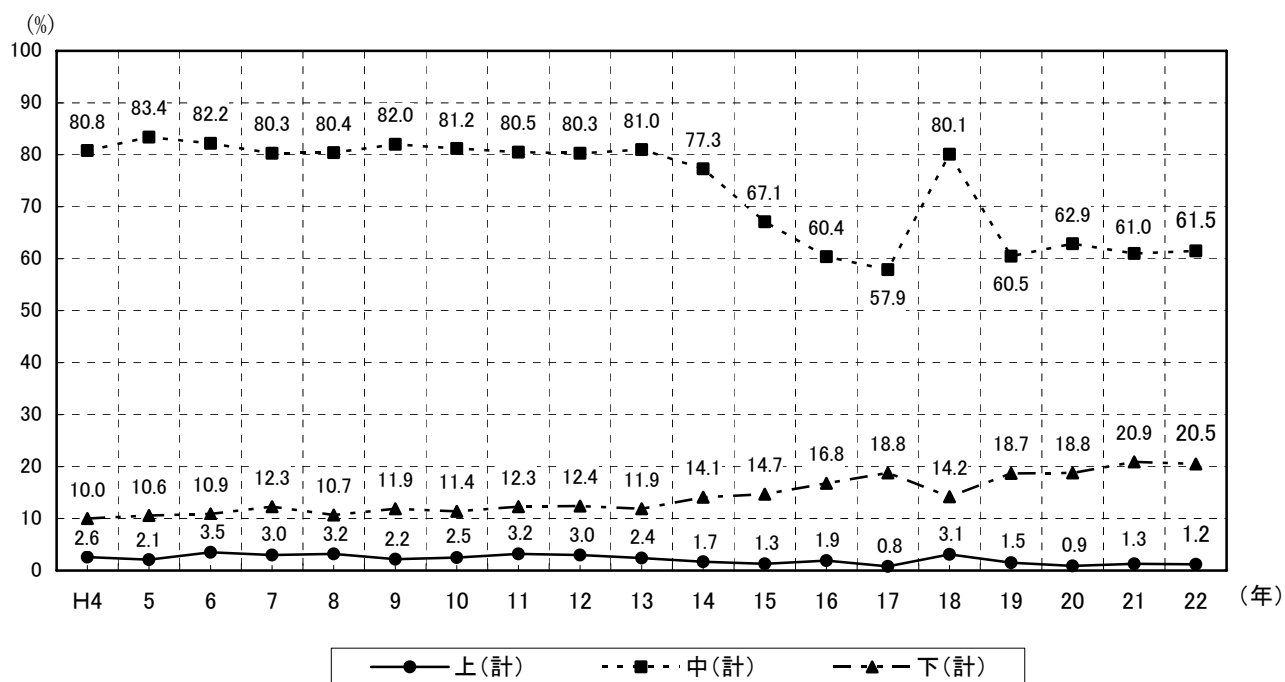
【過去３年間との比較】

過去３年間と比較すると、あまり変化はない。

【経年比較】

平成4年からの推移をみると、平成17年に6割を下回った『中（計）』は、平成19年に6割台を回復し、今回もほぼ6割となっている。『下（計）』は平成18年から微増傾向で、過去最高だった前年から減少に転じたものの依然2割を超えている。

○生活程度・平成4年以降の推移



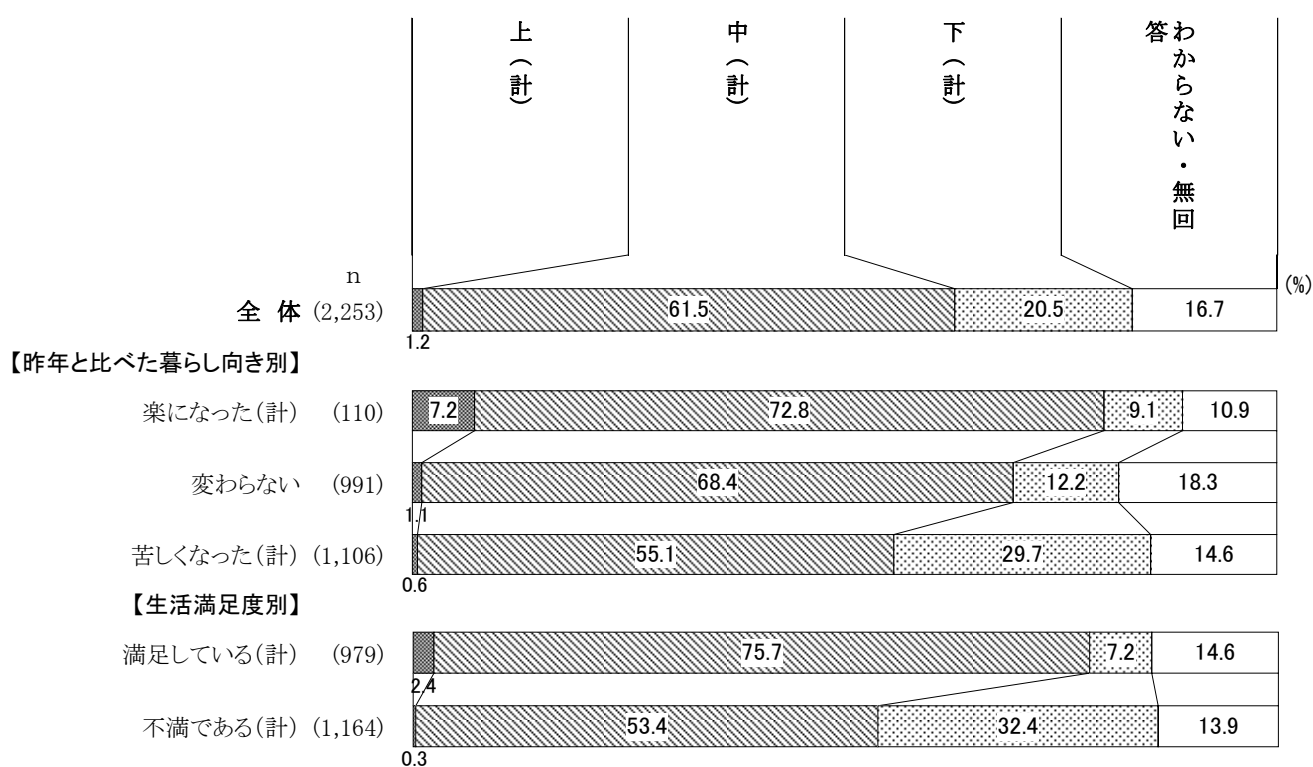
【昨年と比べた暮らし向き別】

問1の昨年と比べた暮らし向きの回答別でみると、いずれの段階でも『中（計）』が5割を超えているが、楽になった（計）（72.8%）が7割強であるのに対して、変わらない（68.4%）は7割弱、苦しくなった（計）（55.1%）は5割半ばとなっている。苦しくなった（計）では『下（計）』（29.7%）が約3割と高くなっている。

【生活満足度別】

生活全体の満足度別にみると、『中（計）』は満足している（計）で75.7%、不満である（計）で53.4%と差が大きい。『下（計）』では逆に、不満である（計）（32.4%）が満足している（計）（7.2%）よりも高くなっている。

○生活程度・昨年と比べた暮らし向き別／生活満足度別



【属性別比較】

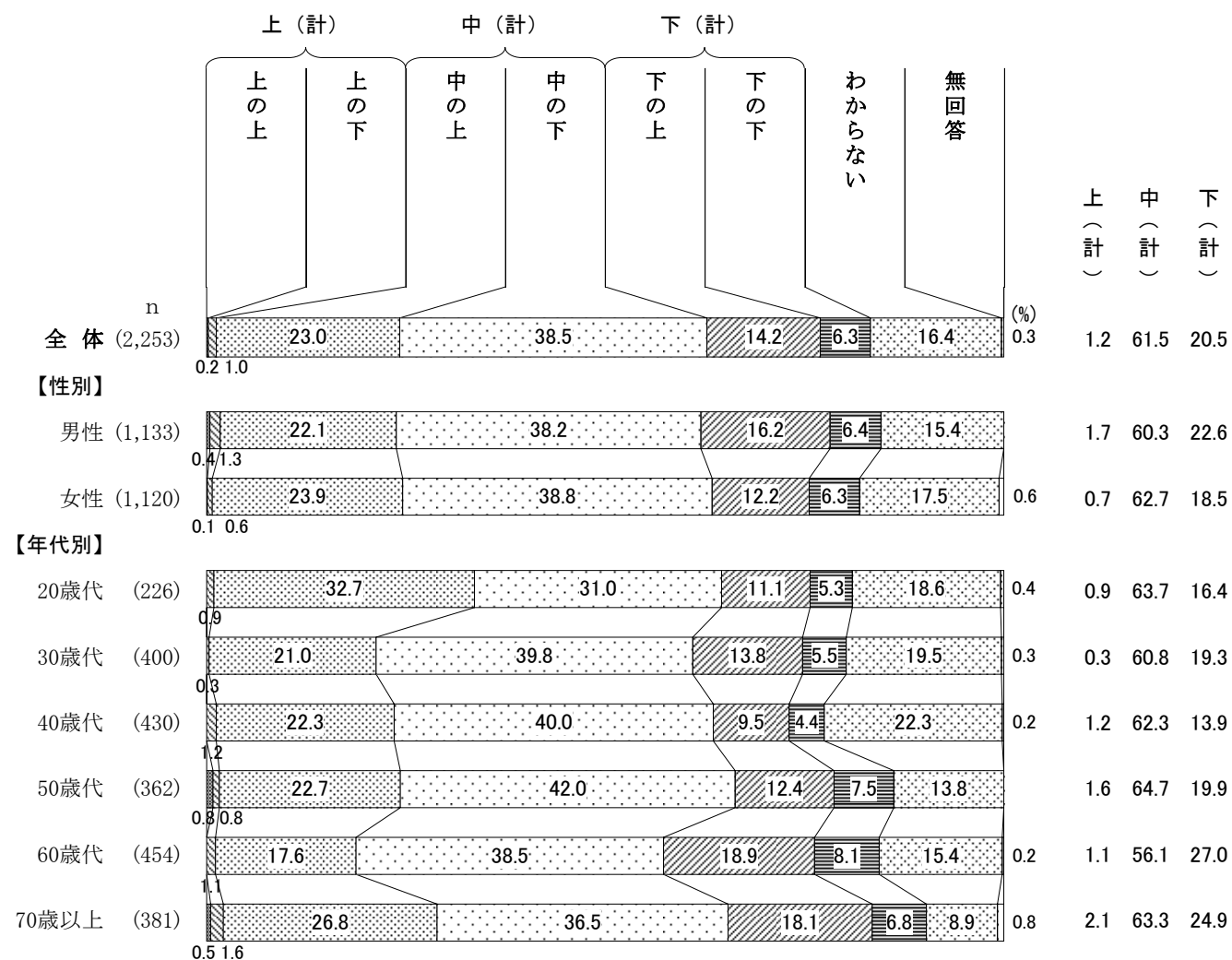
①性別

『下（計）』は男性（22.6%）が女性（18.5%）よりも4.1ポイント高くなっている。

②年代別

『中（計）』は50歳代（64.7%）、20歳代（63.7%）の順で高くなっている。一方、『下（計）』は40歳代（13.9%）で最も低く、60歳代（27.0%）、70歳以上（24.9%）で2割を超えて高くなっている。

○生活程度・性別／年代別



③地域別

『中（計）』はさいたま地域（65.7%）や北部地域（64.8%）で高くなっている。一方、『下（計）』は南部地域（24.2%）や秩父地域（26.9%）で2割半ばと高くなっている。

④性・年代別

『中（計）』は男性50歳代（68.0%）、女性20歳代（67.8%）で7割弱と高く、男性60歳代（50.2%）で比較的低くなっている。一方、『下（計）』は男性では60歳代（34.9%）で3割半ば、70歳以上（27.8%）で3割弱と高く、女性では50歳代（23.2%）と70歳以上（22.2%）で2割強と高くなっている。

⑤職業別

『下（計）』は自営業・家族従業（計）（25.7%）で2割半ばと高くなっている。

⑥ライフステージ別

『中（計）』は家族形成期（68.2%）、家族成長後期（67.6%）で高く、その他（54.3%）で比較的低くなっている。一方、『下（計）』は家族成熟期（25.6%）、その他（25.6%）で2割半ばと高くなっている。

○生活程度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	上の上	上の下	中の上	中の下	下の上	下の下	わからない	無回答
全 体	2253	0.2	1.0	23.0	38.5	14.2	6.3	16.4	0.3

上 (計)	中 (計)	下 (計)
1.2	61.5	20.5

地域別									
南部地域	232	-	1.7	24.1	38.4	14.7	9.5	11.6	-
南西部地域	226	-	0.4	19.9	38.9	15.5	4.9	20.4	-
東部地域	321	0.6	0.6	21.8	39.9	10.3	7.5	19.0	0.3
さいたま地域	365	0.5	1.6	26.0	39.7	13.4	5.5	13.2	-
県央地域	181	-	-	21.0	37.6	14.4	3.9	23.2	-
川越比企地域	263	-	1.5	25.1	36.1	15.6	8.0	13.7	-
西部地域	247	-	1.2	21.5	36.8	16.2	5.7	17.8	0.8
利根地域	204	-	0.5	20.1	39.7	14.2	4.4	19.6	1.5
北部地域	173	0.6	0.6	24.3	40.5	14.5	7.5	12.1	-
秩父地域	41	-	-	29.3	29.3	22.0	4.9	12.2	2.4

1.7	62.5	24.2
0.4	58.8	20.4
1.2	61.7	17.8
2.1	65.7	18.9
-	58.6	18.3
1.5	61.2	23.6
1.2	58.3	21.9
0.5	59.8	18.6
1.2	64.8	22.0
-	58.6	26.9

性・年代別									
男性・20歳代	105	-	1.9	34.3	24.8	12.4	8.6	18.1	-
30歳代	200	-	0.5	20.0	42.0	13.5	6.0	18.0	-
40歳代	231	-	1.3	20.8	41.1	11.3	3.5	22.1	-
50歳代	181	1.7	1.1	19.9	48.1	9.9	6.6	12.7	-
60歳代	229	-	1.3	18.3	31.9	24.9	10.0	13.5	-
70歳以上	187	0.5	2.1	25.7	36.4	23.0	4.8	7.5	-
女性・20歳代	121	-	-	31.4	36.4	9.9	2.5	19.0	0.8
30歳代	200	-	-	22.0	37.5	14.0	5.0	21.0	0.5
40歳代	199	-	1.0	24.1	38.7	7.5	5.5	22.6	0.5
50歳代	181	-	0.6	25.4	35.9	14.9	8.3	14.9	-
60歳代	225	-	0.9	16.9	45.3	12.9	6.2	17.3	0.4
70歳以上	194	0.5	1.0	27.8	36.6	13.4	8.8	10.3	1.5

1.9	59.1	21.0
0.5	62.0	19.5
1.3	61.9	14.8
2.8	68.0	16.5
1.3	50.2	34.9
2.6	62.1	27.8
-	67.8	12.4
-	59.5	19.0
1.0	62.8	13.0
0.6	61.3	23.2
0.9	62.2	19.1
1.5	64.4	22.2

職業別									
自営業・家族従業（計）	253	1.2	2.4	20.6	35.2	17.0	8.7	15.0	-
雇用者（計）	1149	-	0.7	22.7	39.9	13.1	5.2	18.1	0.3
無職（計）	846	0.2	0.9	24.2	37.6	15.0	7.1	14.5	0.4

3.6	55.8	25.7
0.7	62.6	18.3
1.1	61.8	22.1

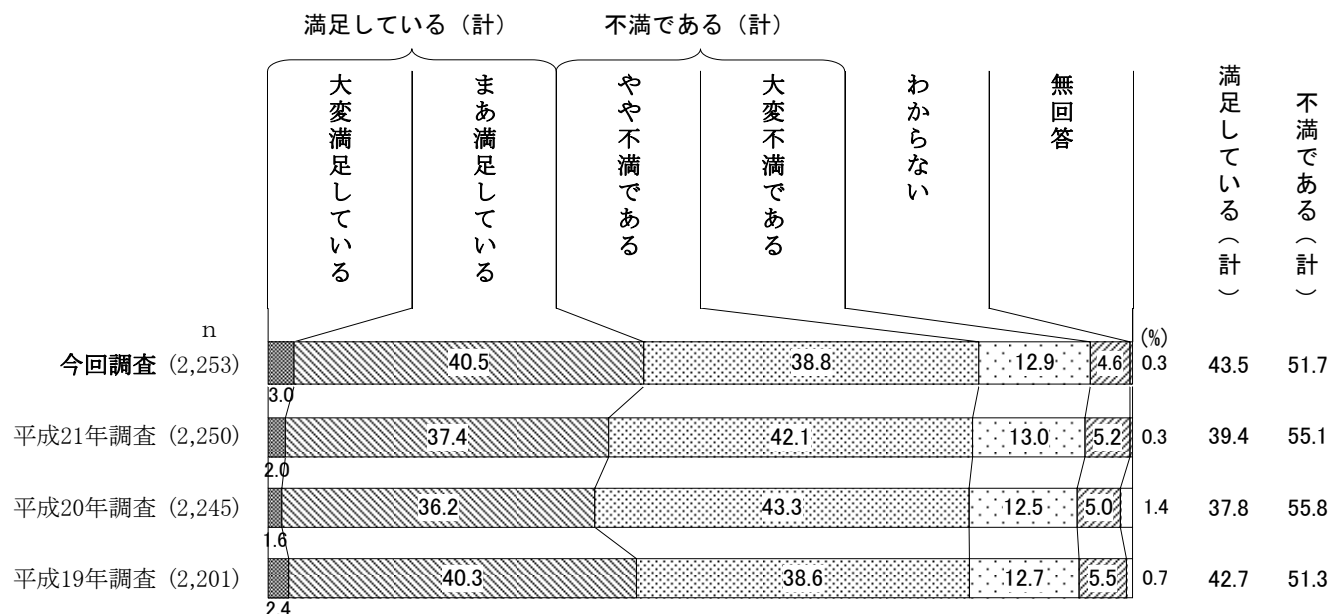
ライフステージ別									
独身期	280	-	0.7	26.8	33.2	15.4	4.6	18.9	0.4
家族形成期	214	-	-	25.2	43.0	10.3	5.1	15.9	0.5
家族成長前期	291	-	0.7	23.7	36.1	10.0	5.8	23.7	-
家族成長後期	182	1.1	3.3	24.7	42.9	6.0	5.5	16.5	-
家族成熟期	476	0.2	1.1	21.2	38.2	18.5	7.1	13.7	-
高齢期	501	0.4	0.8	24.4	40.1	15.8	5.6	12.6	0.4
その他	309	-	1.0	16.8	37.5	15.9	9.7	18.1	1.0

0.7	60.0	20.0
-	68.2	15.4
0.7	59.8	15.8
4.4	67.6	11.5
1.3	59.4	25.6
1.2	64.5	21.4
1.0	54.3	25.6

(3) 生活全体の満足度

◇『満足している（計）』は43.5%、『不満である（計）』は51.7%

問3 あなたは、現在の生活について、全体としてどの程度満足していますか。



生活全体に対する満足度は、「まあ満足している」（40.5%）が約4割と最も高く、「やや不満である」（38.8%）が4割弱となっている。「大変満足している」（3.0%）と「まあ満足している」（40.5%）を合わせた『満足している（計）』（43.5%）は4割強、一方、「大変不満である」（12.9%）と「やや不満である」（38.8%）を合わせた『不満である（計）』（51.7%）は5割強となっている。

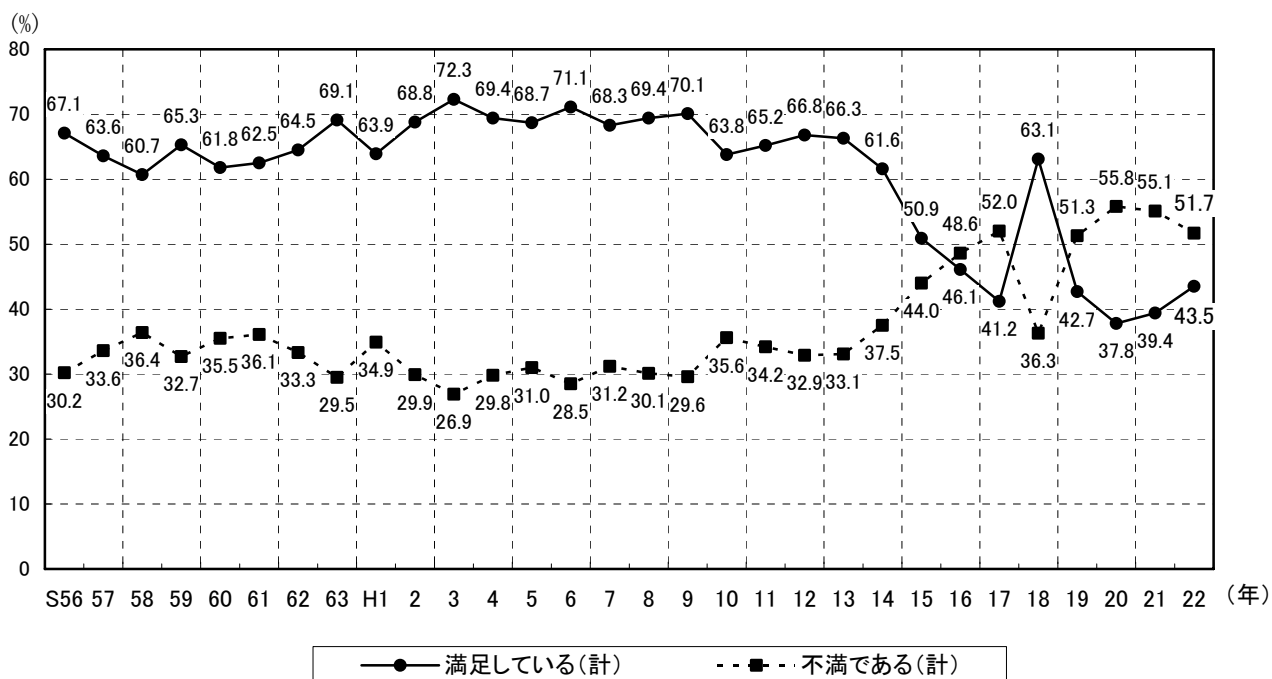
【過去3年間との比較】

『満足している（計）』は2年連続で増加し、平成19年（42.7%）と同水準となっている。『不満である（計）』は平成21年（55.1%）から減少し、平成19年（51.3%）と同水準となっている。

【経年比較】

昭和56年以降の推移をみると、前年より『満足している（計）』が4.1ポイント増加し、平成19年
以来の4割台に回復している。

○生活全体の満足度・昭和56年以降の推移



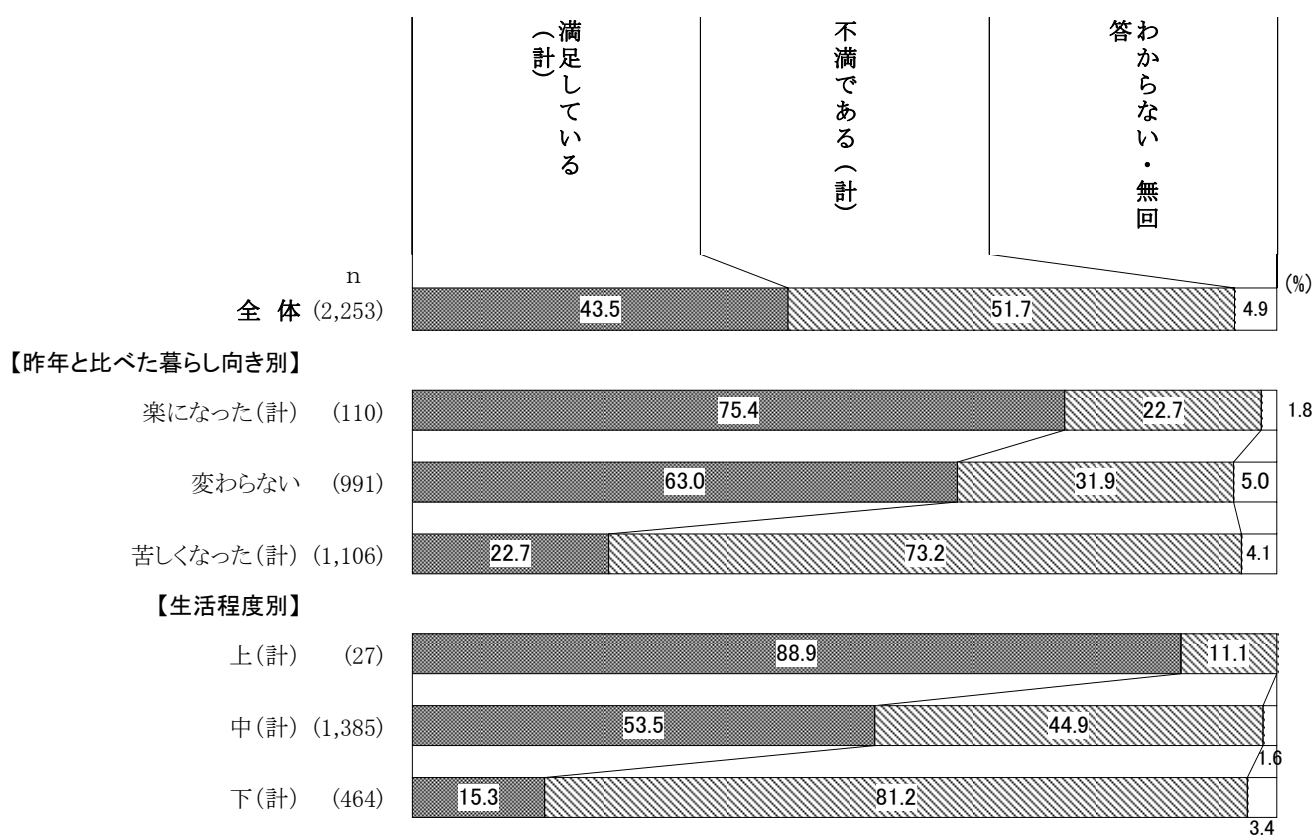
【昨年と比べた暮らし向き別】

昨年と比べた暮らし向きの回答別でみると、『満足している（計）』は楽になった（計）（75.4%）が7割半ば、変わらない（63.0%）が6割強となっており、両者の差は12.4ポイントとなっている。一方、苦しくなった（計）（22.7%）は2割強と低くなっている。

【生活程度別】

生活程度別にみると、『満足している（計）』は上（計）（88.9%）で9割弱、中（計）（53.5%）で5割強となっている。しかし、下（計）（15.3%）では1割半ばにとどまり、『不満である（計）』（81.2%）が8割強となっている。

○生活全体の満足度・昨年と比べた暮らし向き別／生活程度別



【属性別比較】

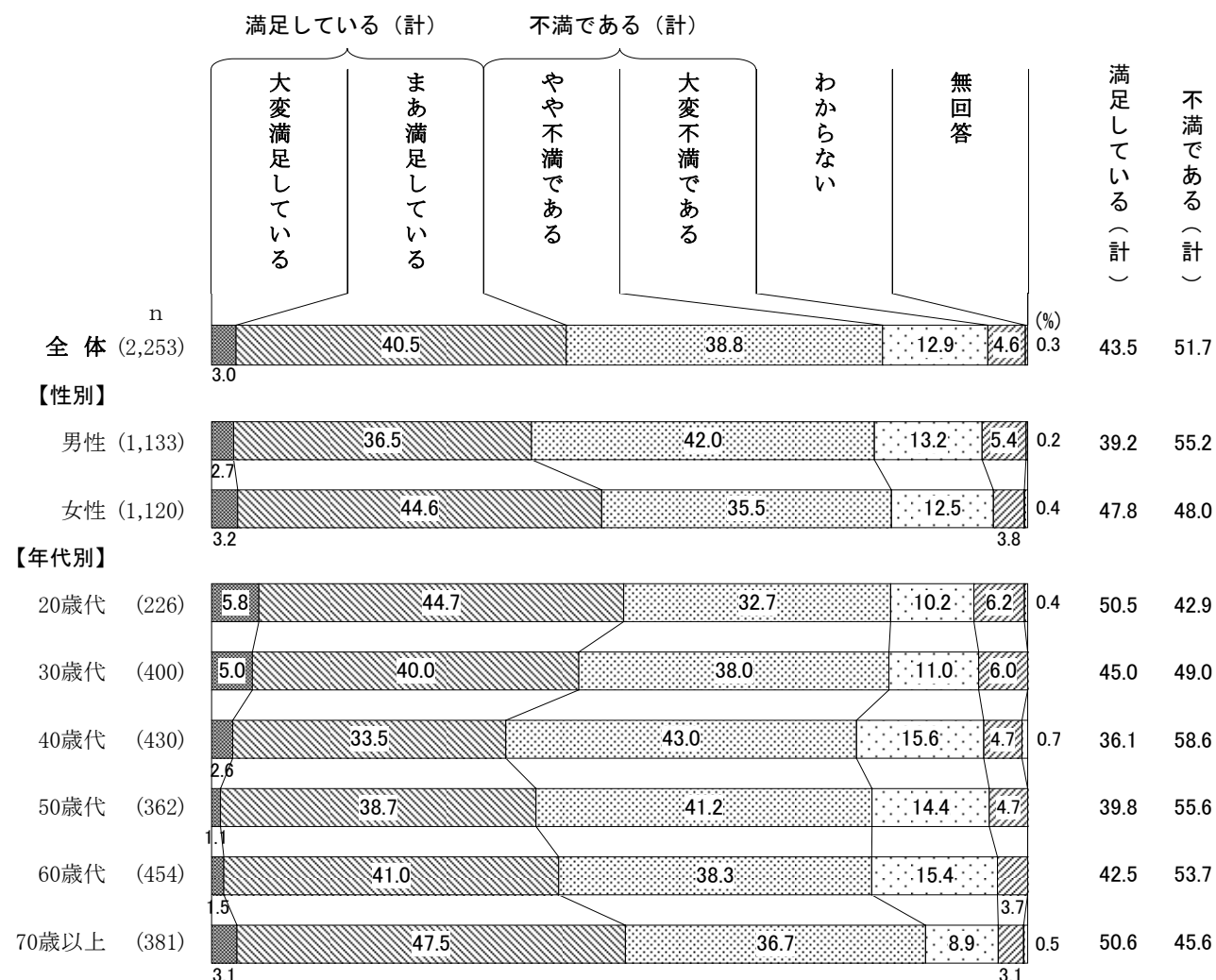
①性別

『満足している（計）』は女性（47.8%）が男性（39.2%）よりも8.6ポイント高くなっている。男性は『不満である（計）』（55.2%）が『満足している（計）』（39.2%）を16.0ポイント上回っている。

②年代別

『満足している（計）』は20歳代（50.5%）と70歳以上（50.6%）で高く、40歳代（36.1%）で最も低くなっている。『不満である（計）』は逆に40歳代（58.6%）で高く、20歳代（42.9%）では低くなっている。20歳代と70歳以上では『満足している（計）』が『不満である（計）』を上回っているが、他の年代ではいずれも『不満である（計）』が高くなっている。特に40歳代では『不満である（計）』（58.6%）が『満足している（計）』（36.1%）よりも22.5ポイント上回っている。

○生活全体の満足度・性別／年代別



③地域別

『満足している（計）』はさいたま地域（47.9%）で5割弱となっている。一方、『不満である（計）』は秩父地域（58.6%）で6割弱となっている。また、すべての地域で『不満である（計）』が『満足している（計）』よりも高くなっている。

④性・年代別

『満足している（計）』は女性の20歳代（57.1%）で最も高く、男性では40歳代（32.5%）で3割強、50歳代（35.4%）で3割半ばと低くなっている。一方、『不満である（計）』は男性の40歳代（60.2%）で約6割、50歳代（58.6%）と60歳代（58.1%）で6割弱と高くなっている。また、『満足している（計）』が『不満である（計）』よりも高いのは女性の20歳代、30歳代、70歳以上のみとなっている。

⑤職業別

『満足している（計）』は無職（計）（48.6%）でやや高くなっている。

⑥ライフステージ別

『満足している（計）』は家族成長後期（36.8%）とその他（30.1%）を除くいずれのステージも4割を超えている。一方、『不満である（計）』は家族形成期（41.6%）で比較的低くなっている。その他では『不満である（計）』（64.4%）が『満足している（計）』（30.1%）を34.3ポイント上回っている。

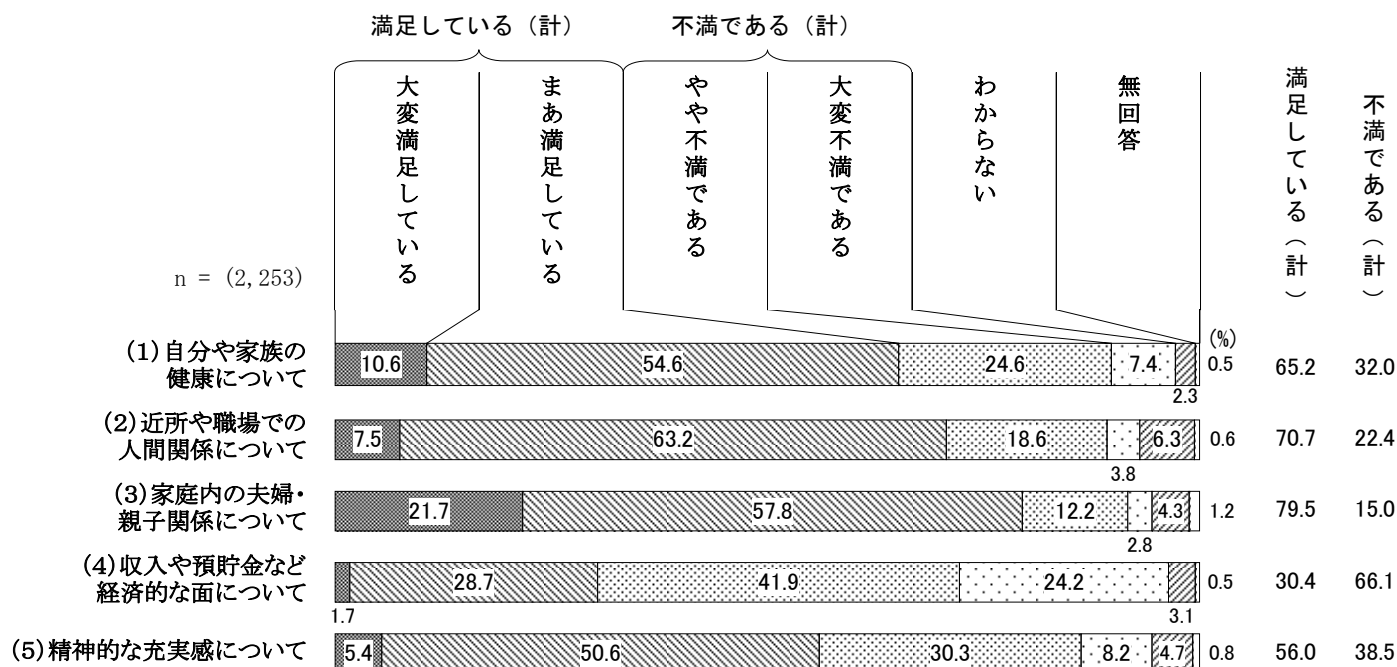
○生活全体の満足度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	大変満足している	まあ満足している	やや不満である	大変不満である	わからない	無回答	満足している（計）	不満である（計）
全 体	2253	3.0	40.5	38.8	12.9	4.6	0.3	43.5	51.7
地域別									
南部地域	232	2.2	39.2	39.2	15.1	4.3	-	41.4	54.3
南西部地域	226	3.5	38.1	40.3	12.8	5.3	-	41.6	53.1
東部地域	321	3.1	41.1	38.0	11.2	6.2	0.3	44.2	49.2
さいたま地域	365	2.7	45.2	37.8	11.8	2.5	-	47.9	49.6
県央地域	181	3.3	39.2	39.8	13.8	3.9	-	42.5	53.6
川越比企地域	263	3.0	41.8	36.9	13.7	4.6	-	44.8	50.6
西部地域	247	2.0	38.5	39.7	13.8	5.3	0.8	40.5	53.5
利根地域	204	2.0	38.7	42.6	8.8	6.9	1.0	40.7	51.4
北部地域	173	5.2	41.0	35.3	15.6	2.9	-	46.2	50.9
秩父地域	41	4.9	29.3	41.5	17.1	4.9	2.4	34.2	58.6
性・年代別									
男性・20歳代	105	6.7	36.2	33.3	17.1	6.7	-	42.9	50.4
30歳代	200	5.0	37.0	40.0	12.0	6.0	-	42.0	52.0
40歳代	231	2.6	29.9	43.3	16.9	6.5	0.9	32.5	60.2
50歳代	181	1.7	33.7	44.8	13.8	6.1	-	35.4	58.6
60歳代	229	0.4	36.7	43.7	14.4	4.8	-	37.1	58.1
70歳以上	187	2.1	46.5	42.8	5.9	2.7	-	48.6	48.7
女性・20歳代	121	5.0	52.1	32.2	4.1	5.8	0.8	57.1	36.3
30歳代	200	5.0	43.0	36.0	10.0	6.0	-	48.0	46.0
40歳代	199	2.5	37.7	42.7	14.1	2.5	0.5	40.2	56.8
50歳代	181	0.6	43.6	37.6	14.9	3.3	-	44.2	52.5
60歳代	225	2.7	45.3	32.9	16.4	2.7	-	48.0	49.3
70歳以上	194	4.1	48.5	30.9	11.9	3.6	1.0	52.6	42.8
職業別									
自営業・家族従業（計）	253	2.8	37.2	36.8	18.6	4.7	-	40.0	55.4
雇用者（計）	1149	2.8	37.7	41.3	12.9	5.1	0.3	40.5	54.2
無職（計）	846	3.3	45.3	36.1	11.1	3.9	0.4	48.6	47.2
ライフステージ別									
独身期	280	5.0	40.4	33.2	13.9	7.1	0.4	45.4	47.1
家族形成期	214	6.1	46.7	36.0	5.6	5.6	-	52.8	41.6
家族成長前期	291	3.4	38.8	41.9	10.0	5.5	0.3	42.2	51.9
家族成長後期	182	2.2	34.6	43.4	15.4	3.8	0.5	36.8	58.8
家族成熟期	476	1.5	41.2	38.4	15.1	3.8	-	42.7	53.5
高齢期	501	2.8	47.7	35.5	10.6	3.0	0.4	50.5	46.1
その他	309	1.6	28.5	46.0	18.4	5.2	0.3	30.1	64.4

(4) 生活各面の満足度

◇経済的な面で不満が高い

問4 では、次にあげる5つの生活面について、あなたはどの程度満足していますか。



生活面での満足度について、5つの指標を設定して聞いた。

自分や家族の健康について、「大変満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している (計)』(65.2%) は6割半ば、「大変不満である」と「やや不満である」を合わせた『不満である (計)』(32.0%) は3割強となっている。

近所や職場での人間関係について、『満足している (計)』(70.7%) は約7割、『不満である (計)』(22.4%) は2割強となっている。

家庭内の夫婦・親子関係について、『満足している (計)』(79.5%) は約8割、『不満である (計)』(15.0%) は1割半ばとなっている。

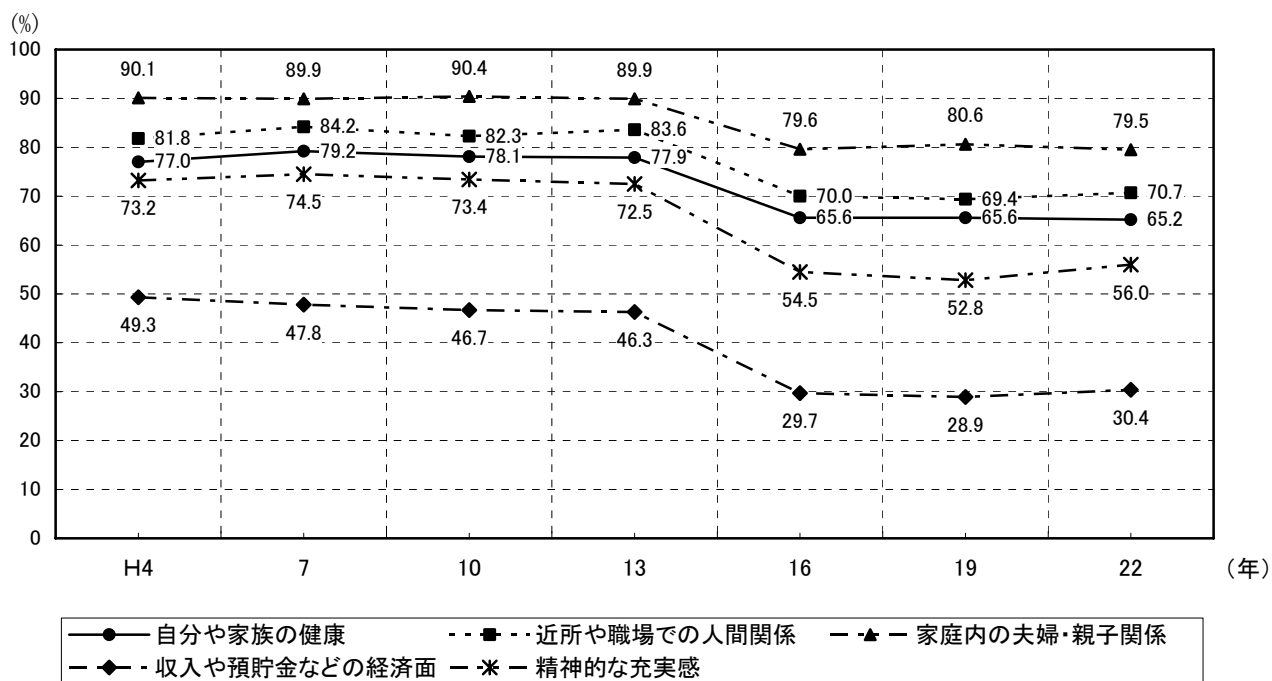
収入や預貯金など経済的な面について、『満足している (計)』(30.4%) は約3割、『不満である (計)』(66.1%) は6割半ばとなっている。

精神的な充実感について、『満足している (計)』(56.0%) は5割半ば、『不満である (計)』(38.5%) は4割弱となっている。

【経年比較】

平成4年からの満足層の推移（3年ごと）は、各項目とも平成4年から平成13年までは大きな変化はないが、平成16年にいずれも大幅に減少し、今回もほぼ同程度の結果となっている。

○生活各面の満足度・平成4年以降の満足層の推移



（１）自分や家族の健康について

自分や家族の健康について、『満足している（計）』（65.2%）は6割半ば、『不満である（計）』（32.0%）は3割強となっている。

【平成19年調査との比較】

『満足している（計）』が0.4ポイント減少したものの、平成19年調査の結果からあまり変化がない。

【昨年と比べた暮らし向き別】

『満足している（計）』は楽になった（計）（82.8%）で8割強、変わらない（70.1%）では約7割だが、苦しくなった（計）（59.6%）では約6割にとどまっている。

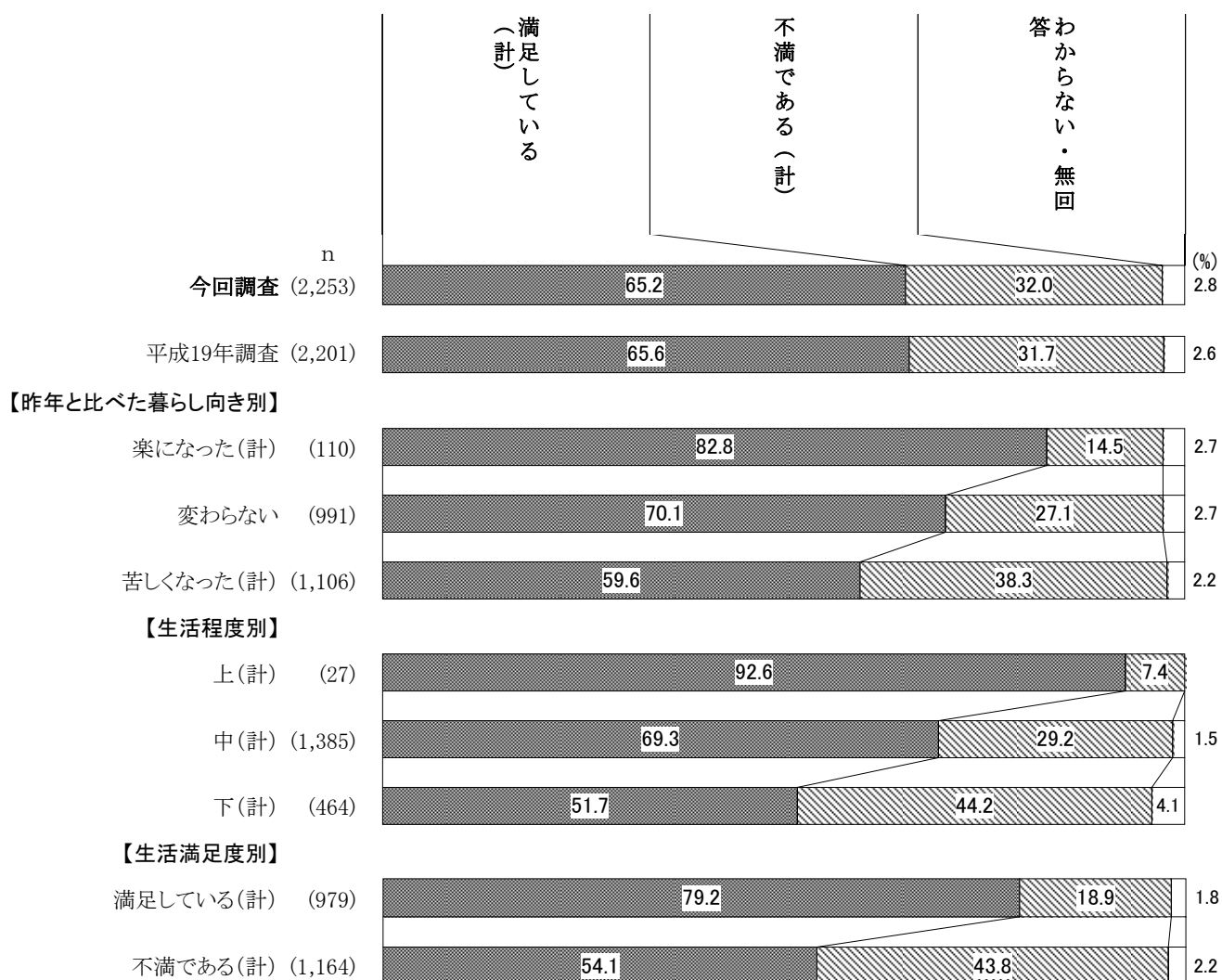
【生活程度別】

『満足している（計）』は上（計）（92.6%）では9割強、中（計）（69.3%）では約7割、下（計）（51.7%）では5割強と、生活程度による差が大きくなっている。

【生活満足度別】

『満足している（計）』は満足している（計）（79.2%）が不満である（計）（54.1%）を25.1ポイント上回っている。

○平成19年調査との比較／昨年と比べた暮らし向き別／生活程度別／生活満足度別



【属性別比較】

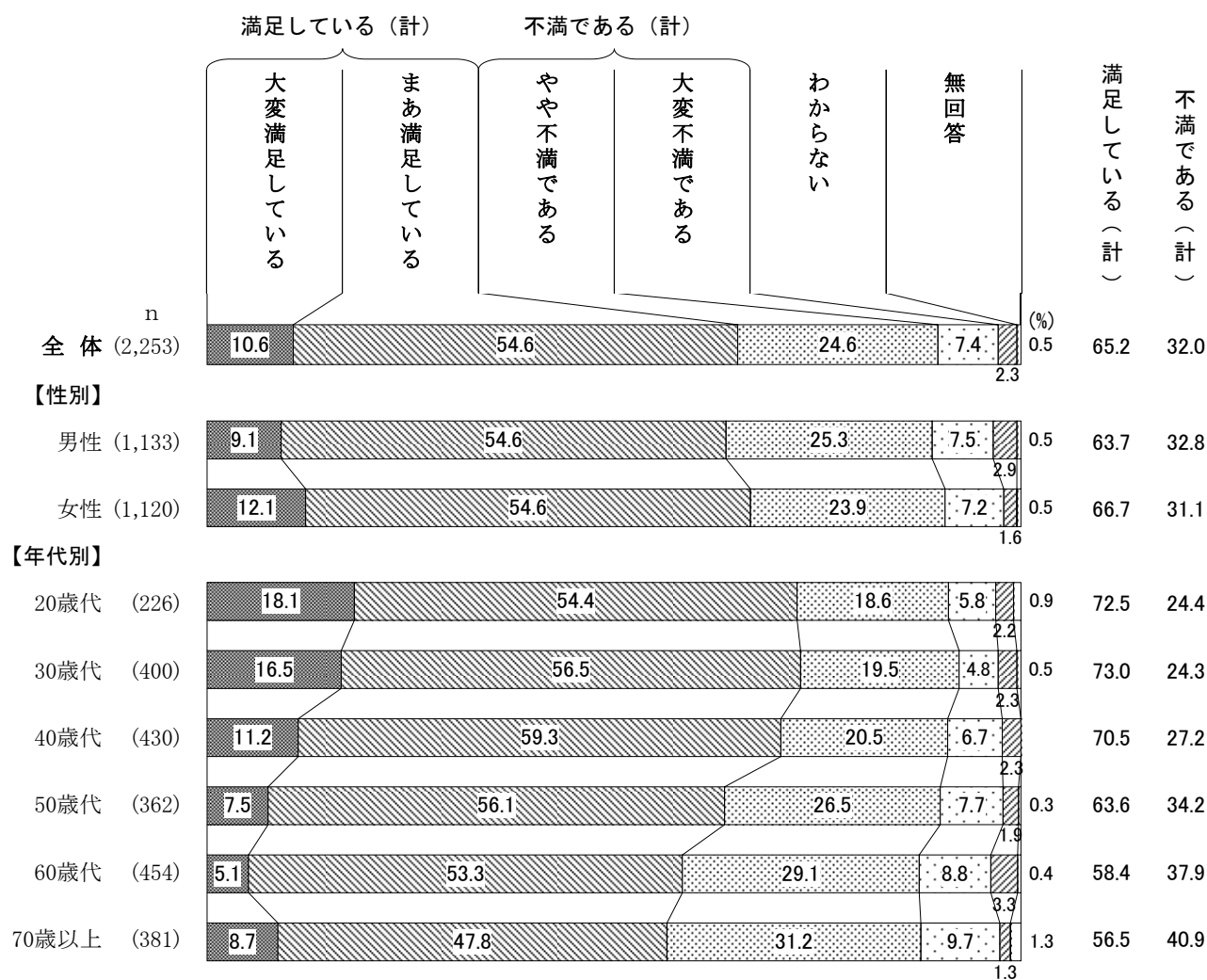
①性別

『満足している（計）』は女性（66.7%）が男性（63.7%）より3.0ポイント高くなっている。

②年代別

『満足している（計）』は30歳代（73.0%）を最高に、高年代になるほど低くなっている。

○性別／年代別



③地域別

『満足している（計）』は利根地域（60.3％）でやや低いが、すべての地域で6割を超えている。

④性・年代別

『満足している（計）』は女性30歳代（79.5％）が最も高くなっている。一方、男性の60歳代以上、女性の70歳以上は6割を下回り低くなっている。

⑤職業別

『満足している（計）』は自営業・家族従業（計）（70.4％）、雇用者（計）（67.9％）、無職（計）（60.2％）の順に高くなっている。

⑥ライフステージ別

『満足している（計）』は家族成長前期（81.8％）で最も高く、その他（48.5％）で最も低くなっている。

○地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	大変満足している	まあ満足している	やや不満である	大変不満である	わからない	無回答
全 体	2253	10.6	54.6	24.6	7.4	2.3	0.5

満足している（計）	不満である（計）
65.2	32.0

地域別

南部地域	232	12.5	55.2	21.1	9.5	1.3	0.4
南西部地域	226	8.4	58.4	22.6	8.4	1.8	0.4
東部地域	321	9.7	55.8	25.5	5.6	3.1	0.3
さいたま地域	365	10.7	54.5	26.6	6.3	1.6	0.3
県央地域	181	7.2	58.6	25.4	7.7	1.1	-
川越比企地域	263	11.0	51.7	28.1	6.5	2.3	0.4
西部地域	247	13.0	52.6	23.9	6.9	2.4	1.2
利根地域	204	8.8	51.5	24.0	9.3	4.4	2.0
北部地域	173	15.6	51.4	22.0	8.1	2.9	-
秩父地域	41	2.4	65.9	24.4	7.3	-	-

67.7	30.6
66.8	31.0
65.5	31.1
65.2	32.9
65.8	33.1
62.7	34.6
65.6	30.8
60.3	33.3
67.0	30.1
68.3	31.7

性・年代別

男性・20歳代	105	18.1	55.2	20.0	5.7	1.0	-
30歳代	200	13.5	53.0	22.5	7.0	3.5	0.5
40歳代	231	10.8	55.8	22.1	7.4	3.9	-
50歳代	181	8.3	58.6	22.7	7.7	2.8	-
60歳代	229	2.6	54.1	30.6	8.3	3.5	0.9
70歳以上	187	5.9	51.3	31.6	8.0	1.6	1.6
女性・20歳代	121	18.2	53.7	17.4	5.8	3.3	1.7
30歳代	200	19.5	60.0	16.5	2.5	1.0	0.5
40歳代	199	11.6	63.3	18.6	6.0	0.5	-
50歳代	181	6.6	53.6	30.4	7.7	1.1	0.6
60歳代	225	7.6	52.4	27.6	9.3	3.1	-
70歳以上	194	11.3	44.3	30.9	11.3	1.0	1.0

73.3	25.7
66.5	29.5
66.6	29.5
66.9	30.4
56.7	38.9
57.2	39.6
71.9	23.2
79.5	19.0
74.9	24.6
60.2	38.1
60.0	36.9
55.6	42.2

職業別

自営業・家族従業（計）	253	11.9	58.5	19.8	7.9	2.0	-
雇用者（計）	1149	11.6	56.3	23.1	6.5	2.2	0.3
無職（計）	846	8.9	51.3	28.1	8.4	2.4	0.9

70.4	27.7
67.9	29.6
60.2	36.5

ライフステージ別

独身期	280	13.2	49.6	24.3	7.9	3.9	1.1
家族形成期	214	18.2	59.3	16.8	4.2	1.4	-
家族成長前期	291	17.5	64.3	11.3	4.8	1.7	0.3
家族成長後期	182	13.2	64.3	16.5	4.9	1.1	-
家族成熟期	476	5.9	53.4	30.7	8.2	1.5	0.4
高齢期	501	8.2	54.9	26.3	8.0	2.2	0.4
その他	309	5.8	42.7	35.6	10.7	3.9	1.3

62.8	32.2
77.5	21.0
81.8	16.1
77.5	21.4
59.3	38.9
63.1	34.3
48.5	46.3

（２）近所や職場での人間関係について

近所や職場での人間関係について、『満足している（計）』（70.7%）は約7割、『不満である（計）』（22.4%）は2割強となっている。

【平成19年調査との比較】

『満足している（計）』が1.3ポイント増加している。

【昨年と比べた暮らし向き別】

『満足している（計）』は楽になった（計）（85.5%）で8割半ば、変わらない（76.5%）で7割半ば、苦しくなった（計）（64.7%）で6割半ばとなっている。

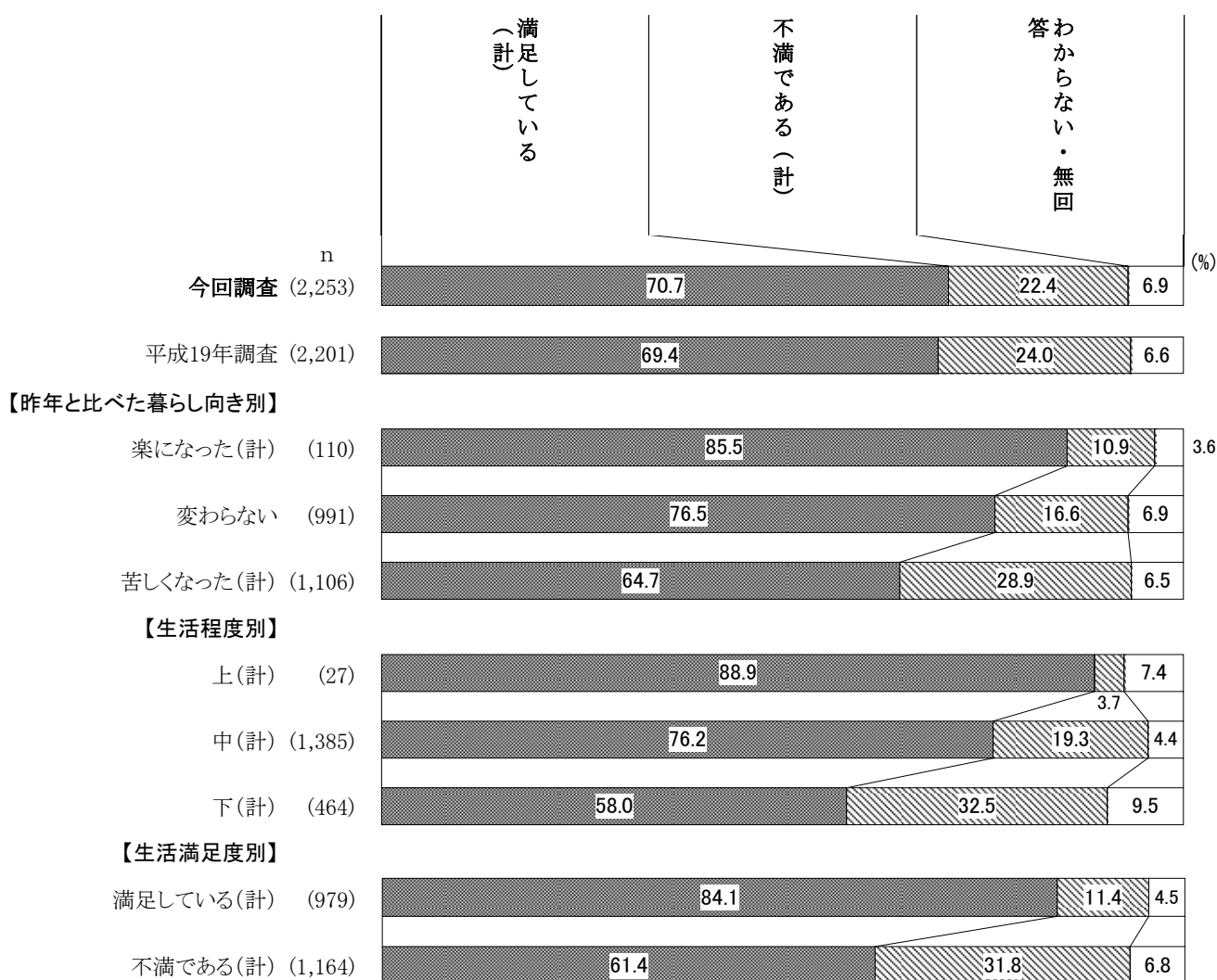
【生活程度別】

『満足している（計）』は上（計）（88.9%）で9割弱、中（計）（76.2%）で7割半ば、下（計）（58.0%）で6割弱と、生活程度による差がみられる。

【生活満足度別】

『満足している（計）』は満足している（計）（84.1%）が不満である（計）（61.4%）を22.7ポイント上回っている。

○平成19年調査との比較／昨年と比べた暮らし向き別／生活程度別／生活満足度別



【属性別比較】

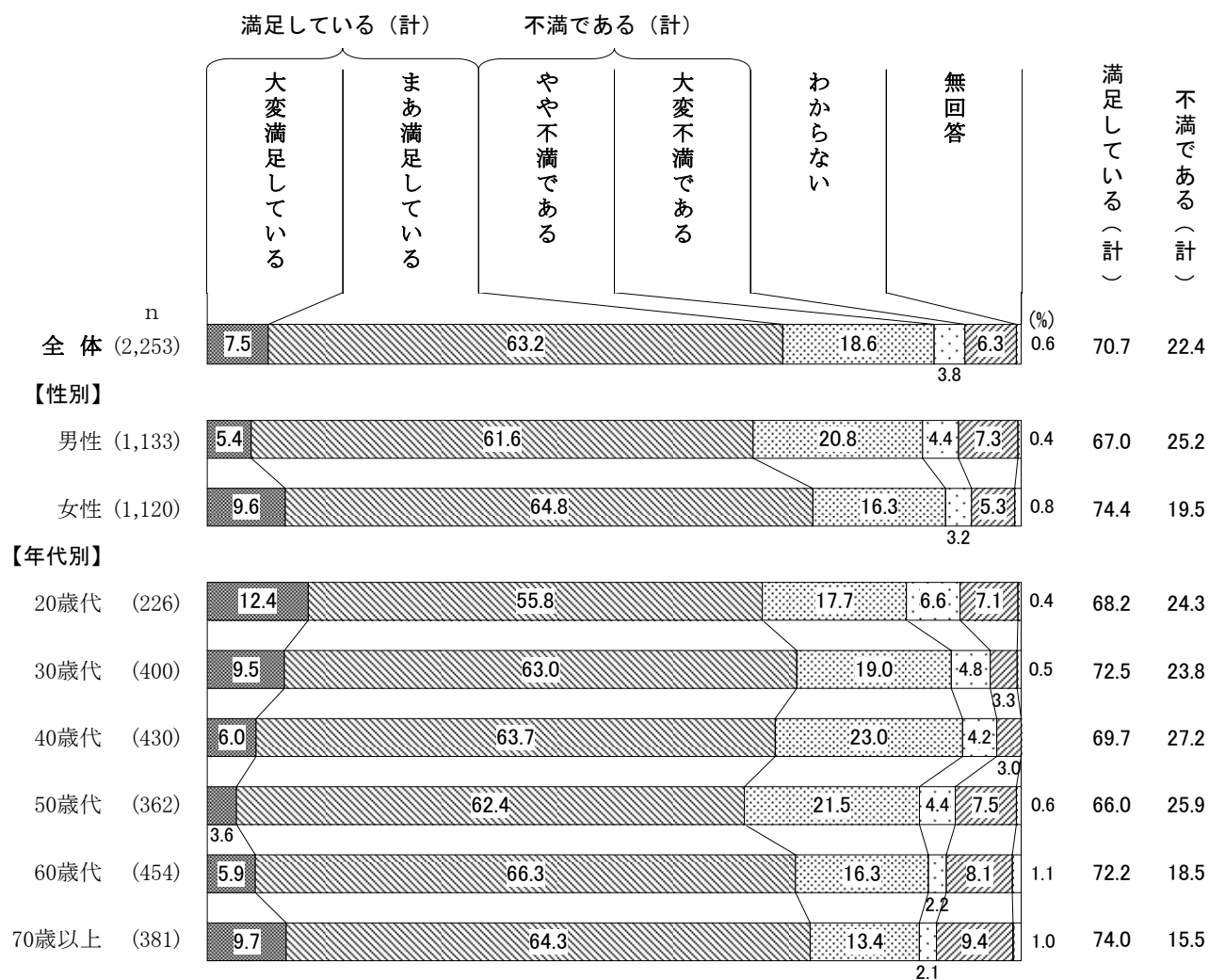
①性別

『満足している（計）』は女性（74.4%）が男性（67.0%）よりも7.4ポイント高くなっている。

②年代別

『満足している（計）』は30歳代（72.5%）、60歳代（72.2%）、70歳以上（74.0%）では7割を超えて高くなっている。

○性別／年代別



③地域別

『満足している（計）』は南部地域（73.7%）や西部地域（73.3%）、秩父地域（73.1%）で7割強とやや高く、『不満である（計）』は北部地域（26.6%）で2割半ばと高くなっている。

④性・年代別

『満足している（計）』は男性では60歳以上で7割を超えて高くなっている。女性は30歳代（82.5%）で8割強と最も高くなっている。

⑤職業別

『満足している（計）』は自営業・家族従業（計）（78.3%）が8割弱とやや高くなっている。

⑥ライフステージ別

『満足している（計）』は高齢期（77.3%）で8割弱と最も高く、その他（57.0%）では6割弱、独身期（63.3%）で6割強と低くなっている。

○地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	大変満足している	まあ満足している	やや不満である	大変不満である	わからない	無回答	満足している（計）	不満である（計）
全 体	2253	7.5	63.2	18.6	3.8	6.3	0.6	70.7	22.4
地域別									
南部地域	232	11.2	62.5	16.8	3.0	6.0	0.4	73.7	19.8
南西部地域	226	8.4	63.7	19.5	1.8	5.8	0.9	72.1	21.3
東部地域	321	8.1	61.7	18.1	5.0	6.9	0.3	69.8	23.1
さいたま地域	365	6.8	63.8	18.4	4.4	6.0	0.5	70.6	22.8
県央地域	181	7.7	63.0	19.3	5.0	5.0	-	70.7	24.3
川越比企地域	263	7.2	64.3	18.3	2.3	7.2	0.8	71.5	20.6
西部地域	247	8.9	64.4	16.2	3.6	6.1	0.8	73.3	19.8
利根地域	204	4.4	60.3	21.1	3.4	8.8	2.0	64.7	24.5
北部地域	173	4.6	63.6	22.0	4.6	5.2	-	68.2	26.6
秩父地域	41	2.4	70.7	14.6	9.8	2.4	-	73.1	24.4
性・年代別									
男性・20歳代	105	9.5	53.3	21.9	7.6	7.6	-	62.8	29.5
30歳代	200	7.5	55.0	27.0	5.5	4.5	0.5	62.5	32.5
40歳代	231	4.3	61.5	24.2	6.1	3.9	-	65.8	30.3
50歳代	181	4.4	59.7	21.5	5.0	9.4	-	64.1	26.5
60歳代	229	3.1	67.2	17.9	2.2	9.2	0.4	70.3	20.1
70歳以上	187	5.9	68.4	12.3	1.6	10.2	1.6	74.3	13.9
女性・20歳代	121	14.9	57.9	14.0	5.8	6.6	0.8	72.8	19.8
30歳代	200	11.5	71.0	11.0	4.0	2.0	0.5	82.5	15.0
40歳代	199	8.0	66.3	21.6	2.0	2.0	-	74.3	23.6
50歳代	181	2.8	65.2	21.5	3.9	5.5	1.1	68.0	25.4
60歳代	225	8.9	65.3	14.7	2.2	7.1	1.8	74.2	16.9
70歳以上	194	13.4	60.3	14.4	2.6	8.8	0.5	73.7	17.0
職業別									
自営業・家族従業（計）	253	9.1	69.2	13.8	2.4	4.7	0.8	78.3	16.2
雇用者（計）	1149	6.4	61.4	22.8	5.6	3.4	0.4	67.8	28.4
無職（計）	846	8.5	63.9	14.3	1.8	10.6	0.8	72.4	16.1
ライフステージ別									
独身期	280	7.9	55.4	21.4	8.6	6.1	0.7	63.3	30.0
家族形成期	214	12.6	64.0	15.9	3.3	4.2	-	76.6	19.2
家族成長前期	291	8.9	67.7	16.2	4.1	2.7	0.3	76.6	20.3
家族成長後期	182	7.1	65.4	21.4	3.8	2.2	-	72.5	25.2
家族成熟期	476	3.8	66.4	20.4	2.7	6.1	0.6	70.2	23.1
高齢期	501	10.2	67.1	11.2	2.2	8.2	1.2	77.3	13.4
その他	309	3.9	53.1	27.5	3.9	11.0	0.6	57.0	31.4

（３）家庭内の夫婦・親子関係について

家庭内の夫婦・親子関係について、『満足している（計）』（79.5%）は約8割、『不満である（計）』（15.0%）は1割半ばとなっている。

【平成19年調査との比較】

『満足している（計）』が1.1ポイント減少している。

【昨年と比べた暮らし向き別】

『満足している（計）』は変わらない（84.4%）で8割半ばと最も高く、苦しくなった（計）（75.7%）で7割半ばと最も低くなっている。

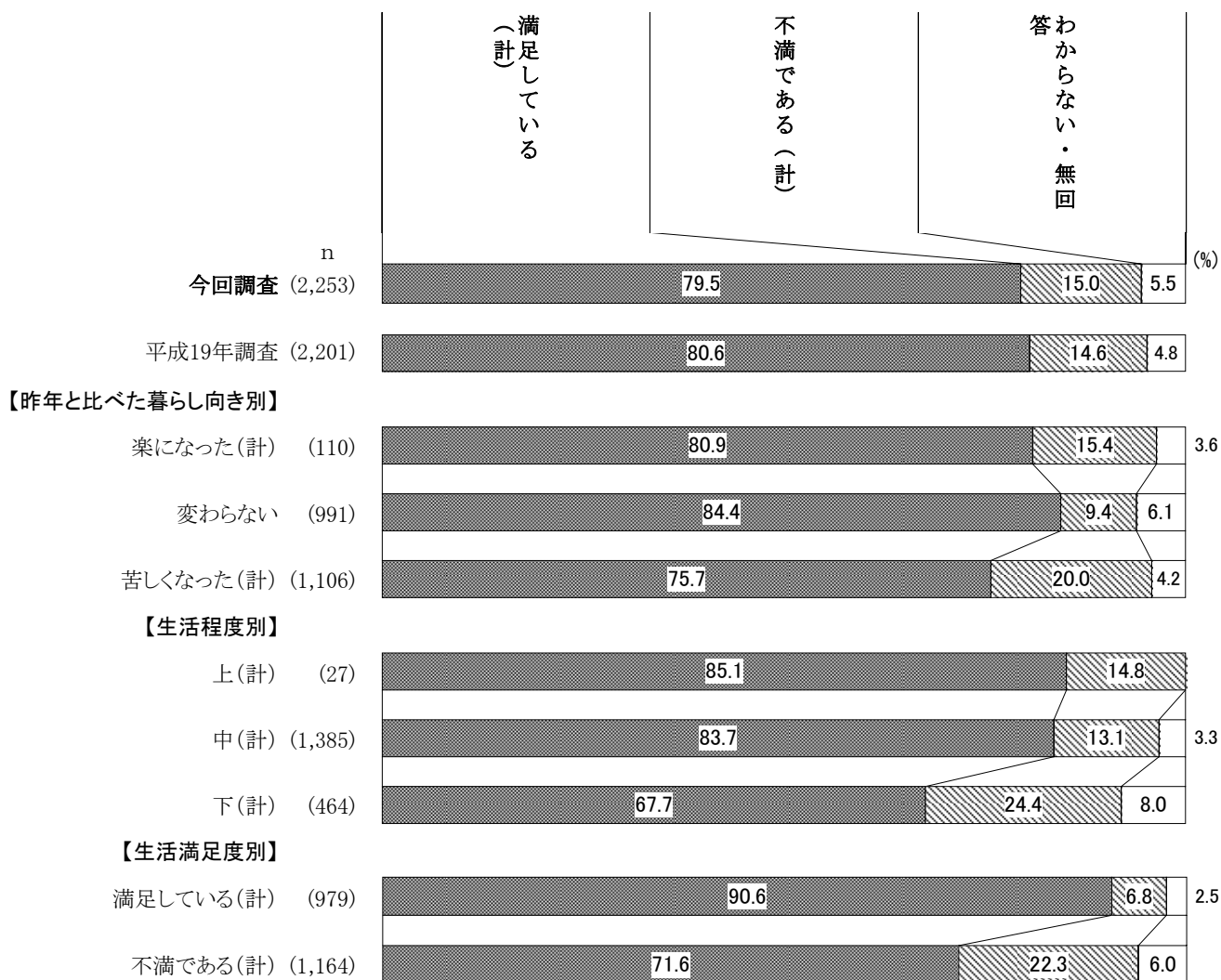
【生活程度別】

『満足している（計）』は上（計）（85.1%）、中（計）（83.7%）、下（計）（67.7%）と、他の項目に比べれば生活程度による差が小さくなっている。

【生活満足度別】

『満足している（計）』は満足している（計）（90.6%）が不満である（計）（71.6%）を19.0ポイント上回っている。

○平成19年調査との比較／昨年と比べた暮らし向き別／生活程度別／生活満足度別



【属性別比較】

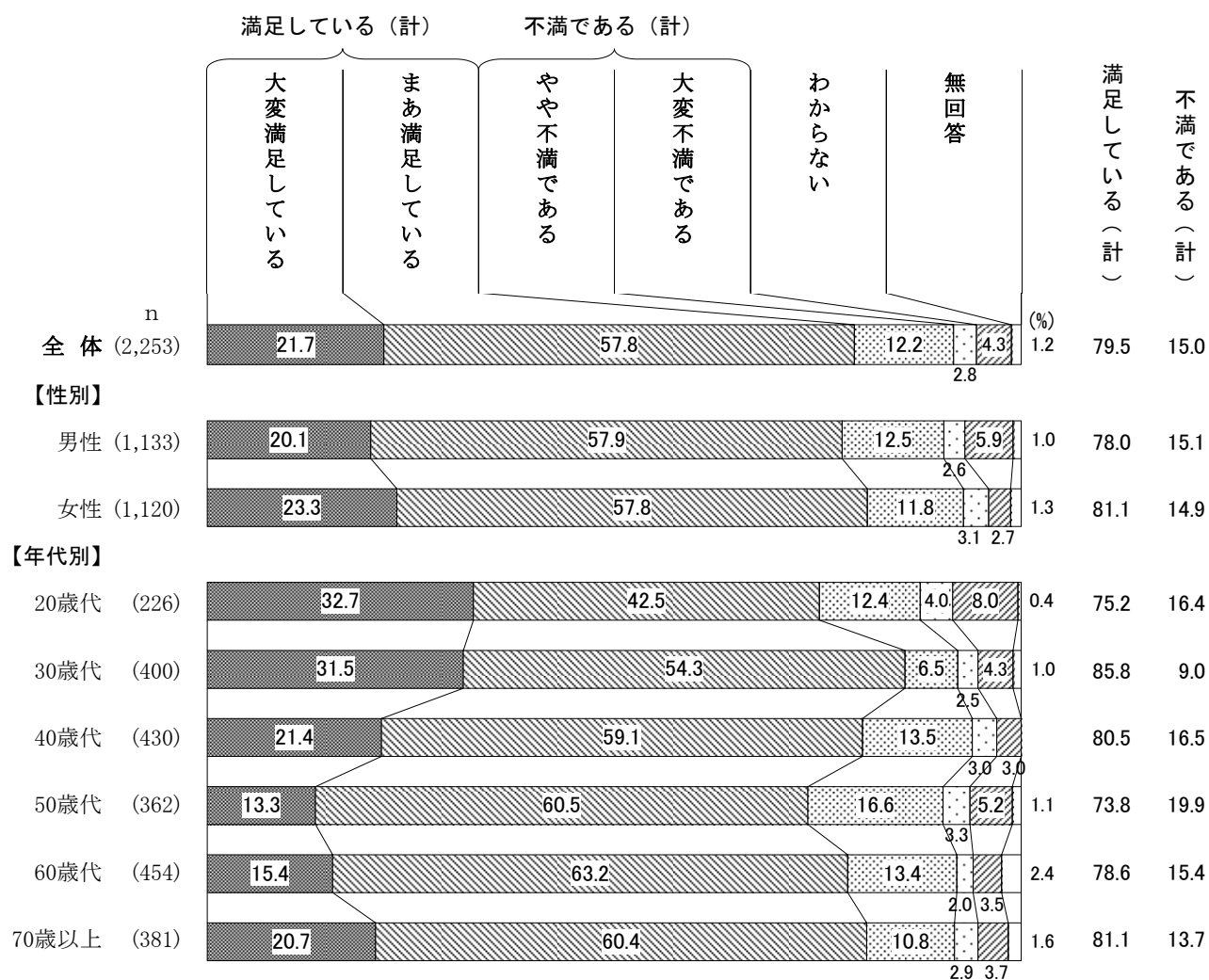
①性別

『満足している（計）』は女性（81.1%）が男性（78.0%）よりも3.1ポイント高くなっている。

②年代別

『満足している（計）』は30歳代（85.8%）で8割半ばと、他の年代に比べてやや高くなっている。

○性別／年代別



③地域別

『満足している（計）』は南西部地域（85.4%）で8割半ばと最も高くなっている。

④性・年代別

『満足している（計）』は女性30歳代（90.0%）で特に高くなっている。

⑤職業

職業による違いはみられない。

⑥ライフステージ別

『満足している（計）』は家族形成期（92.5%）で9割強と特に高く、独身期（71.1%）で7割強、その他（69.3%）で約7割と低くなっている。

○地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	大変満足している	まあ満足している	やや不満である	大変不満である	わからない	無回答	満足している（計）	不満である（計）
全 体	2253	21.7	57.8	12.2	2.8	4.3	1.2	79.5	15.0
地域別									
南部地域	232	26.3	55.2	10.8	3.0	3.4	1.3	81.5	13.8
南西部地域	226	27.4	58.0	9.7	2.2	1.8	0.9	85.4	11.9
東部地域	321	20.6	55.5	13.4	2.5	7.2	0.9	76.1	15.9
さいたま地域	365	21.6	57.5	13.2	3.3	3.3	1.1	79.1	16.5
県央地域	181	18.8	59.1	13.3	1.7	5.5	1.7	77.9	15.0
川越比企地域	263	17.1	61.6	12.2	3.4	4.9	0.8	78.7	15.6
西部地域	247	23.1	55.1	12.1	2.8	5.3	1.6	78.2	14.9
利根地域	204	17.6	64.2	9.3	4.4	2.0	2.5	81.8	13.7
北部地域	173	24.9	53.8	14.5	1.7	5.2	-	78.7	16.2
秩父地域	41	14.6	65.9	14.6	2.4	2.4	-	80.5	17.0
性・年代別									
男性・20歳代	105	29.5	41.9	10.5	4.8	13.3	-	71.4	15.3
30歳代	200	33.0	48.5	8.5	2.0	7.0	1.0	81.5	10.5
40歳代	231	19.5	60.6	12.6	2.6	4.8	-	80.1	15.2
50歳代	181	12.2	62.4	14.4	3.9	6.6	0.6	74.6	18.3
60歳代	229	14.8	61.1	14.8	1.7	5.7	1.7	75.9	16.5
70歳以上	187	16.0	65.2	13.4	1.6	1.6	2.1	81.2	15.0
女性・20歳代	121	35.5	43.0	14.0	3.3	3.3	0.8	78.5	17.3
30歳代	200	30.0	60.0	4.5	3.0	1.5	1.0	90.0	7.5
40歳代	199	23.6	57.3	14.6	3.5	1.0	-	80.9	18.1
50歳代	181	14.4	58.6	18.8	2.8	3.9	1.7	73.0	21.6
60歳代	225	16.0	65.3	12.0	2.2	1.3	3.1	81.3	14.2
70歳以上	194	25.3	55.7	8.2	4.1	5.7	1.0	81.0	12.3
職業別									
自営業・家族従業（計）	253	20.9	57.7	12.3	2.8	5.1	1.2	78.6	15.1
雇用者（計）	1149	22.5	57.1	12.2	3.2	4.2	0.8	79.6	15.4
無職（計）	846	20.9	58.9	12.1	2.4	4.1	1.7	79.8	14.5
ライフステージ別									
独身期	280	23.6	47.5	12.9	4.3	10.7	1.1	71.1	17.2
家族形成期	214	43.0	49.5	5.1	0.9	1.4	-	92.5	6.0
家族成長前期	291	28.5	58.8	7.6	2.7	1.7	0.7	87.3	10.3
家族成長後期	182	17.6	59.9	16.5	4.9	1.1	-	77.5	21.4
家族成熟期	476	15.8	61.3	16.6	2.9	2.9	0.4	77.1	19.5
高齢期	501	19.0	64.7	10.2	1.8	2.6	1.8	83.7	12.0
その他	309	14.9	54.4	14.6	3.2	9.7	3.2	69.3	17.8

（４）収入や預貯金など経済的な面について

収入や預貯金など経済的な面について、『満足している（計）』（30.4%）は約3割、『不満である（計）』（66.1%）は6割半ばとなっている。

【平成19年調査との比較】

『満足している（計）』が1.5ポイント増加している。

【昨年と比べた暮らし向き別】

『満足している（計）』は楽になった（計）（55.5%）と変わらない（46.6%）と比較して、苦しくなった（計）（12.8%）では極めて低くなっている。

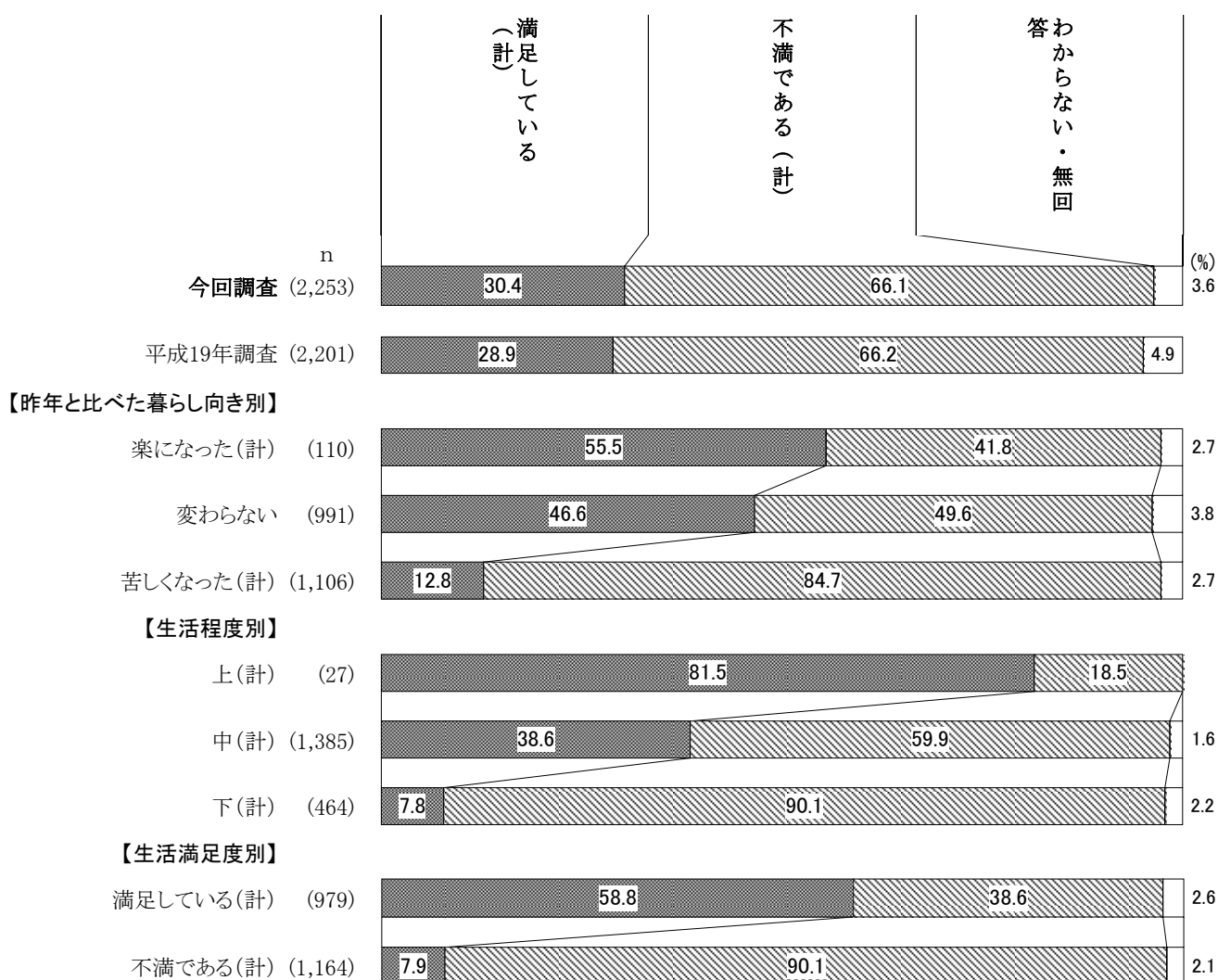
【生活程度別】

『満足している（計）』は上（計）（81.5%）では8割強、中（計）（38.6%）では4割弱、下（計）（7.8%）では1割を下回り、生活程度による差が極めて大きくなっている。

【生活満足度別】

『満足している（計）』は満足している（計）（58.8%）が不満である（計）（7.9%）を大幅に上回っている。

○平成19年調査との比較／昨年と比べた暮らし向き別／生活程度別／生活満足度別



【属性別比較】

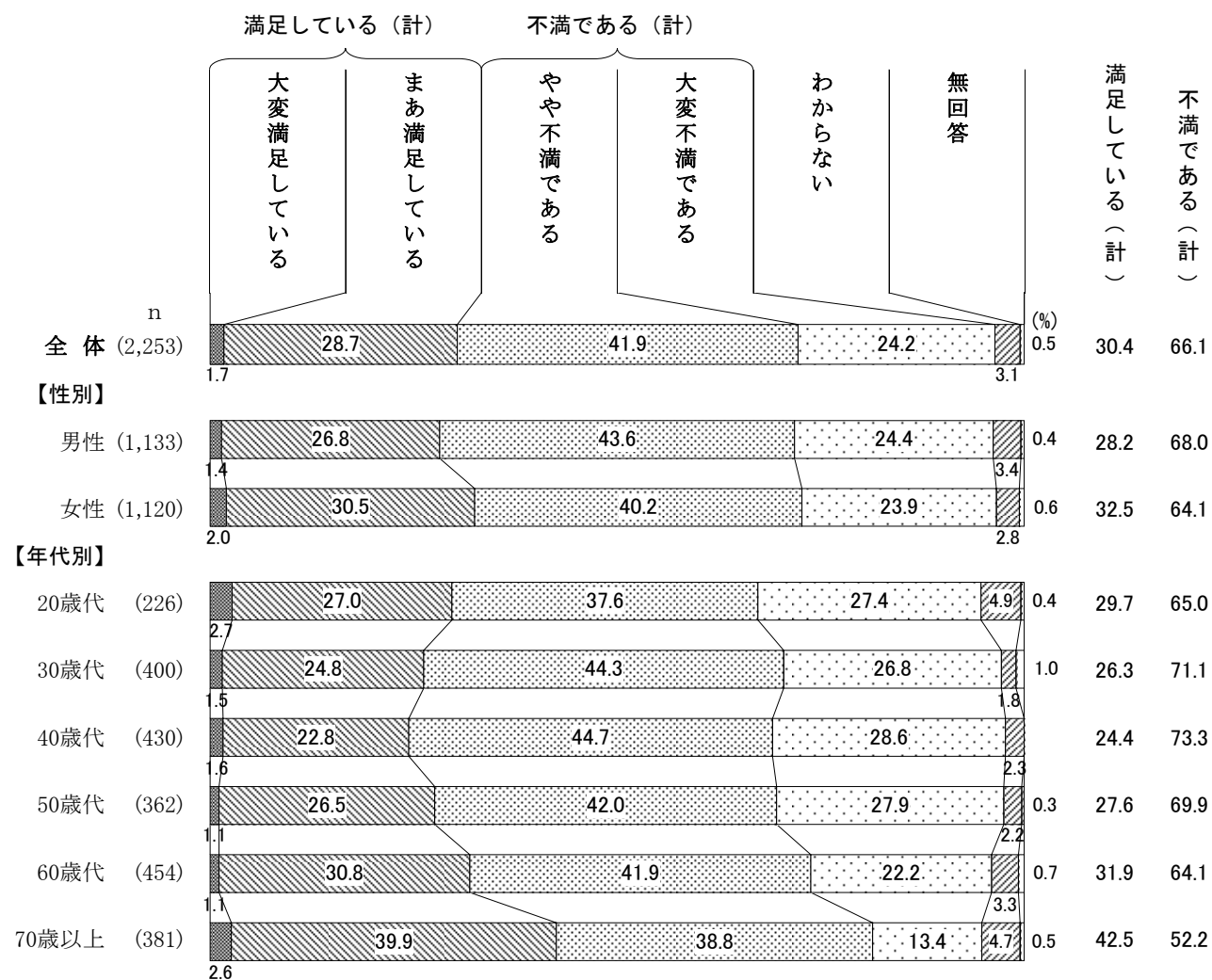
①性別

『満足している（計）』は女性（32.5%）が男性（28.2%）よりも4.3ポイント高くなっている。

②年代別

『満足している（計）』は70歳以上（42.5%）で唯一4割を超えて高く、40歳代（24.4%）と30歳代（26.3%）では2割半ばと低くなっている。

○性別／年代別



③地域別

『満足している（計）』は東部地域（35.8%）で3割半ばと高く、『不満である（計）』は秩父地域（82.9%）で8割強と高くなっている。

④性・年代別

『満足している（計）』は男性の30歳代から50歳代で2割強と低くなっている。

⑤職業

『満足している（計）』は無職（計）（36.6%）が比較的高くなっている。

⑥ライフステージ別

『満足している（計）』は高齢期（40.9%）で約4割と高く、その他（20.1%）で約2割と低くなっている。

○地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	大変満足している	まあ満足している	やや不満である	大変不満である	わからない	無回答	満足している（計）	不満である（計）
全 体	2253	1.7	28.7	41.9	24.2	3.1	0.5	30.4	66.1
地域別									
南部地域	232	2.6	27.6	38.8	28.0	3.0	—	30.2	66.8
南西部地域	226	1.8	24.3	41.6	27.9	4.0	0.4	26.1	69.5
東部地域	321	2.2	33.6	39.3	20.9	4.0	—	35.8	60.2
さいたま地域	365	1.6	29.6	42.7	22.7	2.7	0.5	31.2	65.4
県央地域	181	1.1	26.0	43.6	26.5	2.8	—	27.1	70.1
川越比企地域	263	2.3	27.8	44.9	22.8	2.3	—	30.1	67.7
西部地域	247	1.2	28.3	39.3	27.1	2.8	1.2	29.5	66.4
利根地域	204	1.5	29.4	43.1	20.1	3.9	2.0	30.9	63.2
北部地域	173	0.6	31.8	40.5	24.9	1.7	0.6	32.4	65.4
秩父地域	41	—	14.6	63.4	19.5	2.4	—	14.6	82.9
性・年代別									
男性・20歳代	105	2.9	24.8	34.3	33.3	4.8	—	27.7	67.6
30歳代	200	1.0	20.5	46.5	28.5	2.0	1.5	21.5	75.0
40歳代	231	1.3	22.5	45.9	27.3	3.0	—	23.8	73.2
50歳代	181	1.1	22.7	45.9	27.1	3.3	—	23.8	73.0
60歳代	229	0.9	28.4	42.8	23.1	4.4	0.4	29.3	65.9
70歳以上	187	2.1	42.2	41.7	10.7	3.2	—	44.3	52.4
女性・20歳代	121	2.5	28.9	40.5	22.3	5.0	0.8	31.4	62.8
30歳代	200	2.0	29.0	42.0	25.0	1.5	0.5	31.0	67.0
40歳代	199	2.0	23.1	43.2	30.2	1.5	—	25.1	73.4
50歳代	181	1.1	30.4	38.1	28.7	1.1	0.6	31.5	66.8
60歳代	225	1.3	33.3	40.9	21.3	2.2	0.9	34.6	62.2
70歳以上	194	3.1	37.6	36.1	16.0	6.2	1.0	40.7	52.1
職業別									
自営業・家族従業（計）	253	3.6	26.5	37.9	30.0	2.0	—	30.1	67.9
雇用者（計）	1149	0.8	25.2	44.0	26.9	2.4	0.7	26.0	70.9
無職（計）	846	2.4	34.2	40.1	18.8	4.3	0.4	36.6	58.9
ライフステージ別									
独身期	280	2.5	23.9	36.4	31.8	4.3	1.1	26.4	68.2
家族形成期	214	0.9	29.9	45.8	20.6	2.3	0.5	30.8	66.4
家族成長前期	291	2.7	23.4	46.0	25.8	1.7	0.3	26.1	71.8
家族成長後期	182	2.2	26.4	45.1	25.3	1.1	—	28.6	70.4
家族成熟期	476	0.8	30.5	40.3	25.8	2.3	0.2	31.3	66.1
高齢期	501	2.6	38.3	39.5	16.0	3.2	0.4	40.9	55.5
その他	309	—	20.1	44.7	28.5	5.8	1.0	20.1	73.2

（５）精神的な充実感について

精神的な充実感について、『満足している（計）』（56.0%）は５割半ば、『不満である（計）』（38.5%）は４割弱となっている。

【平成19年調査との比較】

『満足している（計）』が3.2ポイント増加している。

【昨年と比べた暮らし向き別】

『満足している（計）』は楽になった（計）（77.2%）や変わらない（68.2%）に比べて、苦しくなった（計）（43.5%）で低くなっている。

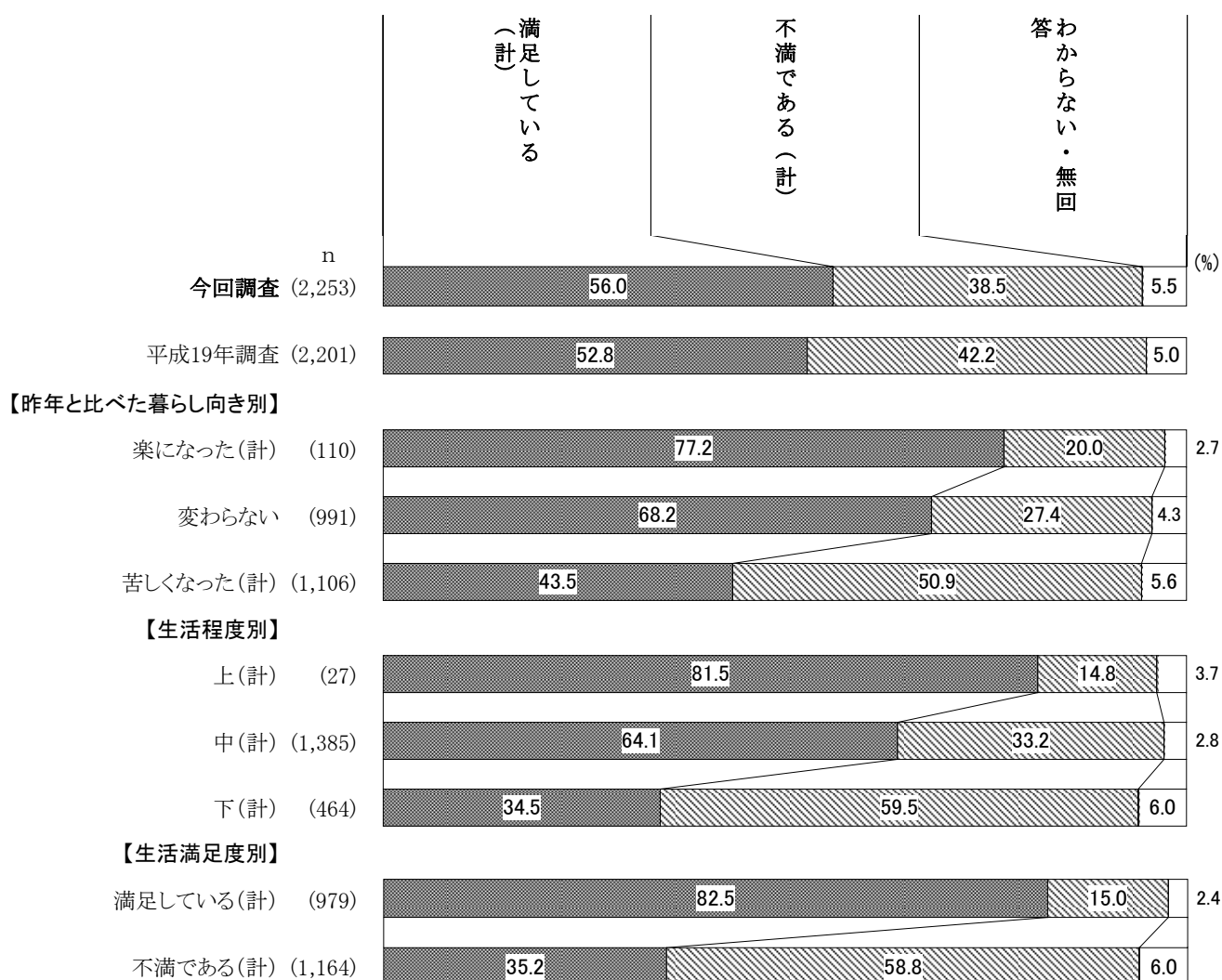
【生活程度別】

『満足している（計）』は上（計）（81.5%）が８割強、中（計）（64.1%）が６割半ば、下（計）（34.5%）が３割半ばで、下（計）の低さが目立っている。

【生活満足度別】

『満足している（計）』は満足している（計）（82.5%）が不満である（計）（35.2%）を47.3ポイント上回っている。

○平成19年調査との比較／昨年と比べた暮らし向き別／生活程度別／生活満足度別



【属性別比較】

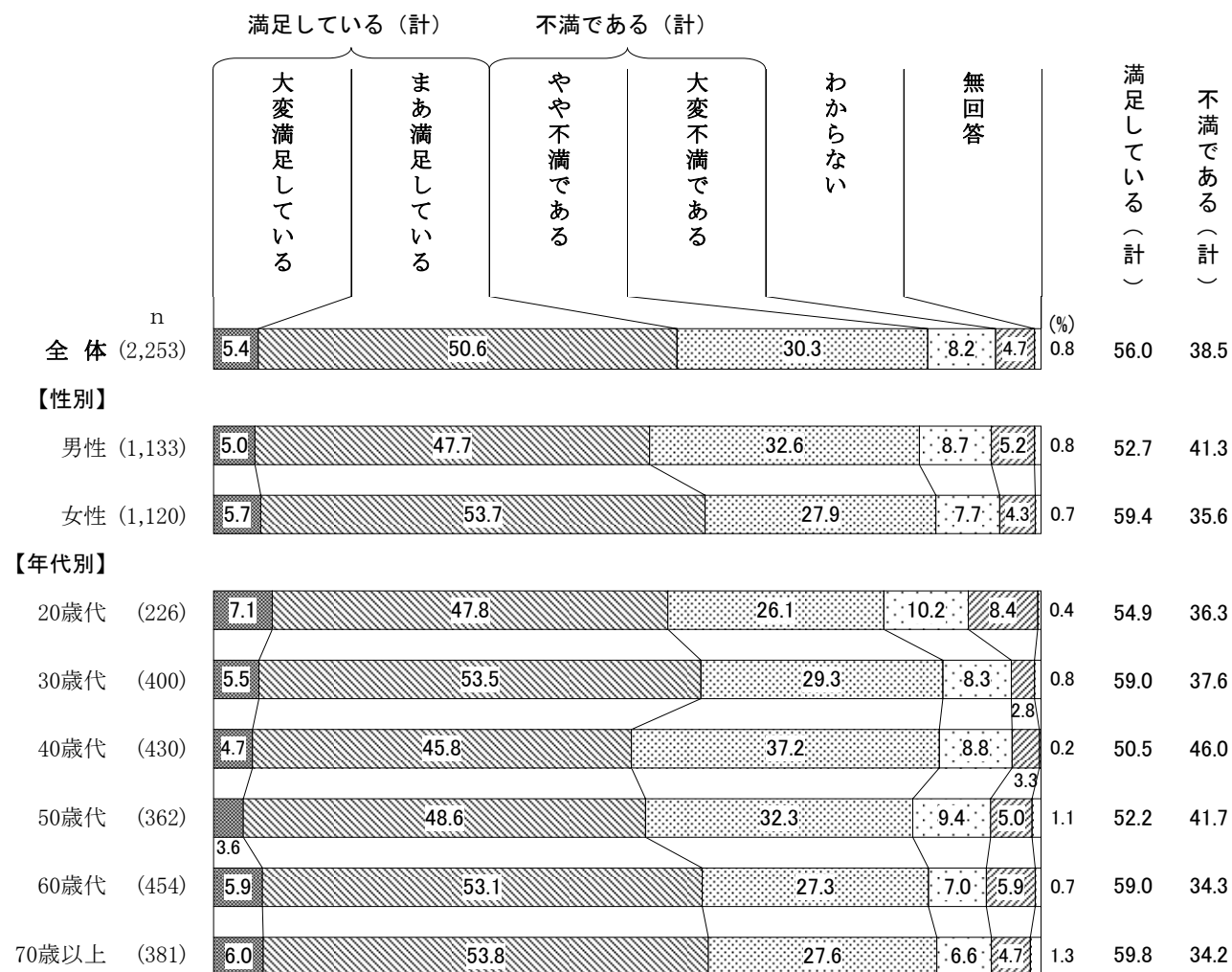
①性別

『満足している（計）』は女性（59.4%）が男性（52.7%）よりも6.7ポイント高くなっている。

②年代別

『満足している（計）』は30歳代（59.0%）、60歳代（59.0%）、70歳以上（59.8%）で約6割と高くなっている。

○性別／年代別



③地域別

『満足している（計）』は南部地域（59.0%）、さいたま地域（58.1%）でやや高く、秩父地域（48.8%）でやや低くなっている。

④性・年代別

『満足している（計）』は男性では70歳以上（58.8%）が最も高く、女性は20歳代（65.3%）が最も高い。男性の20歳代と40歳代は5割を下回り、『不満である（計）』が『満足している（計）』よりも高くなっている。

⑤職業

『満足している（計）』は無職（計）（60.2%）が約6割で最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

『満足している（計）』は家族形成期（65.4%）、家族成長前期（60.9%）、高齢期（63.9%）で6割を超えて高いが、独身期（47.8%）とその他（43.7%）では5割を下回り、その他では『不満である（計）』の方が高くなっている。

○地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	大変満足している	まあ満足している	やや不満である	大変不満である	わからない	無回答
全 体	2253	5.4	50.6	30.3	8.2	4.7	0.8

満足している（計）	不満である（計）
56.0	38.5

地域別

南部地域	232	6.0	53.0	27.2	10.3	3.4	－
南西部地域	226	6.6	49.1	29.6	9.3	4.4	0.9
東部地域	321	5.0	50.5	28.0	7.8	8.4	0.3
さいたま地域	365	5.5	52.6	29.9	8.2	3.0	0.8
県央地域	181	3.9	49.7	31.5	9.4	4.4	1.1
川越比企地域	263	7.2	48.7	31.9	7.2	4.9	－
西部地域	247	5.7	48.2	33.6	8.5	2.8	1.2
利根地域	204	3.4	53.4	30.4	3.9	5.9	2.9
北部地域	173	5.2	50.3	31.2	8.1	5.2	－
秩父地域	41	－	48.8	31.7	14.6	4.9	－

59.0	37.5
55.7	38.9
55.5	35.8
58.1	38.1
53.6	40.9
55.9	39.1
53.9	42.1
56.8	34.3
55.5	39.3
48.8	46.3

性・年代別

男性・20歳代	105	5.7	37.1	34.3	15.2	7.6	－
30歳代	200	6.0	47.5	31.0	11.0	3.5	1.0
40歳代	231	3.5	42.9	38.5	11.3	3.5	0.4
50歳代	181	5.0	47.5	33.7	7.7	5.0	1.1
60歳代	229	5.7	52.4	27.1	6.1	7.9	0.9
70歳以上	187	4.8	54.0	31.6	3.7	4.8	1.1
女性・20歳代	121	8.3	57.0	19.0	5.8	9.1	0.8
30歳代	200	5.0	59.5	27.5	5.5	2.0	0.5
40歳代	199	6.0	49.2	35.7	6.0	3.0	－
50歳代	181	2.2	49.7	30.9	11.0	5.0	1.1
60歳代	225	6.2	53.8	27.6	8.0	4.0	0.4
70歳以上	194	7.2	53.6	23.7	9.3	4.6	1.5

42.8	49.5
53.5	42.0
46.4	49.8
52.5	41.4
58.1	33.2
58.8	35.3
65.3	24.8
64.5	33.0
55.2	41.7
51.9	41.9
60.0	35.6
60.8	33.0

職業別

自営業・家族従業（計）	253	7.1	44.7	32.8	9.5	4.7	1.2
雇用者（計）	1149	4.8	49.1	32.5	8.4	4.5	0.8
無職（計）	846	5.7	54.5	26.5	7.7	5.1	0.6

51.8	42.3
53.9	40.9
60.2	34.2

ライフステージ別

独身期	280	5.7	42.1	30.0	13.9	7.1	1.1
家族形成期	214	7.0	58.4	27.6	3.3	3.7	－
家族成長前期	291	4.5	56.4	28.5	7.6	2.1	1.0
家族成長後期	182	7.1	48.4	32.4	8.2	3.8	－
家族成熟期	476	4.6	48.9	32.6	7.8	5.3	0.8
高齢期	501	7.0	56.9	25.5	6.0	4.0	0.6
その他	309	2.3	41.4	36.9	11.3	6.8	1.3

47.8	43.9
65.4	30.9
60.9	36.1
55.5	40.6
53.5	40.4
63.9	31.5
43.7	48.2

2 日常生活

(問5～問10)

○ 問5について

(1)と(2)は平成13年の「県民意識調査」における調査項目を県政世論調査で継続実施しているものです。県政世論調査では、平成14年度から毎年度実施しており、今回が9回目となります。

(1)－1は、平成21年度から実施しており、今回が2回目となります。(3)と(4)は、今回が初めてとなります。

* 県民意識調査

「彩の国5か年計画21」の策定に当たり、平成13年に埼玉県が実施した県民意識調査

○ 問6について

問6は平成14年度から毎年実施していますが、平成17年度調査で選択肢の見直しを行ったため、平成17年度以降の調査結果との比較を掲載しています。

問6－1は平成21年度県政世論調査における調査項目を継続実施したもので、今回が2回目となります。

○ 問7について

平成15年度県政世論調査における課題調査項目を継続実施したもので、今回が8回目となります。

○ 問8について

問8(1)と問8(1)－2は、平成18年度県政世論調査における課題調査項目を継続実施したもので、今回が5回目となります。

問8(1)－1は平成20年度から実施しており、今回が3回目となります。

○ 問9と問10について

平成21年度から実施しており、今回が2回目となります。

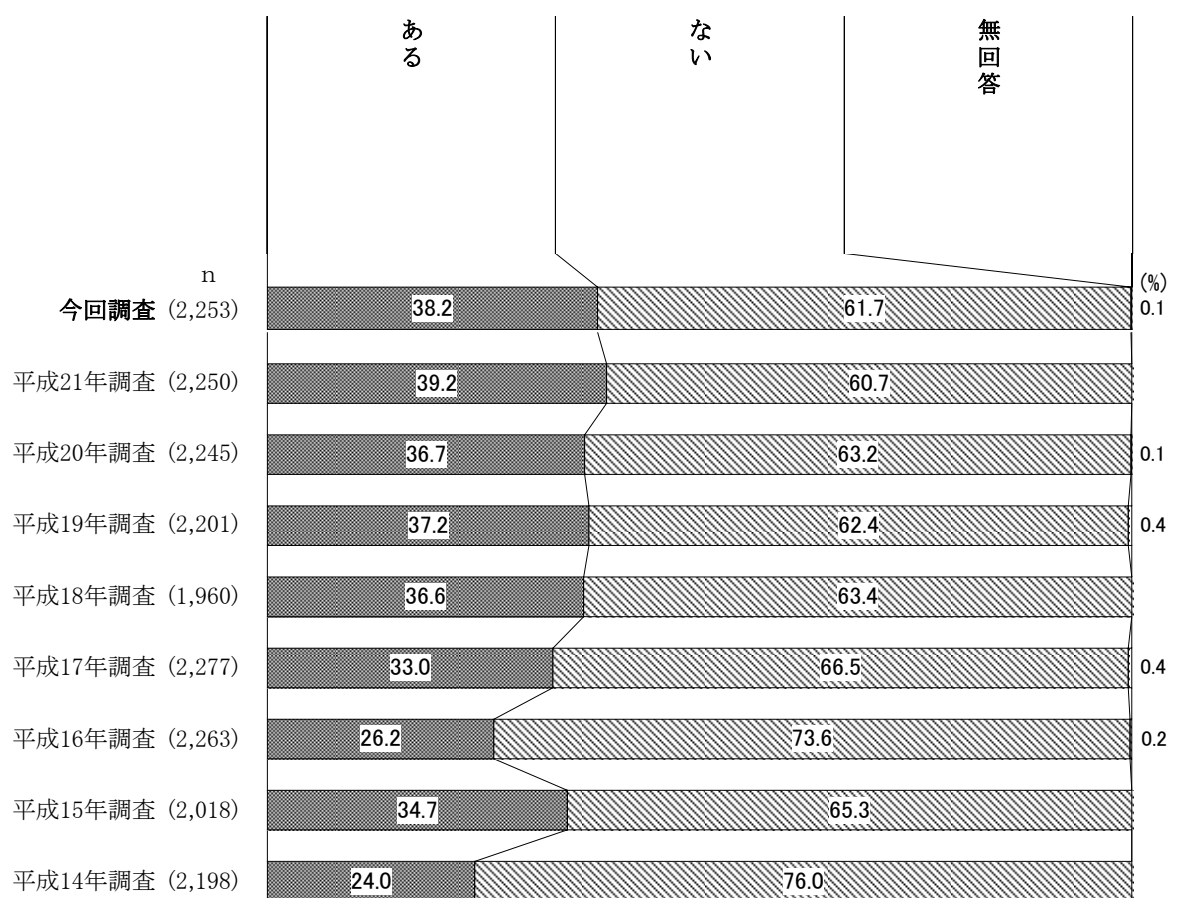
2 日常生活

(1) 地域社会活動への参加経験

◇参加経験が「ある」のは38.2%

問5 次に、あなたの日常生活などについておたずねいたします。

(1) あなたは、過去1年間に、自治会活動（清掃活動、防犯パトロール又は地域運動会への参加など）やPTA活動、子ども会活動、学校応援団（読み聞かせボランティアなど）、障害者や高齢者の方々のための活動、青少年健全育成のための活動、みどりと川の再生活動など、地域活動やボランティア活動に参加したことがありますか。



過去1年間にボランティア活動や地域社会のための活動に参加したことが「ある」(38.2%) のは4割弱となっている。

【過去8年間との比較】

「ある」は前年よりも1.0ポイント減少し、過去2番目の割合となっている。

【属性別比較】

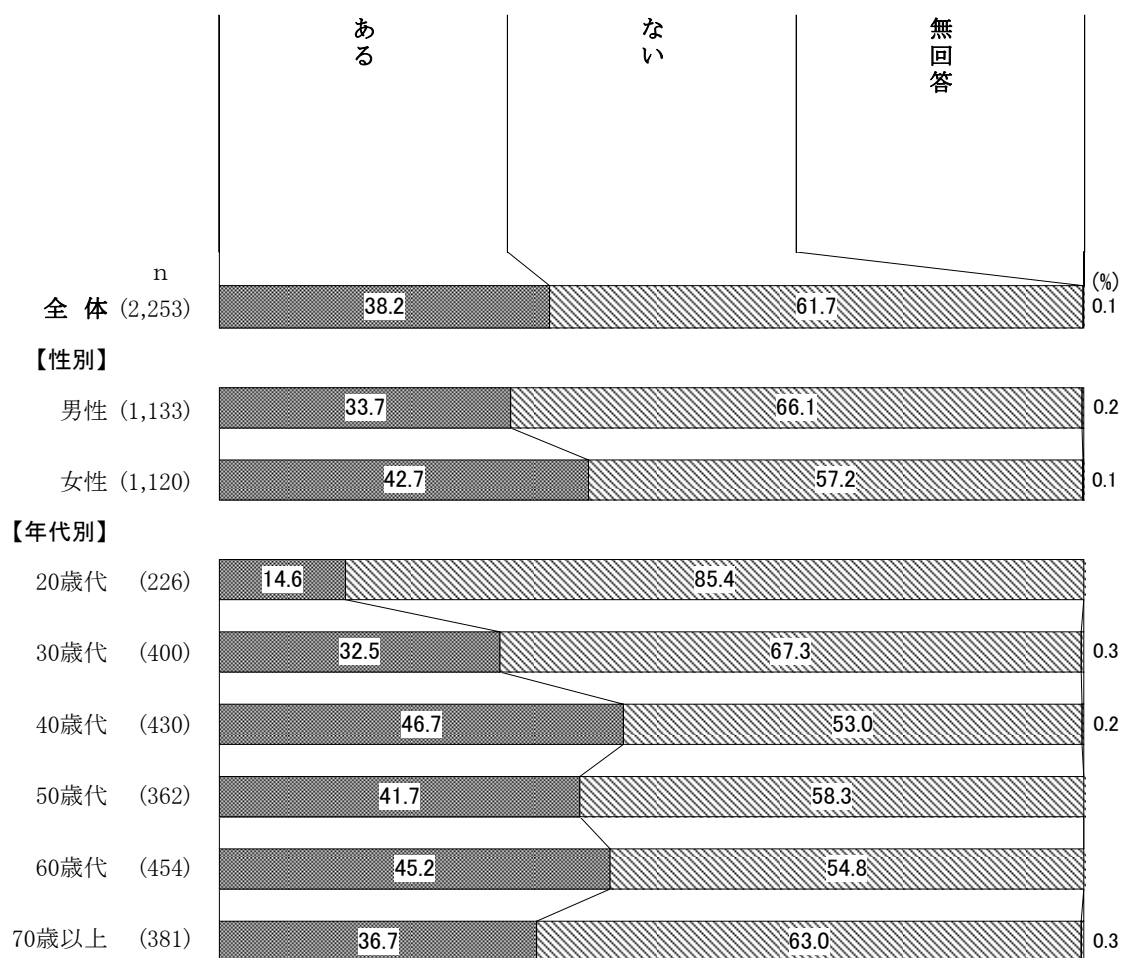
①性別

「ある」は女性（42.7%）が男性（33.7%）よりも9.0ポイント高くなっている。

②年代別

「ある」は20歳代（14.6%）で1割半ばと特に低く、40歳代から60歳代では4割を超えて高くなっている。

○地域社会活動への参加経験・性別／年代別



③地域別

「ある」は北部地域（52.6%）で5割強と高く、南部地域（23.3%）と南西部地域（29.6%）では3割を下回り低くなっている。

④性・年代別

「ある」は男女とも20歳代では2割を下回り低くなっている。また、30歳代から60歳代は女性の方が高く、70歳以上では男性の方が高くなっている。

⑤職業別

「ある」は雇用者（計）（34.1%）で低くなっている。

⑥ライフステージ別

「ある」は独身期（13.2%）と家族形成期（20.1%）では低いが、家族成長前期（62.9%）では6割強、家族成長後期（53.8%）では5割強と高くなっている。

○地域社会活動への参加経験・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

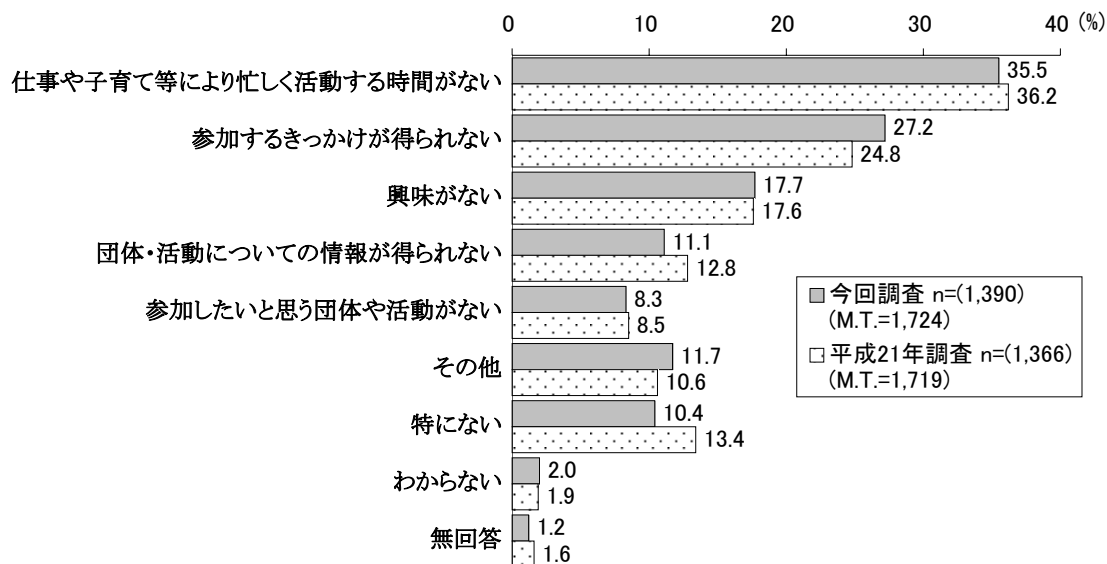
	調査数	ある	ない	無回答
全 体	2253	38.2	61.7	0.1
地域別				
南部地域	232	23.3	76.7	－
南西部地域	226	29.6	69.9	0.4
東部地域	321	33.0	67.0	－
さいたま地域	365	36.7	63.3	－
県央地域	181	44.2	55.8	－
川越比企地域	263	46.4	53.6	－
西部地域	247	36.0	64.0	－
利根地域	204	47.5	51.5	1.0
北部地域	173	52.6	47.4	－
秩父地域	41	48.8	51.2	－
性・年代別				
男性・20歳代	105	10.5	89.5	－
30歳代	200	24.0	75.5	0.5
40歳代	231	34.6	64.9	0.4
50歳代	181	38.1	61.9	－
60歳代	229	41.9	58.1	－
70歳以上	187	41.7	58.3	－
女性・20歳代	121	18.2	81.8	－
30歳代	200	41.0	59.0	－
40歳代	199	60.8	39.2	－
50歳代	181	45.3	54.7	－
60歳代	225	48.4	51.6	－
70歳以上	194	32.0	67.5	0.5
職業別				
自営業・家族従業（計）	253	45.8	54.2	－
雇用者（計）	1149	34.1	65.7	0.2
無職（計）	846	41.5	58.4	0.1
ライフステージ別				
独身期	280	13.2	86.8	－
家族形成期	214	20.1	79.9	－
家族成長前期	291	62.9	36.8	0.3
家族成長後期	182	53.8	46.2	－
家族成熟期	476	43.1	56.9	－
高齢期	501	42.7	57.1	0.2
その他	309	25.9	73.8	0.3

（１－１）地域社会活動への不参加の理由

◇「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」が35.5%

（（１）で「ない」と答えた方に）

（１）－１ その理由は何ですか。次の中から２つまで選んでください。



地域社会活動への不参加の理由は、「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」（35.5%）が３割半ばで最も高く、次いで「参加するきっかけが得られない」（27.2%）、「興味がない」（17.7%）、「団体・活動についての情報が得られない」（11.1%）、「参加したいと思う団体や活動がない」（8.3%）の順となっている。

【前年（平成21年）調査との比較】

「参加するきっかけが得られない」が2.4ポイント増加している。

【属性別比較】

①地域別

「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」は県央地域（41.6%）で4割強と最も高く、「参加するきっかけが得られない」は北部地域（37.8%）で4割弱と最も高くなっている。

②性別

「興味がない」は男性（21.4%）のほうが女性（13.4%）よりも8.0ポイント高くなっている。「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」は女性（37.9%）のほうが男性（33.5%）よりも4.4ポイント高くなっている。

③年代別

「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」は30歳代（53.9%）と40歳代（50.9%）が5割を超えて高く、「参加するきっかけがない」は20歳代（33.7%）と30歳代（32.0%）が3割強と高くなっている。「興味がない」は20歳代（27.5%）で3割弱と高くなっている。

④性・年代別

「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」は男性30歳代（52.3%）、女性30歳代（55.9%）と40歳代（56.4%）で5割を超えて高く、「興味がない」は男性20歳代（36.2%）で3割半ばと高くなっている。

⑤職業別

「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」は無職（計）（14.8%）のみ1割半ばと低く、それ以外の職業では4割を超えている。

⑥ライフステージ別

「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」は家族成長前期（60.7%）で約6割と高く、「参加するきっかけが得られない」は独身期（33.3%）と家族形成期（33.3%）で3割を超えて高くなっている。「興味がない」は独身期（25.5%）で2割半ばと特に高くなっている。

○地域社会活動への不参加の理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

	調査数	忙しい仕事や活動する等により	参加するきっかけが得られない	興味がない	団体・活動に関する情報が得られない	参加したいと思う団体や活動がない	その他	特になし	わからない	無回答
全 体	1390	35.5	27.2	17.7	11.1	8.3	11.7	10.4	2.0	1.2
地域別										
南部地域	178	37.1	24.2	20.2	13.5	9.6	12.4	7.9	1.1	1.1
南西部地域	158	39.9	28.5	16.5	12.0	8.9	9.5	8.2	1.3	0.6
東部地域	215	32.1	24.7	18.1	7.9	7.0	9.8	16.3	2.3	1.4
さいたま地域	231	34.2	30.7	21.2	11.3	8.2	13.9	5.2	2.2	0.4
県央地域	101	41.6	23.8	14.9	13.9	13.9	13.9	6.9	-	-
川越比企地域	141	38.3	27.0	12.8	12.8	9.9	9.2	12.1	3.5	1.4
西部地域	158	37.3	22.2	19.0	10.8	7.0	11.4	12.7	0.6	3.8
利根地域	105	31.4	33.3	13.3	6.7	8.6	11.4	15.2	2.9	1.0
北部地域	82	29.3	37.8	14.6	11.0	3.7	15.9	12.2	2.4	1.2
秩父地域	21	23.8	14.3	33.3	14.3	-	14.3	4.8	14.3	-
性別										
男性	749	33.5	27.0	21.4	11.2	8.8	9.2	9.6	2.0	2.0
女性	641	37.9	27.5	13.4	10.9	7.8	14.7	11.4	2.0	0.3
年代別										
20歳代	193	39.4	33.7	27.5	15.0	5.2	5.7	8.8	-	0.5
30歳代	269	53.9	32.0	15.2	14.1	5.6	2.2	5.9	1.9	1.5
40歳代	228	50.9	27.6	19.7	11.0	10.1	4.4	6.6	1.3	-
50歳代	211	37.9	25.6	17.1	11.8	9.5	10.0	10.0	2.8	0.9
60歳代	249	24.1	24.1	16.9	9.6	10.8	13.3	13.7	3.2	2.0
70歳以上	240	7.1	20.8	12.1	5.4	8.8	34.2	17.5	2.5	2.1
性・年代別										
男性・20歳代	94	29.8	28.7	36.2	16.0	5.3	6.4	7.4	-	1.1
30歳代	151	52.3	29.1	18.5	12.6	6.6	2.6	5.3	2.6	2.6
40歳代	150	48.0	24.7	23.3	10.7	12.0	3.3	7.3	0.7	-
50歳代	112	33.9	25.0	21.4	11.6	7.1	8.0	12.5	2.7	1.8
60歳代	133	21.1	24.8	20.3	8.3	10.5	7.5	15.0	3.8	3.0
70歳以上	109	5.5	30.3	11.0	9.2	10.1	32.1	11.0	1.8	3.7
女性・20歳代	99	48.5	38.4	19.2	14.1	5.1	5.1	10.1	-	-
30歳代	118	55.9	35.6	11.0	16.1	4.2	1.7	6.8	0.8	-
40歳代	78	56.4	33.3	12.8	11.5	6.4	6.4	5.1	2.6	-
50歳代	99	42.4	26.3	12.1	12.1	12.1	12.1	7.1	3.0	-
60歳代	116	27.6	23.3	12.9	11.2	11.2	19.8	12.1	2.6	0.9
70歳以上	131	8.4	13.0	13.0	2.3	7.6	35.9	22.9	3.1	0.8
職業別										
自営業・家族従業（計）	137	43.1	27.0	18.2	5.8	8.0	13.1	7.3	2.9	-
雇用者（計）	755	47.9	27.0	18.9	13.0	7.8	4.2	8.7	1.5	1.2
無職（計）	494	14.8	27.3	15.8	9.7	9.3	22.7	13.8	2.6	1.6
ライフステージ別										
独身期	243	39.1	33.3	25.5	15.2	5.8	4.1	8.6	-	2.1
家族形成期	171	57.9	33.3	14.0	18.1	4.1	2.3	5.3	2.3	-
家族成長前期	107	60.7	26.2	19.6	6.5	6.5	4.7	6.5	0.9	-
家族成長後期	84	51.2	23.8	11.9	6.0	7.1	9.5	8.3	1.2	-
家族成熟期	271	31.4	26.2	18.5	12.5	9.6	12.5	10.3	3.0	1.1
高齢期	286	16.4	23.8	12.9	6.6	8.7	25.2	16.1	2.1	1.7
その他	228	26.3	23.2	18.4	9.2	13.6	13.2	11.8	3.5	1.8

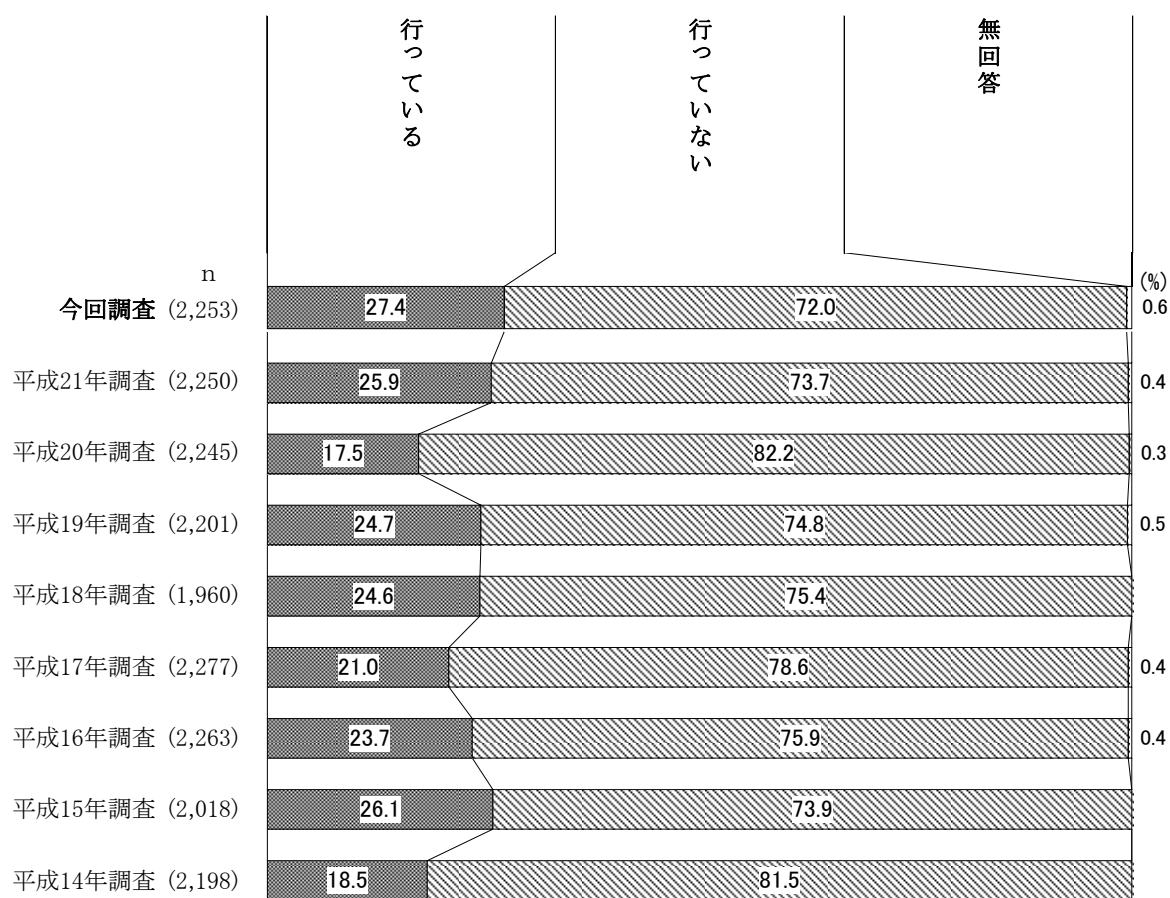
（２）文化芸術活動の経験

◇「行っている」は27.4%

（２）あなたは、現在、自主的な文化芸術活動を行っていますか。

※文化芸術活動とは、以下のような分野での活動です。

- ・音楽（クラシック、ロック、ポピュラー、コーラス、演歌など）
- ・美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸など）
- ・写真（ポートレート、風景、スナップ写真など）
- ・文芸（小説、詩、俳句、短歌など）
- ・生活文化（書道、華道、盆栽など）
- ・国民娯楽（囲碁、将棋など）
- ・舞踊（バレエ、ダンスなど）
- ・伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、日本舞踊、和太鼓、箏曲、神楽、獅子舞など）
- ・演劇（現代劇、ミュージカルなど）
- ・演芸（落語、漫談、漫才など）
- ・映画・漫画・アニメ・コンピューターグラフィックス



現在、自主的な文化芸術活動を「行っている」（27.4%）は3割弱となっている。

【過去8年間との比較】

「行っている」は前年よりも1.5ポイント増加し、平成15年（26.1%）を超えて過去最高となっている。

【属性別比較】

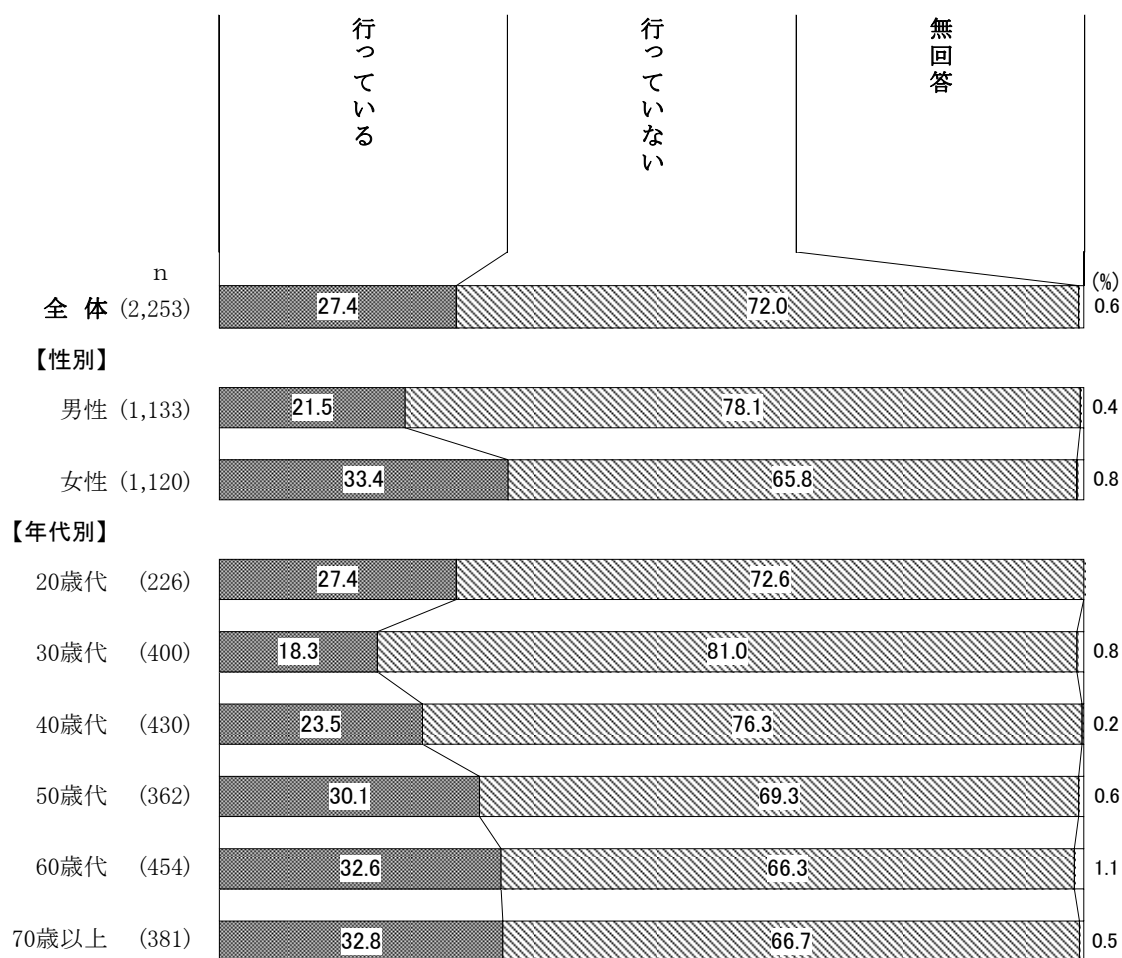
①性別

「行っている」は女性（33.4%）が男性（21.5%）を11.9ポイント上回っている。

②年代別

「行っている」は60歳代（32.6%）、70歳以上（32.8%）で3割強と高く、30歳代（18.3%）で2割弱、40歳代（23.5%）で2割強と低くなっている。

○文化芸術活動の経験・性別／年代別



③地域別

「行っている」は南西部地域（32.7%）と川越比企地域（31.6%）で3割強と高く、県央地域（22.1%）と秩父地域（22.0%）では2割強と低くなっている。

④性・年代別

「行っている」は女性では30歳代（22.0%）を除いた年代で3割を超えており、60歳代（39.1%）では約4割と特に高くなっている。一方、男性は30歳代から40歳代で1割半ばと低く、最も高い70歳以上（28.3%）でも3割弱にとどまってる。

⑤職業別

「行っている」は無職（計）（32.4%）で3割強と高くなっている。

⑥ライフステージ別

「行っている」は家族成熟期（33.6%）と高齢期（35.5%）で3割を超えて高くなっている。一方、家族形成期（19.6%）と家族成長前期（18.2%）で2割を下回り低くなっている。

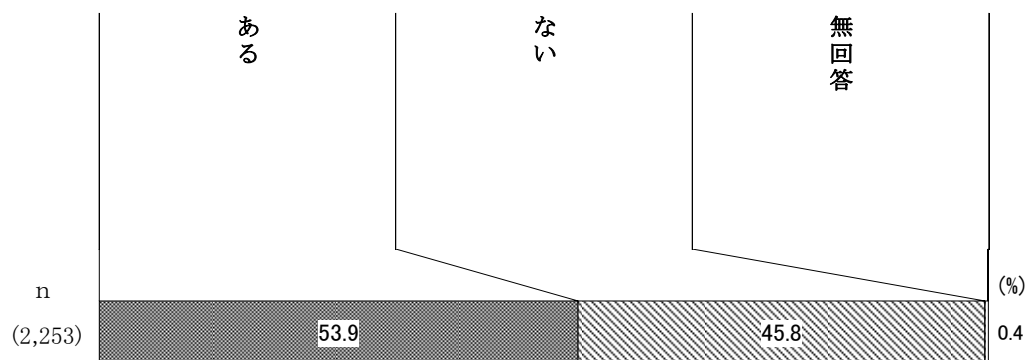
○文化芸術活動の経験・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	行っている	行っていない	無回答
全 体	2253	27.4	72.0	0.6
地域別				
南部地域	232	25.4	73.7	0.9
南西部地域	226	32.7	66.8	0.4
東部地域	321	24.3	75.1	0.6
さいたま地域	365	29.3	70.4	0.3
県央地域	181	22.1	76.8	1.1
川越比企地域	263	31.6	68.4	-
西部地域	247	27.1	72.5	0.4
利根地域	204	24.5	73.5	2.0
北部地域	173	29.5	70.5	-
秩父地域	41	22.0	78.0	-
性・年代別				
男性・20歳代	105	21.0	79.0	-
30歳代	200	14.5	85.0	0.5
40歳代	231	16.5	83.1	0.4
50歳代	181	23.2	76.2	0.6
60歳代	229	26.2	73.8	-
70歳以上	187	28.3	71.1	0.5
女性・20歳代	121	33.1	66.9	-
30歳代	200	22.0	77.0	1.0
40歳代	199	31.7	68.3	-
50歳代	181	37.0	62.4	0.6
60歳代	225	39.1	58.7	2.2
70歳以上	194	37.1	62.4	0.5
職業別				
自営業・家族従業（計）	253	29.2	70.0	0.8
雇用者（計）	1149	23.4	75.9	0.7
無職（計）	846	32.4	67.3	0.4
ライフステージ別				
独身期	280	25.7	73.9	0.4
家族形成期	214	19.6	80.4	-
家族成長前期	291	18.2	81.1	0.7
家族成長後期	182	23.6	76.4	-
家族成熟期	476	33.6	66.0	0.4
高齢期	501	35.5	63.7	0.8
その他	309	22.7	76.1	1.3

（３）文化芸術活動の鑑賞

◇「ある」は53.9%

（３）あなたは、この１年間にこのような文化芸術活動を鑑賞するためにホール、美術館、映画館、博物館などに出かけたことがありますか。



この１年間で、文化芸術活動を鑑賞したことが「ある」（53.9%）は5割強となっている。

【属性別比較】

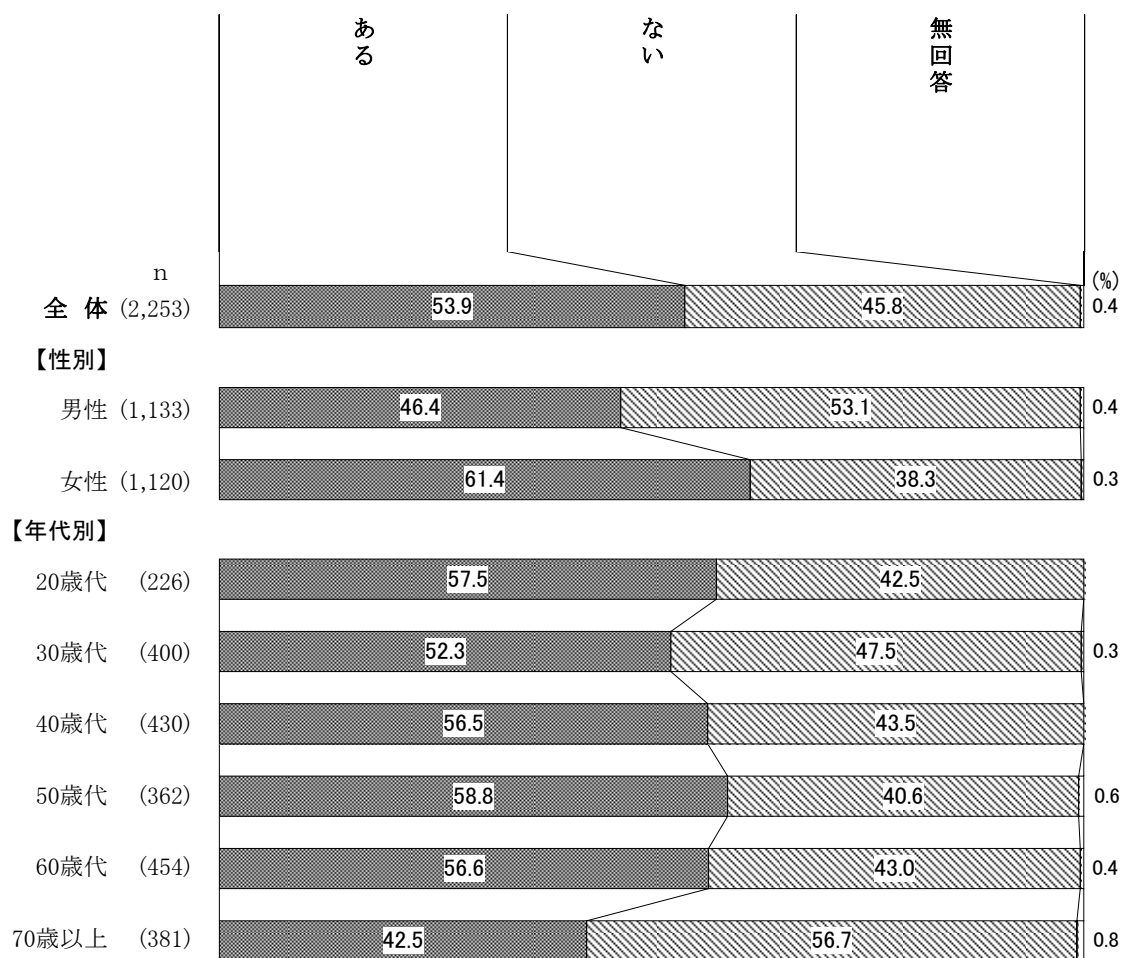
①性別

「ある」は女性（61.4%）が男性（46.4%）よりも15.0ポイント高くなっている。

②年代別

「ある」は70歳以上（42.5%）で4割強と低く、それ以外の年代では5割を超えている。

○文化芸術活動の鑑賞・性別／年代別



③地域別

「ある」は南西部地域（59.3%）やさいたま地域（58.6%）で高く、秩父地域（34.1%）では3割半ばと低くなっている。

④性・年代別

「ある」は男女とも70歳以上は低く、女性の20歳代から60歳代で高くなっている。

⑤職業別

職業による違いはみられない。

⑥ライフステージ別

「ある」は家族成長後期（61.5%）では6割強、独身期（58.9%）では6割弱と高く、その他（44.7%）で4割半ばと低くなっている。

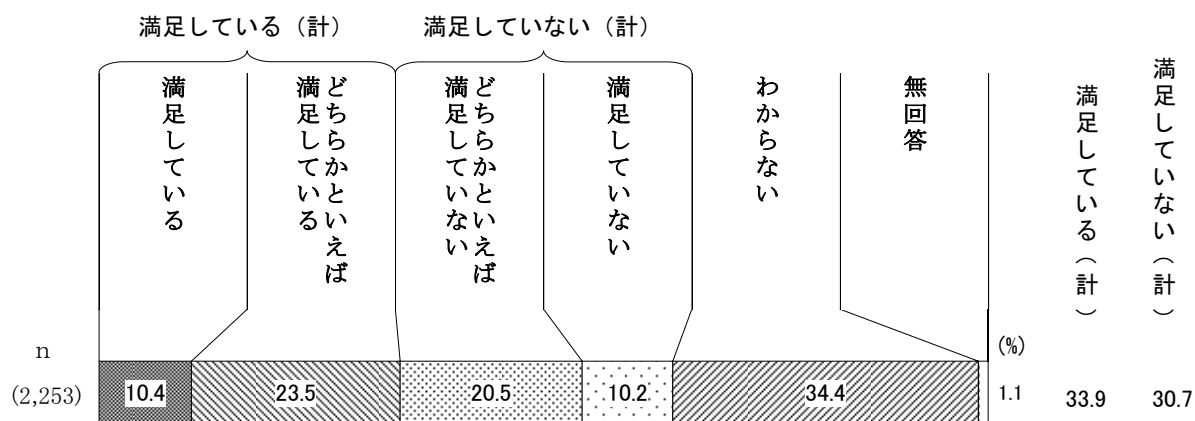
○文化芸術活動の鑑賞・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	ある	ない	無回答
全 体	2253	53.9	45.8	0.4
地域別				
南部地域	232	50.0	49.6	0.4
南西部地域	226	59.3	40.7	-
東部地域	321	50.5	49.2	0.3
さいたま地域	365	58.6	41.1	0.3
県央地域	181	57.5	42.0	0.6
川越比企地域	263	54.0	45.6	0.4
西部地域	247	52.6	47.4	-
利根地域	204	51.5	47.1	1.5
北部地域	173	53.8	46.2	-
秩父地域	41	34.1	65.9	-
性・年代別				
男性・20歳代	105	45.7	54.3	-
30歳代	200	45.0	54.5	0.5
40歳代	231	46.8	53.2	-
50歳代	181	54.1	45.3	0.6
60歳代	229	46.3	53.3	0.4
70歳以上	187	40.6	58.3	1.1
女性・20歳代	121	67.8	32.2	-
30歳代	200	59.5	40.5	-
40歳代	199	67.8	32.2	-
50歳代	181	63.5	35.9	0.6
60歳代	225	67.1	32.4	0.4
70歳以上	194	44.3	55.2	0.5
職業別				
自営業・家族従業（計）	253	50.6	48.6	0.8
雇用者（計）	1149	55.0	44.6	0.4
無職（計）	846	53.3	46.6	0.1
ライフステージ別				
独身期	280	58.9	41.1	-
家族形成期	214	50.5	49.5	-
家族成長前期	291	52.6	47.1	0.3
家族成長後期	182	61.5	38.5	-
家族成熟期	476	56.9	42.9	0.2
高齢期	501	53.3	45.9	0.8
その他	309	44.7	54.7	0.6

(4) 文化芸術活動の機会や環境の満足度

◇『満足している(計)』は33.9%、『満足していない(計)』は30.7%

(4) あなたは、日常生活の中で文化芸術を鑑賞したり、文化活動を行ったりする機会や環境について、満足していますか。



日常生活の中での文化芸術活動の機会や環境の満足度は、「どちらかといえば満足している」(23.5%)が2割強と最も多くなっている。これに「満足している」(10.4%)を合わせた『満足している(計)』(33.9%)は、「満足していない」(10.2%)と「どちらかといえば満足していない」(20.5%)を合わせた『満足していない(計)』(30.7%)を3.2ポイント上回っている。また、「わからない」(34.4%)が3割半ばとなっている。

【属性別比較】

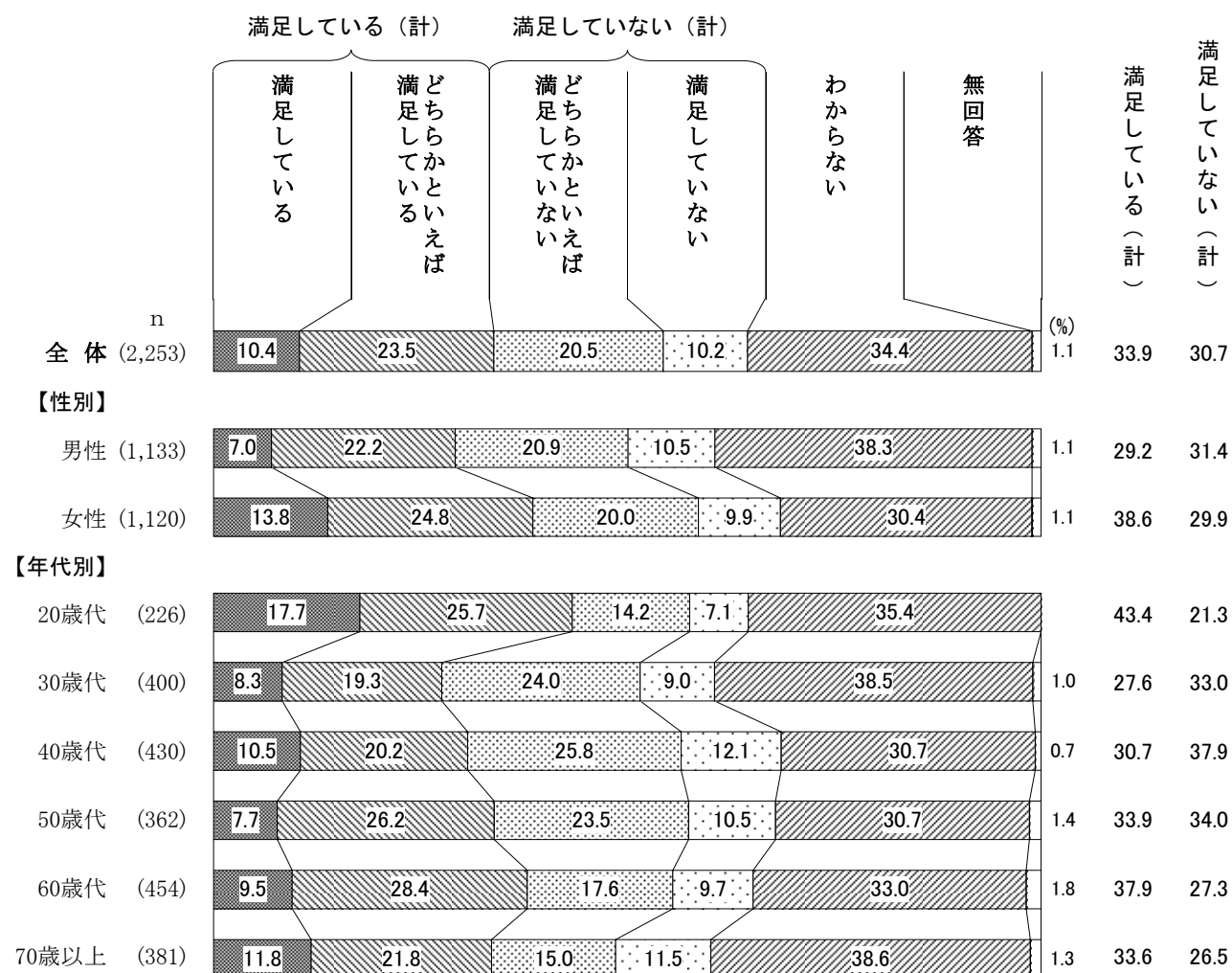
①性別

『満足している（計）』は女性（38.6％）が男性（29.2％）よりも9.4ポイント高くなっている。

②年代別

『満足している（計）』は20歳代（43.4％）で高く、30歳代（27.6％）で最も低くなっている。
20歳代、60歳代、70歳以上では『満足している（計）』が『満足していない（計）』を上回っており、特に20歳代では『満足している（計）』（43.4％）が『満足していない（計）』（21.3％）よりも22.1ポイント上回っている。

○文化芸術活動の機会や環境の満足度・性別／年代別



③地域別

『満足している（計）』は北部地域（41.6％）で4割強と高くなっている。一方、『満足していない（計）』は南西部地域（33.2％）で3割強と最も高くなっている。また、秩父地域で『満足していない（計）』（29.2％）が『満足している（計）』（17.0％）よりも12.2ポイント高くなっている。

④性・年代別

『満足している（計）』は女性の20歳代（48.8％）、60歳代（45.8％）で高く、男性では40歳代（22.5％）で2割強と低くなっている。一方、『満足していない（計）』は男性の40歳代（39.4％）で約4割と高くなっている。

⑤職業別

『満足している（計）』は無職（計）（37.0％）でやや高くなっている。

⑥ライフステージ別

『満足している（計）』は独身期（41.1％）で4割強と高くなっている。一方、『満足していない（計）』は家族形成期（36.4％）で3割半ばと高くなっている。

○ 文化芸術活動の機会や環境の満足度・地域別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

	調査数	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば満足していない	満足していない	わからない	無回答
全 体	2253	10.4	23.5	20.5	10.2	34.4	1.1

満足している (計)	満足していない (計)
33.9	30.7

地域別

南部地域	232	13.4	24.1	17.2	12.5	32.3	0.4
南西部地域	226	8.4	24.3	23.5	9.7	32.7	1.3
東部地域	321	10.0	23.4	20.9	10.6	34.3	0.9
さいたま地域	365	10.1	26.0	23.0	9.0	31.0	0.8
県央地域	181	6.6	21.5	19.9	9.9	41.4	0.6
川越比企地域	263	11.4	23.6	19.8	9.9	33.5	1.9
西部地域	247	11.7	20.6	20.6	10.9	35.2	0.8
利根地域	204	8.3	21.6	21.1	8.3	38.2	2.5
北部地域	173	15.0	26.6	16.8	10.4	30.1	1.2
秩父地域	41	2.4	14.6	14.6	14.6	53.7	-

37.5	29.7
32.7	33.2
33.4	31.5
36.1	32.0
28.1	29.8
35.0	29.7
32.3	31.5
29.9	29.4
41.6	27.2
17.0	29.2

性・年代別

男性・20歳代	105	10.5	26.7	17.1	8.6	37.1	-
30歳代	200	6.5	19.5	21.5	7.5	43.5	1.5
40歳代	231	8.2	14.3	26.0	13.4	37.2	0.9
50歳代	181	7.2	25.4	22.1	8.8	35.9	0.6
60歳代	229	3.5	26.6	18.3	8.3	41.5	1.7
70歳以上	187	8.0	23.5	18.2	15.5	33.2	1.6
女性・20歳代	121	24.0	24.8	11.6	5.8	33.9	-
30歳代	200	10.0	19.0	26.5	10.5	33.5	0.5
40歳代	199	13.1	27.1	25.6	10.6	23.1	0.5
50歳代	181	8.3	27.1	24.9	12.2	25.4	2.2
60歳代	225	15.6	30.2	16.9	11.1	24.4	1.8
70歳以上	194	15.5	20.1	11.9	7.7	43.8	1.0

37.2	25.7
26.0	29.0
22.5	39.4
32.6	30.9
30.1	26.6
31.5	33.7
48.8	17.4
29.0	37.0
40.2	36.2
35.4	37.1
45.8	28.0
35.6	19.6

職業別

自営業・家族従業(計)	253	12.3	18.6	24.1	11.5	32.8	0.8
雇用者(計)	1149	9.0	23.2	22.2	9.7	34.6	1.3
無職(計)	846	11.8	25.2	17.0	10.6	34.4	0.9

30.9	35.6
32.2	31.9
37.0	27.6

ライフステージ別

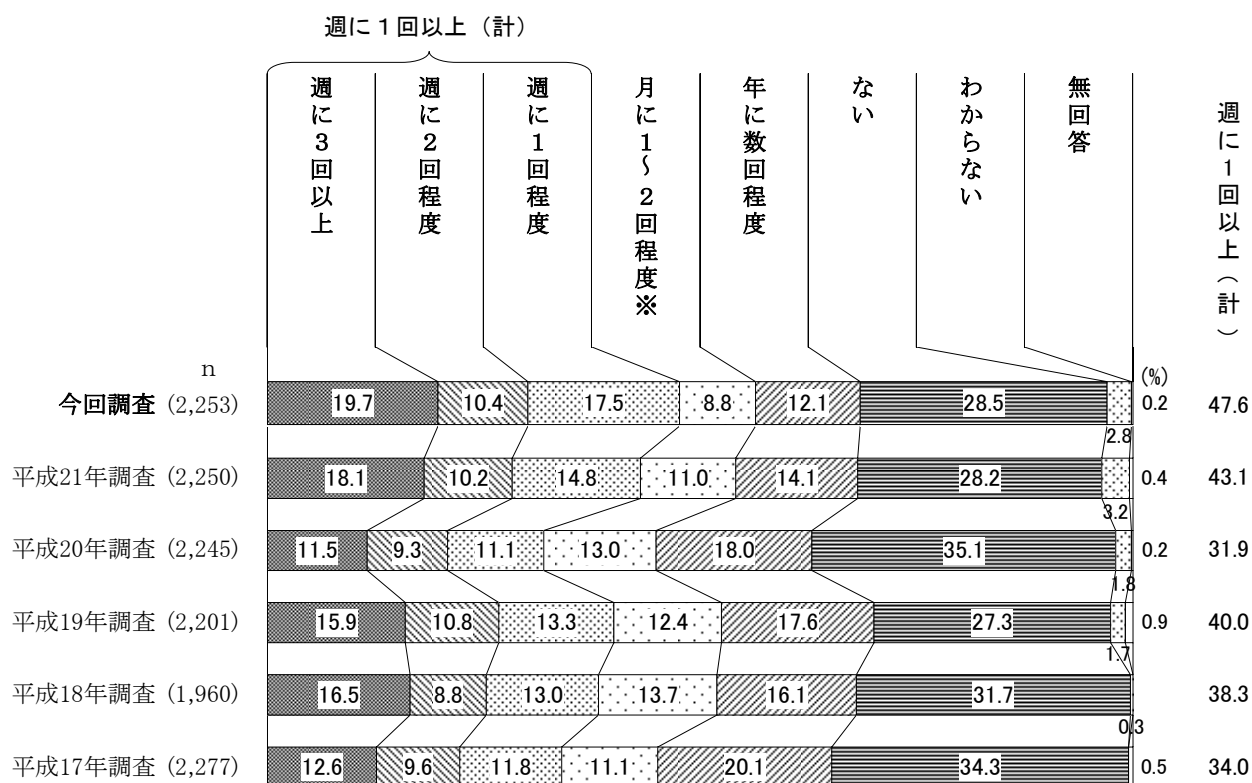
独身期	280	16.1	25.0	17.9	6.8	34.3	-
家族形成期	214	5.6	19.2	25.2	11.2	38.3	0.5
家族成長前期	291	10.7	17.2	24.1	9.6	37.5	1.0
家族成長後期	182	11.0	28.0	22.0	8.8	29.7	0.5
家族成熟期	476	8.2	25.2	22.9	9.7	32.8	1.3
高齢期	501	13.8	25.5	15.6	10.4	33.1	1.6
その他	309	5.8	22.3	19.4	14.6	35.9	1.9

41.1	24.7
24.8	36.4
27.9	33.7
39.0	30.8
33.4	32.6
39.3	26.0
28.1	34.0

(5) スポーツをする機会

◇『週に1回以上（計）』は47.6%

問6 埼玉県では、週に1回以上スポーツをすることを推奨しています。あなたは、過去一年間に、スポーツ・レクリエーション活動をする機会がどのくらいありましたか。ウォーキングや軽い体操、レクリエーション活動、スポーツ通勤なども含めます。



※ 平成21年調査までは「月に1〜3回程度」

過去1年間のスポーツをする機会は、「ない」（28.5%）が3割弱と最も高く、次いで「週に3回以上」（19.7%）、「週に1回程度」（17.5%）、「年に数回程度」（12.1%）の順となっている。また、『週に1回以上（計）』（「週に3回以上」（19.7%）、「週に2回程度」（10.4%）、「週に1回程度」（17.5%）の合計、47.6%）は5割弱となっている。

【過去5年間との比較】

『週に1回以上（計）』（47.6%）が前年から4.5ポイント増加し、平成17年以降では今回が最も高くなっている。

【属性別比較】

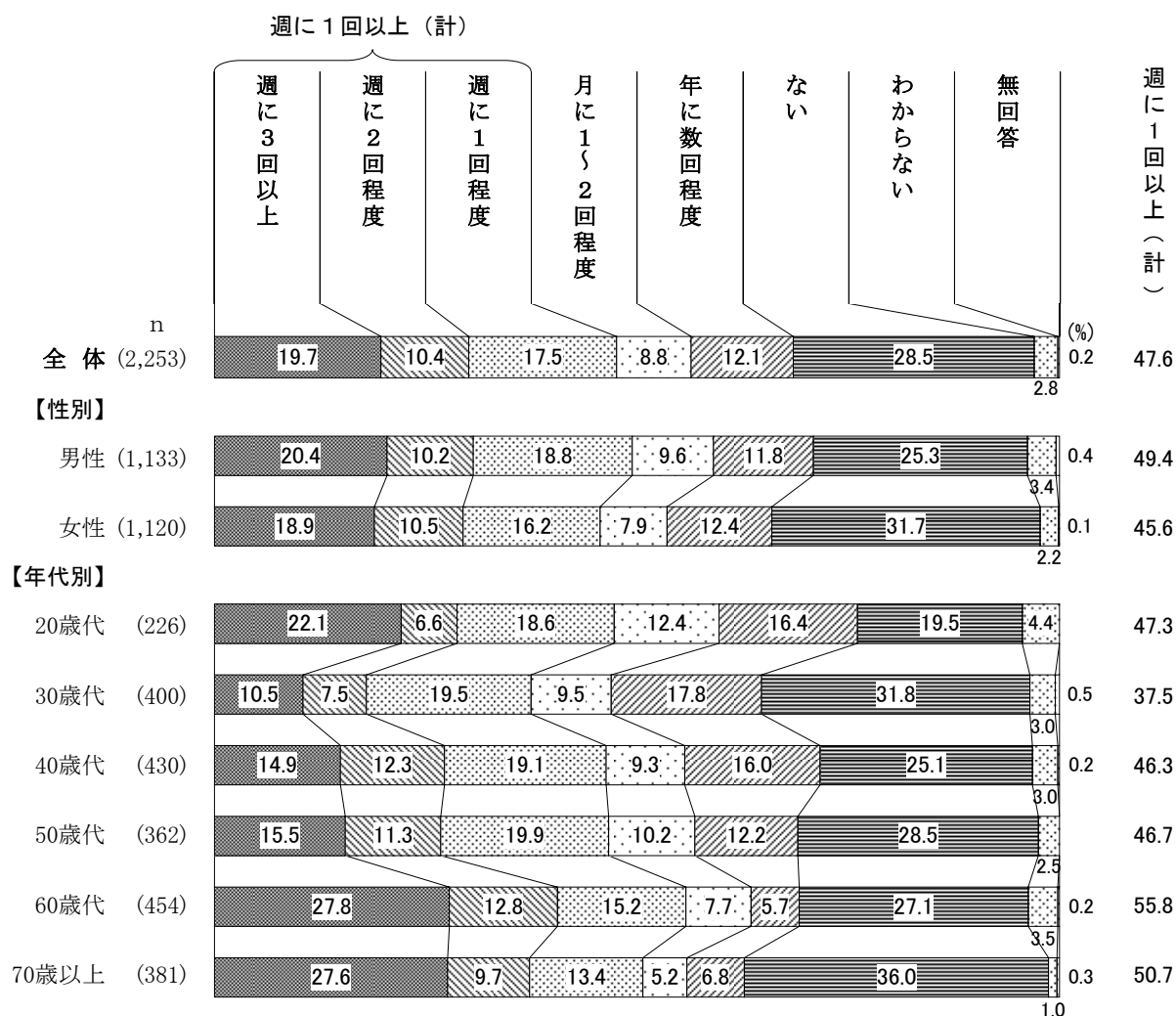
①性別

『週に1回以上（計）』は男性（49.4%）が女性（45.6%）よりも3.8ポイント高くなっている。

②年代別

『週に1回以上（計）』は60歳代以上で5割を超えて高く、30歳代（37.5%）で4割弱と低くなっている。「週に3回以上」は60歳代以上で3割弱と高くなっている。一方、「ない」は70歳以上（36.0%）で3割半ばと高くなっている。

○スポーツをする機会・性別／年代別



③地域別

『週に1回以上（計）』は県央地域（51.4%）と北部地域（51.4%）で5割強と高くなっている。

④性・年代別

『週に1回以上（計）』は男性60歳代（59.4%）で約6割と最も高く、男性の20歳代（53.4%）と70歳以上（54.0%）、女性の60歳代（52.0%）で5割を超えて高い。男女ともに30歳代で最も低くなっている。「ない」は女性70歳以上（41.8%）で4割強と高くなっている。

⑤職業別

『週に1回以上（計）』は無職（計）（52.4%）で5割強と高くなっている。

⑥ライフステージ別

『週に1回以上（計）』は家族成熟期（52.9%）と高齢期（53.7%）で5割強と高く、家族形成期（36.0%）で3割半ばと低くなっている。「週に3回以上」は家族成熟期（23.7%）と高齢期（27.1%）で2割を超えて高くなっている。

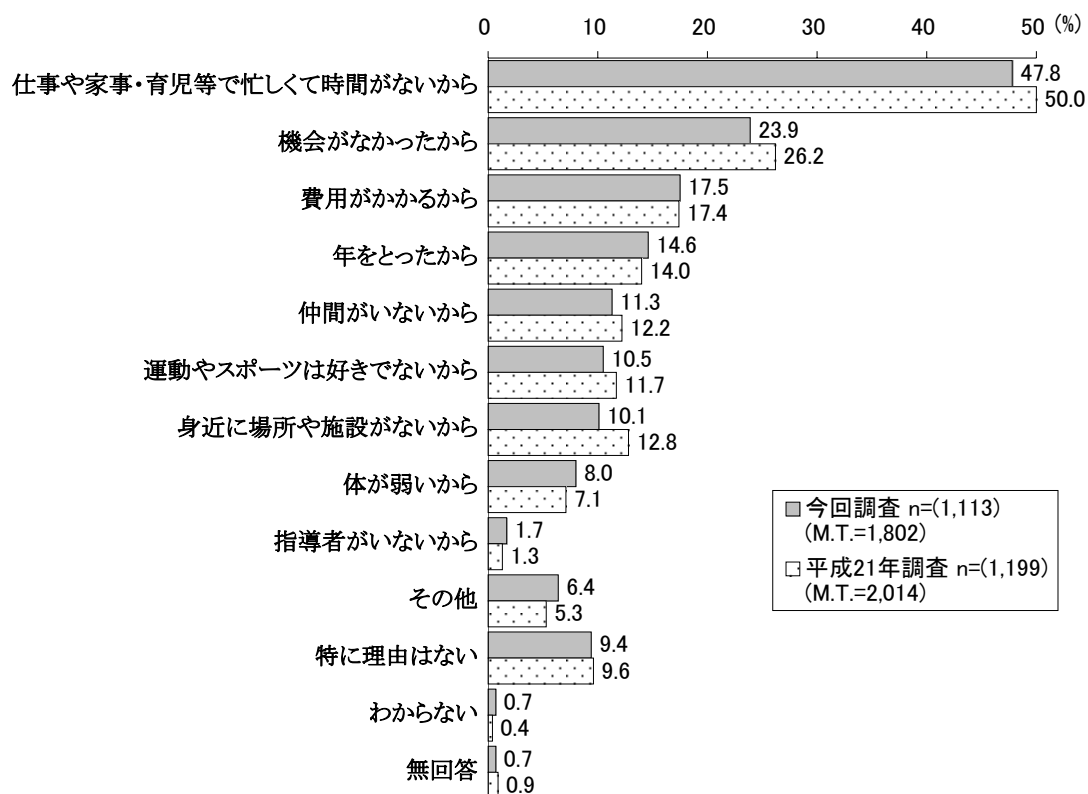
○スポーツをする機会・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	週に3回以上	週に2回程度	週に1回程度	月に1～2回程度	年に数回程度	ない	わからない	無回答	週に1回以上（計）
全 体	2253	19.7	10.4	17.5	8.8	12.1	28.5	2.8	0.2	47.6
地域別										
南部地域	232	19.4	9.5	18.1	5.6	12.1	32.3	3.0	—	47.0
南西部地域	226	20.4	9.3	16.8	9.7	10.6	30.1	2.7	0.4	46.5
東部地域	321	21.2	9.0	11.2	8.4	10.6	37.4	2.2	—	41.4
さいたま地域	365	21.6	11.0	16.2	10.4	10.4	27.9	2.2	0.3	48.8
県央地域	181	14.9	11.6	24.9	9.4	14.4	23.2	1.7	—	51.4
川越比企地域	263	22.8	10.3	17.5	8.7	12.2	24.3	4.2	—	50.6
西部地域	247	15.0	10.1	22.7	8.5	14.2	27.1	2.0	0.4	47.8
利根地域	204	16.7	10.3	19.1	8.8	13.2	27.0	3.9	1.0	46.1
北部地域	173	23.1	12.1	16.2	8.7	15.0	20.8	4.0	—	51.4
秩父地域	41	17.1	17.1	12.2	9.8	7.3	31.7	4.9	—	46.4
性・年代別										
男性・20歳代	105	22.9	6.7	23.8	13.3	13.3	16.2	3.8	—	53.4
30歳代	200	11.0	7.5	20.5	11.0	15.5	29.5	4.0	1.0	39.0
40歳代	231	14.7	9.5	19.0	11.7	17.3	23.8	3.5	0.4	43.2
50歳代	181	13.3	13.8	22.1	9.9	12.7	23.8	4.4	—	49.2
60歳代	229	30.6	13.1	15.7	7.0	5.2	24.9	3.5	—	59.4
70歳以上	187	30.5	9.1	14.4	6.4	7.5	29.9	1.6	0.5	54.0
女性・20歳代	121	21.5	6.6	14.0	11.6	19.0	22.3	5.0	—	42.1
30歳代	200	10.0	7.5	18.5	8.0	20.0	34.0	2.0	—	36.0
40歳代	199	15.1	15.6	19.1	6.5	14.6	26.6	2.5	—	49.8
50歳代	181	17.7	8.8	17.7	10.5	11.6	33.1	0.6	—	44.2
60歳代	225	24.9	12.4	14.7	8.4	6.2	29.3	3.6	0.4	52.0
70歳以上	194	24.7	10.3	12.4	4.1	6.2	41.8	0.5	—	47.4
職業別										
自営業・家族従業（計）	253	15.4	9.9	18.6	11.5	12.6	27.3	4.0	0.8	43.9
雇用者（計）	1149	15.7	9.9	19.1	10.2	15.0	27.0	3.0	0.3	44.7
無職（計）	846	26.2	11.2	15.0	6.1	8.2	31.0	2.2	—	52.4
ライフステージ別										
独身期	280	15.7	8.6	21.1	11.8	15.7	23.2	3.9	—	45.4
家族形成期	214	14.5	4.7	16.8	10.3	21.5	29.0	3.3	—	36.0
家族成長前期	291	12.0	10.7	20.3	8.9	17.9	26.8	3.1	0.3	43.0
家族成長後期	182	14.8	15.4	16.5	12.1	13.2	25.3	2.7	—	46.7
家族成熟期	476	23.7	11.3	17.9	7.8	9.5	27.3	2.3	0.2	52.9
高齢期	501	27.1	11.8	14.8	7.0	5.8	31.5	1.8	0.2	53.7
その他	309	18.4	9.1	16.5	7.4	10.7	33.3	3.9	0.6	44.0

（５－１）週に１回以上スポーツをする機会がなかった理由

◇「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」が47.8%

（問６で「月に１～２回程度」「年に数回程度」「ない」のいずれかを答えた方に）
 問６－１ 週に１回以上活動する機会がなかった理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。



週に１回以上スポーツをする機会がなかった理由は、「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」（47.8%）が５割弱で最も高く、次いで「機会がなかったから」（23.9%）、「費用がかかるから」（17.5%）、「年をとったから」（14.6%）、「仲間がいないから」（11.3%）、「運動やスポーツは好きでないから」（10.5%）、「身近に場所や施設がないから」（10.1%）の順となっている。

【前年（平成21年）調査との比較】

「身近に場所や施設がないから」（2.7ポイント減）、「機会がなかったから」（2.3ポイント減）、「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」（2.2ポイント減）などが減少している。

【属性別比較】

①地域別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」は県央地域（57.6%）と北部地域（53.2%）で高くなっている。「機会がなかったから」と「費用がかかるから」は県央地域で3割を超えて高くなっている。「年をとったから」は秩父地域（25.0%）で2割半ばと高くなっている。

②性別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」は女性（49.4%）のほうが男性（46.0%）よりも3.4ポイント、「費用がかかるから」は女性（21.3%）のほうが男性（13.4%）よりも7.9ポイント、「運動やスポーツは好きでないから」は女性（12.7%）のほうが男性（8.1%）よりも4.6ポイント高くなっている。

③年代別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」と「費用がかかるから」は30歳代と40歳代で高くなっている。「機会がなかったから」は20歳代（40.4%）で約4割と高くなっている。「年をとったから」は年齢が高くなるほど割合が高くなっている。

④性・年代別

「機会がなかったから」は男性20歳代（40.0%）、女性20歳代（40.6%）で約4割と高く、「費用がかかるから」は女性30歳代（32.3%）と40歳代（33.7%）で3割強と高くなっている。「運動やスポーツは好きでないから」は女性20歳代（26.6%）で2割半ばと高くなっている。

⑤職業別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」は雇用者（計）（62.4%）で6割強と高く、無職（計）（23.2%）で2割強と低くなっている。「機会がなかったから」と「費用がかかるから」も雇用者（計）で高く、「年をとったから」は無職（計）（26.6%）で2割半ばと高くなっている。

⑥ライフステージ別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」は家族形成期（76.9%）と家族成長前期（74.4%）で高く、高齢期（18.9%）で低くなっている。「年をとったから」は家族形成期以降、ステージが進むほど割合が高くなっている。

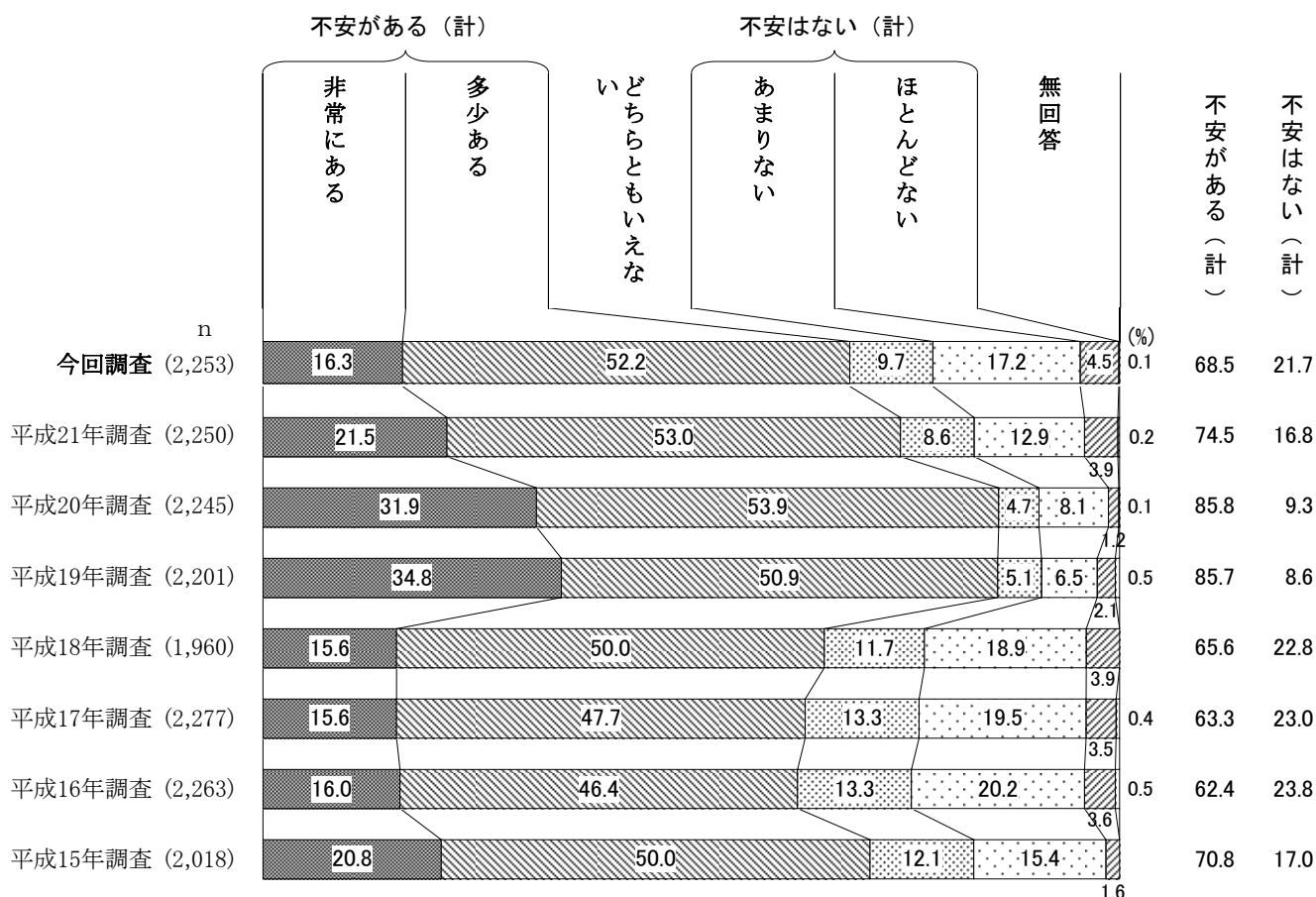
○週に1回以上スポーツをする機会がなかった理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	仕事や家事・育児等で忙しくて時間が足りないから	機会がなかったから	費用がかかるから	年をとったから	仲間がいないから	運動やスポーツは好きでないから	身近に場所や施設がないから	体が弱いから	指導者がいないから	その他	特に理由はない	わからない	無回答
全 体	1113	47.8	23.9	17.5	14.6	11.3	10.5	10.1	8.0	1.7	6.4	9.4	0.7	0.7
地域別														
南部地域	116	50.0	25.0	12.9	17.2	13.8	10.3	9.5	8.6	0.9	6.9	5.2	-	1.7
南西部地域	114	45.6	24.6	22.8	14.0	11.4	10.5	17.5	9.6	2.6	6.1	7.0	-	0.9
東部地域	181	43.6	18.2	14.4	13.8	6.1	14.4	5.5	7.7	1.1	7.7	11.6	2.2	0.6
さいたま地域	178	47.8	18.5	19.1	14.0	10.1	9.6	5.6	10.1	1.1	7.3	10.7	1.1	0.6
県央地域	85	57.6	36.5	30.6	16.5	16.5	5.9	15.3	5.9	1.2	9.4	3.5	-	-
川越比企地域	119	43.7	24.4	16.0	16.8	14.3	10.1	13.4	9.2	2.5	4.2	12.6	0.8	-
西部地域	123	49.6	28.5	22.0	8.9	9.8	11.4	10.6	8.1	0.8	4.1	8.9	-	2.4
利根地域	100	48.0	23.0	12.0	16.0	14.0	10.0	9.0	1.0	2.0	8.0	14.0	-	-
北部地域	77	53.2	27.3	10.4	13.0	11.7	10.4	11.7	7.8	5.2	2.6	6.5	1.3	-
秩父地域	20	35.0	20.0	10.0	25.0	10.0	5.0	5.0	15.0	-	5.0	15.0	-	-
性別														
男性	530	46.0	23.2	13.4	14.7	11.9	8.1	10.2	8.1	1.9	5.1	11.3	1.5	0.6
女性	583	49.4	24.5	21.3	14.4	10.8	12.7	9.9	7.9	1.5	7.5	7.7	-	0.9
年代別														
20歳代	109	53.2	40.4	15.6	-	13.8	19.3	11.0	1.8	0.9	1.8	8.3	-	-
30歳代	236	71.6	26.7	25.8	1.7	11.4	10.6	12.3	1.7	2.5	4.7	5.5	-	-
40歳代	217	63.6	23.0	24.4	3.7	10.1	10.6	9.2	3.2	1.4	4.6	6.9	0.5	-
50歳代	184	52.2	29.3	15.8	7.1	16.8	8.7	13.6	6.5	2.2	4.3	14.1	1.1	-
60歳代	184	29.3	21.2	14.7	22.8	9.8	10.9	8.2	13.0	2.2	8.7	13.6	1.6	2.2
70歳以上	183	9.3	8.7	4.4	51.9	7.1	6.6	6.0	21.9	0.5	13.1	9.3	1.1	2.2
性・年代別														
男性・20歳代	45	42.2	40.0	13.3	-	11.1	8.9	8.9	-	-	-	11.1	-	-
30歳代	112	72.3	25.0	18.8	3.6	13.4	8.9	13.4	2.7	4.5	5.4	7.1	-	-
40歳代	122	63.9	22.1	17.2	4.1	10.7	11.5	9.0	4.1	1.6	4.1	7.4	0.8	-
50歳代	84	41.7	33.3	10.7	8.3	19.0	4.8	15.5	7.1	2.4	2.4	20.2	2.4	-
60歳代	85	25.9	18.8	11.8	24.7	8.2	8.2	5.9	14.1	1.2	4.7	17.6	3.5	1.2
70歳以上	82	11.0	7.3	4.9	50.0	8.5	4.9	7.3	20.7	-	12.2	7.3	2.4	2.4
女性・20歳代	64	60.9	40.6	17.2	-	15.6	26.6	12.5	3.1	1.6	3.1	6.3	-	-
30歳代	124	71.0	28.2	32.3	-	9.7	12.1	11.3	0.8	0.8	4.0	4.0	-	-
40歳代	95	63.2	24.2	33.7	3.2	9.5	9.5	9.5	2.1	1.1	5.3	6.3	-	-
50歳代	100	61.0	26.0	20.0	6.0	15.0	12.0	12.0	6.0	2.0	6.0	9.0	-	-
60歳代	99	32.3	23.2	17.2	21.2	11.1	13.1	10.1	12.1	3.0	12.1	10.1	-	3.0
70歳以上	101	7.9	9.9	4.0	53.5	5.9	7.9	5.0	22.8	1.0	13.9	10.9	-	2.0
職業別														
自営業・家族従業（計）	130	53.1	22.3	15.4	23.1	10.0	6.2	10.0	5.4	2.3	3.8	11.5	-	-
雇用者（計）	599	62.4	26.9	19.7	5.0	13.0	11.2	10.7	2.5	1.7	2.7	8.7	0.7	0.7
無職（計）	383	23.2	19.6	14.9	26.6	9.1	11.0	9.1	17.5	1.6	13.1	9.9	1.0	1.0
ライフステージ別														
独身期	142	47.9	36.6	14.1	1.4	13.4	16.9	11.3	0.7	2.1	4.2	11.3	-	-
家族形成期	130	76.9	28.5	22.3	0.8	10.0	11.5	9.2	2.3	1.5	4.6	2.3	-	-
家族成長前期	156	74.4	23.1	32.7	3.8	11.5	10.3	15.4	3.8	2.6	1.9	5.1	-	-
家族成長後期	92	56.5	30.4	20.7	6.5	7.6	12.0	8.7	2.2	2.2	4.3	9.8	-	-
家族成熟期	212	44.3	21.2	16.5	17.0	10.8	9.0	9.9	9.0	0.9	5.2	13.7	0.9	0.9
高齢期	222	18.9	16.2	10.4	40.5	8.6	8.6	6.3	16.2	2.3	13.1	9.5	0.9	0.9
その他	159	37.7	20.1	11.3	13.2	17.0	8.2	10.7	13.8	0.6	7.5	11.9	2.5	2.5

（６）食品の安全性に対する意識

◇『不安がある（計）』が68.5%

問７ 食品の安全性についておたずねいたします。あなたは、食品の安全性に不安がありますか。



食品の安全性に関して、不安が「多少ある」（52.2%）が5割を超えており、「非常にある」（16.3%）と合わせた『不安がある（計）』（68.5%）は7割弱を占めている。一方、不安が「ほとんどない」（4.5%）と「あまりない」（17.2%）を合わせた『不安はない（計）』（21.7%）は2割強となっている。

【過去7年間との比較】

『不安がある（計）』の割合は、前年と比較して6.0ポイント減少し、過去最高だった平成20年（85.8%）から17.3ポイント減少している。

【属性別比較】

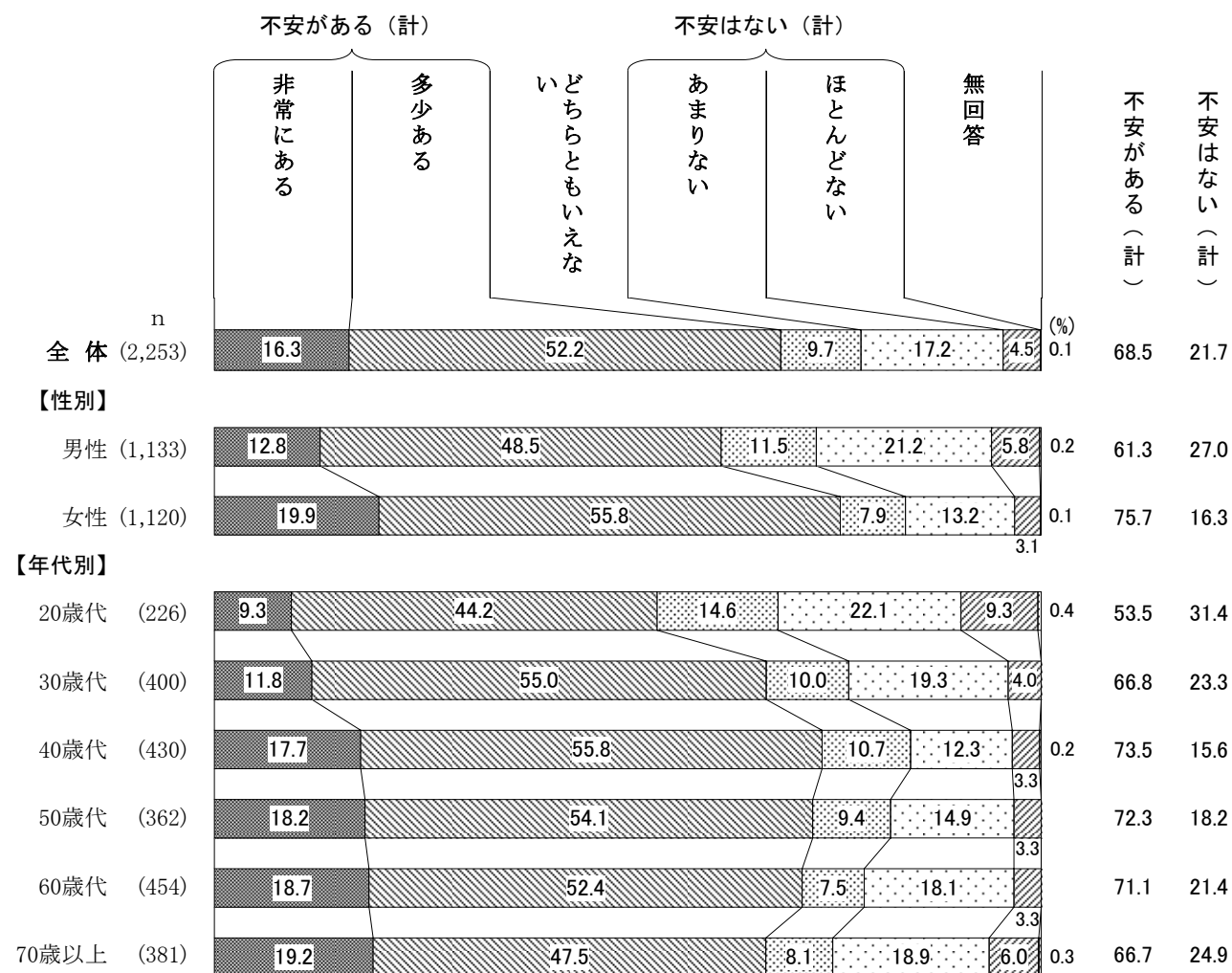
①性別

『不安がある（計）』は女性（75.7%）のほうが男性（61.3%）よりも14.4ポイント高くなっている。

②年代別

『不安がある（計）』は、40歳代までは年齢が高くなるほど割合が高くなり、それ以降は年齢が高くなるほど割合が低くなっている。

○食品の安全性に対する意識・性別／年代別



③地域別

『不安がある（計）』は秩父地域（80.5%）でやや高く、西部地域（63.2%）、利根地域（62.8%）、北部地域（63.6%）でやや低くなっている。

④性・年代別

『不安がある（計）』は女性の40歳代から50歳代で8割を超えて高くなっている。

⑤職業別

『不安がある（計）』が無職（計）（71.2%）でやや高くなっている。

⑥ライフステージ別

『不安がある（計）』は家族形成期（73.3%）で高く、独身期（55.3%）で低くなっている。

○食品の安全性に対する意識・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

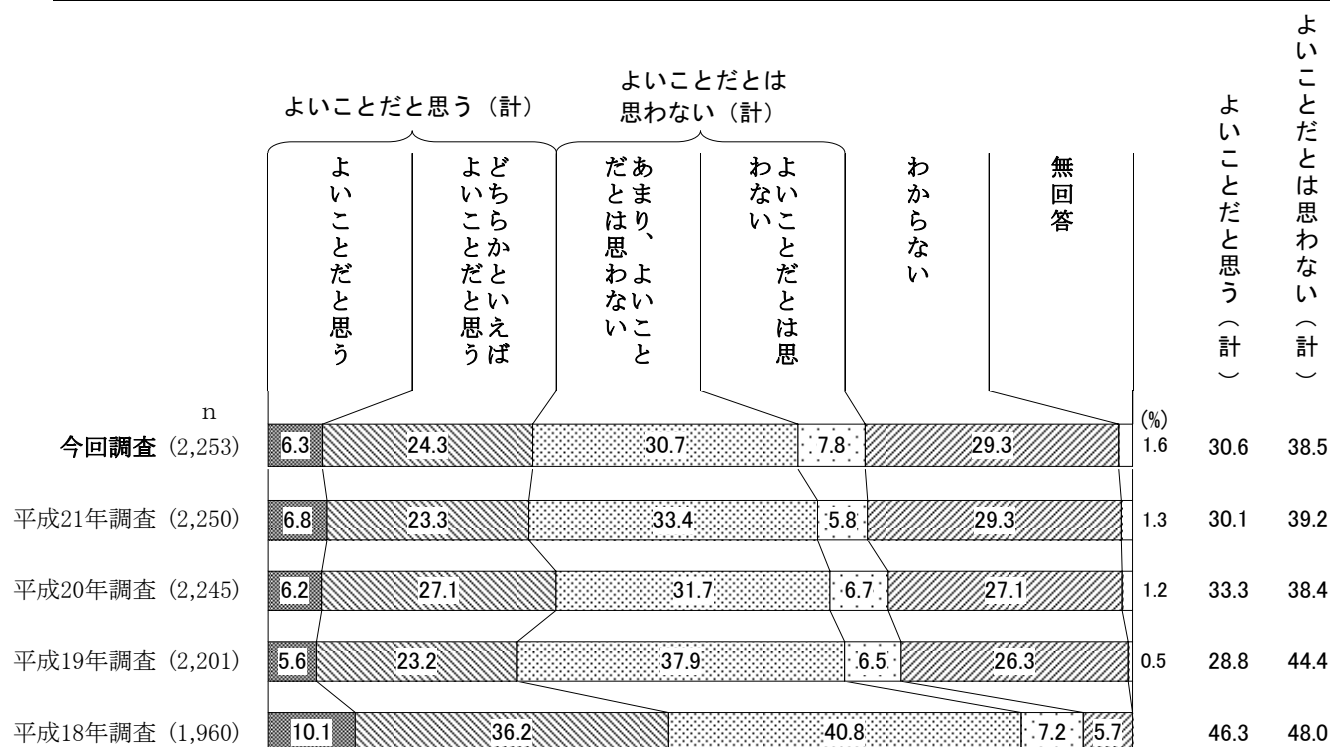
	調査数	非常に ある	多少 ある	どちら ともい えない	あま りない	ほと んど ない	無回 答	不安 がある (計)	不安 はない (計)
全 体	2253	16.3	52.2	9.7	17.2	4.5	0.1	68.5	21.7
地域別									
南部地域	232	14.7	51.7	12.1	16.8	4.7	-	66.4	21.5
南西部地域	226	15.5	54.0	11.9	16.8	1.8	-	69.5	18.6
東部地域	321	15.6	57.6	8.7	14.3	3.7	-	73.2	18.0
さいたま地域	365	18.6	52.6	10.7	15.1	3.0	-	71.2	18.1
県央地域	181	15.5	52.5	11.0	18.8	2.2	-	68.0	21.0
川越比企地域	263	19.4	51.7	8.4	16.0	4.6	-	71.1	20.6
西部地域	247	17.0	46.2	10.1	17.8	8.5	0.4	63.2	26.3
利根地域	204	12.3	50.5	7.8	22.5	6.4	0.5	62.8	28.9
北部地域	173	15.6	48.0	6.4	23.1	6.4	0.6	63.6	29.5
秩父地域	41	19.5	61.0	4.9	9.8	4.9	-	80.5	14.7
性・年代別									
男性・20歳代	105	7.6	39.0	16.2	25.7	10.5	1.0	46.6	36.2
30歳代	200	13.0	46.0	11.0	25.0	5.0	-	59.0	30.0
40歳代	231	14.7	52.4	12.1	15.2	5.2	0.4	67.1	20.4
50歳代	181	9.9	54.7	12.7	18.2	4.4	-	64.6	22.6
60歳代	229	13.5	49.8	9.2	22.7	4.8	-	63.3	27.5
70歳以上	187	15.0	44.4	10.2	23.0	7.5	-	59.4	30.5
女性・20歳代	121	10.7	48.8	13.2	19.0	8.3	-	59.5	27.3
30歳代	200	10.5	64.0	9.0	13.5	3.0	-	74.5	16.5
40歳代	199	21.1	59.8	9.0	9.0	1.0	-	80.9	10.0
50歳代	181	26.5	53.6	6.1	11.6	2.2	-	80.1	13.8
60歳代	225	24.0	55.1	5.8	13.3	1.8	-	79.1	15.1
70歳以上	194	23.2	50.5	6.2	14.9	4.6	0.5	73.7	19.5
職業別									
自営業・家族従業（計）	253	19.4	44.7	8.7	21.3	5.9	-	64.1	27.2
雇用者（計）	1149	14.6	52.7	10.8	17.2	4.4	0.2	67.3	21.6
無職（計）	846	17.7	53.5	8.4	16.1	4.1	0.1	71.2	20.2
ライフステージ別									
独身期	280	11.4	43.9	11.1	24.3	8.9	0.4	55.3	33.2
家族形成期	214	12.1	61.2	12.1	11.2	2.8	0.5	73.3	14.0
家族成長前期	291	15.8	53.3	10.3	17.9	2.7	-	69.1	20.6
家族成長後期	182	15.4	56.0	13.2	11.5	3.8	-	71.4	15.3
家族成熟期	476	17.4	53.6	9.0	16.4	3.6	-	71.0	20.0
高齢期	501	20.2	51.1	6.6	17.2	5.0	-	71.3	22.2
その他	309	16.8	49.5	10.0	19.1	4.2	0.3	66.3	23.3

（７）外国人増加に対する感想

◇『よいことだと思う（計）』は30.6%

問８ 県内の外国人住民についておたずねいたします。

（１）県内の外国人住民は12万人を超えており、今後も増えていくことが予想されています。あなたは、お住まいの地域に外国人が増えていくことをどう思いますか。



地域に外国人が増えていくことに関して、「あまり、よいことだとは思わない」（30.7％）が約3割で最も高くなっている。これに「よいことだとは思わない」（7.8％）を合わせた『よいことだとは思わない（計）』（38.5％）は、「よいことだと思う」（6.3％）と「どちらかといえばよいことだと思う」（24.3％）を合わせた『よいことだと思う（計）』（30.6％）を7.9ポイント上回っている。

【過去４年間との比較】

前年よりも『よいことだと思う（計）』が0.5ポイント増加した。また、『よいことだとは思わない（計）』は、0.7ポイント減少し、平成20年（38.4％）と同水準となっている。

【属性別比較】

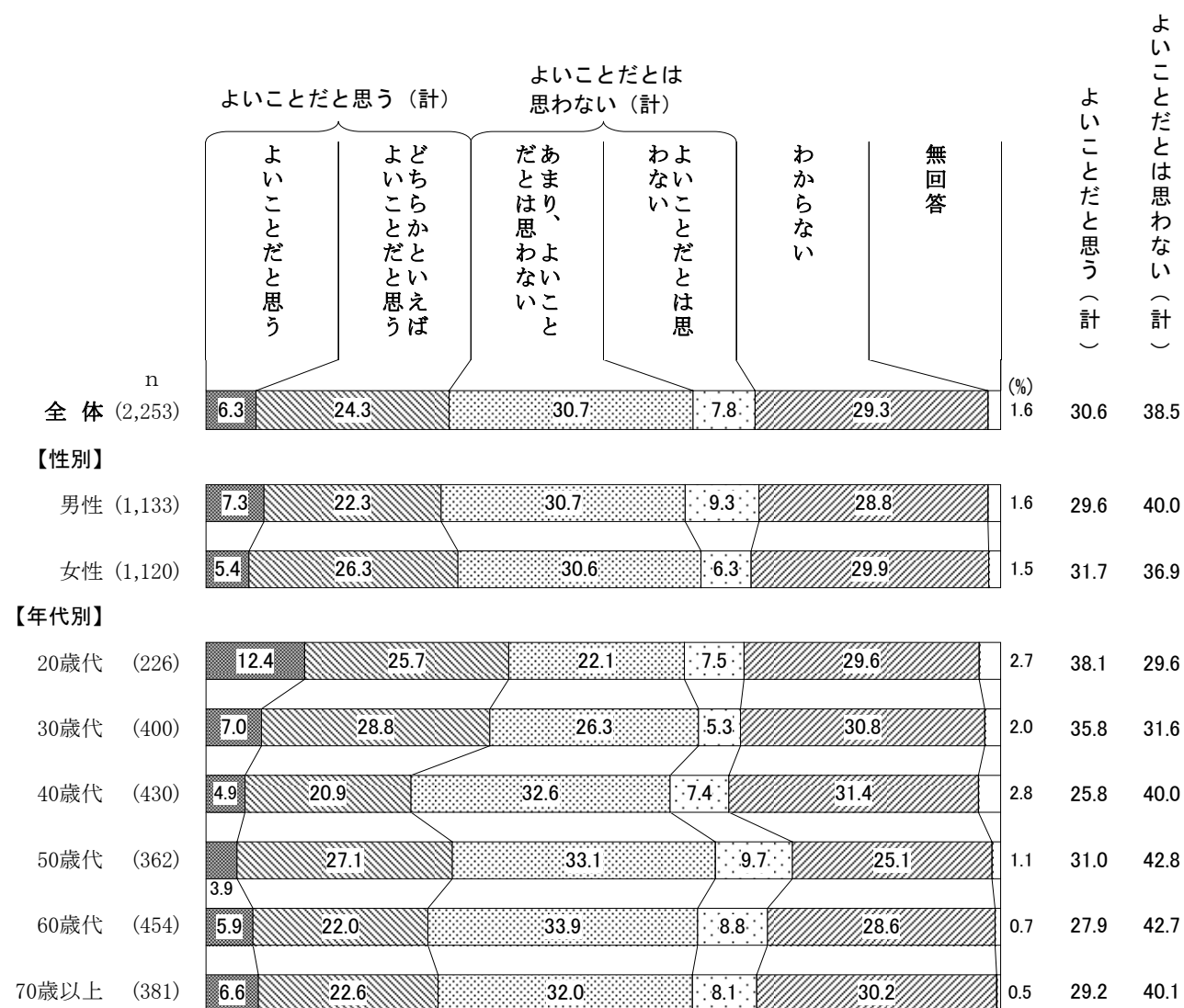
①性別

『よいことだと思う（計）』は女性（31.7%）のほうが男性（29.6%）よりも2.1ポイント高くなっている。

②年代別

『よいことだと思う（計）』は20歳代（38.1%）が4割弱と高くなっている。『よいことだとは思わない（計）』は50歳代（42.8%）と60歳代（42.7%）で4割強となっている。

○外国人増加に対する感想・性別／年代別



③地域別

『よいことだと思う（計）』は北部地域（38.2%）で高く、『よいことだとは思わない（計）』は南部地域（48.3%）で高くなっている。

④性・年代別

『よいことだと思う（計）』は男性では20歳代（37.2%）、女性では30歳代（39.5%）が高くなっている。また、『よいことだとは思わない（計）』は男性では40歳代以上、女性では50歳代（44.8%）が4割を超えて高くなっている。

⑤職業別

職業による違いはみられない。

⑥ライフステージ別

『よいことだと思う（計）』は独身期（39.3%）で高くなっている。『よいことだとは思わない（計）』は家族成長後期以降のステージとその他で4割を超えて高くなっている。

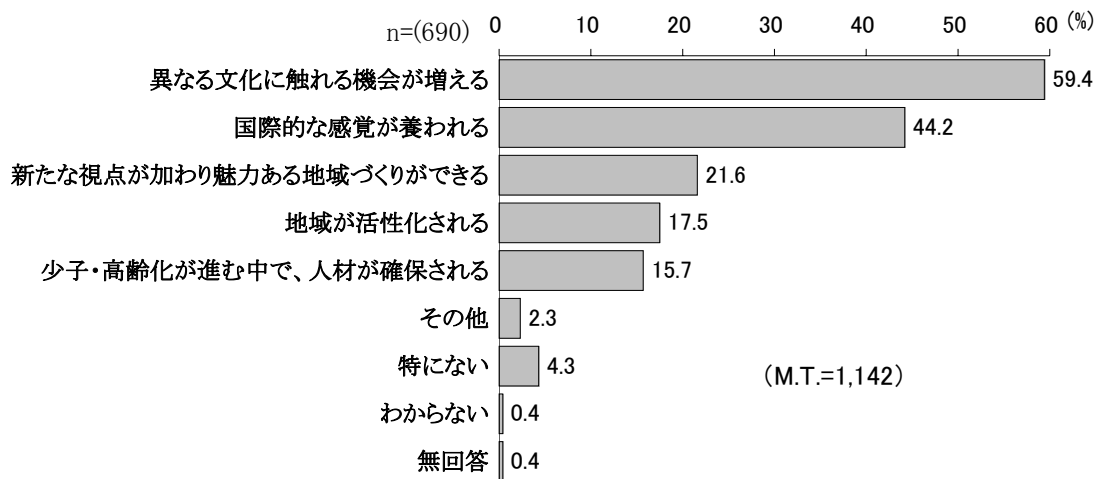
○外国人増加に対する感想・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	よいことだと思う	どちらかといえばよい	はあまり、よいことだとは思わない	よいことだとは思わない	わからない	無回答	よいことだと思う (計)	よいことだとは思わない (計)
全 体	2253	6.3	24.3	30.7	7.8	29.3	1.6	30.6	38.5
地域別									
南部地域	232	5.6	18.5	39.2	9.1	26.3	1.3	24.1	48.3
南西部地域	226	8.4	23.0	28.8	6.2	33.2	0.4	31.4	35.0
東部地域	321	4.4	27.1	29.6	10.9	27.4	0.6	31.5	40.5
さいたま地域	365	8.2	22.5	30.1	9.6	26.8	2.7	30.7	39.7
県央地域	181	5.5	22.7	33.1	7.7	30.9	-	28.2	40.8
川越比企地域	263	4.6	28.5	25.1	9.1	31.9	0.8	33.1	34.2
西部地域	247	6.1	27.1	30.0	4.0	30.0	2.8	33.2	34.0
利根地域	204	4.9	22.1	34.8	6.4	27.5	4.4	27.0	41.2
北部地域	173	11.0	27.2	27.2	4.6	29.5	0.6	38.2	31.8
秩父地域	41	2.4	19.5	29.3	4.9	43.9	-	21.9	34.2
性・年代別									
男性・20歳代	105	16.2	21.0	20.0	9.5	30.5	2.9	37.2	29.5
30歳代	200	8.0	24.0	24.5	9.0	33.5	1.0	32.0	33.5
40歳代	231	5.2	17.3	32.0	10.0	32.5	3.0	22.5	42.0
50歳代	181	5.5	28.2	30.9	9.9	23.2	2.2	33.7	40.8
60歳代	229	5.7	18.8	38.0	8.7	28.4	0.4	24.5	46.7
70歳以上	187	8.0	26.2	32.6	8.6	24.1	0.5	34.2	41.2
女性・20歳代	121	9.1	29.8	24.0	5.8	28.9	2.5	38.9	29.8
30歳代	200	6.0	33.5	28.0	1.5	28.0	3.0	39.5	29.5
40歳代	199	4.5	25.1	33.2	4.5	30.2	2.5	29.6	37.7
50歳代	181	2.2	26.0	35.4	9.4	27.1	-	28.2	44.8
60歳代	225	6.2	25.3	29.8	8.9	28.9	0.9	31.5	38.7
70歳以上	194	5.2	19.1	31.4	7.7	36.1	0.5	24.3	39.1
職業別									
自営業・家族従業（計）	253	7.1	25.3	28.9	9.9	26.9	2.0	32.4	38.8
雇用者（計）	1149	6.1	25.2	30.0	8.2	28.8	1.7	31.3	38.2
無職（計）	846	6.5	22.7	32.0	6.7	31.0	1.1	29.2	38.7
ライフステージ別									
独身期	280	11.1	28.2	23.9	8.9	26.1	1.8	39.3	32.8
家族形成期	214	5.1	28.5	23.4	4.7	35.5	2.8	33.6	28.1
家族成長前期	291	7.2	23.0	26.8	4.5	35.7	2.7	30.2	31.3
家族成長後期	182	5.5	23.6	35.2	8.2	27.5	-	29.1	43.4
家族成熟期	476	4.4	24.8	32.8	8.4	28.4	1.3	29.2	41.2
高齢期	501	6.6	22.6	33.9	8.8	27.5	0.6	29.2	42.7
その他	309	5.2	21.4	34.3	9.4	27.5	2.3	26.6	43.7

（７－１）外国人増加をよいことだと思う理由

◇「異なる文化に触れる機会が増える」が59.4%

（（１）で「よいことだと思う」「どちらかといえばよいことだと思う」のいずれかを答えた方に）
 （１）－１ その理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。



外国人増加をよいことだと思う理由は、「異なる文化に触れる機会が増える」（59.4％）が約６割で最も高く、次いで「国際的な感覚が養われる」（44.2％）、「新たな視点が加わり魅力ある地域づくりができる」（21.6％）、「地域が活性化される」（17.5％）、「少子・高齢化が進む中で、人材が確保される」（15.7％）の順となっている。

【属性別比較】

①地域別

「異なる文化に触れる機会が増える」は県央地域（74.5%）、西部地域（70.7%）で高くなっている。「国際的な感覚が養われる」は南部地域（53.6%）、県央地域（51.0%）で高く、「新たな視点が加わり魅力ある地域づくりができる」は西部地域（28.0%）で高くなっている。

②性別

「異なる文化に触れる機会が増える」は女性（63.6%）のほうが男性（55.1%）よりも8.5ポイント高く、「少子・高齢化が進む中で、人材が確保される」は男性（22.3%）のほうが女性（9.3%）よりも13.0ポイント高くなっている。

③年代別

「異なる文化に触れる機会が増える」は30歳代（73.4%）で高く、「国際的な感覚が養われる」は30歳代（50.3%）で高くなっている。「新たな視点が加わり魅力ある地域づくりができる」は20歳代（37.2%）で高くなっている。「地域が活性化される」と「少子・高齢化が進む中で、人材が確保される」はおおむね高年代ほど高くなっている。

④性・年代別

「異なる文化に触れる機会が増える」は男性の30歳代（70.3%）、女性の20歳代（74.5%）と30歳代（75.9%）で7割を超えて高くなっている。「国際的な感覚が養われる」は女性の30歳代（51.9%）で5割強、男性の40歳代（50.0%）で5割となっている。「新たな視点が加わり魅力ある地域づくりができる」は男女ともに20歳代と女性の40歳代で高くなっている。「少子・高齢化が進む中で、人材が確保される」は男性の60歳代（30.4%）で約3割と高くなっている。

⑤職業別

「異なる文化に触れる機会が増える」は雇用者（計）（64.1%）で高く、「国際的な感覚が養われる」は無職（計）（47.0%）で比較的高くなっている。

○外国人増加をよいことだと思う理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

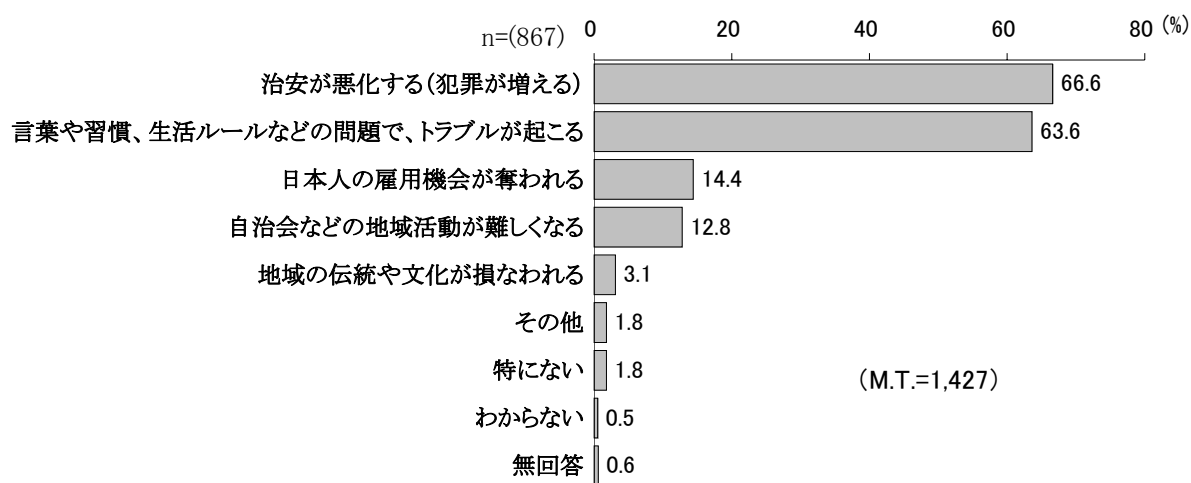
	調査数	異なる文化に触れる機会が増える	国際的な感覚が養われる	新たな地域づくりが加わりで魅	地域が活性化される	で、少子・高齢化が進む中、人材が確保される	その他	特にな	わからない	無回答
全 体	690	59.4	44.2	21.6	17.5	15.7	2.3	4.3	0.4	0.4
地域別										
南部地域	56	58.9	53.6	23.2	17.9	12.5	－	7.1	－	－
南西部地域	71	60.6	42.3	25.4	23.9	8.5	4.2	5.6	－	－
東部地域	101	51.5	34.7	21.8	14.9	17.8	4.0	6.9	1.0	2.0
さいたま地域	112	56.3	45.5	18.8	22.3	16.1	2.7	3.6	－	0.9
県央地域	51	74.5	51.0	17.6	11.8	23.5	3.9	2.0	－	－
川越比企地域	87	46.0	49.4	16.1	17.2	23.0	1.1	6.9	－	－
西部地域	82	70.7	48.8	28.0	11.0	8.5	1.2	1.2	1.2	－
利根地域	55	61.8	29.1	23.6	21.8	18.2	1.8	1.8	1.8	－
北部地域	66	65.2	48.5	22.7	15.2	13.6	1.5	－	－	－
秩父地域	9	66.7	22.2	11.1	22.2	11.1	－	22.2	－	－
性別										
男性	336	55.1	43.5	19.9	19.9	22.3	1.8	3.9	0.6	0.3
女性	354	63.6	44.9	23.2	15.3	9.3	2.8	4.8	0.3	0.6
年代別										
20歳代	86	66.3	41.9	37.2	14.0	8.1	1.2	2.3	－	－
30歳代	143	73.4	50.3	15.4	13.3	11.2	2.8	4.9	－	－
40歳代	111	64.0	46.8	27.0	13.5	11.7	－	5.4	0.9	－
50歳代	112	62.5	41.1	17.9	19.6	17.0	3.6	3.6	－	0.9
60歳代	127	47.2	39.4	23.6	19.7	22.8	3.1	3.1	0.8	0.8
70歳以上	111	42.3	44.1	13.5	25.2	21.6	2.7	6.3	0.9	0.9
性・年代別										
男性・20歳代	39	56.4	41.0	35.9	20.5	17.9	－	2.6	－	－
30歳代	64	70.3	48.4	12.5	18.8	17.2	3.1	3.1	－	－
40歳代	52	65.4	50.0	17.3	11.5	15.4	－	7.7	1.9	－
50歳代	61	60.7	39.3	18.0	23.0	24.6	1.6	3.3	－	－
60歳代	56	44.6	39.3	28.6	16.1	30.4	1.8	1.8	－	－
70歳以上	64	34.4	42.2	14.1	28.1	26.6	3.1	4.7	1.6	1.6
女性・20歳代	47	74.5	42.6	38.3	8.5	－	2.1	2.1	－	－
30歳代	79	75.9	51.9	17.7	8.9	6.3	2.5	6.3	－	－
40歳代	59	62.7	44.1	35.6	15.3	8.5	－	3.4	－	－
50歳代	51	64.7	43.1	17.6	15.7	7.8	5.9	3.9	－	2.0
60歳代	71	49.3	39.4	19.7	22.5	16.9	4.2	4.2	1.4	1.4
70歳以上	47	53.2	46.8	12.8	21.3	14.9	2.1	8.5	－	－
職業別										
自営業・家族従業（計）	82	61.0	40.2	22.0	20.7	20.7	2.4	2.4	－	－
雇用者（計）	359	64.1	42.9	22.8	16.2	14.5	1.9	4.7	0.8	0.3
無職（計）	247	52.2	47.0	19.8	18.6	15.8	2.8	4.5	－	0.8
ライフステージ別										
独身期	110	64.5	41.8	30.0	17.3	10.9	2.7	3.6	－	－
家族形成期	72	65.3	48.6	27.8	11.1	11.1	2.8	5.6	－	－
家族成長前期	88	73.9	50.0	13.6	12.5	15.9	－	3.4	－	－
家族成長後期	53	77.4	52.8	24.5	7.5	9.4	1.9	－	－	－
家族成熟期	139	55.4	39.6	21.6	22.3	18.0	2.2	4.3	－	0.7
高齢期	146	45.9	43.2	16.4	19.2	23.3	4.1	6.2	－	1.4
その他	82	51.2	41.5	20.7	24.4	12.2	1.2	4.9	3.7	－

(7-2) 外国人増加をよいことだと思わない理由

◇「治安が悪化する（犯罪が増える）」66.6%と「言葉や習慣、生活ルールなどの問題で、トラブルが起こる」63.6%が突出

((1) で「あまり、よいことだとは思わない」「よいことだとは思わない」のいずれかを答えた方に)

(1) - 2 その理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。



外国人増加をよいことだと思わない理由は、「治安が悪化する（犯罪が増える）」（66.6%）が6割半ば、「言葉や習慣、生活ルールなどの問題で、トラブルが起こる」（63.6%）が6割強と特に高く、次いで「日本人の雇用機会が奪われる」（14.4%）、「自治会などの地域活動が難しくなる」（12.8%）、「地域の伝統や文化が損なわれる」（3.1%）の順となっている。

【属性別比較】

①地域別

「治安が悪化する（犯罪が増える）」は南部地域（75.9%）、さいたま地域（71.0%）、秩父地域（71.4%）で比較的高く、「言葉や習慣、生活ルールなどの問題で、トラブルが起こる」は北部地域（50.9%）で低くなっている。「日本人の雇用機会が奪われる」は北部地域（23.6%）で比較的高く、「自治会などの地域活動が難しくなる」は県央地域（25.7%）、秩父地域（28.6%）で高くなっている。

②性別

「言葉や習慣、生活ルールなどの問題で、トラブルが起こる」は女性（65.5%）のほうが男性（61.8%）よりも3.7ポイント高くなっている。

③年代別

「治安が悪化する（犯罪が増える）」は20歳代から40歳代で7割を超えて高く、「言葉や習慣、生活ルールなどの問題で、トラブルが起こる」は40歳代（73.3%）と50歳代（72.3%）で高くなっている。「自治会などの地域活動が難しくなる」はおおむね高年代ほど高くなっている。

④性・年代別

「治安が悪化する（犯罪が増える）」は男性の20歳代から50歳代、女性の30歳代から40歳代で7割を超えて高くなっている。「日本人の雇用機会が奪われる」は男性30歳代（20.9%）で2割を超えて比較的高くなっている。「自治会などの地域活動が難しくなる」は男性70歳以上（32.5%）で特に高くなっている。

⑤職業別

「言葉や習慣、生活ルールなどの問題で、トラブルが起こる」は雇用者（計）（69.0%）で約7割と最も高くなっている。

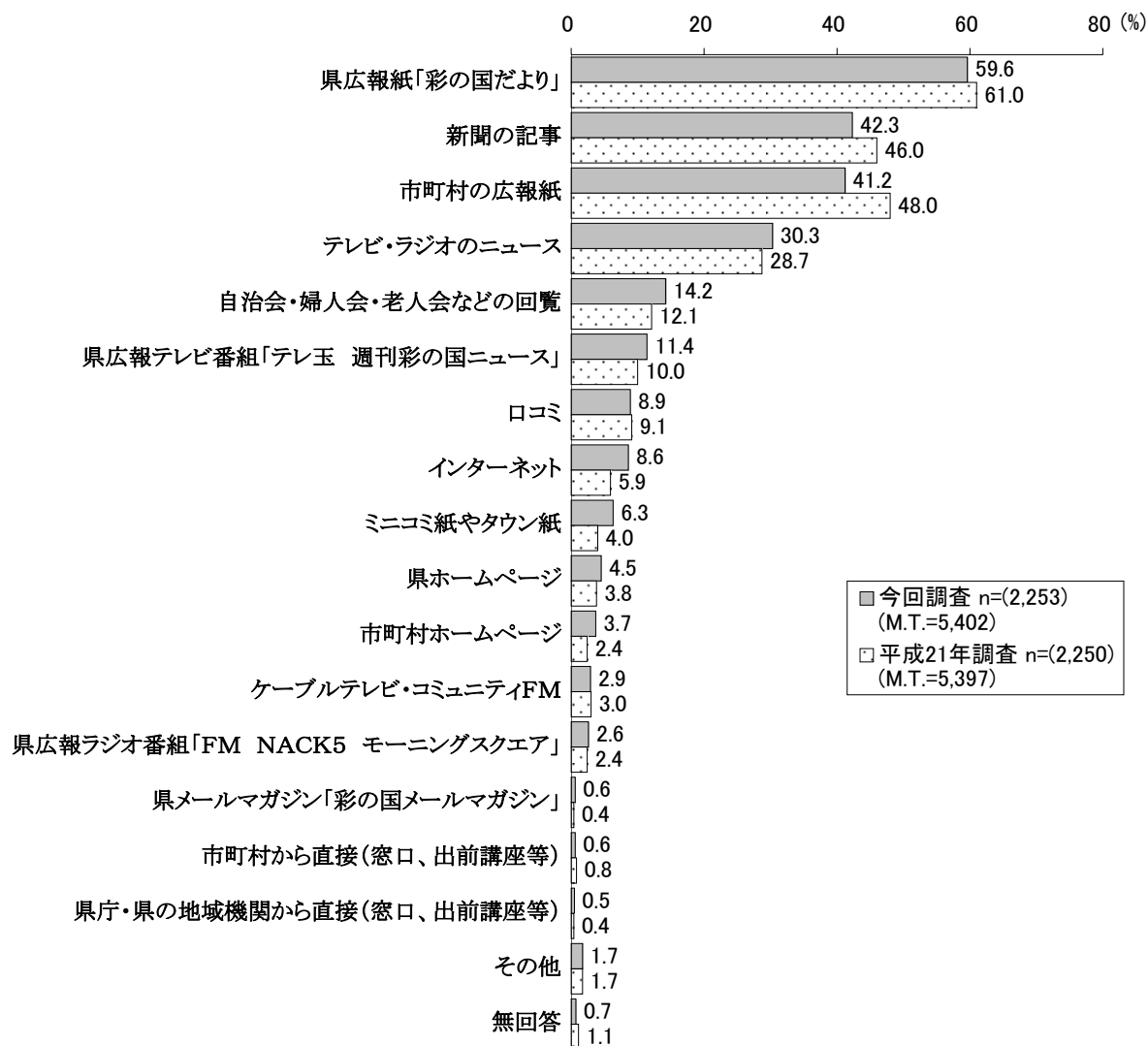
○外国人増加をよいことだと思わない理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	治安が悪化する（犯罪が増える）	言葉や習慣、生活スタイルなどの問題で、トラブルが起こる	日本人の雇用機会が奪われる	自治会などの地域活動が難しくなる	地域の伝統や文化が損なわれる	その他	特にない	わからない	無回答
全 体	867	66.6	63.6	14.4	12.8	3.1	1.8	1.8	0.5	0.6
地域別										
南部地域	112	75.9	57.1	18.8	5.4	1.8	3.6	-	-	0.9
南西部地域	79	67.1	67.1	12.7	10.1	2.5	2.5	3.8	1.3	-
東部地域	130	59.2	66.2	16.9	12.3	5.4	3.1	0.8	0.8	-
さいたま地域	145	71.0	66.2	13.1	9.7	3.4	-	1.4	0.7	0.7
県央地域	74	66.2	59.5	16.2	25.7	2.7	2.7	1.4	-	1.4
川越比企地域	90	68.9	63.3	11.1	14.4	2.2	-	3.3	1.1	-
西部地域	84	59.5	67.9	11.9	10.7	3.6	2.4	1.2	-	1.2
利根地域	84	63.1	67.9	9.5	15.5	3.6	1.2	2.4	-	1.2
北部地域	55	63.6	50.9	23.6	16.4	1.8	1.8	5.5	-	-
秩父地域	14	71.4	64.3	-	28.6	-	-	-	-	-
性別										
男性	453	66.7	61.8	15.5	14.1	2.9	2.2	1.5	0.2	0.2
女性	414	66.4	65.5	13.3	11.4	3.4	1.4	2.2	0.7	1.0
年代別										
20歳代	67	70.1	67.2	14.9	4.5	3.0	1.5	3.0	-	-
30歳代	126	73.0	65.9	12.7	7.1	2.4	3.2	0.8	0.8	1.6
40歳代	172	72.7	73.3	13.4	7.0	2.3	0.6	-	1.2	-
50歳代	155	60.0	72.3	12.3	16.8	0.6	3.2	1.9	-	0.6
60歳代	194	65.5	61.3	17.5	12.9	4.1	1.0	1.5	-	-
70歳以上	153	60.8	43.1	15.0	23.5	5.9	2.0	4.6	0.7	1.3
性・年代別										
男性・20歳代	31	71.0	61.3	16.1	3.2	3.2	3.2	3.2	-	-
30歳代	67	73.1	55.2	20.9	9.0	3.0	3.0	1.5	1.5	-
40歳代	97	71.1	72.2	13.4	7.2	2.1	-	-	-	-
50歳代	74	70.3	63.5	14.9	14.9	-	4.1	1.4	-	-
60歳代	107	64.5	63.6	15.9	13.1	3.7	0.9	0.9	-	-
70歳以上	77	53.2	50.6	13.0	32.5	5.2	3.9	3.9	-	1.3
女性・20歳代	36	69.4	72.2	13.9	5.6	2.8	-	2.8	-	-
30歳代	59	72.9	78.0	3.4	5.1	1.7	3.4	-	-	3.4
40歳代	75	74.7	74.7	13.3	6.7	2.7	1.3	-	2.7	-
50歳代	81	50.6	80.2	9.9	18.5	1.2	2.5	2.5	-	1.2
60歳代	87	66.7	58.6	19.5	12.6	4.6	1.1	2.3	-	-
70歳以上	76	68.4	35.5	17.1	14.5	6.6	-	5.3	1.3	1.3
職業別										
自営業・家族従業（計）	98	64.3	63.3	17.3	8.2	7.1	4.1	1.0	-	-
雇用者（計）	439	67.4	69.0	13.9	9.8	1.6	1.8	1.1	0.7	0.5
無職（計）	328	66.5	56.4	14.3	18.0	4.0	1.2	2.7	0.3	0.9
ライフステージ別										
独身期	92	71.7	64.1	17.4	4.3	4.3	3.3	2.2	-	-
家族形成期	60	70.0	63.3	11.7	3.3	1.7	-	1.7	1.7	1.7
家族成長前期	91	73.6	76.9	9.9	12.1	2.2	2.2	-	-	1.1
家族成長後期	79	68.4	65.8	15.2	7.6	1.3	1.3	-	1.3	1.3
家族成熟期	196	66.3	64.8	16.3	14.3	2.6	2.6	3.1	-	-
高齢期	214	64.0	55.1	15.4	21.0	5.6	0.9	2.3	0.5	-
その他	135	60.0	64.4	11.9	11.1	1.5	2.2	1.5	0.7	1.5

（８）埼玉県に関する情報の入手先

◇「県広報紙「彩の国だより」」が59.6%

問９ あなたは、埼玉県に関する情報を主にどこから入手していますか。次の中から３つまで選んでください。



埼玉県に関する情報の入手先は、「県広報紙「彩の国だより」」(59.6%) が約6割で最も高く、次いで「新聞の記事」(42.3%)、「市町村の広報紙」(41.2%)、「テレビ・ラジオのニュース」(30.3%)、「自治会・婦人会・老人会などの回覧」(14.2%)、「県広報テレビ番組「テレ玉週刊彩の国ニュース」」(11.4%)、「口コミ」(8.9%)、「インターネット」(8.6%)、「ミニコミ紙やタウン紙」(6.3%) の順となっている。

【前年（平成21年）調査との比較】

「インターネット」が2.7ポイント、「自治会・婦人会・老人会などの回覧」が2.1ポイント増加し、「市町村の広報紙」が6.8ポイント、「新聞の記事」が3.7ポイント減少している。

【属性別比較】

①地域別

「県広報紙「彩の国だより」」はさいたま地域（69.3%）、北部地域（67.6%）で高くなっている。「市町村の広報紙」は県央地域（50.8%）と北部地域（53.8%）で5割を超えて高く、東部地域（32.4%）で3割強と低くなっている。

②性別

「県広報紙「彩の国だより」」は女性（64.0%）のほうが男性（55.3%）よりも8.7ポイント、「市町村の広報紙」は女性（46.2%）のほうが男性（36.3%）よりも9.9ポイント高くなっている。逆に「新聞の記事」で3.4ポイント、「テレビ・ラジオのニュース」で3.7ポイント、「インターネット」で6.3ポイント、男性のほうが女性よりも高くなっている。

③年代別

「県広報紙「彩の国だより」」、「市町村の広報紙」、「新聞の記事」は40歳代以上の割合が高くなっている。「口コミ」と「インターネット」は年齢が低くなるほど割合が高くなっている。

④性・年代別

「県広報紙「彩の国だより」」は男性の20歳代（20.0%）で特に低くなっている。「市町村の広報紙」は男性ではおおむね年齢が高くなるほど割合が高くなり、女性では20歳代（28.9%）のみ3割弱と特に低く、30歳代以上では4割を超えている。男女ともおおむね年齢が低くなるほど「口コミ」と「インターネット」の割合が高くなっている。

⑤職業別

「県広報紙「彩の国だより」」と「市町村の広報紙」は無職（計）で高く、「口コミ」と「インターネット」は雇用者（計）で比較的高くなっている。

⑥ライフステージ別

「県広報紙「彩の国だより」」は家族成長後期から高齢期で7割前後と高くなっている。一方、「口コミ」と「インターネット」はライフステージが進むにつれ割合が低くなっている。

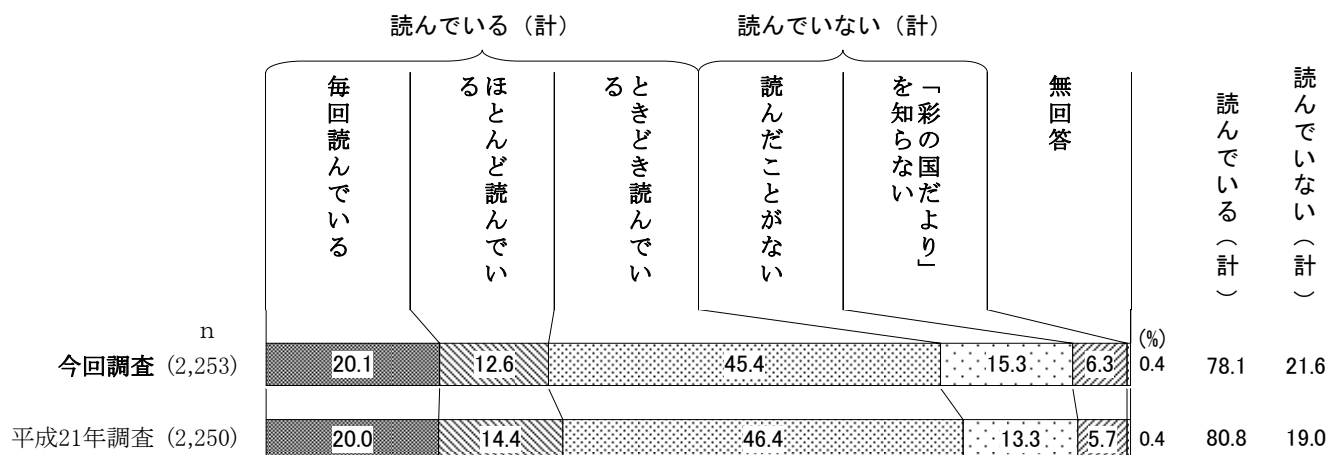
○埼玉県に関する情報の入手先・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

	調査数	県広報紙「彩の国だより」	新聞の記事	市町村の広報紙	テレビ・ラジオのニュース	自治会・婦人会・老人会などの回覧	県広報テレビ番組「テレビ玉 週刊彩の国ニュース」	ロコミ	インターネット	ミニコミ紙やタウン紙	県ホームページ	市町村ホームページ	ケーブルテレビ・コミュニティFM	県広報ラジオ番組「FM NACK5 モーニングスクエア」	県メールマガジン「彩の国メールマガジン」	市町村から直接（窓口、出前講座等）	県庁・県の地域機関から直接（窓口、出前講座等）	その他	無回答
全 体	2253	59.6	42.3	41.2	30.3	14.2	11.4	8.9	8.6	6.3	4.5	3.7	2.9	2.6	0.6	0.6	0.5	1.7	0.7
地域別																			
南部地域	232	49.1	36.6	39.2	31.9	9.1	15.1	12.1	11.2	5.2	3.9	3.4	8.2	1.7	0.9	0.4	0.4	2.2	1.3
南西部地域	226	58.0	38.9	40.3	33.2	19.0	9.7	13.3	13.3	8.8	4.0	3.1	2.7	2.7	0.4	-	0.9	1.3	0.4
東部地域	321	57.0	39.9	32.4	35.5	10.6	10.9	8.1	8.7	5.3	4.7	2.5	2.5	0.6	0.3	0.9	0.6	2.2	0.3
さいたま地域	365	69.3	39.2	36.7	24.1	17.5	11.0	7.9	8.8	10.4	6.6	4.7	1.6	3.0	0.5	0.5	0.5	1.6	0.3
県央地域	181	63.0	45.9	50.8	27.1	13.3	11.6	8.8	8.8	8.8	3.3	3.3	1.1	2.8	0.6	1.1	-	1.7	-
川越比企地域	263	61.6	51.3	45.2	29.3	12.9	11.8	6.5	7.2	0.8	5.7	3.4	0.8	3.4	0.4	1.1	0.8	1.1	-
西部地域	247	52.2	42.1	38.5	26.3	12.1	8.9	7.7	7.7	8.5	4.9	5.3	7.3	3.2	0.4	-	0.4	3.6	2.8
利根地域	204	57.8	46.1	43.6	36.8	12.3	11.8	11.8	5.9	4.4	2.9	3.4	1.0	2.9	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0
北部地域	173	67.6	41.0	53.8	30.1	23.1	12.7	5.2	6.4	2.9	2.3	4.0	0.6	3.5	1.7	0.6	0.6	0.6	-
秩父地域	41	53.7	56.1	48.8	31.7	12.2	9.8	7.3	-	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	-	-	-	-
性別																			
男性	1133	55.3	44.0	36.3	32.1	10.7	12.9	8.5	11.7	4.7	6.4	3.1	2.6	3.2	0.7	0.5	0.5	2.2	1.0
女性	1120	64.0	40.6	46.2	28.4	17.8	9.8	9.4	5.4	7.9	2.5	4.3	3.1	2.0	0.5	0.6	0.5	1.2	0.4
年代別																			
20歳代	226	34.5	30.1	23.0	33.2	7.5	6.6	22.1	19.5	9.3	5.3	5.3	4.4	1.8	0.4	0.4	-	3.1	0.9
30歳代	400	47.8	33.3	36.3	30.5	11.0	6.0	14.3	17.5	9.5	5.8	6.3	3.3	4.3	0.5	0.5	0.5	2.3	0.8
40歳代	430	59.1	40.0	43.0	27.4	12.3	8.8	7.9	10.2	8.1	7.7	4.9	3.5	3.3	0.5	0.5	0.5	2.1	0.5
50歳代	362	64.1	47.8	43.4	32.3	14.6	13.3	6.9	5.2	5.5	5.5	3.0	2.8	2.2	1.4	1.1	0.6	0.6	0.8
60歳代	454	74.7	51.5	48.0	29.5	15.4	14.1	4.6	2.2	4.4	2.4	2.2	2.2	1.5	0.7	0.2	0.9	1.1	0.7
70歳以上	381	65.4	45.7	44.9	30.4	21.8	17.6	3.7	1.6	1.8	0.5	1.0	1.8	2.1	0.3	0.8	0.5	1.6	0.5
性・年代別																			
男性・20歳代	105	20.0	30.5	16.2	41.9	4.8	9.5	21.0	24.8	6.7	7.6	1.9	5.7	2.9	-	1.0	-	4.8	1.9
30歳代	200	43.0	36.0	26.5	33.5	9.0	9.0	12.0	25.0	7.5	7.5	4.5	4.0	6.5	-	0.5	0.5	3.0	1.0
40歳代	231	52.4	40.3	32.9	32.0	9.5	9.1	9.1	12.6	7.8	9.1	3.5	2.6	3.0	0.9	0.9	0.4	2.6	0.9
50歳代	181	59.1	50.8	37.6	34.3	13.3	11.0	7.7	8.3	2.8	9.4	4.4	1.7	2.8	1.1	0.6	1.1	0.6	1.1
60歳代	229	72.5	50.7	48.0	28.4	10.9	15.3	3.9	3.9	2.6	4.4	2.2	1.7	2.2	1.3	-	0.4	1.3	1.3
70歳以上	187	66.8	50.3	46.5	27.8	14.4	22.5	3.2	1.6	1.1	1.1	1.6	1.6	1.6	0.5	0.5	0.5	2.1	-
女性・20歳代	121	47.1	29.8	28.9	25.6	9.9	4.1	23.1	14.9	11.6	3.3	8.3	3.3	0.8	0.8	-	-	1.7	-
30歳代	200	52.5	30.5	46.0	27.5	13.0	3.0	16.5	10.0	11.5	4.0	8.0	2.5	2.0	1.0	0.5	0.5	1.5	0.5
40歳代	199	66.8	39.7	54.8	22.1	15.6	8.5	6.5	7.5	8.5	6.0	6.5	4.5	3.5	-	-	0.5	1.5	-
50歳代	181	69.1	44.8	49.2	30.4	16.0	15.5	6.1	2.2	8.3	1.7	1.7	3.9	1.7	1.7	1.7	-	0.6	0.6
60歳代	225	76.9	52.4	48.0	30.7	20.0	12.9	5.3	0.4	6.2	0.4	2.2	2.7	0.9	-	0.4	1.3	0.9	-
70歳以上	194	63.9	41.2	43.3	33.0	28.9	12.9	4.1	1.5	2.6	-	0.5	2.1	2.6	-	1.0	0.5	1.0	1.0
職業別																			
自営業・家族従業（計）	253	56.1	43.5	38.3	33.6	15.8	17.8	7.9	6.7	3.2	4.0	2.0	2.4	2.4	2.8	2.0	1.6	1.6	1.2
雇用者（計）	1149	54.9	40.4	37.8	31.4	11.3	8.7	11.0	12.0	7.8	6.6	5.2	3.0	3.0	0.5	0.3	0.3	1.7	0.6
無職（計）	846	66.9	44.4	46.8	27.4	17.7	13.1	6.5	4.5	5.1	1.8	2.1	2.8	2.0	0.1	0.5	0.6	1.8	0.6
ライフステージ別																			
独身期	280	32.9	36.8	23.2	36.4	6.1	8.6	17.5	23.6	7.5	6.1	3.2	4.3	3.9	0.4	0.4	0.4	3.6	1.4
家族形成期	214	51.9	23.8	39.7	25.7	10.7	3.3	15.0	16.8	9.3	4.7	9.8	4.2	3.7	-	0.5	0.5	1.4	0.5
家族成長前期	291	56.4	37.5	44.0	27.1	13.7	5.8	13.4	12.7	11.0	6.9	5.2	1.0	1.7	1.0	0.3	0.3	1.4	0.3
家族成長後期	182	68.7	44.5	46.2	25.3	13.2	7.7	7.1	5.5	7.1	7.7	2.2	2.7	4.4	0.5	0.5	0.5	1.6	-
家族成熟期	476	69.1	52.3	46.0	30.9	15.8	13.0	4.8	3.2	4.8	2.7	3.4	2.7	1.5	1.7	0.8	0.2	0.8	0.4
高齢期	501	72.1	46.3	48.1	29.5	19.2	17.6	4.2	1.6	4.0	1.0	1.2	2.0	2.2	-	0.6	1.2	1.4	0.4
その他	309	52.1	41.7	34.3	34.0	14.6	14.2	7.8	6.8	3.9	7.1	3.9	4.2	2.6	0.3	0.6	0.3	2.3	1.6

(9) 県広報紙「彩の国だより」の閲読状況

◇『読んでいる（計）』が78.1%

問10 県広報紙「彩の国だより」を読んだことがありますか。



県広報紙「彩の国だより」の閲読状況は、「ときどき読んでいる」（45.4％）が4割半ばで最も高く、これに「毎回読んでいる」（20.1％）、「ほとんど読んでいる」（12.6％）を合わせると、『読んでいる（計）』は78.1％を占めている。一方、「読んだことがない」（15.3％）と「「彩の国だより」を知らない」（6.3％）を合わせた『読んでいない（計）』は21.6％となっている。

【前年（平成21年）調査との比較】

前年よりも『読んでいる（計）』が2.7ポイント減少した。また、『読んでいない（計）』は2.6ポイント増加している。

【属性別比較】

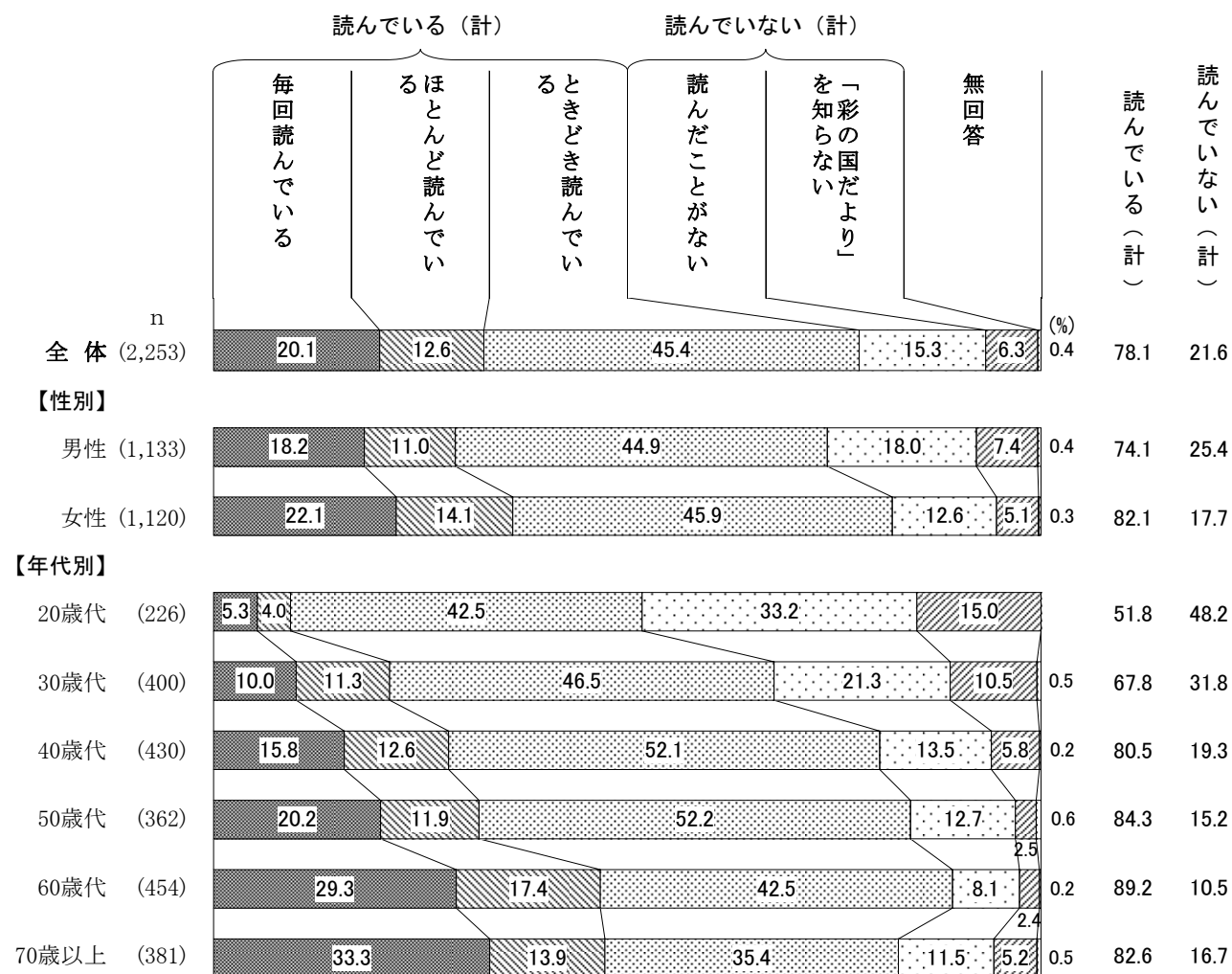
①性別

『読んでいる（計）』は女性（82.1％）のほうが男性（74.1％）よりも8.0ポイント高くなっている。

②年代別

「毎回読んでいる」は年齢が高くなるほど割合が高く、『読んでいる（計）』もおおむね年齢が高くなるほど割合が高くなっている。

○県広報紙「彩の国だより」の読読状況・性別／年代別



③地域別

『読んでいる（計）』はさいたま地域（86.6%）で最も高く、南部地域（63.7%）で低くなっている。

④性・年代別

『読んでいる（計）』は男女とも20歳代と30歳代で低くなっている。

⑤職業別

『読んでいる（計）』は無職（計）（82.2%）でほかの職業に比べ比較的高くなっている。

⑥ライフステージ別

『読んでいる（計）』は独身期（50.7%）、家族形成期（69.1%）で低くなっている。

○県広報紙「彩の国だより」の閲読状況・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	毎回読んでいる	ほとんど読んでいる	ときどき読んでいる	読んだことがない	「彩の国だより」を知らない	無回答	読んでいる（計）	読んでいない（計）
全 体	2253	20.1	12.6	45.4	15.3	6.3	0.4	78.1	21.6
地域別									
南部地域	232	18.5	8.6	36.6	25.0	10.3	0.9	63.7	35.3
南西部地域	226	14.2	11.9	45.6	18.6	9.3	0.4	71.7	27.9
東部地域	321	16.5	12.5	47.7	17.1	5.9	0.3	76.7	23.0
さいたま地域	365	24.1	13.7	48.8	9.3	3.8	0.3	86.6	13.1
県央地域	181	16.6	16.0	47.5	15.5	4.4	—	80.1	19.9
川越比企地域	263	22.8	10.3	50.2	11.8	4.9	—	83.3	16.7
西部地域	247	16.2	13.0	44.1	19.4	7.3	—	73.3	26.7
利根地域	204	19.6	14.2	47.1	13.2	5.4	0.5	80.9	18.6
北部地域	173	31.2	14.5	36.4	9.8	6.9	1.2	82.1	16.7
秩父地域	41	31.7	9.8	43.9	12.2	2.4	—	85.4	14.6
性・年代別									
男性・20歳代	105	2.9	1.9	38.1	41.0	16.2	—	42.9	57.2
30歳代	200	7.5	9.0	46.0	23.5	13.5	0.5	62.5	37.0
40歳代	231	11.3	10.0	53.7	18.2	6.5	0.4	75.0	24.7
50歳代	181	20.4	7.7	50.3	17.1	3.3	1.1	78.4	20.4
60歳代	229	24.5	16.2	45.0	10.5	3.5	0.4	85.7	14.0
70歳以上	187	36.9	16.6	31.6	9.1	5.9	—	85.1	15.0
女性・20歳代	121	7.4	5.8	46.3	26.4	14.0	—	59.5	40.4
30歳代	200	12.5	13.5	47.0	19.0	7.5	0.5	73.0	26.5
40歳代	199	21.1	15.6	50.3	8.0	5.0	—	87.0	13.0
50歳代	181	19.9	16.0	54.1	8.3	1.7	—	90.0	10.0
60歳代	225	34.2	18.7	40.0	5.8	1.3	—	92.9	7.1
70歳以上	194	29.9	11.3	39.2	13.9	4.6	1.0	80.4	18.5
職業別									
自営業・家族従業（計）	253	15.4	12.6	49.0	18.6	4.0	0.4	77.0	22.6
雇用者（計）	1149	15.9	10.1	49.1	17.1	7.6	0.3	75.1	24.7
無職（計）	846	27.3	15.8	39.1	12.1	5.2	0.5	82.2	17.3
ライフステージ別									
独身期	280	4.3	3.2	43.2	33.6	15.4	0.4	50.7	49.0
家族形成期	214	12.1	14.0	43.0	21.0	9.3	0.5	69.1	30.3
家族成長前期	291	15.1	9.6	52.2	13.4	9.6	—	76.9	23.0
家族成長後期	182	17.0	16.5	54.9	8.8	2.7	—	88.4	11.5
家族成熟期	476	25.0	16.4	44.3	11.8	2.1	0.4	85.7	13.9
高齢期	501	33.1	15.8	38.5	9.0	3.4	0.2	87.4	12.4
その他	309	17.8	9.4	49.8	16.2	5.8	1.0	77.0	22.0

課 題 調 査

3 消費生活について
(問11～問17)

4 川の再生について
(問18～問30)

○ 県政世論調査では、毎年、県政の重要課題を特定調査テーマに設定し、課題調査を実施しています。

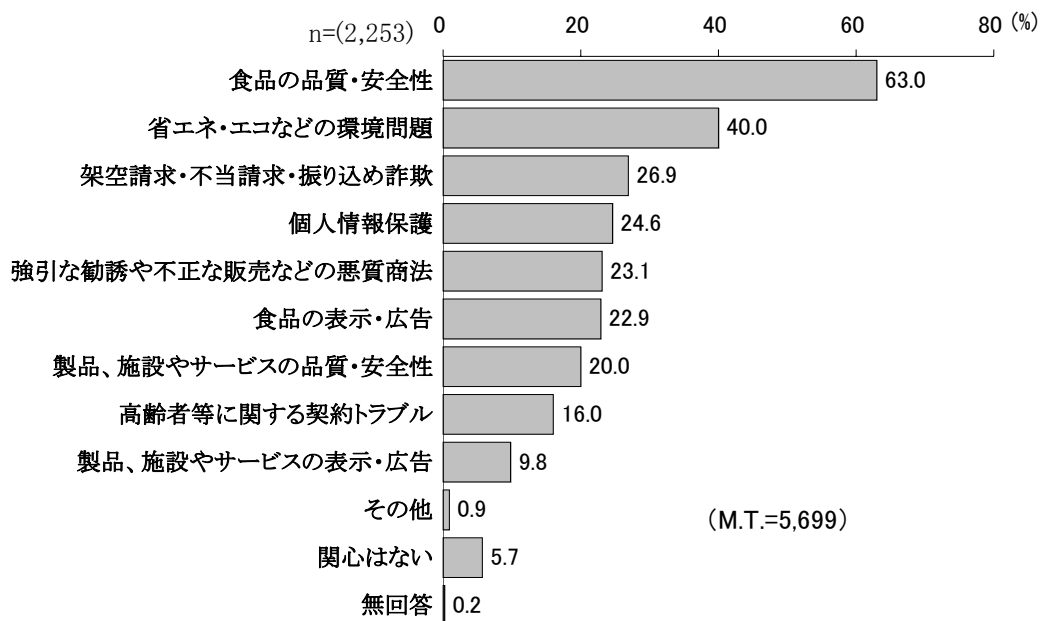
今年度は、上記2テーマを取り上げました。

3 消費生活について

(1) 消費者問題への関心

◇「食品の品質・安全性」が63.0%

問11 下記の消費者問題のうち、あなたが最近関心のあるものは何ですか。次の中から3つまで選んでください。



最近関心のある消費者問題は、「食品の品質・安全性」(63.0%)が6割強と最も高く、次いで「省エネ・エコなどの環境問題」(40.0%)、「架空請求・不当請求・振り込め詐欺」(26.9%)、「個人情報保護」(24.6%)、「強引な勧誘や不正な販売などの悪質商法」(23.1%)の順となっている。

【属性別比較】

①地域別

「食品の品質・安全性」はさいたま地域（67.9%）、川越比企地域（67.3%）、北部地域（68.2%）、秩父地域（68.3%）で比較的高くなっている。「省エネ・エコなどの環境問題」は川越比企地域（46.0%）と西部地域（46.2%）で高くなっている。「架空請求・不当請求・振り込め詐欺」は県央地域（33.1%）と秩父地域（36.6%）で3割を超えて高くなっている。

②市郡規模別

「食品の品質・安全性」は郡部（町村）（65.3%）で6割半ばと高くなっている。「架空請求・不当請求・振り込め詐欺」は人口10万未満の市（31.1%）で3割を超えて高くなっている。

③性別

「食品の品質・安全性」は女性（68.2%）のほうが男性（57.8%）よりも10.4ポイント高くなっている。

④年代別

「食品の品質・安全性」は40歳代以上の割合が高くなっている。「省エネ・エコなどの環境問題」は20歳代（46.5%）と30歳代（48.3%）で割合が高くなっている。「個人情報保護」は20歳代（33.2%）で3割を超えて高くなっている。

⑤性・年代別

「食品の品質・安全性」は女性の40歳代から60歳代で7割を超えて高くなっている。「省エネ・エコなどの環境問題」は女性30歳代（53.0%）で5割を超えて高くなっている。「架空請求・不当請求・振り込め詐欺」は男性の20歳代から50歳代で3割を超えて高くなっている。「個人情報保護」は男性20歳代（37.1%）で最も高くなっている。

⑥職業別

「食品の品質・安全性」は無職（計）（66.9%）で高く、「省エネ・エコなどの環境問題」は雇用者（計）（47.1%）で5割弱と高くなっている。

⑦住居形態別

「食品の品質・安全性」は持家（計）（64.4%）で持家以外（計）（58.0%）より6.4ポイント、「強引な勧誘や不正な販売などの悪質商法」は持家（計）（24.3%）で持家以外（計）（19.1%）より5.2ポイント高くなっている。

⑧ライフステージ別

「食品の品質・安全性」は高齢期（69.1%）で約7割と最も高くなっている。「省エネ・エコなどの環境問題」は独身期から家族成長後期で高くなっている。「架空請求・不当請求・振り込め詐欺」は独身期（31.1%）と家族成長後期（33.0%）で、「個人情報保護」は独身期（32.1%）でともに3割強と高くなっている。

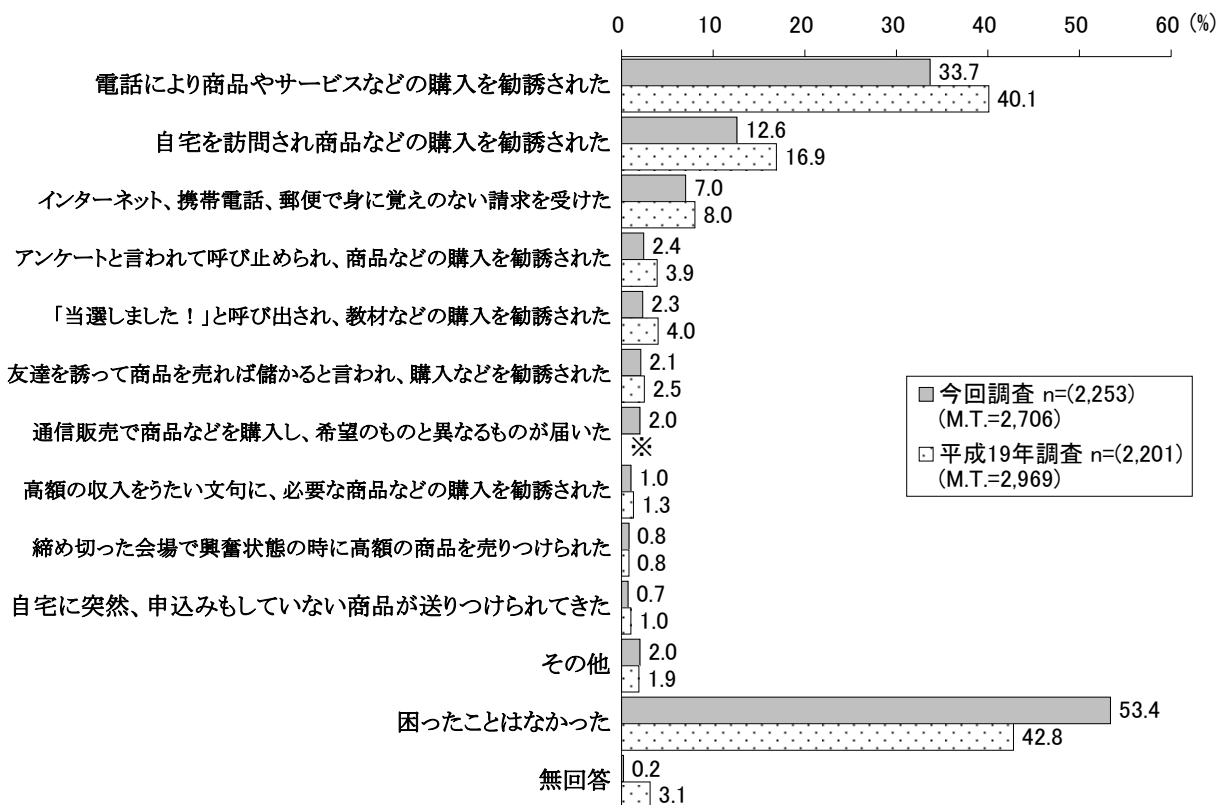
○消費者問題への関心・地域別／市郡規模別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／住居形態別／ライフステージ別

	調査数	食品の品質・安全性	環境問題・エコなどの	省エネ・エコなどの	求・振・求・求め・不当請求・振・求・求め・不当請求	個人情報保護	販売などの勧誘や不正な悪質商法	食品の表示・広告	製品の品質・安全性	製品の施設やサービス	高年齢者等に関する契約	製品の表示・広告	その他	関心はない	無回答
全 体	2253	63.0	40.0	26.9	24.6	23.1	22.9	20.0	16.0	9.8	0.9	5.7	0.2		
地域別															
南部地域	232	59.5	32.8	25.0	26.3	23.7	24.6	17.2	17.7	12.1	0.4	7.8	0.4		
南西部地域	226	66.4	41.2	29.2	26.5	26.1	28.3	18.1	15.9	11.5	1.3	1.8	-		
東部地域	321	62.0	34.0	24.6	23.1	18.7	21.8	18.4	14.0	9.3	0.9	9.3	0.6		
さいたま地域	365	67.9	38.4	25.8	28.2	21.6	25.2	19.7	16.4	10.7	0.5	4.4	-		
県央地域	181	59.1	43.6	33.1	27.1	26.0	21.0	26.0	13.3	13.3	0.6	2.8	-		
川越比企地域	263	67.3	46.0	24.3	20.2	26.6	18.6	17.5	21.7	8.7	1.9	3.4	-		
西部地域	247	53.8	46.2	26.3	23.1	19.8	20.2	20.6	10.9	7.7	1.6	8.5	0.4		
利根地域	204	59.3	43.1	28.4	22.5	19.6	22.5	23.0	17.6	9.3	0.5	8.3	-		
北部地域	173	68.2	40.5	27.7	24.9	30.6	22.5	21.4	16.8	5.8	0.6	4.0	-		
秩父地域	41	68.3	26.8	36.6	19.5	22.0	26.8	26.8	14.6	4.9	-	2.4	-		
市郡規模別															
人口10万以上の市	1648	63.4	38.9	25.9	25.4	23.2	23.1	20.0	16.3	10.3	0.8	5.8	0.1		
人口10万未満の市	412	60.2	42.2	31.1	22.3	23.3	23.8	19.2	15.5	9.0	1.5	6.1	0.7		
郡部（町村）	193	65.3	44.6	26.9	22.8	22.3	19.2	22.3	14.5	7.3	0.5	3.6	-		
性別															
男性	1133	57.8	38.2	28.7	24.6	23.4	22.0	19.4	15.7	9.7	1.0	6.9	0.2		
女性	1120	68.2	41.8	25.2	24.6	22.9	23.8	20.6	16.3	9.8	0.9	4.5	0.2		
年代別															
20歳代	226	42.0	46.5	29.2	33.2	24.3	12.4	20.4	11.1	11.1	2.2	7.5	-		
30歳代	400	59.3	48.3	26.3	26.5	20.3	19.0	23.8	8.0	12.8	1.0	5.0	-		
40歳代	430	64.7	44.0	29.5	24.2	26.5	19.8	20.5	10.0	10.5	0.2	4.2	-		
50歳代	362	66.0	44.8	27.9	27.1	22.4	22.9	22.1	16.3	10.8	0.8	2.5	-		
60歳代	454	71.1	37.9	25.1	22.5	23.8	27.5	17.0	22.7	7.5	1.3	4.8	0.7		
70歳以上	381	64.8	21.0	24.7	18.1	21.5	31.2	17.1	26.0	6.8	0.5	11.0	0.3		
性・年代別															
男性・20歳代	105	34.3	45.7	31.4	37.1	23.8	8.6	20.0	11.4	8.6	1.0	12.4	-		
30歳代	200	52.5	43.5	30.5	28.0	19.0	17.5	22.5	9.5	14.5	1.5	7.0	-		
40歳代	231	58.4	42.0	31.6	22.5	28.1	15.2	18.6	10.4	8.7	0.4	5.6	-		
50歳代	181	61.9	43.1	32.6	23.8	24.3	20.4	22.1	15.5	9.4	1.1	2.8	-		
60歳代	229	63.8	36.7	25.3	24.0	21.8	29.7	17.0	19.7	8.7	0.9	7.4	0.4		
70歳以上	187	64.7	20.9	21.9	18.2	23.0	34.8	17.1	26.7	8.0	1.1	8.6	0.5		
女性・20歳代	121	48.8	47.1	27.3	29.8	24.8	15.7	20.7	10.7	13.2	3.3	3.3	-		
30歳代	200	66.0	53.0	22.0	25.0	21.5	20.5	25.0	6.5	11.0	0.5	3.0	-		
40歳代	199	71.9	46.2	27.1	26.1	24.6	25.1	22.6	9.5	12.6	-	2.5	-		
50歳代	181	70.2	46.4	23.2	30.4	20.4	25.4	22.1	17.1	12.2	0.6	2.2	-		
60歳代	225	78.7	39.1	24.9	20.9	25.8	25.3	16.9	25.8	6.2	1.8	2.2	0.9		
70歳以上	194	64.9	21.1	27.3	18.0	20.1	27.8	17.0	25.3	5.7	-	13.4	-		
職業別															
自営業・家族従業（計）	253	62.5	31.6	20.2	28.1	25.3	25.3	19.0	19.8	6.7	0.4	7.1	-		
雇用者（計）	1149	60.3	47.1	29.1	24.7	23.5	19.1	20.7	13.1	11.1	1.1	4.5	0.2		
無職（計）	846	66.9	32.6	26.0	23.2	21.9	27.3	19.5	19.0	8.9	0.8	6.9	0.2		
住居形態別															
持家（計）	1758	64.4	40.5	27.0	23.9	24.3	23.0	19.9	17.2	9.4	0.8	5.3	0.2		
持家（一戸建）	1539	64.5	40.0	27.3	23.1	24.2	23.1	19.7	17.3	9.2	0.8	5.6	0.2		
持家（集合住宅）	219	63.5	43.8	25.1	29.2	24.7	22.4	21.5	16.4	10.5	0.5	3.7	-		
持家以外（計）	493	58.0	38.1	26.8	27.2	19.1	22.5	20.5	11.8	11.2	1.4	6.7	0.2		
民間の借家（賃貸マンションなど）	347	59.1	38.9	26.2	26.8	19.0	23.1	19.6	13.3	10.4	1.7	5.5	0.3		
UR都市機構（旧公団）・公社など	101	59.4	27.7	24.8	26.7	19.8	25.7	18.8	8.9	10.9	1.0	11.9	-		
社宅・公務員住宅など給与住宅	25	60.0	60.0	24.0	28.0	8.0	12.0	44.0	8.0	24.0	-	4.0	-		
住み込み、寮、寄宿舎など	13	38.5	61.5	61.5	30.8	15.4	7.7	15.4	7.7	7.7	-	-	-		
その他	7	14.3	28.6	28.6	42.9	57.1	14.3	14.3	-	14.3	-	14.3	-		
ライフステージ別															
独身期	280	43.6	47.5	31.1	32.1	24.6	12.1	16.8	13.6	10.0	1.8	8.6	-		
家族形成期	214	65.4	47.7	22.0	24.3	16.8	22.4	31.8	4.2	14.0	1.9	2.3	-		
家族成長前期	291	65.6	47.1	23.7	22.7	24.4	19.9	23.7	6.9	14.8	-	4.1	-		
家族成長後期	182	65.4	45.1	33.0	26.4	25.8	21.4	20.3	11.5	9.9	-	2.2	-		
家族成熟期	476	65.5	40.1	26.5	25.0	21.2	24.4	21.2	18.1	9.5	0.8	5.3	0.2		
高齢期	501	69.1	28.9	25.1	19.2	24.2	27.7	17.6	26.3	7.0	1.0	7.8	0.4		
その他	309	61.2	35.9	29.8	26.9	24.6	26.5	13.3	17.8	6.8	1.0	6.1	0.3		

（２）商品等の販売で困ったり、嫌な思いをした経験

◇「電話により商品やサービスなどの購入を勧誘された」が33.7%

問12 あなたは、過去１年間に、次のような事例で困ったり、嫌な思いをした経験がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。



※平成19年調査では「新聞、雑誌、広告、インターネットなどの通信販売で商品などを購入した」11.7%

過去１年間の、困ったり嫌な思いをした経験は、「電話により商品やサービスなどの購入を勧誘された」（33.7%）が３割強と最も高く、次いで「自宅を訪問され商品などの購入を勧誘された」（12.6%）、「インターネット、携帯電話、郵便で身に覚えのない支払い請求を受けた」（7.0%）の順となっている。

一方、「困ったことはなかった」（53.4%）は５割強となっている。

「困ったことはなかった」と「無回答」を除く回答者数（何らかの困った経験などがある人）は1,045人で、全体の４割半ば（46.4%）となっている。

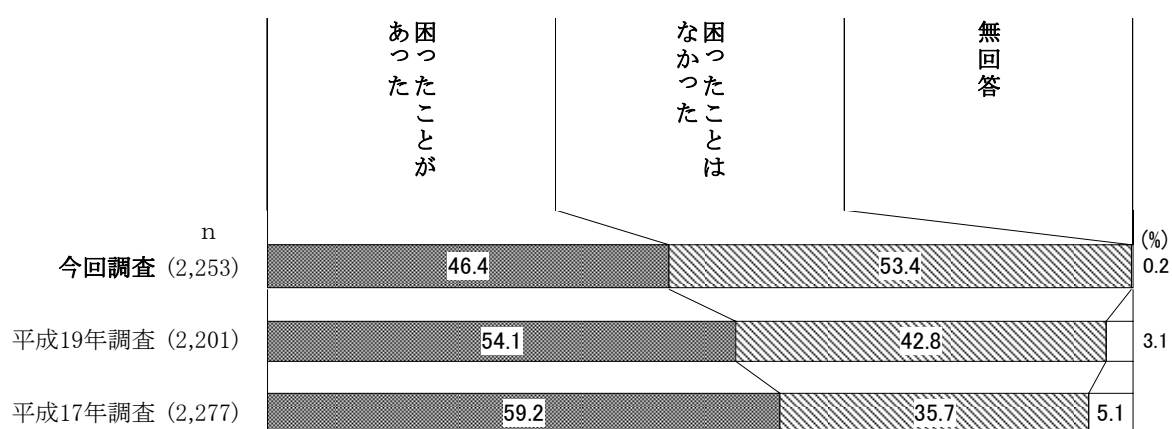
【平成19年調査との比較】

「電話により商品やサービスなどの購入を勧誘された」（6.4ポイント減）、「自宅を訪問され商品などの購入を勧誘された」（4.3ポイント減）などが減少している。また、「困ったことはなかった」は10.6ポイント増加している。

【経年比較】

商品等の販売で困ったり、嫌な思いをした経験がある人の割合について、過去の調査結果と比較した。何らかの「困ったことがあった」人は平成19年調査（54.1%）から7.7ポイント減少し、今回調査（46.4%）で4割半ばと、初めて5割を下回っている。一方、「困ったことはなかった」は今回調査（53.4%）で5割強と、平成19年調査（42.8%）から10.6ポイント、平成17年調査（35.7%）から17.7ポイント増加し、初めて「困ったことがあった」よりも高くなっている。

○ 商品等の販売で困ったり、嫌な思いをした経験がある人・経年比較



【属性別比較】

①地域別

「電話により商品やサービスなどの購入を勧誘された」は県央地域（41.4%）で4割強、利根地域（38.2%）で4割弱と高くなっている。「自宅を訪問され商品などの購入を勧誘された」は秩父地域（22.0%）で2割強と高くなっている。一方、「困ったことはなかった」は南部地域（59.9%）、南西部地域（60.6%）、東部地域（59.8%）で約6割と高く、県央地域（47.0%）、川越比企地域（48.7%）、利根地域（47.5%）で5割を下回り低くなっている。

②市郡規模別

「自宅を訪問され商品などの購入を勧誘された」は郡部（町村）（18.7%）で2割弱と高くなっている。

③性別

男女間で特に違いはみられない。

④年代別

「電話により商品やサービスなどの購入を勧誘された」は50歳代以上の割合が高くなっている。「インターネット、携帯電話、郵便で身に覚えのない支払い請求を受けた」は30歳代（11.5%）と40歳代（10.5%）で割合が高くなっている。「困ったことはなかった」は20歳代（66.8%）で6割半ばと高くなっている。

⑤性・年代別

「電話により商品やサービスなどの購入を勧誘された」は男性の50歳代から70歳以上、女性の50歳代から60歳代で4割を超えて高くなっている。「インターネット、携帯電話、郵便で身に覚えのない支払い請求を受けた」は男性では30歳代から40歳代、女性では20歳代から30歳代で1割を超えて高くなっている。「困ったことはなかった」は男性20歳代（68.6%）で最も高く、女性の20歳代（65.3%）と30歳代（60.5%）で6割を超えて高くなっている。

⑥職業別

職業による違いはみられない。

⑦住居形態別

「電話により商品やサービスなどの購入を勧誘された」は持家（計）（37.5%）で持家以外（計）（20.5%）より17.0ポイント、「自宅を訪問され商品などの購入を勧誘された」は持家（計）（14.1%）で持家以外（計）（7.7%）より6.4ポイント高くなっている。一方、「困ったことはなかった」は持家以外（計）（63.9%）で持家（計）（50.4%）より13.5ポイント高くなっている。

⑧ライフステージ別

「電話により商品やサービスなどの購入を勧誘された」は家族成長後期（41.8%）、家族成熟期（43.1%）、高齢期（41.1%）で4割を超えて高くなっている。「インターネット、携帯電話、郵便で身に覚えのない支払い請求を受けた」は独身期（10.0%）、家族形成期（11.2%）、家族成長前期（10.3%）で高くなっている。「困ったことはなかった」は独身期（63.9%）と家族形成期（63.6%）で6割強と高くなっている。

○商品等の販売で困ったり、嫌な思いをした経験・地域別／市郡規模別／性別／年代別
／性・年代別／職業別／住居形態別／ライフステージ別

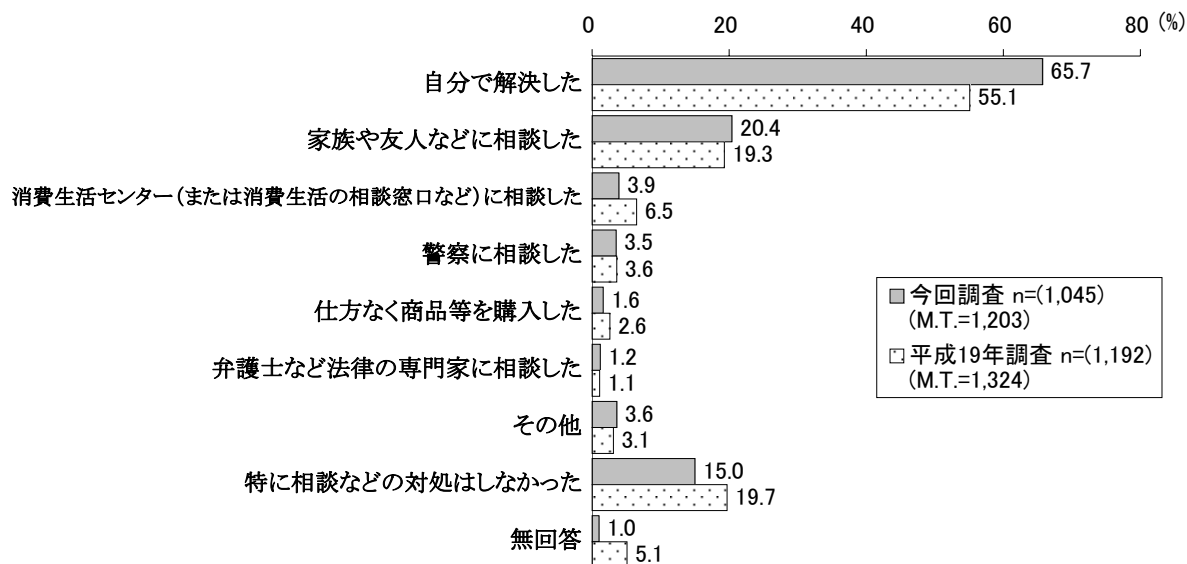
	無回答	困ったことはなかった	その他	自宅に突然、申込みもしていない商品を送りつけられてきた	空き店舗などの締め切った会場で台所用品などをもらい、興奮状態となったところで、最後に高額の商品売りつけられた	高額の収入をうたい文句に、その仕事に必要であるとして商品などの購入を勧誘された	通信販売で商品などを購入したら、希望のものとは異なるものが届いた	友達を誘って商品を売れば、マージンが入り儲かると言われ、入会や商品の購入を勧誘された	「当選しました！あなたは選ばれました！」と呼び出され、英会話教材やパソコンなどの購入を勧誘された	アンケートと言われて路上で呼び止められた	インターネット、携帯電話、郵便で身に覚えのない支払い請求を受けた	自宅を訪問され商品などの購入を勧誘された	電話により商品やサービスなどの購入を勧誘された	調査数
全 体	0.2	53.4	2.0	0.7	0.8	1.0	2.0	2.1	2.3	2.4	7.0	12.6	33.7	2253
地域別														
南部地域	-	59.9	2.2	-	-	0.4	1.7	1.3	2.2	1.7	5.6	10.3	28.4	232
南西部地域	-	60.6	3.1	-	-	1.3	0.9	1.3	3.5	2.2	7.1	7.1	29.6	226
東部地域	1.2	59.8	2.2	1.9	0.6	0.6	3.4	1.9	3.1	4.0	7.2	10.0	27.7	321
さいたま地域	-	50.4	3.3	0.8	0.5	0.8	2.2	2.2	2.5	1.9	7.4	12.1	37.3	365
県央地域	-	47.0	1.1	1.1	0.6	-	1.1	1.7	1.1	2.2	7.7	16.6	41.4	181
川越比企地域	-	48.7	1.9	-	3.0	1.1	3.4	3.8	2.3	3.4	7.2	13.3	36.9	263
西部地域	0.4	53.4	0.8	-	-	1.6	0.4	1.6	0.8	2.4	7.7	15.0	32.4	247
利根地域	-	47.5	0.5	2.5	0.5	2.0	2.0	2.9	1.0	2.5	6.4	15.7	38.2	204
北部地域	-	50.3	2.9	-	2.9	1.2	1.7	2.3	3.5	0.6	5.8	15.0	34.7	173
秩父地域	-	53.7	-	-	-	-	-	2.4	4.9	-	7.3	22.0	29.3	41
市郡規模別														
人口10万以上の市	0.2	54.2	2.2	0.7	0.5	1.0	1.9	2.0	2.2	2.7	7.2	11.8	33.4	1648
人口10万未満の市	0.5	51.2	1.5	1.0	1.5	1.0	2.4	2.2	2.7	1.0	7.3	13.3	35.4	412
郡部（町村）	-	50.8	1.6	0.5	2.1	1.0	1.6	3.1	2.1	2.6	4.7	18.7	33.2	193
性別														
男性	0.3	53.0	1.7	0.8	0.3	1.1	1.9	1.6	2.6	2.7	7.4	11.9	33.5	1133
女性	0.2	53.8	2.4	0.6	1.4	0.8	2.1	2.7	2.0	2.1	6.5	13.4	33.9	1120
年代別														
20歳代	-	66.8	3.5	0.4	-	0.9	3.1	2.2	1.8	6.2	9.3	9.7	13.3	226
30歳代	0.3	58.8	1.5	0.5	-	0.8	1.5	4.3	2.0	2.5	11.5	12.0	22.8	400
40歳代	-	51.4	1.9	0.5	0.5	1.9	1.6	2.3	1.9	1.6	10.5	12.3	33.7	430
50歳代	-	50.0	2.5	1.1	0.3	0.6	1.9	1.4	2.8	1.1	5.2	14.4	41.4	362
60歳代	0.4	46.9	1.1	0.7	2.0	1.1	2.2	1.8	2.2	2.0	2.0	14.3	44.3	454
70歳以上	0.5	53.0	2.6	1.0	1.8	0.5	2.4	0.3	3.1	2.6	4.5	11.8	37.5	381
性・年代別														
男性・20歳代	-	68.6	1.9	-	-	1.0	4.8	1.0	1.9	4.8	7.6	6.7	18.1	105
30歳代	-	57.0	2.0	0.5	-	1.0	1.5	4.0	3.0	2.5	13.0	11.0	21.0	200
40歳代	-	52.4	1.7	0.9	-	3.0	1.7	1.3	1.7	2.2	12.1	11.3	30.7	231
50歳代	-	51.4	1.1	1.7	-	0.6	1.1	0.6	4.4	1.7	5.0	12.7	40.3	181
60歳代	0.4	48.5	1.3	0.4	1.3	0.4	1.3	1.7	1.3	2.6	2.6	14.4	42.4	229
70歳以上	1.1	47.6	2.1	1.1	-	0.5	2.7	-	3.7	3.7	3.7	12.8	41.7	187
女性・20歳代	-	65.3	5.0	0.8	-	0.8	1.7	3.3	1.7	7.4	10.7	12.4	9.1	121
30歳代	0.5	60.5	1.0	0.5	-	0.5	1.5	4.5	1.0	2.5	10.0	13.0	24.5	200
40歳代	-	50.3	2.0	-	1.0	0.5	1.5	3.5	2.0	1.0	8.5	13.6	37.2	199
50歳代	-	48.6	3.9	0.6	0.6	0.6	2.2	2.8	1.1	0.6	5.5	16.0	42.5	181
60歳代	0.4	45.3	0.9	0.9	2.7	1.8	3.1	1.8	3.1	1.3	1.3	14.2	46.2	225
70歳以上	-	58.2	3.1	1.0	3.6	0.5	2.1	0.5	2.6	1.5	5.2	10.8	33.5	194
職業別														
自営業・家族従業（計）	-	52.2	2.8	1.2	0.8	1.2	2.8	4.7	1.2	0.8	6.7	14.6	33.2	253
雇用者（計）	0.1	53.1	2.1	0.6	0.4	1.2	1.9	2.3	2.5	3.4	9.1	11.8	31.5	1149
無職（計）	0.5	54.3	1.8	0.7	1.4	0.6	1.8	1.1	2.4	1.5	4.1	13.0	36.8	846
住居形態別														
持家（計）	0.1	50.4	1.7	0.7	1.0	1.0	2.2	2.1	2.4	2.4	6.5	14.1	37.5	1758
持家（一戸建）	0.1	50.6	1.8	0.8	1.0	0.8	2.3	2.3	2.5	2.5	6.0	14.4	37.4	1539
持家（集合住宅）	-	48.9	0.9	0.5	0.5	1.8	1.8	0.9	1.8	2.3	10.5	11.9	38.4	219
持家以外（計）	0.8	63.9	3.2	0.6	0.4	1.0	2.2	2.2	2.0	2.2	8.5	7.7	20.5	493
民間の借家（賃貸マンションなど）	0.6	64.6	2.9	0.9	0.6	1.4	0.6	2.6	1.4	1.7	9.5	8.4	18.2	347
UR都市機構（旧公団）・公社など	2.0	61.4	4.0	-	-	-	3.0	1.0	4.0	3.0	5.9	8.9	26.7	101
社宅・公務員住宅など給与住宅	-	68.0	4.0	-	-	-	-	-	-	-	4.0	-	28.0	25
住み込み、寮、寄宿舍など	-	53.8	-	-	-	-	7.7	7.7	7.7	15.4	7.7	-	30.8	13
その他	-	71.4	14.3	-	-	-	-	-	-	-	14.3	-	-	7
ライフステージ別														
独身期	-	63.9	2.9	-	-	1.1	3.2	2.1	1.8	5.7	10.0	7.5	17.1	280
家族形成期	0.5	63.6	1.4	0.9	-	0.5	-	3.3	1.9	2.3	11.2	11.2	17.8	214
家族成長前期	-	55.3	1.7	0.7	-	1.7	1.7	4.1	3.1	2.4	10.3	15.1	28.2	291
家族成長後期	-	47.3	1.1	1.1	-	0.5	2.2	2.7	2.2	1.6	6.0	13.7	41.8	182
家族成熟期	-	47.3	2.3	0.4	1.1	0.8	1.7	1.3	2.1	1.7	5.0	14.9	43.1	476
高齢期	0.6	50.3	1.8	1.0	2.6	0.6	2.4	1.4	2.8	2.2	2.8	13.2	41.1	501
その他	0.3	53.1	2.6	1.0	0.3	1.6	1.9	1.6	1.9	1.3	8.4	11.0	34.0	309

（２－１）困ったときの対処法

◇「自分で解決した」が65.7%

（問12で「困ったことはなかった」と答えた方以外に）

問12－１ あなたは困ったり、嫌な思いをしたとき、どうしましたか。あてはまるものをすべて選んでください。



困ったり、嫌な思いをしたときの対処法は、「自分で解決した」（65.7%）が6割半ばと高く、次いで「家族や友人などに相談した」（20.4%）の順となっている。一方、「特に相談などの対処はしなかった」（15.0%）は1割半ばとなっている。

【平成19年調査との比較】

「自分で解決した」が10.6ポイント増加している。また、「特に相談などの対処はしなかった」は4.7ポイント減少している。

【属性別比較】

①地域別

「自分で解決した」は南西部地域（77.5%）、さいたま地域（73.5%）で高くなっている。「家族や友人などに相談した」は秩父地域（42.1%）で4割を超えて高くなっている。「特に相談などの対処はしなかった」は南部地域（21.5%）で2割を超えて高くなっている。

②市郡規模別

「家族や友人などに相談した」は郡部（町村）（26.3%）で2割半ばを超えて高くなっている。「特に相談しなかった」は市（15.6%）のほうが郡部（町村）（9.5%）よりも6.1ポイント高くなっている。

③性別

「家族や友人などに相談した」は女性（27.8%）のほうが男性（13.2%）よりも14.6ポイント高くなっている。逆に「特に相談などの対処はしなかった」は男性（18.3%）のほうが女性（11.7%）よりも6.6ポイント高くなっている。

④年代別

「自分で解決した」は30歳代（70.7%）で7割を超えて高くなっている。「家族や友人などに相談した」は20歳代（32.0%）で3割を超えて高くなっている。「特に相談などの対処はしなかった」は40歳代（18.2%）で2割弱と割合が高くなっている。

⑤性・年代別

「自分で解決した」は男性の30歳代（73.3%）で7割を超えて高くなっている。「家族や友人などに相談した」は女性の20歳代（42.9%）で4割強と最も高くなっている。「特に相談などの対処はしなかった」は男性の20歳代（21.2%）、40歳代（20.9%）、60歳代（20.5%）で2割を超えて高くなっている。

⑥職業別

職業による違いはみられない。

⑦住居形態別

「自分で解決した」は持家（集合住宅）（75.9%）、UR都市機構（旧公団）・公社など（73.0%）、社宅・公務員住宅など給与住宅（87.5%）で7割を超えて高くなっている。

⑧ライフステージ別

「自分で解決した」は独身期（71.3%）、家族成長前期（70.8%）、家族成長後期（71.9%）で7割を超えて高くなっている。「家族や友人などに相談した」は家族形成期（26.0%）で最も高くなっている。

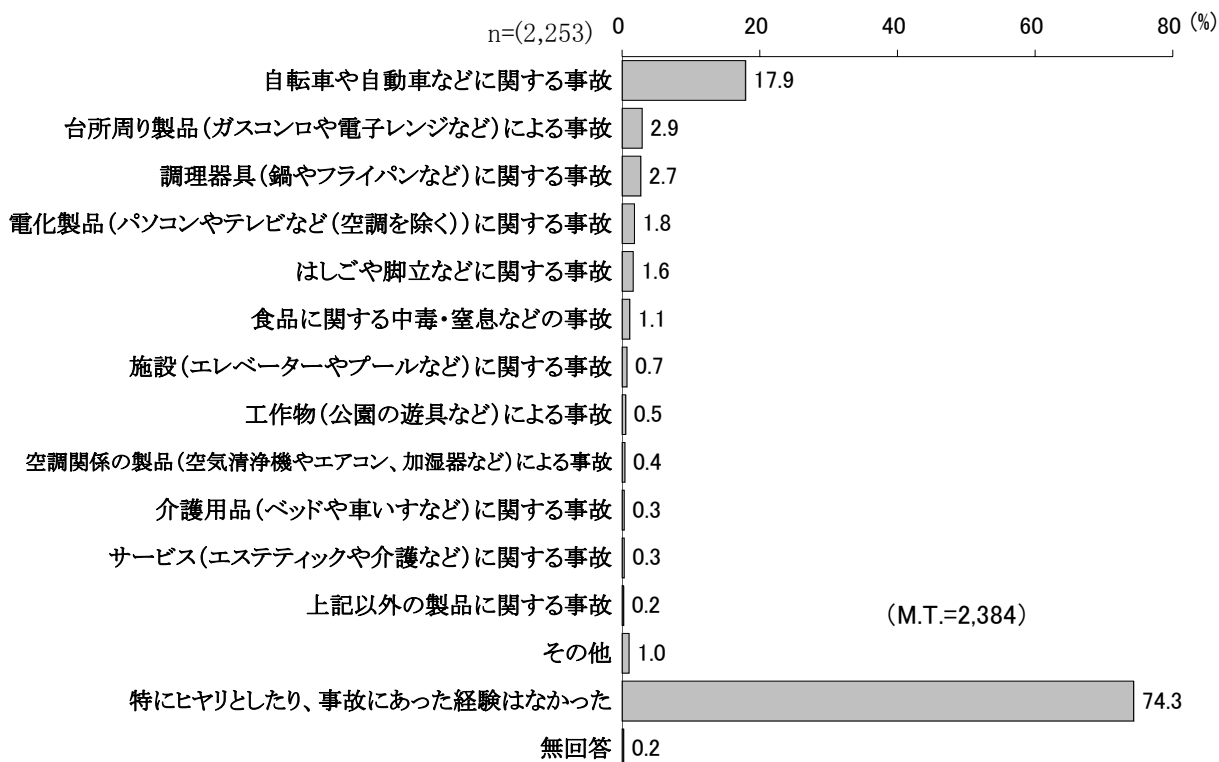
○困ったときの対処法・地域別／市郡規模別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／住居形態別／ライフステージ別

	調査数	自分で解決した	家族や友人などに相談した	消費生活センター（または消費生活の相談窓など）に相談した	警察に相談した	仕方なく商品等を購入した	弁護士など法律の専門家に相談した	その他	特に相談などの対処はしなかった	無回答
全 体	1045	65.7	20.4	3.9	3.5	1.6	1.2	3.6	15.0	1.0
地域別										
南部地域	93	59.1	21.5	1.1	4.3	-	-	3.2	21.5	3.2
南西部地域	89	77.5	15.7	3.4	4.5	1.1	-	2.2	13.5	-
東部地域	125	62.4	19.2	6.4	8.0	3.2	0.8	3.2	15.2	1.6
さいたま地域	181	73.5	13.8	4.4	2.2	2.2	2.8	5.0	12.7	-
県央地域	96	69.8	22.9	7.3	5.2	3.1	2.1	5.2	11.5	-
川越比企地域	135	61.5	25.9	3.0	2.2	1.5	0.7	0.7	14.8	-
西部地域	114	68.4	15.8	3.5	0.9	0.9	1.8	4.4	17.5	-
利根地域	107	57.0	26.2	1.9	2.8	1.9	0.9	4.7	15.0	3.7
北部地域	86	59.3	22.1	4.7	3.5	-	1.2	2.3	16.3	1.2
秩父地域	19	63.2	42.1	-	-	-	-	10.5	10.5	-
市郡規模別										
人口10万以上の市	751	66.3	19.0	4.4	4.0	1.6	1.5	3.6	15.6	0.5
人口10万未満の市	199	62.8	22.6	3.5	2.5	2.5	0.5	3.0	15.6	3.0
郡部（町村）	95	67.4	26.3	1.1	2.1	-	1.1	5.3	9.5	-
性別										
男性	530	66.6	13.2	3.0	3.2	1.1	1.7	3.4	18.3	0.9
女性	515	64.9	27.8	4.9	3.9	2.1	0.8	3.9	11.7	1.0
年代別										
20歳代	75	65.3	32.0	-	1.3	1.3	1.3	5.3	14.7	-
30歳代	164	70.7	21.3	5.5	4.3	0.6	-	1.2	11.6	0.6
40歳代	209	65.6	16.7	3.3	1.9	2.4	1.4	6.2	18.2	-
50歳代	181	66.3	22.1	2.2	2.2	1.1	1.1	2.8	15.5	1.7
60歳代	239	65.3	16.3	4.6	2.9	1.3	0.8	3.8	15.5	0.8
70歳以上	177	61.6	22.6	5.6	7.9	2.8	2.8	2.8	13.6	2.3
性・年代別										
男性・20歳代	33	66.7	18.2	-	-	-	3.0	3.0	21.2	-
30歳代	86	73.3	15.1	5.8	3.5	-	-	1.2	15.1	1.2
40歳代	110	65.5	10.9	1.8	1.8	2.7	2.7	7.3	20.9	-
50歳代	88	68.2	15.9	2.3	2.3	1.1	2.3	1.1	14.8	2.3
60歳代	117	63.2	12.0	3.4	4.3	0.9	1.7	2.6	20.5	0.9
70歳以上	96	64.6	11.5	3.1	5.2	1.0	1.0	4.2	17.7	1.0
女性・20歳代	42	64.3	42.9	-	2.4	2.4	-	7.1	9.5	-
30歳代	78	67.9	28.2	5.1	5.1	1.3	-	1.3	7.7	-
40歳代	99	65.7	23.2	5.1	2.0	2.0	-	5.1	15.2	-
50歳代	93	64.5	28.0	2.2	2.2	1.1	-	4.3	16.1	1.1
60歳代	122	67.2	20.5	5.7	1.6	1.6	-	4.9	10.7	0.8
70歳以上	81	58.0	35.8	8.6	11.1	4.9	4.9	1.2	8.6	3.7
職業別										
自営業・家族従業（計）	121	66.1	19.8	3.3	4.1	2.5	2.5	3.3	10.7	-
雇用者（計）	538	67.1	19.5	3.0	2.2	0.9	0.7	4.1	15.8	1.1
無職（計）	383	64.0	21.9	5.5	5.2	2.1	1.6	3.1	15.1	1.0
住居形態別										
持家（計）	871	65.6	20.0	4.4	3.3	1.6	1.4	3.6	15.4	0.9
持家（一戸建）	759	64.0	20.4	4.2	3.6	1.6	1.6	3.8	15.7	1.1
持家（集合住宅）	112	75.9	17.0	5.4	1.8	1.8	-	1.8	13.4	-
持家以外（計）	174	66.7	22.4	1.7	4.6	1.7	0.6	4.0	13.2	1.1
民間の借家（賃貸マンションなど）	121	64.5	22.3	0.8	5.0	1.7	-	4.1	11.6	1.7
UR都市機構（旧公団）・公社など	37	73.0	24.3	2.7	5.4	2.7	2.7	5.4	10.8	-
社宅・公務員住宅など給与住宅	8	87.5	25.0	12.5	-	-	-	-	12.5	-
住み込み、寮、寄宿舎など	6	50.0	16.7	-	-	-	-	-	50.0	-
その他	2	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-
ライフステージ別										
独身期	101	71.3	18.8	3.0	2.0	-	1.0	5.0	15.8	-
家族形成期	77	64.9	26.0	3.9	3.9	-	-	1.3	13.0	1.3
家族成長前期	130	70.8	20.8	3.1	3.1	1.5	0.8	3.1	11.5	-
家族成長後期	96	71.9	21.9	5.2	4.2	2.1	2.1	3.1	14.6	-
家族成熟期	251	61.0	20.3	2.8	2.8	2.4	0.4	4.8	19.1	0.8
高齢期	246	67.1	19.9	5.7	4.9	1.6	2.0	3.7	11.8	0.8
その他	144	59.7	18.1	3.5	3.5	2.1	2.1	2.8	17.4	3.5

(3) 事故等にあった経験

◇「自転車や自動車などに関する事故」が17.9%

問13 あなたは、過去1年間に、次のような事例でヒヤリとしたり、実際に事故にあった経験はありますか。あてはまるものをすべて選んでください。



過去1年間の、ヒヤリとしたり、実際に事故にあった経験は、「自転車や自動車などに関する事故」が17.9%で最も高く、それ以外の事故は1割を下回っている。

一方、「特にヒヤリとしたり、事故にあった経験はなかった」(74.3%)は7割を超えている。

「特にヒヤリとしたり、事故にあった経験はなかった」と「無回答」を除く回答者数(何らかの事故等がある人)は574人で、全体のうち4人に1人の割合(25.5%)となっている。

【属性別比較】

①地域別

「自転車や自動車などに関する事故」は南部地域（20.7%）、県央地域（21.0%）、秩父地域（22.0%）で高くなっている。「特にヒヤリとしたり、事故にあった経験はなかった」は川越比企地域（81.4%）で8割強と最も高く、南西部地域（68.6%）と秩父地域（65.9%）で7割を下回り低くなっている。

②市郡規模別

「自転車や自動車などに関する事故」は人口10万未満の市（20.4%）で約2割と高くなっている。

③性別

男女間で特に違いはみられない。

④年代別

「自転車や自動車などに関する事故」は20歳代（23.5%）と30歳代（20.8%）で2割を超えて高くなっている。「特にヒヤリとしたり、事故にあった経験はなかった」は40歳以上で7割を超えて高くなっている。

⑤性・年代別

「自転車や自動車などに関する事故」は男性では20歳代（22.9%）と30歳代（21.0%）、女性では20歳代から40歳代で2割を超えて高くなっている。「特にヒヤリとしたり、事故にあった経験はなかった」は女性の60歳代（81.3%）で8割を超え、50歳代（78.5%）と70歳以上（78.9%）で8割弱と高くなっている。

⑥職業別

「自転車や自動車などに関する事故」は雇用者（計）（20.3%）で約2割、自営業・家族従業（計）（18.6%）で2割弱と高くなっている。「特にヒヤリとしたり、事故にあった経験はなかった」は無職（計）（78.3%）で8割弱と高くなっている。

⑦住居形態別

「自転車や自動車などに関する事故」は持家（集合住宅）（20.1%）、UR都市機構（旧公団）・公社など（22.8%）で2割を超えて高くなっている。

⑧ライフステージ別

「自転車や自動車などに関する事故」は独身期（22.1%）と家族形成期（22.0%）で2割を超えて高くなっている。「特にヒヤリとしたり、事故にあった経験はなかった」は家族成熟期（79.4%）で約8割と高くなっている。

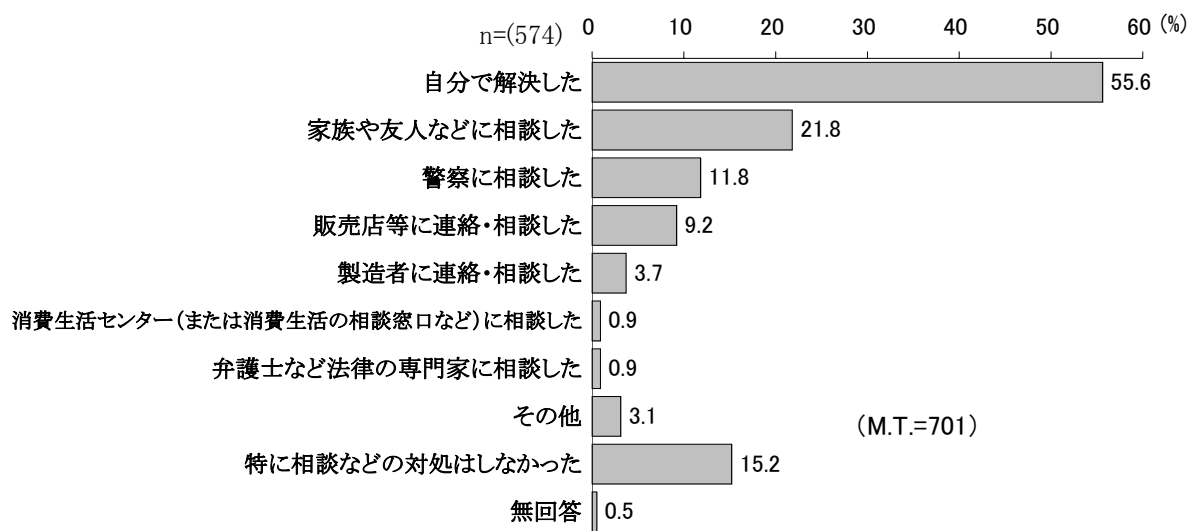
○事故等にあった経験・地域別／市郡規模別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／住居形態別／ライフステージ別

	調査数	自転車や自動車などに関する事故	台所周り製品（ガスコンロや電子レンジなど）による事故	調理器具（鍋やフライパンなど）に関する事故	電化製品（パソコンやテレビなど（空調を除く））に関する事故	はしごや脚立などに関する事故	食品に関する中毒・窒息などの事故	施設（エレベーターやプールなど）に関する事故	工作物（公園の遊具など）による事故	エアコン、加湿器などによる事故	空調関係の製品（空気清浄機やエアコン）による事故	介護用品（ベッドや車いすなど）に関する事故	サービス（エステティックや介護など）に関する事故	上記以外の製品に関する事故	その他	特にヒヤリとした経験はなかったり、事故にあつた経験はなかった	無回答
全 体	2253	17.9	2.9	2.7	1.8	1.6	1.1	0.7	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	1.0	74.3	0.2
地域別																	
南部地域	232	20.7	2.2	0.9	0.4	1.7	-	0.4	-	0.9	-	-	-	-	0.4	77.2	-
南西部地域	226	17.3	3.1	4.4	3.1	1.3	2.7	0.4	0.9	0.4	-	0.9	0.4	1.3	68.6	-	-
東部地域	321	18.1	2.5	3.7	3.1	1.9	1.2	0.6	0.3	0.6	0.3	0.6	0.3	1.6	72.9	-	-
さいたま地域	365	17.5	3.3	3.3	1.9	2.2	1.1	2.2	1.4	0.5	-	0.3	-	1.1	73.2	0.5	-
県央地域	181	21.0	1.1	3.3	2.8	1.7	1.7	-	-	-	1.1	0.6	-	1.1	72.4	-	-
川越比企地域	263	14.1	2.7	1.1	1.9	0.4	0.8	-	0.4	0.4	0.4	-	0.4	0.8	81.4	-	-
西部地域	247	17.8	2.4	0.8	1.2	0.8	0.4	0.8	-	0.4	0.4	-	-	0.4	76.1	0.8	-
利根地域	204	19.1	5.4	3.4	1.0	2.0	2.5	-	0.5	-	-	-	0.5	-	72.5	-	-
北部地域	173	15.6	4.6	4.0	0.6	1.2	-	-	1.2	0.6	-	-	-	2.9	76.3	-	-
秩父地域	41	22.0	-	-	-	4.9	-	2.4	-	-	4.9	-	2.4	-	65.9	-	-
市郡規模別																	
人口10万以上の市	1648	17.2	2.7	2.7	2.1	1.8	1.1	0.8	0.6	0.3	0.2	0.4	0.1	0.9	75.0	0.2	-
人口10万未満の市	412	20.4	3.6	3.6	1.2	1.0	1.2	0.5	0.2	1.0	0.5	-	0.7	0.2	71.4	-	-
郡部（町村）	193	18.1	3.1	1.0	1.0	1.0	1.0	-	0.5	0.5	1.0	-	0.5	3.6	75.1	-	-
性別																	
男性	1133	18.4	2.6	2.7	1.9	2.1	1.1	0.7	0.4	0.5	0.4	-	0.2	0.9	73.7	0.2	-
女性	1120	17.4	3.2	2.7	1.8	1.0	1.2	0.6	0.6	0.4	0.3	0.5	0.3	1.2	75.0	0.2	-
年代別																	
20歳代	226	23.5	4.0	3.5	1.8	1.3	1.8	0.9	0.4	0.4	0.4	0.4	-	0.4	69.9	-	-
30歳代	400	20.8	3.8	4.0	1.0	1.8	1.5	1.5	1.8	0.5	0.3	0.5	-	1.0	69.8	0.3	-
40歳代	430	18.4	2.8	2.1	2.8	1.4	0.9	0.5	0.9	0.2	0.2	-	0.7	1.4	73.7	-	-
50歳代	362	18.0	2.8	1.9	1.4	0.3	1.1	1.1	-	1.1	-	-	-	0.6	76.0	-	-
60歳代	454	14.5	2.6	2.2	1.8	1.1	1.5	-	-	0.2	0.4	0.7	-	1.3	77.1	0.4	-
70歳以上	381	15.0	2.1	2.9	2.1	3.4	-	0.3	-	0.3	0.5	-	0.5	1.0	77.7	0.3	-
性・年代別																	
男性・20歳代	105	22.9	4.8	4.8	1.0	1.9	-	1.0	-	1.0	-	-	-	1.0	70.5	-	-
30歳代	200	21.0	3.0	3.5	1.0	3.5	1.0	1.5	2.0	0.5	0.5	-	-	1.0	70.5	-	-
40歳代	231	16.5	2.2	0.9	2.2	2.2	1.3	0.4	0.4	-	0.4	-	-	0.9	76.6	-	-
50歳代	181	19.3	2.8	3.3	1.7	0.6	1.1	1.7	-	1.1	-	-	-	0.6	73.5	-	-
60歳代	229	16.2	3.5	1.7	2.6	1.3	2.2	-	-	0.4	0.9	-	-	1.3	72.9	0.9	-
70歳以上	187	17.1	0.5	3.7	2.1	3.2	-	-	-	0.5	-	-	1.1	0.5	76.5	-	-
女性・20歳代	121	24.0	3.3	2.5	2.5	0.8	3.3	0.8	0.8	-	0.8	0.8	-	-	69.4	-	-
30歳代	200	20.5	4.5	4.5	1.0	-	2.0	1.5	1.5	0.5	-	1.0	-	1.0	69.0	0.5	-
40歳代	199	20.6	3.5	3.5	3.5	0.5	0.5	0.5	1.5	0.5	-	-	1.5	2.0	70.4	-	-
50歳代	181	16.6	2.8	0.6	1.1	-	1.1	0.6	-	1.1	-	-	-	0.6	78.5	-	-
60歳代	225	12.9	1.8	2.7	0.9	0.9	0.9	-	-	-	-	1.3	-	1.3	81.3	-	-
70歳以上	194	12.9	3.6	2.1	2.1	3.6	-	0.5	-	-	1.0	-	-	1.5	78.9	0.5	-
職業別																	
自営業・家族従業（計）	253	18.6	3.2	2.0	0.4	1.6	1.6	0.4	0.4	1.2	0.4	0.4	-	0.8	75.1	0.4	-
雇用者（計）	1149	20.3	3.3	2.6	2.3	1.1	1.3	0.9	0.6	0.5	0.3	0.2	0.3	1.0	71.5	0.1	-
無職（計）	846	14.5	2.2	3.1	1.7	2.1	0.7	0.5	0.5	0.1	0.2	0.4	0.2	1.1	78.3	0.1	-
住居形態別																	
持家（計）	1758	17.6	3.1	2.5	2.0	1.7	1.0	0.7	0.6	0.5	0.3	0.2	0.2	0.9	74.7	0.2	-
持家（一戸建）	1539	17.2	3.3	2.5	2.1	1.8	1.0	0.6	0.6	0.5	0.3	0.1	0.3	1.0	75.0	0.1	-
持家（集合住宅）	219	20.1	1.4	2.7	1.8	0.9	0.9	1.8	0.5	0.5	0.5	0.5	-	-	72.6	0.5	-
持家以外（計）	493	19.1	2.4	3.4	1.0	1.0	1.6	0.4	0.2	0.2	0.2	0.6	0.2	1.4	72.8	0.2	-
民間の借家（賃貸マンションなど）	347	17.6	2.6	4.0	0.6	1.2	1.7	0.6	0.3	0.3	0.3	0.6	-	1.2	74.1	0.3	-
UR都市機構（旧公団）・公社など	101	22.8	3.0	3.0	3.0	1.0	2.0	-	-	-	-	1.0	-	1.0	69.3	-	-
社宅・公務員住宅など給与住宅	25	12.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.0	4.0	80.0	-	-
住み込み、寮、寄宿舎など	13	53.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46.2	-	-
その他	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14.3	85.7	-	-
ライフステージ別																	
独身期	280	22.1	4.3	4.3	1.4	2.5	1.4	1.1	0.4	0.7	0.4	0.4	-	1.4	68.6	-	-
家族形成期	214	22.0	2.8	2.8	1.4	1.9	1.4	1.9	1.9	-	-	0.5	-	-	69.6	0.5	-
家族成長前期	291	19.9	3.1	3.1	1.4	1.4	1.0	0.3	1.7	0.7	0.7	0.3	-	1.4	71.8	0.3	-
家族成長後期	182	19.8	3.3	2.7	3.8	-	1.6	1.6	0.5	1.1	-	-	-	1.1	72.5	-	-
家族成熟期	476	14.1	2.3	1.3	1.3	1.1	1.7	0.2	-	0.6	0.6	0.2	0.4	0.6	79.4	-	-
高齢期	501	15.0	2.6	3.0	2.0	2.2	0.4	0.2	-	0.2	-	0.4	0.2	1.4	76.8	0.2	-
その他	309	18.8	2.9	2.6	2.3	1.3	0.6	0.6	0.3	-	0.3	-	0.6	1.0	74.4	0.3	-

(3-1) 事故等にあったときの対処法

◇「自分で解決した」が55.6%

(問13で「特にヒヤリとしたり、事故にあった経験はなかった」と答えた方以外に)
 問13-1 あなたは製品等でヒヤリとしたり、事故にあったとき、どうしましたか。あてはまるものをすべて選んでください。



ヒヤリとしたり、実際に事故にあったときの対処法は、「自分で解決した」(55.6%)が5割半ばと高く、次いで「家族や友人などに相談した」(21.8%)、「警察に相談した」(11.8%)、「販売店等に連絡・相談した」(9.2%)の順となっている。一方、「特に相談などの対処はしなかった」(15.2%)は1割半ばとなっている。

【属性別比較】

①地域別

「自分で解決した」は県央地域（60.0%）、利根地域（60.7%）で6割を超えて高くなっている。「家族や友人などに相談した」は秩父地域（42.9%）で4割を超えて高くなっている。「警察に相談した」は川越比企地域（18.4%）、西部地域（17.5%）で高くなっている。「特に相談などの対処はしなかった」は西部地域（26.3%）で最も高くなっている。

②市郡規模別

「警察に相談した」は人口10万以上の市（12.7%）で1割強とやや高くなっている。

③性別

「家族や友人などに相談した」は女性（32.0%）のほうが男性（12.2%）よりも19.8ポイント高くなっている。逆に「自分で解決した」で9.4ポイント男性（60.1%）のほうが女性（50.7%）よりも高くなっている。

④年代別

「自分で解決した」は40歳代（61.9%）と70歳以上（61.9%）で6割を超えている。「家族や友人などに相談した」は20歳代（26.5%）と30歳代（26.7%）で2割半ばと高くなっている。「警察に相談した」は30歳代（15.0%）で1割半ばと高くなっている。「特に相談などの対処はしなかった」は20歳代（22.1%）で2割強と高くなっている。

⑤性・年代別

「自分で解決した」は男性の70歳以上（75.0%）で7割半ばと高くなっている。「家族や友人などに相談した」は女性の20歳代（37.8%）と30歳代（39.3%）で約4割と高くなっている。「特に相談などの対処はしなかった」は男性では20歳代（22.6%）、40歳代（20.4%）、50歳代（25.0%）、女性では20歳代（21.6%）で2割を超えて高くなっている。

⑥職業別

「自分で解決した」は自営業・家族従業（計）（62.9%）で6割強と最も高い。「家族や友人などに相談した」は無職（計）（25.7%）で2割半ばと高くなっている。

⑦住居形態別

「自分で解決した」は持家（集合住宅）（62.7%）と民間の借家（賃貸マンションなど）（65.2%）で6割を超えて高くなっている。「家族や友人などに相談した」はUR都市機構（旧公団）・公社など（25.8%）で2割半ばと高くなっている。

⑧ライフステージ別

「自分で解決した」は家族形成期（59.4%）、家族成長後期（58.0%）、家族成熟期（59.2%）で高くなっている。「家族や友人などに相談した」は家族形成期（31.3%）で最も高くなっている。「特に相談などの対処はしなかった」は独身期（25.0%）で2割半ばと高くなっている。

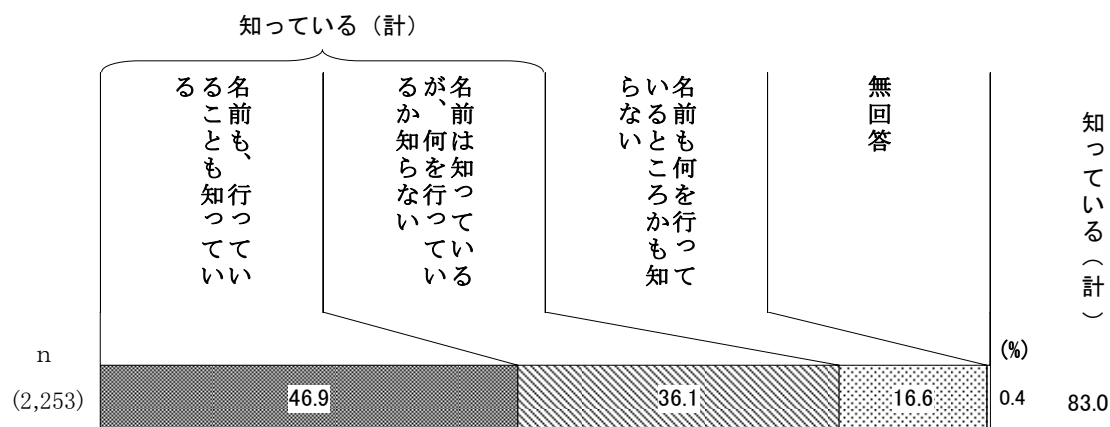
○事故等にあったときの対処法・地域別／市郡規模別／性別／年代別／性・年代別
／職業別／住居形態別／ライフステージ別

	調 査 数	自 分 で 解 決 し た	家 族 や 友 人 な ど に 相 談 し た	警 察 に 相 談 し た	販 売 店 等 に 連 絡 ・ 相 談 し た	製 造 者 に 連 絡 ・ 相 談 し た	口 な ど は 消 費 生 活 セ ン タ ー （ ま は 生 活 の 相 談 窓 ） に 相 談 し た	消 費 生 活 セ ン タ ー （ ま は 生 活 の 相 談 窓 ） に 相 談 し た	弁 護 士 な ど 法 律 の 専 門 家 に 相 談 し た	そ の 他	し 特 に 相 談 な ど の 対 処 は な か つ た	無 回 答
全 体	574	55.6	21.8	11.8	9.2	3.7	0.9	0.9	3.1	15.2	0.5	
地域別												
南部地域	53	52.8	28.3	7.5	15.1	3.8	-	1.9	5.7	11.3	-	
南西部地域	71	57.7	18.3	5.6	9.9	5.6	-	-	5.6	14.1	-	
東部地域	87	56.3	21.8	9.2	6.9	2.3	1.1	-	2.3	17.2	3.4	
さいたま地域	96	54.2	20.8	13.5	4.2	5.2	-	2.1	4.2	16.7	-	
県央地域	50	60.0	8.0	14.0	12.0	2.0	2.0	-	-	16.0	-	
川越比企地域	49	59.2	32.7	18.4	12.2	8.2	2.0	2.0	2.0	6.1	-	
西部地域	57	49.1	15.8	17.5	8.8	3.5	-	-	1.8	26.3	-	
利根地域	56	60.7	25.0	10.7	5.4	1.8	-	-	-	12.5	-	
北部地域	41	51.2	22.0	14.6	17.1	-	2.4	-	4.9	17.1	-	
秩父地域	14	50.0	42.9	7.1	7.1	-	7.1	7.1	7.1	-	-	
市郡規模別												
人口10万以上の市	408	55.1	20.6	12.7	8.8	3.9	0.7	1.0	3.4	15.9	0.5	
人口10万未満の市	118	56.8	24.6	10.2	11.0	3.4	1.7	0.8	1.7	12.7	0.8	
郡部（町村）	48	56.3	25.0	8.3	8.3	2.1	-	-	4.2	14.6	-	
性別												
男性	296	60.1	12.2	10.8	8.8	2.4	1.0	1.0	3.0	16.2	1.0	
女性	278	50.7	32.0	12.9	9.7	5.0	0.7	0.7	3.2	14.0	-	
年代別												
20歳代	68	51.5	26.5	11.8	8.8	2.9	-	-	4.4	22.1	-	
30歳代	120	53.3	26.7	15.0	4.2	3.3	-	-	2.5	14.2	-	
40歳代	113	61.9	20.4	11.5	12.4	1.8	2.7	1.8	0.9	17.7	-	
50歳代	87	51.7	16.1	10.3	9.2	4.6	1.1	1.1	3.4	19.5	1.1	
60歳代	102	52.0	20.6	11.8	13.7	4.9	1.0	-	3.9	12.7	-	
70歳以上	84	61.9	20.2	9.5	7.1	4.8	-	2.4	4.8	6.0	2.4	
性・年代別												
男性・20歳代	31	58.1	12.9	19.4	9.7	-	-	-	3.2	22.6	-	
30歳代	59	62.7	13.6	11.9	3.4	-	-	-	3.4	16.9	-	
40歳代	54	63.0	14.8	9.3	13.0	1.9	3.7	3.7	-	20.4	-	
50歳代	48	52.1	6.3	6.3	8.3	6.3	2.1	2.1	4.2	25.0	2.1	
60歳代	60	51.7	15.0	13.3	11.7	5.0	-	-	5.0	11.7	-	
70歳以上	44	75.0	9.1	6.8	6.8	-	-	-	2.3	2.3	4.5	
女性・20歳代	37	45.9	37.8	5.4	8.1	5.4	-	-	5.4	21.6	-	
30歳代	61	44.3	39.3	18.0	4.9	6.6	-	-	1.6	11.5	-	
40歳代	59	61.0	25.4	13.6	11.9	1.7	1.7	-	1.7	15.3	-	
50歳代	39	51.3	28.2	15.4	10.3	2.6	-	-	2.6	12.8	-	
60歳代	42	52.4	28.6	9.5	16.7	4.8	2.4	-	2.4	14.3	-	
70歳以上	40	47.5	32.5	12.5	7.5	10.0	-	5.0	7.5	10.0	-	
職業別												
自営業・家族従業（計）	62	62.9	12.9	14.5	4.8	1.6	1.6	1.6	4.8	12.9	-	
雇用者（計）	327	54.4	21.1	11.9	9.5	3.4	0.9	0.6	2.4	17.1	0.6	
無職（計）	183	54.6	25.7	10.9	10.4	4.9	0.5	1.1	3.8	12.6	0.5	
住居形態別												
持家（計）	441	54.6	22.4	10.7	10.4	4.3	0.9	0.9	3.2	16.1	0.5	
持家（一戸建）	382	53.4	22.8	10.7	11.0	3.9	1.0	0.8	3.4	16.2	0.5	
持家（集合住宅）	59	62.7	20.3	10.2	6.8	6.8	-	1.7	1.7	15.3	-	
持家以外（計）	133	58.6	19.5	15.8	5.3	1.5	0.8	0.8	3.0	12.0	0.8	
民間の借家（賃貸マンションなど）	89	65.2	19.1	11.2	4.5	1.1	-	1.1	1.1	13.5	-	
UR都市機構（旧公団）・公社など	31	51.6	25.8	22.6	3.2	3.2	-	-	6.5	3.2	3.2	
社宅・公務員住宅など給与住宅	5	20.0	20.0	40.0	20.0	-	20.0	-	-	20.0	-	
住み込み、寮、寄宿舍など	7	42.9	-	28.6	14.3	-	-	-	14.3	14.3	-	
その他	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
ライフステージ別												
独身期	88	48.9	20.5	10.2	6.8	3.4	-	-	4.5	25.0	-	
家族形成期	64	59.4	31.3	17.2	6.3	1.6	-	-	-	10.9	-	
家族成長前期	81	54.3	23.5	11.1	3.7	4.9	-	-	2.5	19.8	-	
家族成長後期	50	58.0	28.0	10.0	22.0	2.0	6.0	2.0	4.0	14.0	-	
家族成熟期	98	59.2	15.3	15.3	11.2	4.1	1.0	1.0	5.1	9.2	-	
高齢期	115	53.9	21.7	10.4	11.3	4.3	0.9	1.7	3.5	10.4	0.9	
その他	78	57.7	17.9	9.0	6.4	3.8	-	1.3	1.3	17.9	2.6	

（４）消費生活センターの認知

◇「名前も、行っていることも知っている」が46.9%

問14 あなたは契約トラブルの相談・助言や商品テストを行っている消費生活センター（または消費生活相談窓口）を知っていますか。



消費生活センター（または消費生活相談窓口）の認知度は、「名前も、行っていることも知っている」が46.9%で最も高く、これに「名前は知っているが、何を行っているか知らない」（36.1%）を合わせた『知っている（計）』は83.0%となっている。一方、「名前も何を行っているところかも知らない」は16.6%となっている。

【属性別比較】

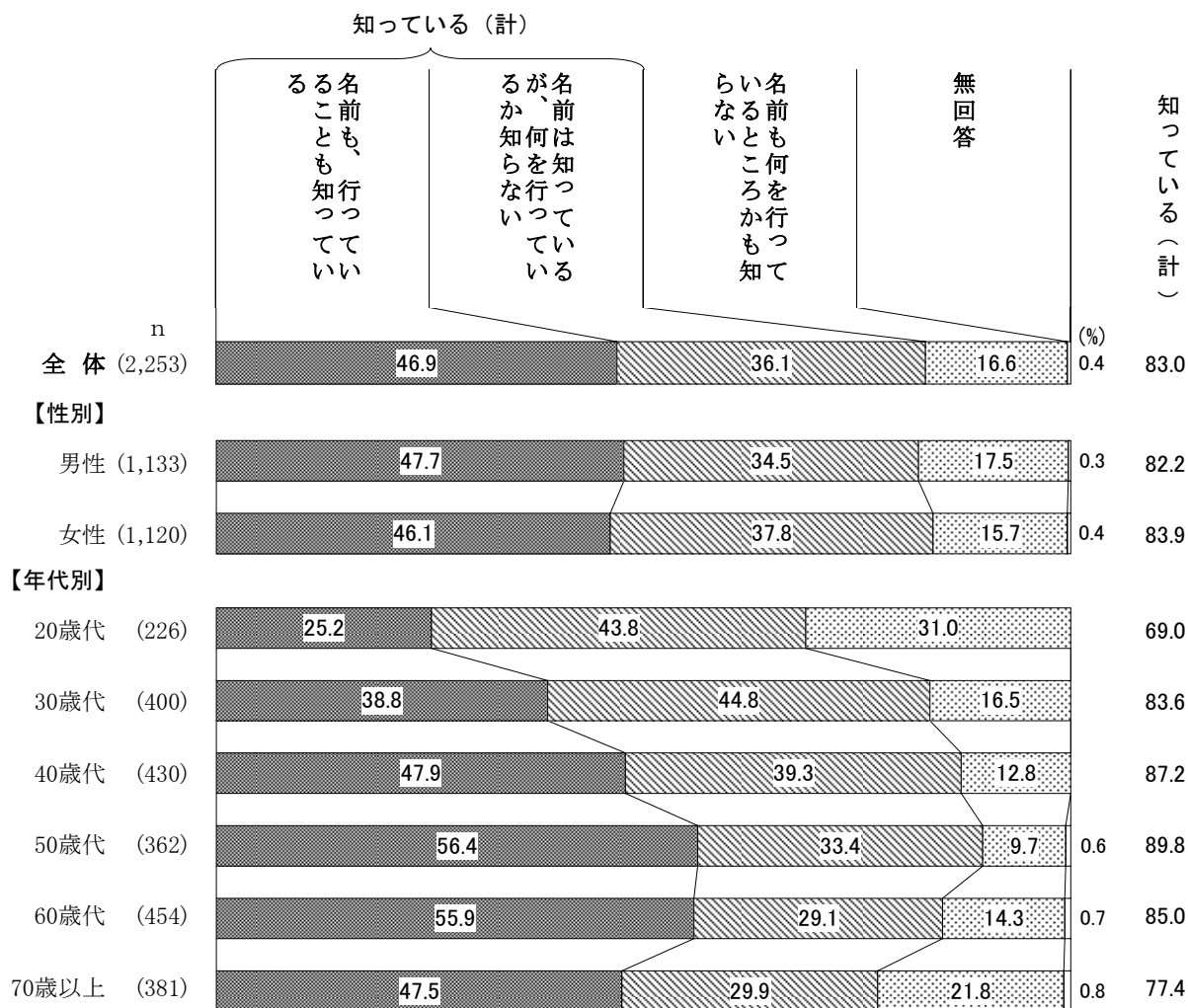
①性別

『知っている（計）』は男女で大きな差異はみられない。

②年代別

『知っている（計）』は50歳代（89.8%）で約9割と最も高く、20歳代（69.0%）で約7割と最も低くなっている。

○消費生活センターの認知・性別／年代別



③地域別

『知っている（計）』は県央地域（87.3%）で最も高く、東部地域（79.5%）と北部地域（78.0%）で8割を下回り低くなっている。

④性・年代別

「名前も、行っていることも知っている」は男女ともに50歳代と60歳代で5割を超えて高くなっている。また、『知っている（計）』は女性の40歳代（90.9%）と50歳代（92.8%）で9割を超えて高く、男女ともに20歳代で7割を下回り低くなっている。

⑤職業別

「名前も、行っていることも知っている」は自営業・家族従業（計）で5割を超えて高くなっている。

⑥ライフステージ別

「名前も、行っていることも知っている」は家族成熟期（58.2%）で6割弱と高くなっている。『知っている（計）』は家族成長後期（91.8%）で9割を超えて最も高く、独身期（74.3%）で7割半ばと低くなっている。

○消費生活センターの認知・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

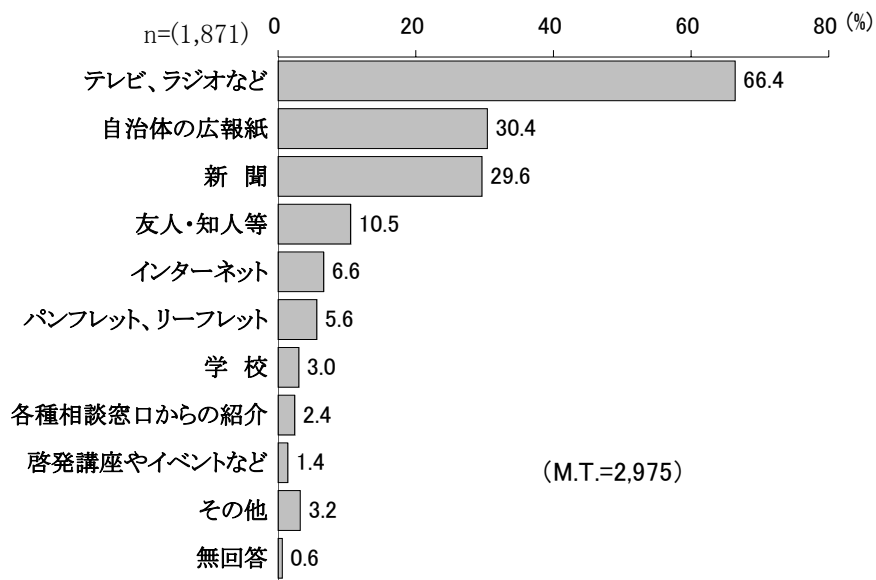
	調査数	名前も、 行っている ことも知 っている	名前も、 行っている ことも知 っている	名前も、 行っている ことも知 っている	無 回 答	知 っ て い る （ 計 ）
全 体	2253	46.9	36.1	16.6	0.4	83.0
地域別						
南部地域	232	50.0	31.5	18.1	0.4	81.5
南西部地域	226	46.5	37.6	15.9	-	84.1
東部地域	321	42.1	37.4	19.9	0.6	79.5
さいたま地域	365	48.2	37.3	13.7	0.8	85.5
県央地域	181	48.6	38.7	12.7	-	87.3
川越比企地域	263	47.1	37.6	14.8	0.4	84.7
西部地域	247	48.6	34.4	16.6	0.4	83.0
利根地域	204	48.0	34.8	17.2	-	82.8
北部地域	173	41.0	37.0	22.0	-	78.0
秩父地域	41	58.5	26.8	14.6	-	85.3
性・年代別						
男性・20歳代	105	30.5	39.0	30.5	-	69.5
30歳代	200	41.0	42.0	17.0	-	83.0
40歳代	231	46.3	37.7	16.0	-	84.0
50歳代	181	53.0	33.7	13.3	-	86.7
60歳代	229	57.2	26.6	15.3	0.9	83.8
70歳以上	187	49.7	30.5	19.3	0.5	80.2
女性・20歳代	121	20.7	47.9	31.4	-	68.6
30歳代	200	36.5	47.5	16.0	-	84.0
40歳代	199	49.7	41.2	9.0	-	90.9
50歳代	181	59.7	33.1	6.1	1.1	92.8
60歳代	225	54.7	31.6	13.3	0.4	86.3
70歳以上	194	45.4	29.4	24.2	1.0	74.8
職業別						
自営業・家族従業（計）	253	53.4	30.4	15.8	0.4	83.8
雇用者（計）	1149	45.5	38.4	16.0	0.1	83.9
無職（計）	846	46.8	34.9	17.6	0.7	81.7
ライフステージ別						
独身期	280	31.1	43.2	25.7	-	74.3
家族形成期	214	33.6	50.5	15.9	-	84.1
家族成長前期	291	40.2	40.5	18.9	0.3	80.7
家族成長後期	182	56.6	35.2	8.2	-	91.8
家族成熟期	476	58.2	29.4	12.2	0.2	87.6
高齢期	501	49.5	31.3	18.4	0.8	80.8
その他	309	49.5	34.3	15.5	0.6	83.8

（４－１）消費生活センターを知った媒体・場所

◇「テレビ、ラジオなど」が66.4%

（問14で「名前も、行っていることも知っている」「名前は知っているが、何を行っているか知らない」のいずれかを答えた方に）

問14－１ あなたは消費生活センター（または消費生活相談窓口）を何で知りましたか。あてはまるものをすべて選んでください。



消費生活センターを知った媒体・場所は、「テレビ、ラジオなど」が66.4%で最も高く、次いで「自治体の広報紙」（30.4%）、「新聞」（29.6%）、「友人・知人等」（10.5%）の順となっている。

【属性別比較】

①地域別

「テレビ、ラジオなど」は秩父地域（80.0%）で8割と高く、南西部地域（71.6%）で7割を超えて高くなっている。「自治体の広報紙」は県央地域（41.1%）と秩父地域（42.9%）で4割を超えて高くなっている。「新聞」は秩父地域（51.4%）で5割を超えて高くなっている。

②市郡規模別

「テレビ、ラジオなど」は郡部（町村）（77.8%）で8割弱と高くなっている。

③性別

「新聞」は男性（33.2%）のほうが女性（26.0%）よりも7.2ポイント、「インターネット」は男性（10.2%）のほうが女性（3.0%）よりも7.2ポイント高くなっている。逆に「自治体の広報紙」で4.1ポイント、「友人・知人等」で4.5ポイント女性のほうが男性よりも高くなっている。

④年代別

「テレビ、ラジオなど」は40歳代（72.0%）と50歳代（70.8%）で7割を超えて高くなっている。「自治体の広報紙」、「新聞」は年齢が高くなるほど割合が高くなっている。一方、「インターネット」は年齢が低くなるほど割合が高くなっている。

⑤性・年代別

「テレビ、ラジオなど」は男性では40歳代（71.1%）と50歳代（70.7%）、女性では30歳代から50歳代で7割を超えて高くなっている。「自治体の広報紙」は男性では70歳以上（46.7%）、女性では50歳以上で4割を超えて高くなっている。「新聞」は男性の50歳以上で4割を超えて高くなっている。「友人・知人等」と「インターネット」は男性の20歳代で2割を超えて最も高くなっている。

⑥職業別

「テレビ、ラジオなど」は自営業・家族従業（計）（74.5%）で7割を超えて高くなっている。「自治体の広報紙」は無職（計）（39.1%）で約4割と高くなっている。

⑦住居形態別

「自治体の広報紙」は持家（計）（32.6%）のほうが持家以外（計）（21.7%）よりも10.9ポイント高くなっている。逆に「テレビ、ラジオなど」は持家以外（計）（71.4%）のほうが持家（計）（65.1%）よりも6.3ポイント高くなっている。

⑧ライフステージ別

「テレビ、ラジオなど」は家族成長前期（70.2%）とその他（71.0%）で7割を超えて高くなっている。「自治体の広報紙」は独身期（9.6%）で最も低く、ライフステージが進むにつれおおむね割合が高くなっている。「新聞」は家族成熟期（38.8%）と高齢期（38.0%）で4割弱と高くなっている。

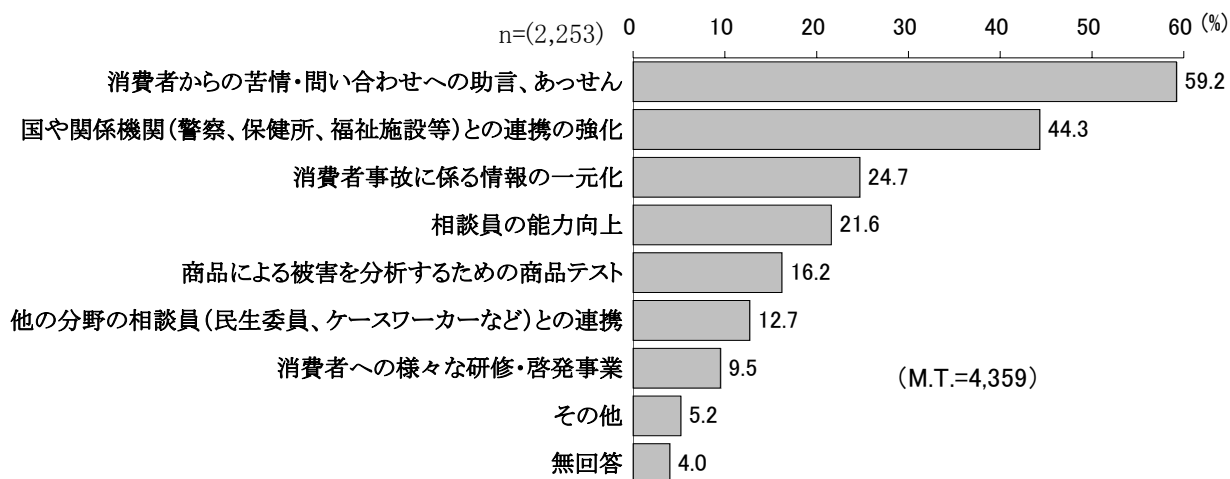
○消費生活センターを知った媒体・地域別／市郡規模別／性別／年代別／性・年代別
／職業別／住居形態別／ライフステージ別

	調査数	テレビ、ラジオなど	自治体の広報紙	新聞	友人・知人等	インターネット	パンフレット、リーフ	学校	各種相談窓口からの紹介	啓発講座やイベントなど	その他	無回答
全 体	1871	66.4	30.4	29.6	10.5	6.6	5.6	3.0	2.4	1.4	3.2	0.6
地域別												
南部地域	189	66.1	24.9	31.2	11.1	7.4	2.6	1.6	0.5	0.5	2.1	1.1
南西部地域	190	71.6	25.8	26.8	10.5	7.4	4.7	4.7	2.1	0.5	2.6	0.5
東部地域	255	65.5	27.1	31.8	9.8	7.5	6.7	3.5	2.4	2.4	2.0	0.4
さいたま地域	312	65.4	31.7	29.2	10.6	7.7	5.1	1.3	1.9	1.9	3.8	0.6
県央地域	158	67.1	41.1	29.1	13.9	5.7	7.0	1.3	3.8	1.9	1.9	—
川越比企地域	223	65.5	32.3	33.6	9.9	4.5	4.9	2.2	3.6	0.4	3.1	—
西部地域	205	65.9	28.3	24.9	6.8	7.3	8.8	3.9	2.0	1.0	5.4	2.9
利根地域	169	63.9	29.6	24.9	11.8	6.5	4.7	4.7	3.0	2.4	4.1	—
北部地域	135	64.4	32.6	28.9	14.1	4.4	4.4	5.2	2.2	1.5	4.4	—
秩父地域	35	80.0	42.9	51.4	2.9	2.9	11.4	2.9	2.9	2.9	—	—
市郡規模別												
人口10万以上の市	1369	65.2	29.1	28.1	11.1	6.4	5.4	2.8	2.1	1.3	3.3	0.8
人口10万未満の市	344	65.7	32.8	32.6	10.5	8.1	5.5	4.1	3.2	2.0	2.9	0.3
郡部（町村）	158	77.8	35.4	35.4	5.7	4.4	7.6	1.9	2.5	1.3	3.2	—
性別												
男性	932	67.0	28.3	33.2	8.3	10.2	5.6	1.9	2.0	1.5	3.3	0.6
女性	939	65.8	32.4	26.0	12.8	3.0	5.6	4.0	2.7	1.4	3.1	0.6
年代別												
20歳代	156	57.1	10.3	8.3	19.2	14.7	3.2	24.4	1.3	1.3	1.9	0.6
30歳代	334	68.6	20.7	16.8	11.7	10.2	6.6	2.4	1.5	0.6	3.3	0.6
40歳代	375	72.0	22.9	22.7	8.0	8.0	6.1	1.3	2.1	1.6	4.0	0.3
50歳代	325	70.8	36.3	40.3	4.9	5.8	7.7	0.9	3.1	1.2	3.4	0.9
60歳代	386	63.5	38.9	40.4	12.2	3.4	4.7	0.5	2.6	2.1	3.1	0.5
70歳以上	295	60.7	43.7	38.0	11.9	1.4	4.1	—	3.1	1.7	2.7	1.0
性・年代別												
男性・20歳代	73	63.0	4.1	6.8	20.5	26.0	2.7	17.8	1.4	2.7	—	1.4
30歳代	166	65.7	21.7	18.1	10.8	15.7	4.8	1.8	1.8	—	4.2	0.6
40歳代	194	71.1	18.6	27.8	6.7	10.8	6.2	1.0	2.6	1.5	4.6	—
50歳代	157	70.7	30.6	43.9	2.5	9.6	6.4	—	1.9	0.6	3.8	1.3
60歳代	192	66.7	37.0	44.8	7.8	5.7	5.7	—	2.6	2.1	3.1	—
70歳以上	150	61.3	46.7	43.3	8.0	2.0	6.0	—	1.3	2.7	2.0	1.3
女性・20歳代	83	51.8	15.7	9.6	18.1	4.8	3.6	30.1	1.2	—	3.6	—
30歳代	168	71.4	19.6	15.5	12.5	4.8	8.3	3.0	1.2	1.2	2.4	0.6
40歳代	181	72.9	27.6	17.1	9.4	5.0	6.1	1.7	1.7	1.7	3.3	0.6
50歳代	168	70.8	41.7	36.9	7.1	2.4	8.9	1.8	4.2	1.8	3.0	0.6
60歳代	194	60.3	40.7	36.1	16.5	1.0	3.6	1.0	2.6	2.1	3.1	1.0
70歳以上	145	60.0	40.7	32.4	15.9	0.7	2.1	—	4.8	0.7	3.4	0.7
職業別												
自営業・家族従業（計）	212	74.5	26.9	31.1	12.3	4.7	1.9	0.9	1.4	2.4	2.4	1.4
雇用者（計）	964	65.2	24.9	25.7	10.2	9.8	7.5	3.7	2.5	1.1	3.9	0.8
無職（計）	691	65.4	39.1	34.3	10.6	2.7	4.2	2.5	2.5	1.6	2.5	0.1
住居形態別												
持家（計）	1480	65.1	32.6	30.5	10.6	5.9	5.7	2.7	2.4	1.6	3.6	0.5
持家（一戸建）	1288	65.7	33.0	30.8	10.2	5.4	5.7	2.7	2.3	1.7	3.6	0.4
持家（集合住宅）	192	60.9	30.2	28.1	13.0	9.9	5.7	2.6	3.6	0.5	3.6	1.6
持家以外（計）	391	71.4	21.7	26.1	10.2	9.0	5.1	4.1	2.0	1.0	1.8	1.0
民間の借家（賃貸マンションなど）	275	74.5	20.0	24.4	10.2	9.8	4.0	4.0	1.8	0.4	1.8	1.1
UR都市機構（旧公団）・公社など	81	60.5	32.1	32.1	9.9	7.4	9.9	2.5	1.2	3.7	1.2	1.2
社宅・公務員住宅など給与住宅	24	79.2	8.3	29.2	4.2	—	—	8.3	—	—	—	—
住み込み、寮、寄宿舎など	7	57.1	14.3	14.3	28.6	28.6	14.3	14.3	28.6	—	—	—
その他	4	50.0	25.0	25.0	25.0	—	—	—	—	—	25.0	—
ライフステージ別												
独身期	208	63.5	9.6	14.9	14.9	18.3	4.8	19.2	1.4	1.0	2.4	0.5
家族形成期	180	68.3	17.8	12.2	14.4	8.3	4.4	1.1	0.6	0.6	3.3	0.6
家族成長前期	235	70.2	26.4	20.4	6.8	7.7	8.5	2.1	1.7	2.1	3.8	0.4
家族成長後期	167	68.3	28.7	27.5	11.4	8.4	7.8	1.8	5.4	0.6	2.4	—
家族成熟期	417	64.0	37.6	38.8	8.2	3.8	5.8	0.7	2.6	1.9	4.6	0.7
高齢期	405	63.5	44.2	38.0	12.1	0.7	4.2	—	3.2	2.0	2.0	0.5
その他	259	71.0	27.0	34.7	8.5	7.3	5.0	1.2	1.2	0.8	3.5	1.5

（５）消費生活センターに力を入れて欲しいこと

◇「消費者からの苦情・問い合わせへの助言、あっせん」が59.2%

問15 消費生活センター（または消費生活窓口）で特に力を入れて欲しいと思うことは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。



消費生活センター（または消費生活窓口）で力を入れて欲しいことは、「消費者からの苦情・問い合わせへの助言、あっせん」（59.2%）が約6割で最も高く、「国や関係機関（警察、保健所、福祉施設等）との連携の強化」（44.3%）、「消費者事故に係る情報の一元化」（24.7%）、「相談員の能力向上」（21.6%）の順となっている。

【属性別比較】

①地域別

「消費者からの苦情・問い合わせへの助言、あっせん」は県央地域（65.2%）と北部地域（65.3%）で6割半ばと高くなっている。「国や関係機関（警察、保健所、福祉施設等）との連携の強化」と「消費者事故に係る情報の一元化」は県央地域で最も高くなっている。

②市郡規模別

「消費者からの苦情・問い合わせへの助言、あっせん」は人口10万未満の市（61.2%）で6割を超えて高く、「国や関係機関（警察、保健所、福祉施設等）との連携の強化」は郡部（町村）（48.7%）で5割弱と高くなっている。

③性別

「消費者からの苦情・問い合わせへの助言、あっせん」は女性（63.4%）のほうが男性（55.0%）よりも8.4ポイント、「他の分野の相談員（民生委員、ケースワーカーなど）との連携」は女性（14.8%）のほうが男性（10.6%）よりも4.2ポイント高くなっている。

④年代別

「消費者からの苦情・問い合わせへの助言、あっせん」は50歳代（68.0%）で7割弱と最も高くなっている。「国や関係機関（警察、保健所、福祉施設等）との連携の強化」は30歳代（51.0%）と40歳代（51.2%）で5割を超えて高くなっている。「消費者事故に係る情報の一元化」、「商品による被害を分析するための商品テスト」、「消費者への様々な研修・啓発事業」は50歳代の割合が高くなっている。

⑤性・年代別

「消費者からの苦情・問い合わせへの助言、あっせん」は女性の50歳代（74.0%）で7割半ばと最も高くなっている。「国や関係機関（警察、保健所、福祉施設等）との連携の強化」は女性の30歳代（57.0%）で最も高く、男女ともに40歳代で5割を超えて高くなっている。「消費者事故に係る情報の一元化」は男性の50歳代（33.1%）で3割を超えて高くなっている。

⑥職業別

「消費者からの苦情・問い合わせへの助言、あっせん」、「国や関係機関（警察、保健所、福祉施設等）との連携の強化」、「消費者事故に係る情報の一元化」、「相談員の能力向上」は雇用者（計）が最も高くなっている。

⑦住居形態別

「相談員の能力向上」は持家以外（計）（28.4%）のほうが持家（計）（19.7%）よりも8.7ポイント高くなっている。

⑧ライフステージ別

「消費者からの苦情・問い合わせへの助言、あっせん」と「国や関係機関（警察、保健所、福祉施設等）との連携の強化」は家族成長後期で最も高くなっている。「消費者事故に係る情報の一元化」は家族形成期（30.4%）で3割を超えて高くなっている。

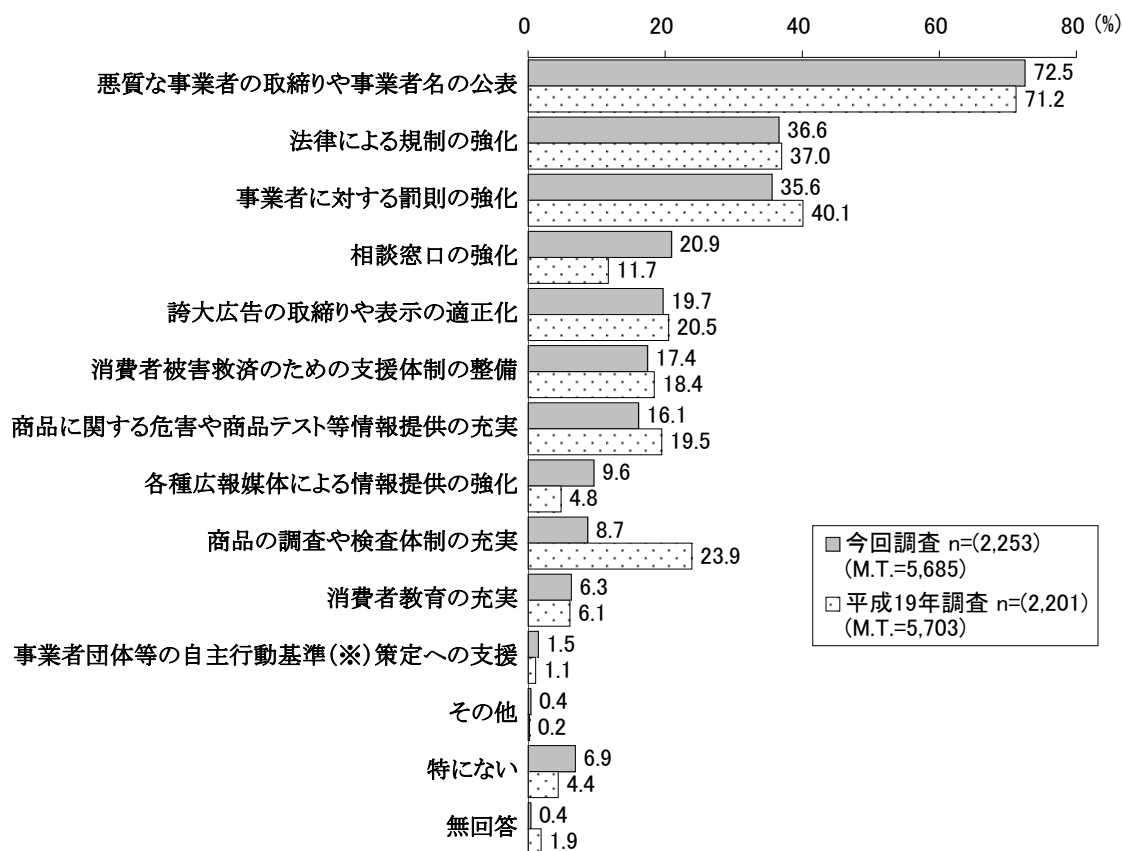
○消費生活センターに力を入れて欲しいこと・地域別／市郡規模別／性別／年代別
／性・年代別／職業別／住居形態別／ライフステージ別

	調査数	あい合同センターからの苦情・問	消費者からの苦情・問	の連携の強化	保健所、福祉施設等	国や関係機関（警察、消防、関係機関）	消費者事故に係る情報	相談員の能力向上	商品による被害を分析	商品に関する商品テスト分析	カーナビなどの連携	生委員、ケースワーカー	他の分野の相談員（民生委員、ケースワーカー）	消費者への様々な研修・啓発事業	その他	無回答
全 体	2253	59.2	44.3	24.7	21.6	16.2	12.7	9.5	5.2	4.0						
地域別																
南部地域	232	50.4	44.4	21.6	23.3	12.9	13.4	9.1	5.6	7.3						
南西部地域	226	63.3	46.5	21.7	27.9	14.6	15.5	10.2	5.3	2.2						
東部地域	321	56.1	40.5	25.2	17.1	16.5	10.9	10.0	9.7	4.4						
さいたま地域	365	61.1	43.0	22.2	23.3	18.4	12.6	10.4	6.0	3.0						
県央地域	181	65.2	54.1	33.7	23.2	16.0	12.2	9.9	1.7	1.1						
川越比企地域	263	58.6	43.7	27.0	19.4	14.8	12.2	9.9	4.2	4.6						
西部地域	247	57.9	46.2	27.5	19.8	18.2	13.8	10.1	6.5	4.0						
利根地域	204	57.4	41.7	24.5	23.5	15.7	12.3	10.3	3.9	7.8						
北部地域	173	65.3	41.6	21.4	16.8	17.3	11.0	5.8	0.6	2.3						
秩父地域	41	61.0	48.8	22.0	24.4	19.5	17.1	2.4	-	-						
市郡規模別																
人口10万以上の市	1648	58.7	43.4	24.7	21.1	16.4	11.9	9.6	6.1	4.1						
人口10万未満の市	412	61.2	46.1	26.7	24.8	17.2	16.5	10.0	2.9	4.6						
郡部（町村）	193	59.1	48.7	20.7	18.7	13.0	11.4	7.8	2.6	2.1						
性別																
男性	1133	55.0	44.1	25.7	20.7	15.6	10.6	9.3	5.5	3.9						
女性	1120	63.4	44.6	23.8	22.5	16.9	14.8	9.8	4.9	4.2						
年代別																
20歳代	226	52.7	42.9	21.7	26.1	15.9	11.5	9.3	5.8	3.1						
30歳代	400	61.5	51.0	27.3	27.0	15.5	11.5	6.5	4.0	2.0						
40歳代	430	62.3	51.2	27.2	27.4	15.8	12.8	9.8	4.0	1.4						
50歳代	362	68.0	44.8	30.7	22.1	22.4	12.2	15.2	2.5	1.4						
60歳代	454	57.3	39.6	24.9	15.2	15.0	11.9	8.1	4.6	6.8						
70歳以上	381	50.9	35.7	15.2	13.6	13.4	16.0	8.9	10.8	8.9						
性・年代別																
男性・20歳代	105	46.7	41.9	21.0	26.7	21.0	8.6	8.6	6.7	2.9						
30歳代	200	56.5	45.0	25.5	27.5	13.5	8.0	6.0	6.0	2.0						
40歳代	231	58.4	50.6	26.8	27.3	13.4	10.8	10.0	3.5	2.2						
50歳代	181	61.9	44.2	33.1	18.8	22.1	10.5	14.9	2.8	1.7						
60歳代	229	55.0	42.4	28.4	12.7	15.7	10.5	7.9	4.8	6.1						
70歳以上	187	47.1	38.5	16.6	13.4	11.2	14.4	8.6	10.2	8.0						
女性・20歳代	121	57.9	43.8	22.3	25.6	11.6	14.0	9.9	5.0	3.3						
30歳代	200	66.5	57.0	29.0	26.5	17.5	15.0	7.0	2.0	2.0						
40歳代	199	66.8	51.8	27.6	27.6	18.6	15.1	9.5	4.5	0.5						
50歳代	181	74.0	45.3	28.2	25.4	22.7	13.8	15.5	2.2	1.1						
60歳代	225	59.6	36.9	21.3	17.8	14.2	13.3	8.4	4.4	7.6						
70歳以上	194	54.6	33.0	13.9	13.9	15.5	17.5	9.3	11.3	9.8						
職業別																
自営業・家族従業（計）	253	53.4	39.1	22.1	17.0	11.9	11.9	11.9	5.9	5.9						
雇用者（計）	1149	62.0	47.0	27.2	24.7	16.7	11.1	10.0	3.8	2.3						
無職（計）	846	57.2	42.1	22.2	18.7	16.9	15.0	8.3	6.9	5.8						
住居形態別																
持家（計）	1758	60.0	44.5	24.6	19.7	16.7	12.4	9.7	4.9	3.9						
持家（一戸建）	1539	59.8	44.3	24.3	19.4	16.1	12.7	9.6	4.7	4.3						
持家（集合住宅）	219	60.7	46.1	26.5	21.9	20.5	10.0	10.0	6.4	1.4						
持家以外（計）	493	56.6	43.8	25.4	28.4	14.8	13.8	9.1	6.1	4.3						
民間の借家（賃貸マンションなど）	347	59.7	44.1	24.8	28.8	13.5	12.1	9.2	5.5	4.0						
UR都市機構（旧公団）・公社など	101	48.5	43.6	24.8	25.7	18.8	21.8	8.9	9.9	3.0						
社宅・公務員住宅など給与住宅	25	56.0	48.0	28.0	36.0	16.0	12.0	8.0	-	8.0						
住み込み、寮、寄宿舎など	13	53.8	38.5	38.5	30.8	23.1	7.7	7.7	-	-						
その他	7	28.6	28.6	28.6	14.3	-	-	14.3	14.3	28.6						
ライフステージ別																
独身期	280	54.6	44.3	23.6	26.8	16.1	10.7	8.9	5.7	2.9						
家族形成期	214	62.1	49.5	30.4	26.6	13.1	12.6	7.0	4.7	1.4						
家族成長前期	291	60.8	49.8	28.9	27.1	19.2	12.0	7.9	3.1	2.4						
家族成長後期	182	67.6	55.5	25.3	23.1	19.2	13.2	8.8	2.7	0.5						
家族成熟期	476	63.2	41.6	24.4	20.8	17.0	11.1	13.4	3.4	3.6						
高齢期	501	55.3	37.1	20.4	13.0	15.0	16.2	8.4	8.0	8.2						
その他	309	54.7	45.0	25.2	22.3	14.9	11.7	9.7	6.8	4.5						

（６）消費者のために必要な取り組み

◇「悪質な事業者の取締りや事業者名の公表」が72.5%

問16 あなたは消費者支援のためにどのような取り組みが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。



※ 法令遵守などの経営姿勢や消費者への対応などの方針を示したもの

消費者支援のために必要な取り組みは、「悪質な事業者の取締りや事業者名の公表」（72.5%）が7割強と最も高く、次いで「法律による規制の強化」（36.6%）、「事業者に対する罰則の強化」（35.6%）、「相談窓口の強化」（20.9%）、「誇大広告の取締りや表示の適正化」（19.7%）、「消費者被害救済のための支援体制の整備」（17.4%）、「商品に関する危害や商品テスト等情報提供の充実」（16.1%）の順となっている。

【平成19年調査との比較】

「相談窓口の強化」が9.2ポイント、「各種広報媒体による情報提供の強化」が4.8ポイント増加している。一方、「商品の調査や検査体制の充実」（15.2ポイント減）、「事業者に対する罰則の強化」（4.5ポイント減）などが減少している。

【属性別比較】

①地域別

「悪質な事業者の取締りや事業者名の公表」は県央地域（81.8%）で8割強と最も高くなっている。「法律による規制の強化」は南西部地域（41.2%）、県央地域（43.6%）、秩父地域（41.5%）で4割を超えて高くなっている。「事業者に対する罰則の強化」は県央地域（40.9%）で約4割と高くなっている。「相談窓口の強化」は北部地域（26.6%）で2割半ばと高くなっている。

②市郡規模別

「悪質な事業者の取締りや事業者名の公表」は郡部（町村）（75.6%）で7割半ばと高くなっている。「法律による規制の強化」と「事業者に対する罰則の強化」は人口10万未満の市で約4割と高くなっている。

③性別

「事業者に対する罰則の強化」は男性（39.4%）のほうが女性（31.9%）よりも7.5ポイント高くなっている。逆に「相談窓口の強化」は女性（24.1%）のほうが男性（17.7%）よりも6.4ポイント高くなっている。

④年代別

「悪質な事業者の取締りや事業者名の公表」は70歳以上（59.8%）で約6割、20歳代（64.2%）で6割半ばと低くなっている。「法律による規制の強化」は40歳代（42.1%）で4割強、「事業者に対する罰則の強化」は30歳代（42.5%）で4割強と高くなっている。「誇大広告の取締りや表示の適正化」は60歳代（29.1%）で約3割と高くなっている。

⑤性・年代別

「悪質な事業者の取締りや事業者名の公表」は男性の50歳代（80.7%）で約8割と高くなっている。「法律による規制の強化」は男性では30歳代（41.0%）と40歳代（40.3%）、女性では40歳代（44.2%）で4割を超えて高く、「事業者に対する罰則の強化」は男性では30歳代から50歳代、女性では30歳代で4割を超えて高くなっている。「相談窓口の強化」は女性の20歳代（28.9%）で3割弱と高くなっている。「誇大広告の取締りや表示の適正化」は男女ともに60歳代で割合が高くなっている。

⑥職業別

「悪質な事業者の取締りや事業者名の公表」と「事業者に対する罰則の強化」は雇用者（計）でやや高くなっている。「法律による規制の強化」は自営業・家族従業（計）（40.3%）で約4割と高くなっている。

⑦住居形態別

「悪質な事業者の取締りや事業者名の公表」は持家（計）（73.7%）のほうが持家以外（計）（68.8%）よりも4.9ポイント、「商品に関する危害や商品テスト等情報提供の充実」は持家（計）（17.0%）のほうが持家以外（計）（13.0%）よりも4.0ポイント高くなっている。

⑧ライフステージ別

「悪質な事業者の取締りや事業者名の公表」は家族成長後期（79.1%）で約8割と高く、独身期（67.1%）と高齢期（65.9%）で7割を下回り低くなっている。「法律による規制の強化」は家族成長前期（42.6%）で4割強と最も高くなっている。「事業者に対する罰則の強化」は独身期（40.7%）と家族成長後期（41.8%）で4割を超えて高くなっている。

○消費者のために必要な取り組み・地域別／市郡規模別／性別／年代別／性・年代別
／職業別／住居形態別／ライフステージ別

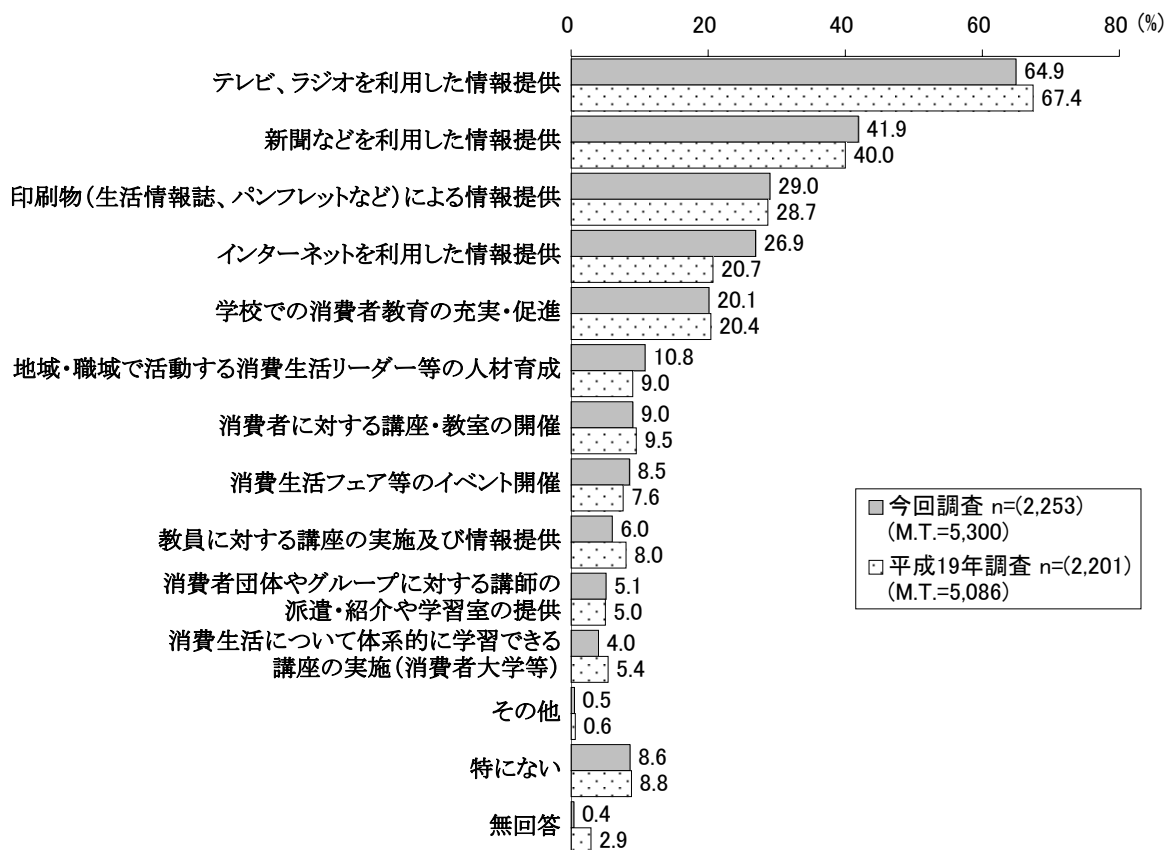
	調査数	事業者 名 の 取 締 り や	法律 による 規制 の 強化	事業者 に対する 罰則 の 強化	相談 窓口 の 強化	誇大 広告 の 取締り や 表示 の 適正 化	消費者 被害 救済 の ための 整備	商品 に関する 危害 や 商品 提供 の 情報 の 強化	各種 広報 媒体 による 情報 提供 の 強化	商品 の 調査 や 検査 体制 の 充実	消費者 教育 の 充実	事業者 団体 等の 自主 行動 の 策定 への 支援	その他	特 に ない	無 回 答
全 体	2253	72.5	36.6	35.6	20.9	19.7	17.4	16.1	9.6	8.7	6.3	1.5	0.4	6.9	0.4
地域別															
南部地域	232	67.7	37.9	34.5	23.7	14.7	15.1	15.9	9.5	9.5	5.6	0.9	0.4	8.6	-
南西部地域	226	77.4	41.2	35.4	23.9	18.6	21.2	15.0	11.5	8.0	6.2	2.2	0.4	2.7	-
東部地域	321	63.2	33.0	34.6	19.0	18.1	16.5	14.3	9.3	7.2	7.2	0.6	-	12.1	0.3
さいたま地域	365	76.4	35.9	35.6	23.6	20.3	17.8	17.3	11.2	9.3	7.4	1.1	0.5	4.9	-
県央地域	181	81.8	43.6	40.9	19.9	28.2	14.4	18.2	10.5	6.1	5.0	1.7	0.6	2.8	-
川越比企地域	263	72.2	29.3	36.9	19.4	22.4	17.1	16.0	8.0	11.0	6.1	3.4	-	7.2	0.8
西部地域	247	72.5	37.2	38.1	20.2	16.2	17.8	12.6	9.7	5.7	6.5	1.6	0.8	8.1	1.2
利根地域	204	71.1	35.8	34.8	13.2	24.0	21.1	19.6	7.4	12.7	5.9	0.5	0.5	6.9	1.5
北部地域	173	74.6	39.9	30.1	26.6	16.2	16.2	17.9	8.1	8.1	6.9	1.7	-	6.4	-
秩父地域	41	70.7	41.5	34.1	12.2	19.5	14.6	14.6	12.2	12.2	2.4	-	-	9.8	-
市郡規模別															
人口10万以上の市	1648	72.1	36.2	35.6	22.5	18.4	17.0	15.8	10.0	8.7	6.7	1.4	0.3	7.0	0.3
人口10万未満の市	412	72.8	40.8	39.1	16.7	22.8	19.4	15.5	9.5	8.0	4.6	1.5	0.5	5.8	1.0
郡部（町村）	193	75.6	31.6	28.5	16.6	23.8	17.1	20.2	7.3	9.8	7.3	2.1	0.5	8.8	-
性別															
男性	1133	74.1	37.1	39.4	17.7	19.8	18.0	13.9	10.0	7.9	6.1	1.0	0.5	7.2	0.4
女性	1120	70.9	36.2	31.9	24.1	19.6	16.9	18.4	9.3	9.5	6.6	2.0	0.2	6.6	0.4
年代別															
20歳代	226	64.2	34.1	35.4	25.2	10.6	26.5	11.9	6.6	9.3	14.2	1.3	0.4	4.9	0.4
30歳代	400	76.5	40.0	42.5	22.5	15.8	18.5	11.8	10.0	5.5	6.3	1.0	0.3	5.0	0.3
40歳代	430	77.7	42.1	39.5	21.9	15.1	18.4	15.8	12.3	7.0	5.1	2.1	0.9	2.8	-
50歳代	362	78.7	35.6	34.5	22.9	20.7	17.1	20.2	10.8	9.7	7.2	1.1	-	3.9	-
60歳代	454	74.0	33.9	31.3	16.1	29.1	15.0	17.6	8.4	11.9	4.4	1.5	0.2	8.4	0.9
70歳以上	381	59.8	32.5	30.4	19.4	22.0	13.1	17.8	8.4	8.9	4.7	1.6	0.3	16.0	0.8
性・年代別															
男性・20歳代	105	62.9	33.3	35.2	21.0	9.5	22.9	12.4	5.7	7.6	14.3	-	1.0	8.6	-
30歳代	200	77.5	41.0	45.0	21.0	16.0	17.5	10.0	11.0	5.0	6.0	0.5	0.5	6.5	-
40歳代	231	78.8	40.3	43.3	21.2	13.9	18.2	11.3	13.0	5.6	6.1	1.3	0.9	3.5	-
50歳代	181	80.7	37.6	42.5	18.8	19.3	17.7	14.9	9.4	6.6	6.6	1.1	-	4.4	-
60歳代	229	73.4	35.8	35.8	13.1	28.8	18.3	14.4	8.3	12.2	3.5	0.9	0.4	9.2	0.9
70歳以上	187	65.8	32.1	32.1	12.8	26.2	15.5	20.3	10.2	10.2	4.3	1.6	0.5	12.3	1.1
女性・20歳代	121	65.3	34.7	35.5	28.9	11.6	29.8	11.6	7.4	10.7	14.0	2.5	-	1.7	0.8
30歳代	200	75.5	39.0	40.0	24.0	15.5	19.5	13.5	9.0	6.0	6.5	1.5	-	3.5	0.5
40歳代	199	76.4	44.2	35.2	22.6	16.6	18.6	21.1	11.6	8.5	4.0	3.0	1.0	2.0	-
50歳代	181	76.8	33.7	26.5	27.1	22.1	16.6	25.4	12.2	12.7	7.7	1.1	-	3.3	-
60歳代	225	74.7	32.0	26.7	19.1	29.3	11.6	20.9	8.4	11.6	5.3	2.2	-	7.6	0.9
70歳以上	194	54.1	33.0	28.9	25.8	18.0	10.8	15.5	6.7	7.7	5.2	1.5	-	19.6	0.5
職業別															
自営業・家族従業（計）	253	73.9	40.3	33.6	17.4	22.1	13.4	14.2	7.9	8.3	5.5	1.6	-	8.7	0.4
雇用者（計）	1149	75.5	36.9	39.3	22.4	17.8	19.1	13.6	11.6	7.7	7.0	1.2	0.6	3.7	0.3
無職（計）	846	68.1	35.1	31.2	20.1	21.5	16.2	20.0	7.6	10.2	5.7	1.8	0.1	10.9	0.5
住居形態別															
持家（計）	1758	73.7	37.4	36.0	20.8	20.3	16.4	17.0	10.0	9.0	6.1	1.6	0.4	6.1	0.5
持家（一戸建）	1539	73.9	37.3	35.5	20.5	19.9	16.4	16.9	9.8	9.4	5.7	1.6	0.4	6.4	0.5
持家（集合住宅）	219	71.7	37.9	39.3	22.4	22.8	16.4	17.8	11.0	6.4	8.7	1.4	0.5	3.7	-
持家以外（計）	493	68.8	34.1	34.5	21.5	17.4	21.3	13.0	8.5	7.5	7.3	1.0	0.2	9.5	0.2
民間の借家（賃貸マンションなど）	347	70.6	36.3	34.3	20.7	15.9	20.7	13.8	10.1	7.2	5.8	1.2	-	8.4	0.3
UR都市機構（旧公団）・公社など	101	63.4	30.7	37.6	22.8	18.8	18.8	11.9	5.9	7.9	8.9	1.0	-	14.9	-
社宅・公務員住宅など給与住宅	25	68.0	28.0	36.0	16.0	28.0	32.0	8.0	4.0	8.0	16.0	-	-	8.0	-
住み込み、寮、寄宿舎など	13	69.2	15.4	23.1	30.8	30.8	30.8	15.4	-	7.7	15.4	-	-	-	-
その他	7	57.1	28.6	14.3	42.9	14.3	28.6	-	-	14.3	14.3	-	14.3	14.3	-
ライフステージ別															
独身期	280	67.1	35.7	40.7	23.9	15.4	23.6	11.1	7.5	7.1	10.7	1.8	0.7	4.6	0.7
家族形成期	214	71.5	37.4	38.3	25.7	15.0	19.6	12.1	11.7	7.0	8.9	0.5	-	5.1	-
家族成長前期	291	78.4	42.6	39.2	22.3	15.1	19.6	17.2	9.6	5.8	5.2	1.4	1.0	3.4	-
家族成長後期	182	79.1	39.0	41.8	17.0	18.1	15.4	19.2	12.1	9.3	6.6	1.6	-	3.3	-
家族成熟期	476	76.5	35.9	32.8	19.1	26.3	16.0	18.7	11.1	11.6	6.5	1.9	0.2	5.3	0.6
高齢期	501	65.9	33.9	28.7	19.2	23.6	14.0	17.0	9.2	10.6	4.6	1.4	0.2	12.4	0.6
その他	309	73.5	35.3	37.9	21.4	15.5	17.5	15.2	7.1	6.1	4.2	1.3	0.3	9.4	0.3

※ 法令遵守などの経営姿勢や消費者への対応などの方針を示したもの

（７）情報提供・学習活動の分野で力を入れる必要があるもの

◇「テレビ、ラジオを利用した情報提供」が64.9%

問17 今後、情報提供や学習活動の分野で、さらに力を入れていく必要があると思われるものは何ですか。次の中から3つまで選んでください。



今後、情報提供や学習活動の分野で力を入れる必要があるものは、「テレビ、ラジオを利用した情報提供」が64.9%で最も高く、次いで「新聞などを利用した情報提供」(41.9%)、「印刷物(生活情報誌、高齢者・若者向けパンフレットなど)による情報提供」(29.0%)、「インターネットを利用した情報提供」(26.9%)、「学校での消費者教育の充実・促進」(20.1%)、「地域・職域で活動する消費生活リーダー等の人材育成」(10.8%)の順となっている。

【平成19年調査との比較】

「インターネットを利用した情報提供」が6.2ポイント増加している。一方、「テレビ、ラジオを利用した情報提供」が2.5ポイント減少している。

【属性別比較】

①地域別

「テレビ、ラジオを利用した情報提供」は南西部地域（72.6%）で7割強と最も高くなっている。「新聞などを利用した情報提供」は県央地域（45.3%）と北部地域（45.7%）で4割半ばと高くなっている。「印刷物（生活情報誌、高齢者・若者向けパンフレットなど）による情報提供」は秩父地域（41.5%）で4割強と最も高くなっている。「インターネットを利用した情報提供」は南西部地域（35.0%）、県央地域（34.8%）、西部地域（33.2%）で3割を超えて高くなっている。

②市郡規模別

「テレビ、ラジオを利用した情報提供」は人口10万未満の市（69.7%）で約7割と高くなっている。

③性別

「インターネットを利用した情報提供」は男性（32.1%）のほうが女性（21.6%）よりも10.5ポイント高くなっている。

④年代別

「テレビ、ラジオを利用した情報提供」は50歳代（68.5%）で7割弱と最も高くなっている。「新聞などを利用した情報提供」は50歳代（51.4%）と60歳代（55.9%）で5割を超えて高くなっている。「印刷物（生活情報誌、高齢者・若者向けパンフレットなど）による情報提供」は50歳代以上の割合が高くなっている。「インターネットを利用した情報提供」と「学校での消費者教育の充実・促進」は年齢が高くなるほど割合が低くなっている。

⑤性・年代別

「新聞などを利用した情報提供」は男性では50歳代（57.5%）と60歳代（58.5%）、女性では60歳代（53.3%）で5割を超えて高くなっている。「印刷物（生活情報誌、高齢者・若者向けパンフレットなど）による情報提供」は男性の70歳以上（41.2%）で4割強と最も高く、「インターネットを利用した情報提供」は男性の20歳代（50.5%）で約5割と高くなっている。

⑥職業別

「新聞などを利用した情報提供」と「印刷物（生活情報誌、高齢者・若者向けパンフレットなど）による情報提供」は無職（計）で比較的高く、「インターネットを利用した情報提供」と「学校での消費者教育の充実・促進」は雇用者（計）で比較的高くなっている。

⑦住居形態別

「新聞などを利用した情報提供」は持家（計）（44.7%）のほうが持家以外（計）（32.0%）よりも12.7ポイント、「印刷物（生活情報誌、高齢者・若者向けパンフレットなど）による情報提供」は持家（計）（30.6%）のほうが持家以外（計）（23.5%）よりも7.1ポイント高くなっている。逆に「インターネットを利用した情報提供」は持家以外（計）（34.7%）のほうが持家（計）（24.7%）よりも10.0ポイント高くなっている。

⑧ライフステージ別

「新聞などを利用した情報提供」は家族成熟期（52.1%）で5割を超えて高くなっている。「インターネットを利用した情報提供」は独身期（44.3%）と家族形成期（44.9%）で4割を超えて高くなっている。

○情報提供・学習活動の分野で力を入れる必要があるもの・地域別／市郡規模別／性別
／年代別／性・年代別／職業別／住居形態別／ライフステージ別

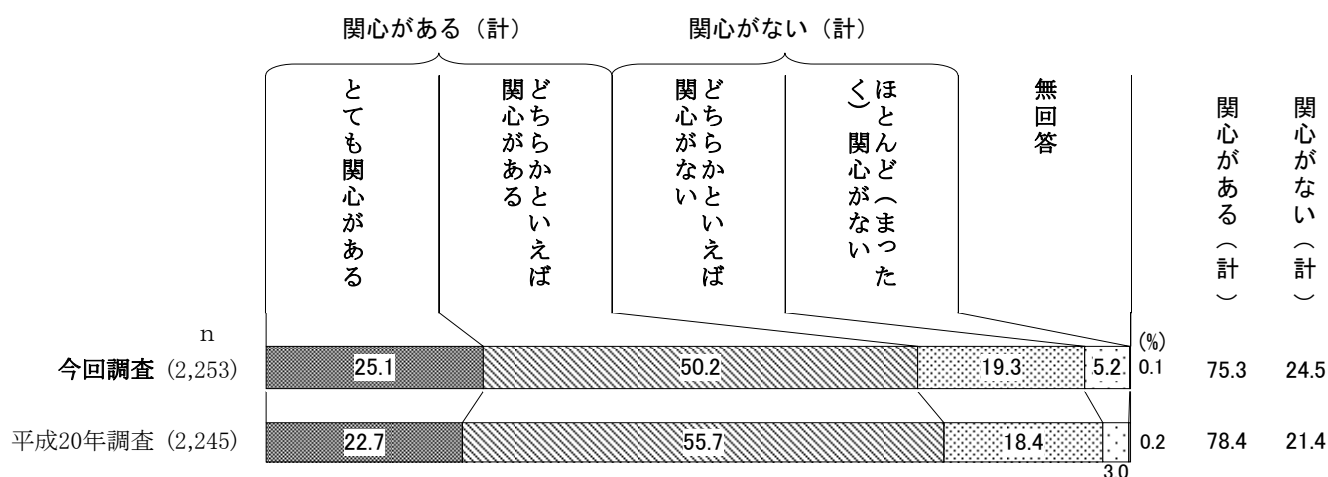
	調査数	テレビ、ラジオを利用した情報提供	新聞などを利用した情報提供	印刷物（生活情報誌、高齢者・若者向けパンフ）による情報提供	インターネットを利用した情報提供	学校での消費者教育の充実・促進	地域・職域で活動する消費生活リーダー等の人材育成	消費者に対する講座・教室の開催	消費生活フェア等のイベント開催	教員に対する講座の実施及び情報提供	消費者団体や消費者問題を学習しようとするグループに対する講師の派遣・紹介や学習室の提供	（消費者大学など）消費生活について体系的に学習できる講座の実施	その他	特にな	無回答
全 体	2253	64.9	41.9	29.0	26.9	20.1	10.8	9.0	8.5	6.0	5.1	4.0	0.5	8.6	0.4
地域別															
南部地域	232	62.5	38.4	29.3	27.6	17.2	10.3	8.2	6.0	4.7	6.9	3.4	0.4	10.3	-
南西部地域	226	72.6	44.2	31.4	35.0	16.4	9.7	13.3	11.9	4.4	4.4	5.3	0.9	4.0	0.4
東部地域	321	58.9	40.8	22.4	21.8	17.8	8.1	9.0	10.3	4.7	4.0	3.1	0.3	15.3	-
さいたま地域	365	64.9	40.3	27.1	29.6	21.4	10.7	10.1	7.7	7.1	3.6	3.8	1.4	7.9	0.3
県央地域	181	69.6	45.3	35.9	34.8	24.3	12.2	5.5	11.6	8.8	5.5	3.3	-	2.8	-
川越比企地域	263	64.3	44.9	30.4	22.4	16.0	16.0	9.5	8.0	6.8	6.5	4.9	-	7.6	-
西部地域	247	61.9	38.9	29.1	33.2	27.9	8.1	6.5	7.7	4.5	5.3	3.6	0.4	7.3	1.6
利根地域	204	64.7	42.2	30.9	20.6	17.6	11.3	10.3	6.4	4.9	5.4	4.9	0.5	11.3	1.0
北部地域	173	68.8	45.7	27.2	19.7	25.4	10.4	7.5	7.5	8.1	4.0	4.6	-	7.5	-
秩父地域	41	68.3	36.6	41.5	12.2	14.6	17.1	7.3	4.9	9.8	9.8	2.4	-	9.8	-
市郡規模別															
人口10万以上の市	1648	63.5	41.5	28.4	28.3	19.6	10.4	9.2	8.1	6.1	5.2	4.2	0.5	8.6	0.2
人口10万未満の市	412	69.7	43.0	31.3	25.0	21.6	11.2	9.5	10.4	4.9	4.1	3.2	0.7	7.8	0.7
郡部（町村）	193	66.8	42.5	29.5	18.7	21.2	13.0	6.2	7.3	7.8	6.2	4.1	-	10.9	0.5
性別															
男性	1133	63.5	42.8	28.5	32.1	19.3	9.7	8.0	6.5	6.6	4.0	3.5	0.7	9.0	0.1
女性	1120	66.3	40.9	29.6	21.6	20.9	11.9	10.0	10.4	5.4	6.2	4.6	0.3	8.2	0.6
年代別															
20歳代	226	61.9	27.0	15.5	47.8	29.6	9.7	4.9	11.9	6.6	5.8	4.0	0.4	6.6	-
30歳代	400	65.0	29.8	24.5	40.5	26.8	9.5	7.3	8.3	9.5	4.0	3.3	0.8	5.0	0.5
40歳代	430	65.3	35.6	24.0	33.5	26.3	9.1	6.7	10.5	8.1	4.9	3.0	0.2	5.8	-
50歳代	362	68.5	51.4	33.7	29.0	19.6	12.7	12.7	9.9	5.0	6.1	4.1	0.3	4.1	0.3
60歳代	454	64.1	55.9	35.9	12.8	13.4	11.9	11.7	6.2	4.0	6.8	4.0	0.7	9.9	0.4
70歳以上	381	63.5	44.6	34.9	7.6	8.9	11.5	9.2	5.8	2.9	2.9	6.0	0.5	19.4	0.8
性・年代別															
男性・20歳代	105	60.0	22.9	11.4	50.5	25.7	10.5	2.9	11.4	7.6	3.8	3.8	1.0	9.5	-
30歳代	200	61.0	30.0	25.0	47.5	27.0	10.0	8.0	7.0	10.0	3.5	3.0	1.0	5.5	-
40歳代	231	63.2	32.5	20.3	35.9	27.7	8.2	4.3	7.8	9.1	4.8	1.3	0.4	7.8	-
50歳代	181	68.0	57.5	29.8	39.2	19.9	9.4	10.5	6.1	5.5	2.8	3.9	0.6	3.9	-
60歳代	229	64.2	58.5	36.2	19.2	11.8	9.6	10.9	4.4	4.8	5.2	4.8	1.3	9.2	-
70歳以上	187	63.6	47.1	41.2	9.6	5.9	11.2	9.6	4.8	2.7	3.2	4.8	-	18.7	0.5
女性・20歳代	121	63.6	30.6	19.0	45.5	33.1	9.1	6.6	12.4	5.8	7.4	4.1	-	4.1	-
30歳代	200	69.0	29.5	24.0	33.5	26.5	9.0	6.5	9.5	9.0	4.5	3.5	0.5	4.5	1.0
40歳代	199	67.8	39.2	28.1	30.7	24.6	10.1	9.5	13.6	7.0	5.0	5.0	-	3.5	-
50歳代	181	69.1	45.3	37.6	18.8	19.3	16.0	14.9	13.8	4.4	9.4	4.4	-	4.4	0.6
60歳代	225	64.0	53.3	35.6	6.2	15.1	14.2	12.4	8.0	3.1	8.4	3.1	-	10.7	0.9
70歳以上	194	63.4	42.3	28.9	5.7	11.9	11.9	8.8	6.7	3.1	2.6	7.2	1.0	20.1	1.0
職業別															
自営業・家族従業（計）	253	65.2	39.9	22.1	26.1	18.2	9.9	7.9	7.5	6.3	7.9	2.8	1.6	10.3	-
雇用者（計）	1149	64.6	38.6	27.4	35.3	24.5	11.0	9.7	8.7	7.1	5.2	4.1	0.2	5.9	0.2
無職（計）	846	65.2	46.9	33.5	15.6	14.9	10.9	8.4	8.4	4.3	4.0	4.1	0.6	11.8	0.7
住居形態別															
持家（計）	1758	65.9	44.7	30.6	24.7	19.1	10.8	9.5	8.4	6.0	4.9	4.4	0.5	8.3	0.5
持家（一戸建）	1539	66.2	45.3	30.6	23.3	18.6	10.8	9.5	7.8	5.9	5.4	4.7	0.6	8.5	0.5
持家（集合住宅）	219	63.5	40.2	30.6	34.7	22.8	10.5	9.6	12.3	6.4	1.8	2.3	-	6.8	-
持家以外（計）	493	61.7	32.0	23.5	34.7	23.7	11.0	7.3	8.9	6.1	5.5	2.8	0.4	9.3	-
民間の借家（賃貸マンションなど）	347	63.7	29.7	23.3	36.6	25.1	11.8	8.1	9.2	5.2	4.6	2.3	0.3	8.4	-
ＵＲ都市機構（旧公団）・公社など	101	58.4	45.5	25.7	21.8	15.8	7.9	7.9	7.9	7.9	8.9	4.0	-	12.9	-
社宅・公務員住宅など給与住宅	25	52.0	28.0	24.0	48.0	40.0	8.0	-	-	16.0	-	-	-	12.0	-
住み込み、寮、寄宿舎など	13	53.8	7.7	7.7	76.9	15.4	7.7	-	23.1	-	15.4	-	-	-	-
その他	7	57.1	14.3	28.6	-	28.6	28.6	-	14.3	-	-	-	14.3	14.3	-
ライフステージ別															
独身期	280	63.6	30.0	20.7	44.3	26.1	9.3	5.7	9.6	6.1	5.4	4.6	0.7	6.4	0.4
家族形成期	214	62.6	26.6	21.0	44.9	26.6	8.9	8.9	9.8	7.9	3.3	2.3	0.5	5.6	-
家族成長前期	291	64.9	31.3	19.9	35.1	37.1	9.6	5.5	10.3	13.1	4.8	2.4	-	3.4	0.3
家族成長後期	182	68.1	44.5	28.6	34.6	23.6	12.1	9.3	6.6	6.6	4.9	2.7	-	4.9	-
家族成熟期	476	67.4	52.1	35.7	21.8	16.4	13.2	12.0	8.8	4.4	6.1	3.6	0.4	7.8	0.2
高齢期	501	63.7	49.1	36.3	7.8	11.0	12.0	10.4	6.0	3.8	5.0	5.6	0.6	14.2	0.8
その他	309	63.8	44.0	28.8	25.2	12.6	8.1	8.4	9.4	3.6	4.9	5.2	1.0	12.0	0.3

4 川の再生について

(1) 自然環境に関する問題への関心度

◇『関心がある（計）』が75.3%

問18 あなたは、森林や河川などの自然環境に関する様々な問題について関心がありますか。



自然環境に関する問題への関心度は、「どちらかといえば関心がある」（50.2%）が約5割と最も高く、これに「とても関心がある」（25.1%）を合わせた『関心がある（計）』（75.3%）は7割半ばとなっている。一方、「どちらかといえば関心がない」（19.3%）と「ほとんど（まったく）関心がない」（5.2%）を合わせた『関心がない（計）』は24.5%となっている。

【平成20年調査との比較】

『関心がある（計）』が3.1ポイント減少した。また、『関心がない（計）』は3.1ポイント増加している。

【属性別比較】

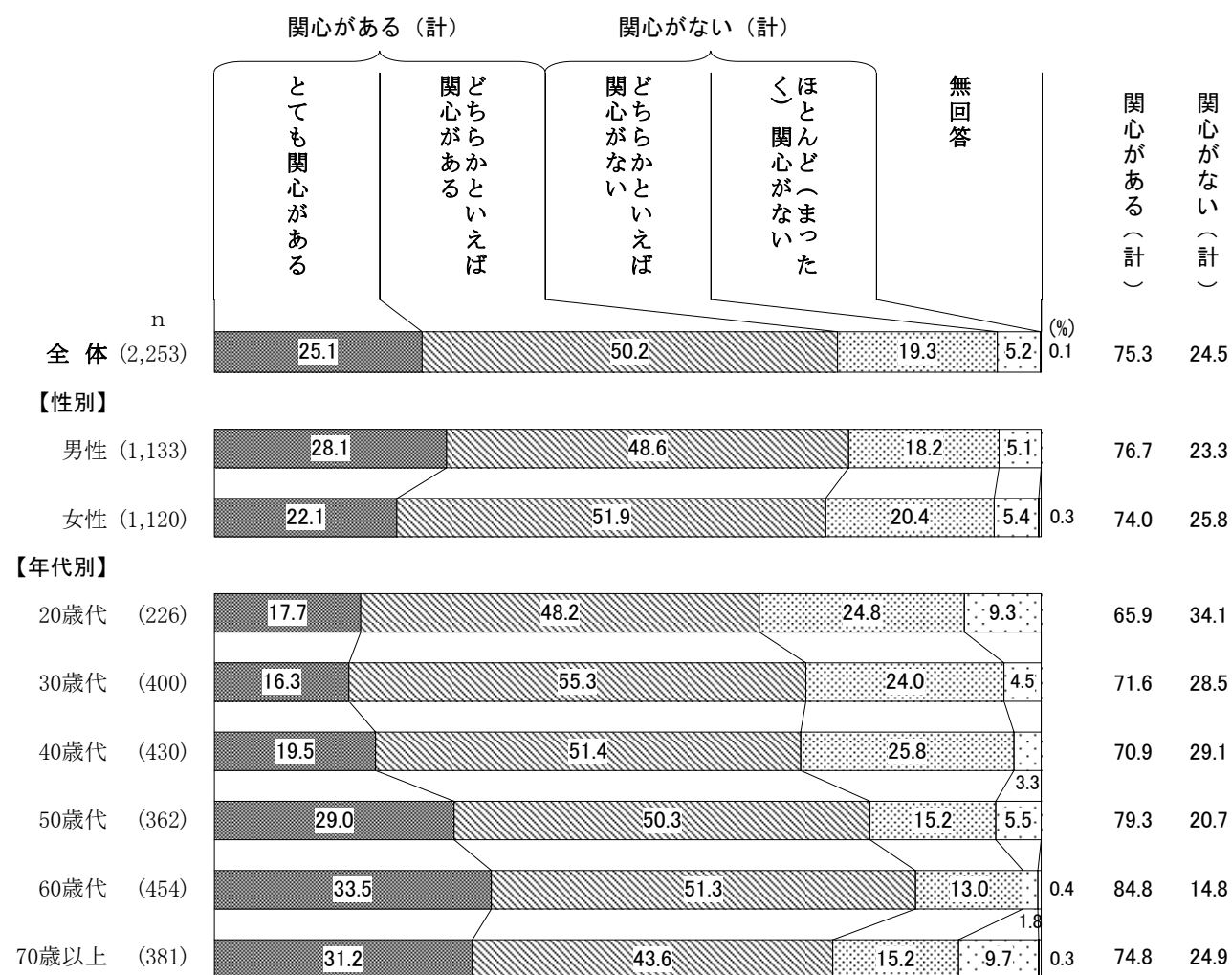
①性別

性別で大きな差はないが、「とても関心がある」は男性（28.1%）の方が6.0ポイント高くなっている。

②年代別

『関心がある（計）』は60歳代（84.8%）で8割を超えるなど、50歳代以上で高くなっている。

○自然環境に関する問題への関心度・性別／年代別



③地域別

『関心がある（計）』は秩父地域（82.9％）で8割強と比較的高くなっている。

④性・年代別

『関心がある（計）』は男女ともに60歳代で8割を超えて最も高くなっている。

⑤職業別

職業別で大きな差はない。

⑥ライフステージ別

『関心がある（計）』は家族成熟期（80.1％）から高齢期（80.2％）にかけて8割を超えて高くなっている。一方、『関心がない（計）』は家族形成期（31.7％）と家族成長後期（30.2％）が他のステージに比べて3割を超えてやや高くなっている。

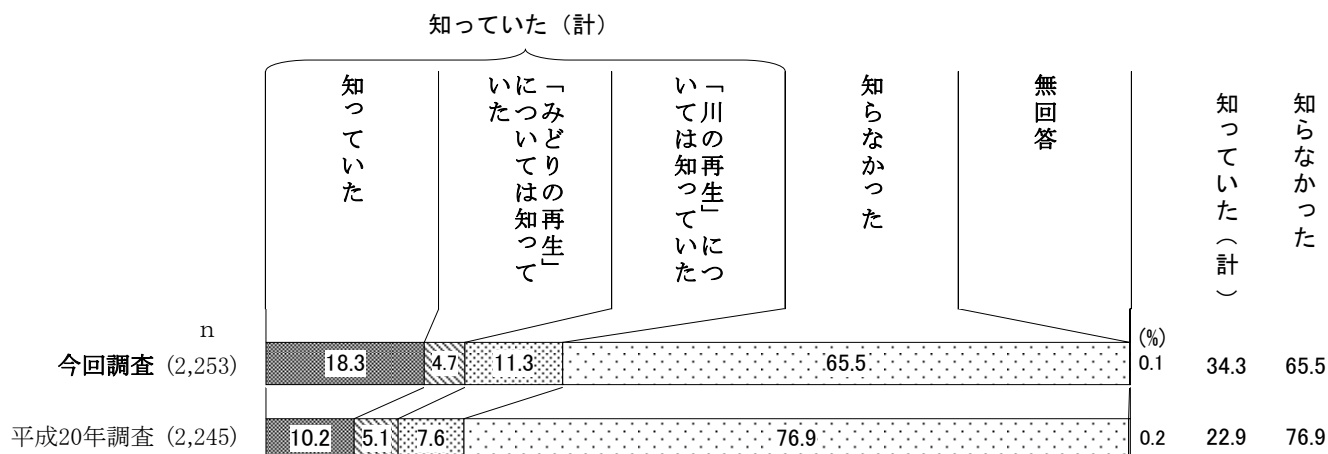
○自然環境に関する問題への関心度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	とても関心がある	どちらかといえば関心がある	どちらかといえば関心がない	ほとんど関心がない	無回答	関心がある（計）	関心がない（計）
全 体	2253	25.1	50.2	19.3	5.2	0.1	75.3	24.5
地域別								
南部地域	232	28.4	46.6	21.1	3.9	-	75.0	25.0
南西部地域	226	23.9	49.6	20.4	6.2	-	73.5	26.6
東部地域	321	17.1	56.1	18.4	8.4	-	73.2	26.8
さいたま地域	365	27.1	45.8	23.0	4.1	-	72.9	27.1
県央地域	181	20.4	57.5	20.4	1.1	0.6	77.9	21.5
川越比企地域	263	27.0	52.9	16.3	3.8	-	79.9	20.1
西部地域	247	25.5	50.2	18.2	5.7	0.4	75.7	23.9
利根地域	204	26.0	51.0	16.7	5.9	0.5	77.0	22.6
北部地域	173	27.2	46.2	19.1	7.5	-	73.4	26.6
秩父地域	41	48.8	34.1	12.2	4.9	-	82.9	17.1
性・年代別								
男性・20歳代	105	21.9	41.9	21.9	14.3	-	63.8	36.2
30歳代	200	21.0	51.5	21.0	6.5	-	72.5	27.5
40歳代	231	22.1	51.1	23.8	3.0	-	73.2	26.8
50歳代	181	32.6	47.0	14.9	5.5	-	79.6	20.4
60歳代	229	34.5	50.7	13.5	1.3	-	85.2	14.8
70歳以上	187	34.2	45.5	15.0	5.3	-	79.7	20.3
女性・20歳代	121	14.0	53.7	27.3	5.0	-	67.7	32.3
30歳代	200	11.5	59.0	27.0	2.5	-	70.5	29.5
40歳代	199	16.6	51.8	28.1	3.5	-	68.4	31.6
50歳代	181	25.4	53.6	15.5	5.5	-	79.0	21.0
60歳代	225	32.4	52.0	12.4	2.2	0.9	84.4	14.6
70歳以上	194	28.4	41.8	15.5	13.9	0.5	70.2	29.4
職業別								
自営業・家族従業（計）	253	28.1	47.0	19.4	5.1	0.4	75.1	24.5
雇用者（計）	1149	23.2	52.3	20.3	4.2	0.1	75.5	24.5
無職（計）	846	26.7	48.5	18.1	6.6	0.1	75.2	24.7
ライフステージ別								
独身期	280	18.6	54.3	20.4	6.8	-	72.9	27.2
家族形成期	214	15.9	52.3	28.0	3.7	-	68.2	31.7
家族成長前期	291	20.3	53.3	21.3	5.2	-	73.6	26.5
家族成長後期	182	18.7	51.1	25.3	4.9	-	69.8	30.2
家族成熟期	476	32.4	47.7	16.0	4.0	-	80.1	20.0
高齢期	501	31.5	48.7	13.6	5.8	0.4	80.2	19.4
その他	309	23.9	48.2	21.4	6.1	0.3	72.1	27.5

（２）「みどりと川の再生」についての県の取り組みの認知度

◇『知っていた（計）』が34.4%で、「知らなかった」は65.5%

問19 県では、県民参加の下で自然環境を再生するため、「みどりと川の再生」に向けた事業を平成20年度から重点的に取り組んでいます。あなたはこの「みどりと川の再生」の取り組みをご存じでしたか。



「みどりと川の再生」についての県の取り組みの認知度は、「知らなかった」（65.5%）が6割半ばと高くなっている。一方、「知っていた」は18.3%で、これを「「みどりと川の再生」については知っていた」（4.7%）、「「川の再生」については知っていた」（11.3%）と合わせた『知っていた（計）』（34.3%）は3割半ばとなっている。

【平成20年調査との比較】

『知っていた（計）』が11.4ポイント増加した。また、「知らなかった」は11.4ポイント減少している。

【属性別比較】

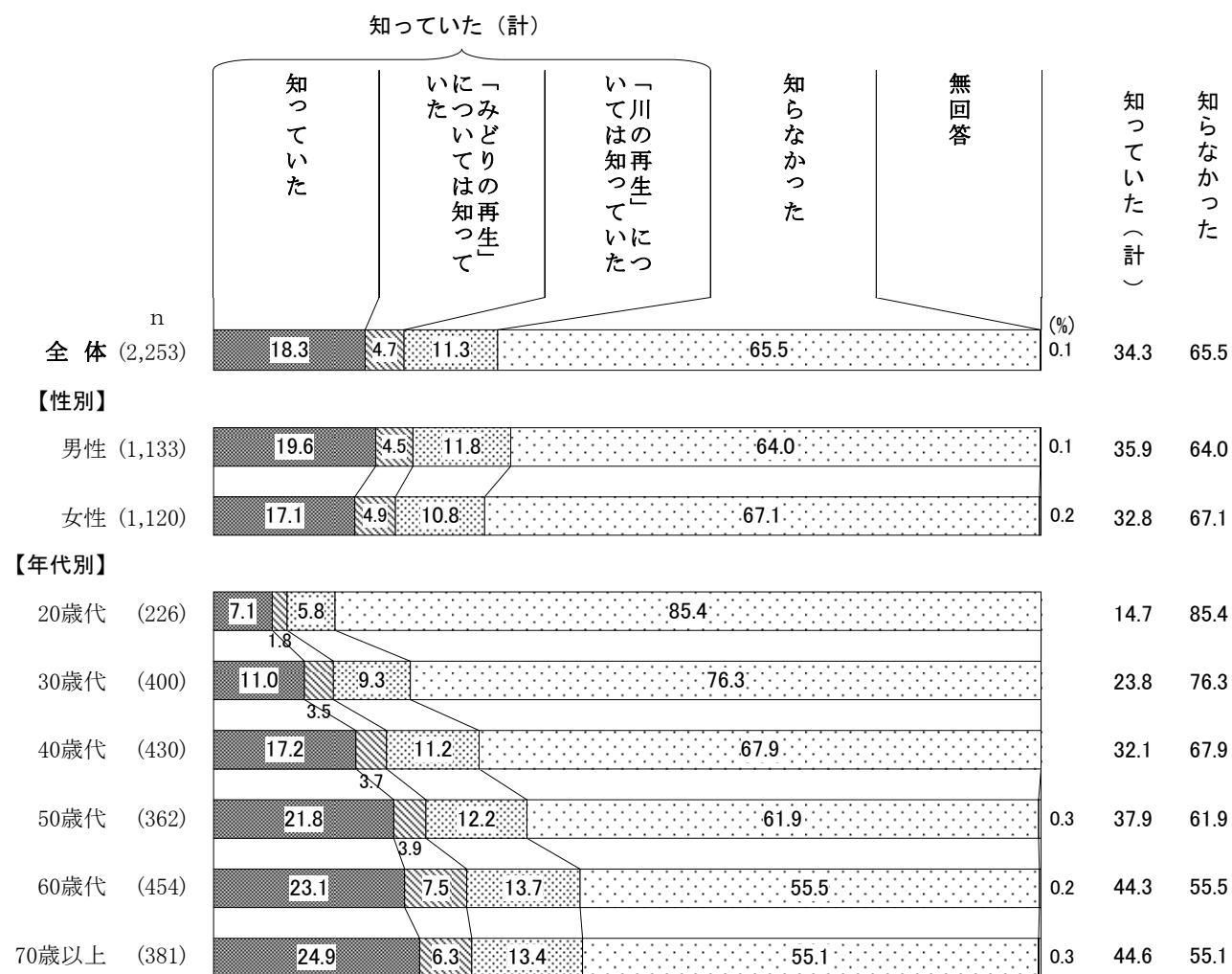
①性別

男女別で大きな差はないが、『知っていた（計）』は男性（35.9%）が女性（32.8%）より3.1ポイント高くなっている。

②年代別

『知っていた（計）』は高年代ほど高くなる傾向がみられ、60歳代（44.3%）と70歳以上（44.6%）では4割を超えている。一方、「知らなかった」は20歳代（85.4%）で8割半ば、30歳代（76.3%）で7割半ばと高くなっている。

○「みどりと川の再生」についての県の取り組みの認知度・性別／年代別



③地域別

『知っていた（計）』は北部地域（42.2%）と秩父地域（46.3%）で4割を超えて比較的高くなっている。一方、「知らなかった」は東部地域（71.0%）で7割を超えて高くなっている。

④性・年代別

『知っていた（計）』は男性70歳以上（48.1%）で5割弱と高くなっている。「知らなかった」は女性20歳代（90.9%）で約9割、男性20歳代（79.0%）でも約8割と高くなっている。

⑤職業別

『知っていた（計）』は無職（計）（39.4%）で約4割と比較的高くなっている。

⑥ライフステージ別

『知っていた（計）』は高齢期（46.0%）で4割、家族成熟期（41.4%）で4割強と高くなっている。一方、「知らなかった」では独身期（80.4%）と家族形成期（82.2%）で8割を超え高くなっている。

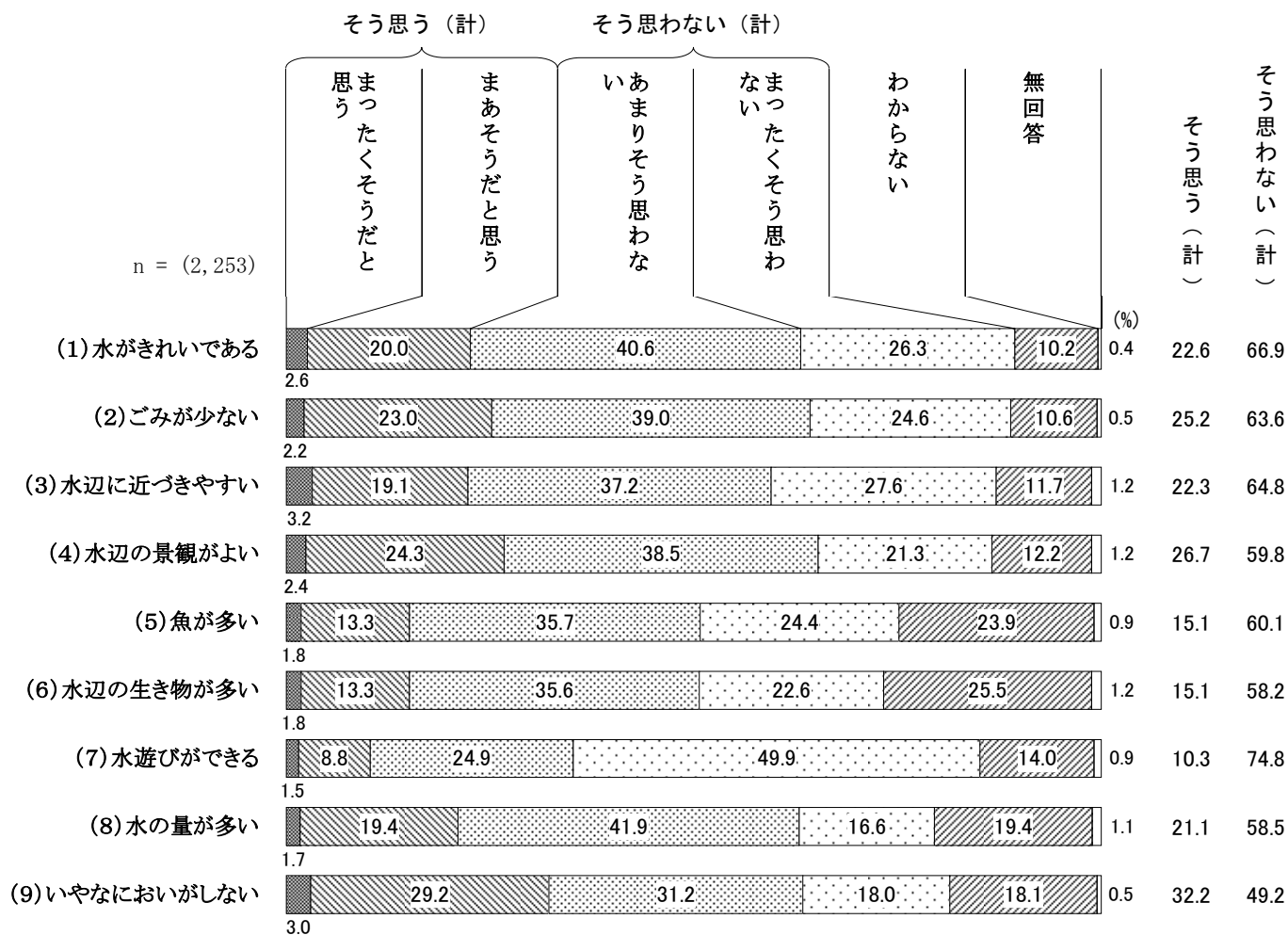
○「みどりと川の再生」についての県の取り組みの認知度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	知っていた	「みどりと川の再生」について知っている	「みどりと川の再生」について知らない	知らなかった	無回答	知っていた（計）	知らなかった
全 体	2253	18.3	4.7	11.3	65.5	0.1	34.3	65.5
地域別								
南部地域	232	24.1	5.2	10.3	60.3	-	39.6	60.3
南西部地域	226	18.1	4.0	10.6	67.3	-	32.7	67.3
東部地域	321	10.9	5.3	12.8	71.0	-	29.0	71.0
さいたま地域	365	18.4	4.1	9.9	67.4	0.3	32.4	67.4
県央地域	181	16.0	5.5	10.5	67.4	0.6	32.0	67.4
川越比企地域	263	17.5	4.9	14.1	63.5	-	36.5	63.5
西部地域	247	16.6	5.3	11.3	66.4	0.4	33.2	66.4
利根地域	204	18.6	4.9	10.3	66.2	-	33.8	66.2
北部地域	173	25.4	3.5	13.3	57.8	-	42.2	57.8
秩父地域	41	39.0	2.4	4.9	53.7	-	46.3	53.7
性・年代別								
男性・20歳代	105	7.6	2.9	10.5	79.0	-	21.0	79.0
30歳代	200	12.0	3.0	8.5	76.5	-	23.5	76.5
40歳代	231	18.6	4.8	10.4	66.2	-	33.8	66.2
50歳代	181	22.7	4.4	13.8	59.1	-	40.9	59.1
60歳代	229	24.0	4.8	13.1	58.1	-	41.9	58.1
70歳以上	187	27.3	6.4	14.4	51.3	0.5	48.1	51.3
女性・20歳代	121	6.6	0.8	1.7	90.9	-	9.1	90.9
30歳代	200	10.0	4.0	10.0	76.0	-	24.0	76.0
40歳代	199	15.6	2.5	12.1	69.8	-	30.2	69.8
50歳代	181	21.0	3.3	10.5	64.6	0.6	34.8	64.6
60歳代	225	22.2	10.2	14.2	52.9	0.4	46.6	52.9
70歳以上	194	22.7	6.2	12.4	58.8	-	41.3	58.8
職業別								
自営業・家族従業（計）	253	24.1	3.6	9.5	62.5	0.4	37.2	62.5
雇用者（計）	1149	15.2	3.8	11.1	69.8	-	30.1	69.8
無職（計）	846	20.9	6.3	12.2	60.4	0.2	39.4	60.4
ライフステージ別								
独身期	280	9.3	2.5	7.9	80.4	-	19.7	80.4
家族形成期	214	7.9	1.9	7.9	82.2	-	17.7	82.2
家族成長前期	291	12.4	4.5	11.0	72.2	-	27.9	72.2
家族成長後期	182	20.3	2.7	12.6	64.3	-	35.6	64.3
家族成熟期	476	24.8	5.5	11.1	58.2	0.4	41.4	58.2
高齢期	501	23.8	7.8	14.4	53.9	0.2	46.0	53.9
その他	309	19.4	3.9	11.7	65.0	-	35.0	65.0

(3) 近くの川の評価

◇『そう思う（計）』が高いのは「いやなにおいがしない」「水辺の景観がよい」「ごみが少ない」

問20 あなたはお住まいの近くの川について、現在どのように感じていますか。(1)から(9)のそれぞれについて、あなたの考えに近いものをお選びください。



近くの川の評価は、「まったくそうだと思う」と「まあそうだと思う」を合わせた『そう思う（計）』は、「いやなにおいがしない」（32.2%）が3割強と最も高く、次いで「水辺の景観がよい」（26.7%）、「ごみが少ない」（25.2%）の順となっている。一方、「まったくそう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた『そう思わない（計）』は、「水遊びができる」が74.8%と最も高く、次いで「水がきれいである」（66.9%）、「水辺に近づきやすい」（64.8%）の順となっている。

（１）水がきれいである

「あまりそう思わない」（40.6％）が約４割と最も高くなっている。『そう思う（計）』（22.6％）は２割強、『そう思わない（計）』（66.9％）は６割半ばとなっている。

【平成20年調査との比較】

『そう思う（計）』は4.1ポイント増加し、『そう思わない（計）』が6.0ポイント減少している。

【属性別比較】

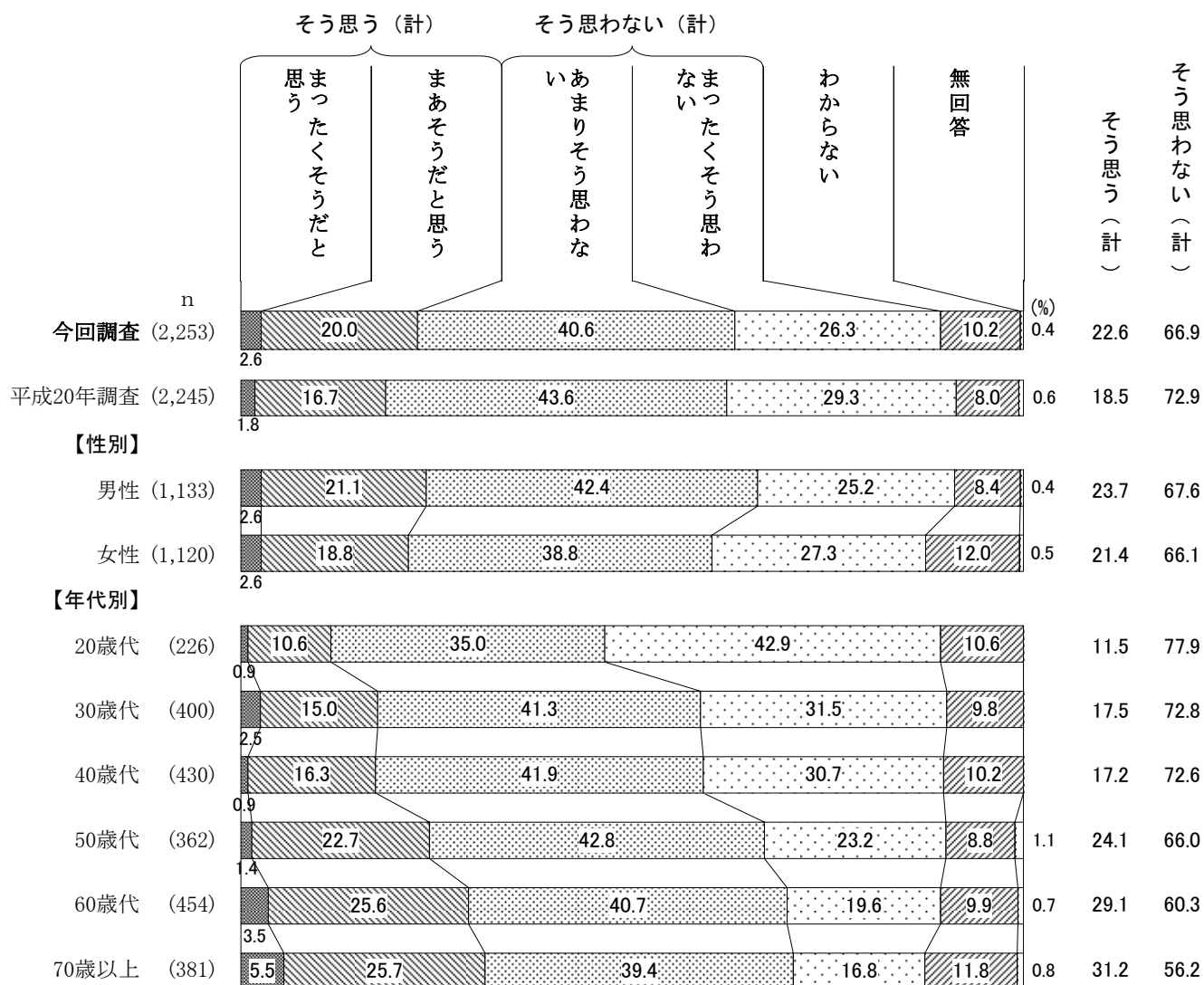
①性別

『そう思う（計）』は男性（23.7％）のほうが女性（21.4％）よりも2.3ポイント高くなっている。

②年代別

『そう思う（計）』は高年代ほど高くなる傾向がみられ、70歳以上（31.2％）で３割強となっている。『そう思わない（計）』は20歳代（77.9％）で８割弱と最も高くなっている。

○性別／年代別



③地域別

『そう思う（計）』は秩父地域（58.5%）で6割弱と特に高くなっている。南西部地域（30.0%）、西部地域（37.6%）、北部地域（34.1%）でも3割を上回っている。『そう思わない（計）』は利根地域（82.8%）で8割強と比較的高くなっている。

④性・年代別

『そう思う（計）』は男性70歳以上（33.2%）で最も高い。『そう思わない（計）』は男性20歳代（77.2%）と女性20歳代（78.5%）で8割弱と高くなっている。

⑤職業別

『そう思う（計）』は無職（計）（24.3%）で比較的高くなっている。

⑥ライフステージ別

『そう思う（計）』は高齢期（31.1%）で3割強と最も高い。『そう思わない（計）』は独身期（74.6%）、家族形成期（74.8%）、家族成長前期（74.3%）で7割を超えて高くなっている。

○地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	まったくそうだと思う	まあそうだと思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	わからない	無回答	そう思う（計）	そう思わない（計）
全 体	2253	2.6	20.0	40.6	26.3	10.2	0.4	22.6	66.9
地域別									
南部地域	232	2.6	10.8	39.2	34.1	13.4	-	13.4	73.3
南西部地域	226	3.5	26.5	38.5	17.7	13.3	0.4	30.0	56.2
東部地域	321	0.9	13.7	44.2	34.3	5.9	0.9	14.6	78.5
さいたま地域	365	2.7	12.1	38.9	26.6	18.4	1.4	14.8	65.5
県央地域	181	-	16.0	42.5	29.3	11.6	0.6	16.0	71.8
川越比企地域	263	3.8	25.9	45.6	16.3	8.4	-	29.7	61.9
西部地域	247	2.8	34.8	34.0	21.9	6.5	-	37.6	55.9
利根地域	204	1.5	10.8	44.6	38.2	4.9	-	12.3	82.8
北部地域	173	3.5	30.6	41.6	18.5	5.8	-	34.1	60.1
秩父地域	41	12.2	46.3	19.5	14.6	7.3	-	58.5	34.1
性・年代別									
男性・20歳代	105	1.0	10.5	36.2	41.0	11.4	-	11.5	77.2
30歳代	200	2.5	17.0	41.5	29.0	10.0	-	19.5	70.5
40歳代	231	1.3	18.2	43.7	27.7	9.1	-	19.5	71.4
50歳代	181	1.1	25.4	45.3	21.0	6.6	0.6	26.5	66.3
60歳代	229	3.1	24.0	44.1	21.8	6.1	0.9	27.1	65.9
70歳以上	187	5.9	27.3	40.1	17.6	8.6	0.5	33.2	57.7
女性・20歳代	121	0.8	10.7	33.9	44.6	9.9	-	11.5	78.5
30歳代	200	2.5	13.0	41.0	34.0	9.5	-	15.5	75.0
40歳代	199	0.5	14.1	39.7	34.2	11.6	-	14.6	73.9
50歳代	181	1.7	19.9	40.3	25.4	11.0	1.7	21.6	65.7
60歳代	225	4.0	27.1	37.3	17.3	13.8	0.4	31.1	54.6
70歳以上	194	5.2	24.2	38.7	16.0	14.9	1.0	29.4	54.7
職業別									
自営業・家族従業（計）	253	4.0	18.2	45.1	24.1	7.9	0.8	22.2	69.2
雇用者（計）	1149	1.9	19.5	41.3	28.2	8.7	0.4	21.4	69.5
無職（計）	846	3.1	21.2	38.4	24.3	12.6	0.4	24.3	62.7
ライフステージ別									
独身期	280	1.8	12.9	37.5	37.1	10.7	-	14.7	74.6
家族形成期	214	1.9	12.6	36.9	37.9	10.7	-	14.5	74.8
家族成長前期	291	1.4	16.8	43.0	31.3	7.2	0.3	18.2	74.3
家族成長後期	182	1.6	20.3	41.2	26.4	9.9	0.5	21.9	67.6
家族成熟期	476	1.9	22.7	43.3	22.7	8.8	0.6	24.6	66.0
高齢期	501	4.2	26.9	41.3	16.6	10.2	0.8	31.1	57.9
その他	309	3.9	18.8	37.9	24.9	14.2	0.3	22.7	62.8

(2) ごみが少ない

「あまりそう思わない」(39.0%) が約4割と最も高くなっている。『そう思う(計)』(25.2%) は2割半ば、『そう思わない(計)』(63.6%) は6割強となっている。

【平成20年調査との比較】

『そう思う(計)』は5.6ポイント増加し、『そう思わない(計)』が7.5ポイント減少している。

【属性別比較】

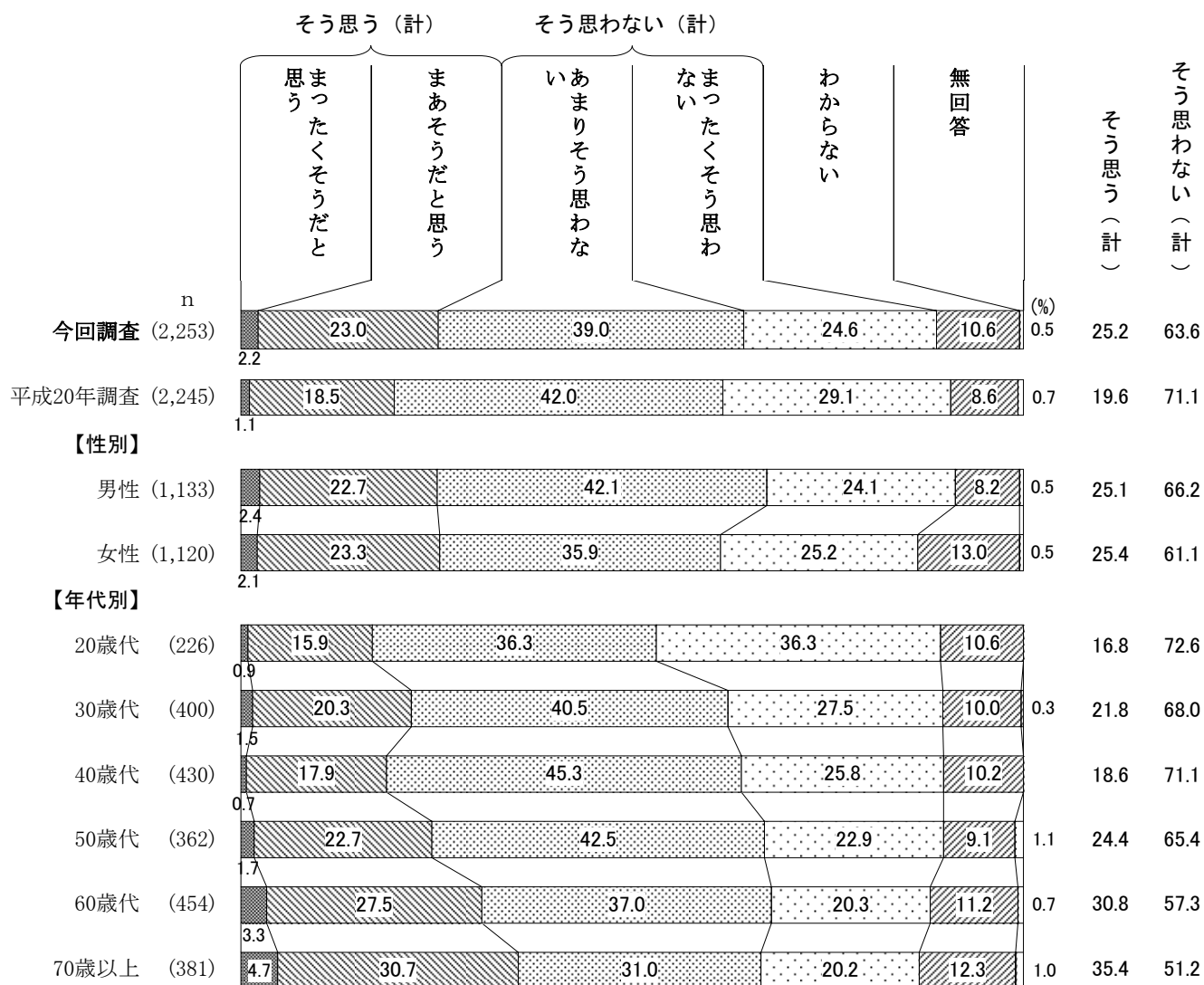
①性別

『そう思わない(計)』は男性(66.2%)のほうが女性(61.1%)よりも5.1ポイント高くなっている。

②年代別

『そう思う(計)』は高年代で高く、60歳代以上で3割を超えて高く、『そう思わない(計)』は20歳代(72.6%)と40歳代(71.1%)で7割を超えて高くなっている。

○性別／年代別



③地域別

『そう思う（計）』は秩父地域（48.8%）で5割弱と突出し、南西部地域（31.4%）、西部地域（30.3%）、北部地域（30.6%）でも3割を超えて高くなっている。『そう思わない（計）』は東部地域（73.6%）と利根地域（73.5%）で7割強と比較的高くなっている。

④性・年代別

『そう思う（計）』は女性70歳以上（41.3%）で4割強と最も高く、『そう思わない（計）』は男女ともに20歳代と40歳代で7割を超えて高くなっている。

⑤職業別

『そう思う（計）』は無職（計）（28.3%）で3割弱と比較的高くなっている。

⑥ライフステージ別

『そう思う（計）』は高齢期（33.5%）で3割を超えて比較的高く、『そう思わない（計）』は家族形成期（70.1%）と家族成長前期（73.2%）で7割を超えて高くなっている。

○地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	まったくそうだと思う	まあそうだと思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	わからない	無回答	そう思う（計）	そう思わない（計）
全 体	2253	2.2	23.0	39.0	24.6	10.6	0.5	25.2	63.6
地域別									
南部地域	232	2.6	21.1	32.8	31.9	11.6	—	23.7	64.7
南西部地域	226	1.3	30.1	36.7	19.0	12.4	0.4	31.4	55.7
東部地域	321	1.2	18.1	42.4	31.2	6.5	0.6	19.3	73.6
さいたま地域	365	3.0	18.4	35.1	22.2	20.0	1.4	21.4	57.3
県央地域	181	1.1	22.7	44.2	19.3	11.6	1.1	23.8	63.5
川越比企地域	263	2.7	22.4	42.6	22.8	9.5	—	25.1	65.4
西部地域	247	2.0	28.3	39.7	22.7	6.5	0.8	30.3	62.4
利根地域	204	2.0	20.1	38.7	34.8	4.4	—	22.1	73.5
北部地域	173	2.3	28.3	43.9	17.3	8.1	—	30.6	61.2
秩父地域	41	9.8	39.0	26.8	12.2	12.2	—	48.8	39.0
性・年代別									
男性・20歳代	105	—	16.2	37.1	35.2	11.4	—	16.2	72.3
30歳代	200	2.5	21.0	41.5	26.0	8.5	0.5	23.5	67.5
40歳代	231	0.9	19.9	47.6	23.8	7.8	—	20.8	71.4
50歳代	181	2.2	22.1	47.5	21.5	6.1	0.6	24.3	69.0
60歳代	229	4.4	27.5	39.7	19.7	7.9	0.9	31.9	59.4
70歳以上	187	3.2	26.2	36.4	24.1	9.1	1.1	29.4	60.5
女性・20歳代	121	1.7	15.7	35.5	37.2	9.9	—	17.4	72.7
30歳代	200	0.5	19.5	39.5	29.0	11.5	—	20.0	68.5
40歳代	199	0.5	15.6	42.7	28.1	13.1	—	16.1	70.8
50歳代	181	1.1	23.2	37.6	24.3	12.2	1.7	24.3	61.9
60歳代	225	2.2	27.6	34.2	20.9	14.7	0.4	29.8	55.1
70歳以上	194	6.2	35.1	25.8	16.5	15.5	1.0	41.3	42.3
職業別									
自営業・家族従業（計）	253	3.6	21.3	39.9	24.9	9.5	0.8	24.9	64.8
雇用者（計）	1149	1.7	21.3	42.1	25.5	8.9	0.4	23.0	67.6
無職（計）	846	2.5	25.8	34.6	23.4	13.1	0.6	28.3	58.0
ライフステージ別									
独身期	280	2.1	18.2	38.9	30.4	10.0	0.4	20.3	69.3
家族形成期	214	0.5	16.8	36.0	34.1	12.6	—	17.3	70.1
家族成長前期	291	1.4	18.9	46.4	26.8	6.2	0.3	20.3	73.2
家族成長後期	182	1.6	20.9	44.0	22.5	10.4	0.5	22.5	66.5
家族成熟期	476	1.3	26.7	38.4	22.5	10.5	0.6	28.0	60.9
高齢期	501	3.8	29.7	34.5	20.4	11.0	0.6	33.5	54.9
その他	309	3.6	20.1	39.5	22.3	13.6	1.0	23.7	61.8

(3) 水辺に近づきやすい

「あまりそう思わない」(37.2%)が4割弱と最も高くなっている。『そう思う(計)』(22.3%)は2割強、『そう思わない(計)』(64.8%)は6割半ばとなっている。

【平成20年調査との比較】

『そう思う(計)』が0.2ポイント減少し、『そう思わない(計)』も1.9ポイント減少している。

【属性別比較】

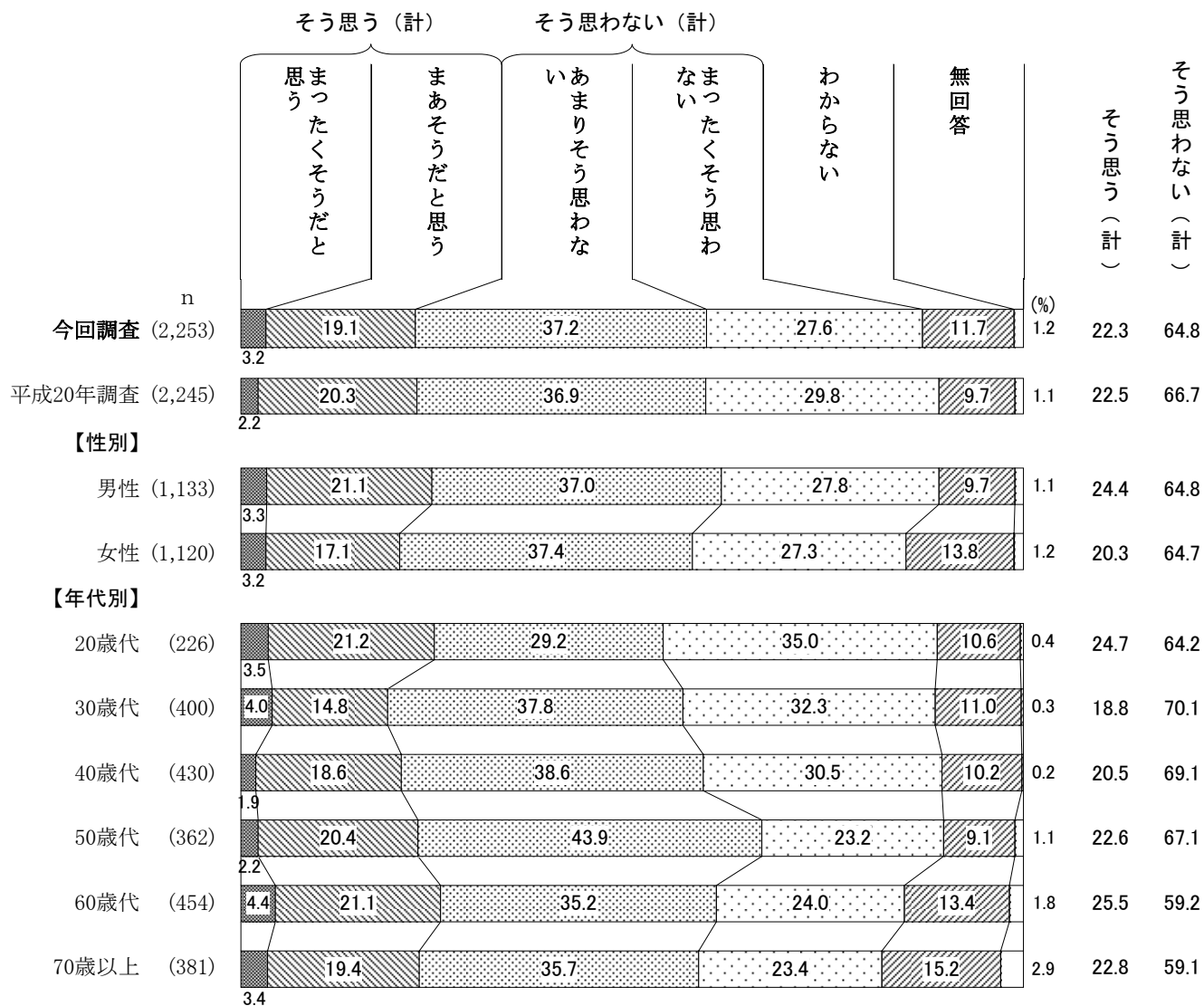
①性別

『そう思う(計)』は男性(24.4%)のほうが女性(20.3%)よりも4.1ポイント高くなっている。

②年代別

『そう思う(計)』は20歳代(24.7%)と60歳代(25.5%)で2割半ばと高く、『そう思わない(計)』は30歳代(70.1%)と40歳代(69.1%)で約7割と高くなっている。

○性別／年代別



③地域別

『そう思う（計）』は西部地域（34.4%）、北部地域（34.1%）、秩父地域（36.6%）で3割を超えて比較的高くなっている。『そう思わない（計）』は県央地域（76.3%）と利根地域（77.0%）で7割を超えて比較的高くなっている。

④性・年代別

『そう思う（計）』は男性60歳代（28.8%）、女性20歳代（28.1%）で3割弱と高い。『そう思わない（計）』は女性の30歳代（72.0%）と40歳代（70.3%）で7割を超えて比較的高くなっている。

⑤職業別

『そう思う（計）』は雇用者（計）（23.9%）で2割強と比較的高く、『そう思わない（計）』は自営業・家族従業（計）（68.3%）で7割弱と比較的高くなっている。

⑥ライフステージ別

『そう思わない（計）』は家族形成期（72.5%）で7割強と高くなっている。

○地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	まったくそうだと思う	まあそうだと思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	わからない	無回答
全 体	2253	3.2	19.1	37.2	27.6	11.7	1.2

そう思う（計）	そう思わない（計）
22.3	64.8

地域別

南部地域	232	2.2	16.8	34.5	32.3	13.8	0.4
南西部地域	226	3.5	23.9	38.1	19.5	14.2	0.9
東部地域	321	3.7	17.8	42.7	27.1	8.1	0.6
さいたま地域	365	1.9	9.9	34.2	31.0	20.8	2.2
県央地域	181	1.7	7.7	42.0	34.3	13.3	1.1
川越比企地域	263	3.0	26.2	36.9	25.5	7.2	1.1
西部地域	247	6.1	28.3	32.8	22.3	7.7	2.8
利根地域	204	1.5	14.7	35.8	41.2	6.4	0.5
北部地域	173	4.6	29.5	39.3	16.8	9.8	-
秩父地域	41	9.8	26.8	36.6	12.2	14.6	-

19.0	66.8
27.4	57.6
21.5	69.8
11.8	65.2
9.4	76.3
29.2	62.4
34.4	55.1
16.2	77.0
34.1	56.1
36.6	48.8

性・年代別

男性・20歳代	105	3.8	17.1	27.6	38.1	13.3	-
30歳代	200	3.5	18.0	33.5	34.5	10.0	0.5
40歳代	231	3.0	19.9	36.8	31.2	8.7	0.4
50歳代	181	1.7	23.2	44.8	23.2	6.6	0.6
60歳代	229	3.5	25.3	38.0	21.4	9.2	2.6
70歳以上	187	4.3	20.9	37.4	23.0	12.3	2.1
女性・20歳代	121	3.3	24.8	30.6	32.2	8.3	0.8
30歳代	200	4.5	11.5	42.0	30.0	12.0	-
40歳代	199	0.5	17.1	40.7	29.6	12.1	-
50歳代	181	2.8	17.7	43.1	23.2	11.6	1.7
60歳代	225	5.3	16.9	32.4	26.7	17.8	0.9
70歳以上	194	2.6	18.0	34.0	23.7	18.0	3.6

20.9	65.7
21.5	68.0
22.9	68.0
24.9	68.0
28.8	59.4
25.2	60.4
28.1	62.8
16.0	72.0
17.6	70.3
20.5	66.3
22.2	59.1
20.6	57.7

職業別

自営業・家族従業（計）	253	3.6	17.0	37.9	30.4	9.1	2.0
雇用者（計）	1149	3.2	20.7	37.4	28.2	9.7	0.8
無職（計）	846	3.2	17.6	36.8	26.0	15.1	1.3

20.6	68.3
23.9	65.6
20.8	62.8

ライフステージ別

独身期	280	3.2	18.9	32.9	31.4	12.9	0.7
家族形成期	214	3.3	13.6	33.2	39.3	10.3	0.5
家族成長前期	291	3.8	19.9	37.8	30.9	6.9	0.7
家族成長後期	182	3.3	17.6	42.9	25.3	11.0	-
家族成熟期	476	2.1	22.1	39.9	24.8	9.9	1.3
高齢期	501	4.2	19.6	36.1	24.6	13.8	1.8
その他	309	2.9	18.1	37.5	23.3	16.2	1.9

22.1	64.3
16.9	72.5
23.7	68.7
20.9	68.2
24.2	64.7
23.8	60.7
21.0	60.8

（４）水辺の景観がよい

「あまりそう思わない」（38.5％）が4割弱と最も高くなっている。『そう思う（計）』（26.7％）は2割半ば、『そう思わない（計）』（59.8％）は約6割となっている。

【平成20年調査との比較】

『そう思う（計）』は4.8ポイント増加し、『そう思わない（計）』が7.5ポイント減少している。

【属性別比較】

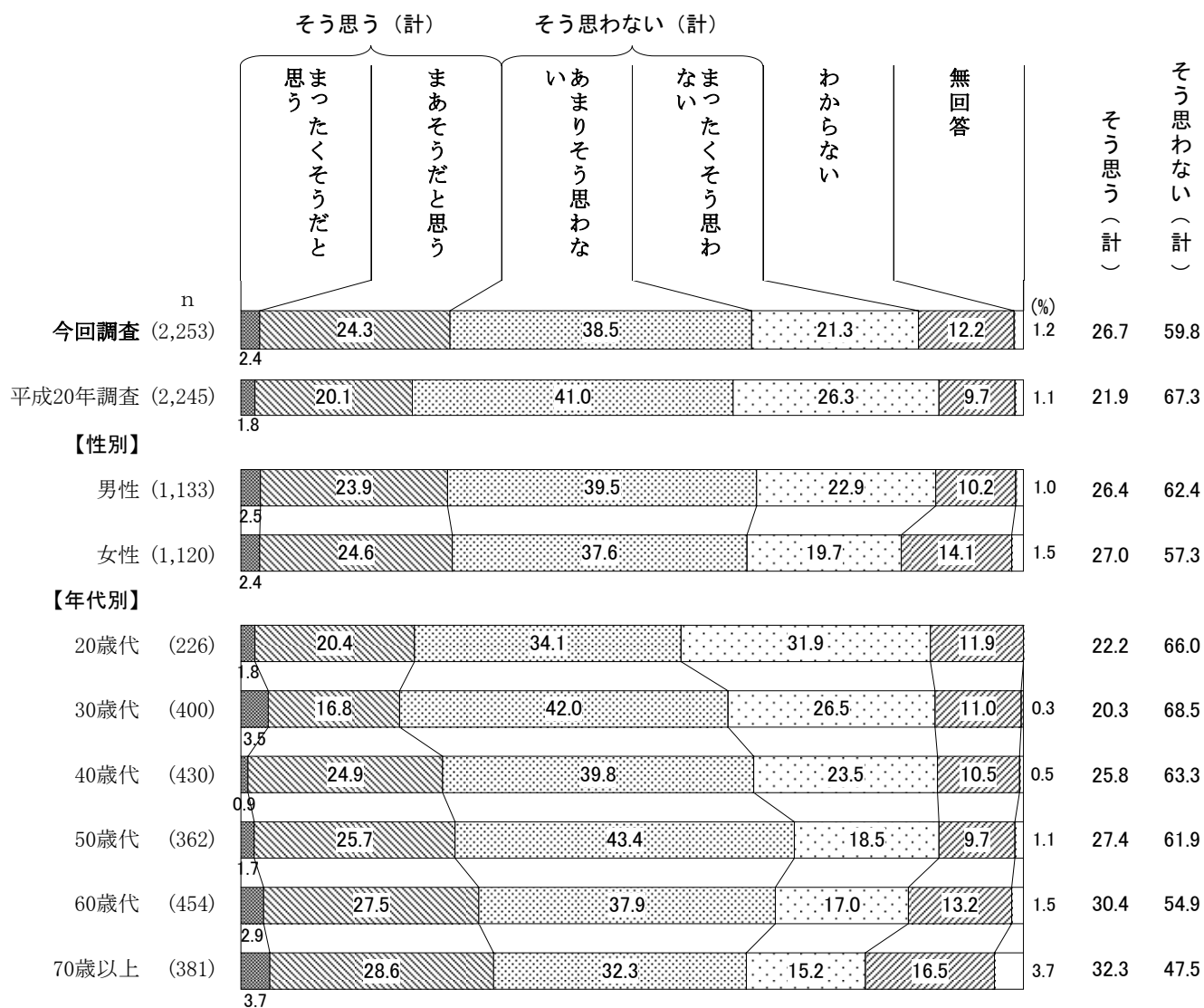
①性別

『そう思わない（計）』は男性（62.4％）のほうが女性（57.3％）よりも5.1ポイント高くなっている。

②年代別

『そう思う（計）』は高年代ほど高くなる傾向がみられ、60歳代以上で3割を超えている。『そう思わない（計）』は30歳代（68.5％）で7割弱と最も高くなっている。

○性別／年代別



③地域別

『そう思う（計）』は秩父地域（48.8％）で5割弱と最も高くなっている。『そう思わない（計）』は県央地域（70.8％）と利根地域（72.0％）で7割を超えて高くなっている。

④性・年代別

『そう思う（計）』は男性では高年代ほど高くなる傾向がみられ、女性では20歳代（30.6％）、60歳代（32.0％）、70歳以上（30.9％）で3割を超えている。『そう思わない（計）』は男性20歳代（73.3％）で7割を超えて最も高くなっている。

⑤職業別

『そう思わない（計）』は雇用者（計）（63.0％）で6割強と比較的高くなっている。

⑥ライフステージ別

『そう思う（計）』は高齢期（32.5％）で3割強と最も高い。『そう思わない（計）』は家族形成期（70.5％）で約7割と最も高くなっている。

○地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	まったくそうだと思う	まあそうだと思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	わからない	無回答	そう思う（計）	そう思わない（計）
全 体	2253	2.4	24.3	38.5	21.3	12.2	1.2	26.7	59.8
地域別									
南部地域	232	1.3	28.0	31.9	25.0	13.8	—	29.3	56.9
南西部地域	226	2.7	28.8	38.9	13.3	15.9	0.4	31.5	52.2
東部地域	321	1.9	28.7	40.2	20.9	7.5	0.9	30.6	61.1
さいたま地域	365	1.4	18.4	35.9	21.6	20.3	2.5	19.8	57.5
県央地域	181	0.6	14.9	45.9	24.9	12.2	1.7	15.5	70.8
川越比企地域	263	2.3	26.6	39.5	19.8	11.4	0.4	28.9	59.3
西部地域	247	5.3	25.1	38.1	21.1	7.3	3.2	30.4	59.2
利根地域	204	2.5	16.7	37.7	34.3	7.8	1.0	19.2	72.0
北部地域	173	2.9	28.9	44.5	14.5	9.2	—	31.8	59.0
秩父地域	41	12.2	36.6	26.8	7.3	14.6	2.4	48.8	34.1
性・年代別									
男性・20歳代	105	1.9	10.5	38.1	35.2	14.3	—	12.4	73.3
30歳代	200	4.0	18.5	40.0	27.5	9.5	0.5	22.5	67.5
40歳代	231	0.9	24.2	40.3	24.2	10.0	0.4	25.1	64.5
50歳代	181	1.7	28.2	42.0	19.3	8.3	0.6	29.9	61.3
60歳代	229	2.2	26.6	42.8	17.9	9.2	1.3	28.8	60.7
70歳以上	187	4.3	29.4	32.1	19.3	12.3	2.7	33.7	51.4
女性・20歳代	121	1.7	28.9	30.6	28.9	9.9	—	30.6	59.5
30歳代	200	3.0	15.0	44.0	25.5	12.5	—	18.0	69.5
40歳代	199	1.0	25.6	39.2	22.6	11.1	0.5	26.6	61.8
50歳代	181	1.7	23.2	44.8	17.7	11.0	1.7	24.9	62.5
60歳代	225	3.6	28.4	32.9	16.0	17.3	1.8	32.0	48.9
70歳以上	194	3.1	27.8	32.5	11.3	20.6	4.6	30.9	43.8
職業別									
自営業・家族従業（計）	253	2.4	24.5	35.6	24.1	12.3	1.2	26.9	59.7
雇用者（計）	1149	2.5	23.8	40.2	22.8	9.7	1.0	26.3	63.0
無職（計）	846	2.4	25.1	37.1	18.6	15.4	1.5	27.5	55.7
ライフステージ別									
独身期	280	2.9	20.7	36.4	26.1	13.6	0.4	23.6	62.5
家族形成期	214	1.9	16.8	35.5	35.0	10.3	0.5	18.7	70.5
家族成長前期	291	2.7	22.3	42.3	25.1	6.9	0.7	25.0	67.4
家族成長後期	182	2.2	23.6	43.4	19.2	11.0	0.5	25.8	62.6
家族成熟期	476	1.7	27.7	41.6	17.6	10.5	0.8	29.4	59.2
高齢期	501	3.6	28.9	34.5	16.8	14.2	2.0	32.5	51.3
その他	309	1.6	22.0	37.9	18.4	17.2	2.9	23.6	56.3

（５）魚が多い

「あまりそう思わない」（35.7％）が3割半ばと最も高くなっている。『そう思う（計）』（15.1％）は1割半ば、『そう思わない（計）』（60.1％）は約6割となっている。

【平成20年調査との比較】

『そう思う（計）』は4.3ポイント増加し、『そう思わない（計）』が6.1ポイント減少している。

【属性別比較】

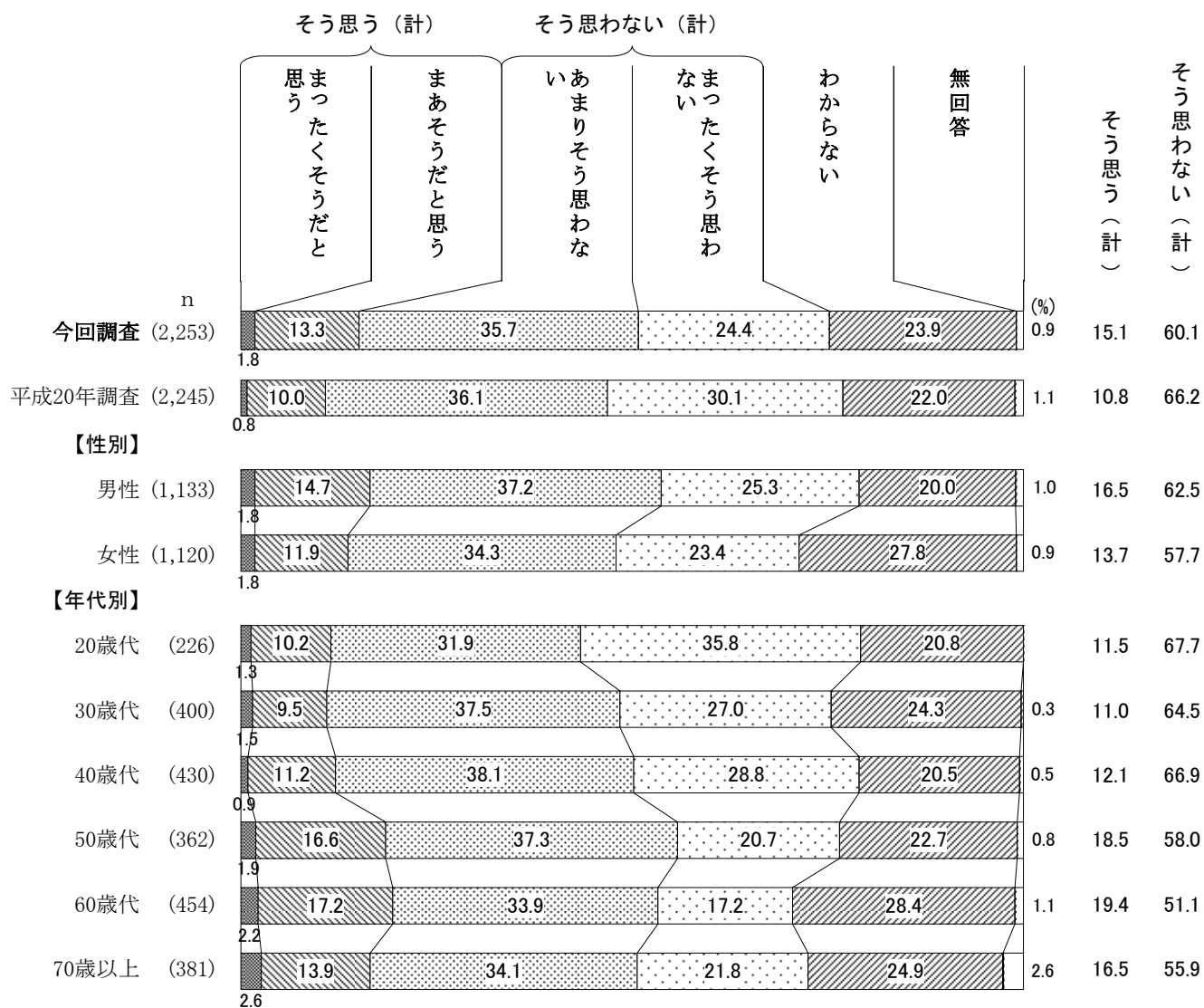
①性別

『そう思わない（計）』は男性（62.5％）のほうが女性（57.7％）よりも4.8ポイント高くなっている。

②年代別

『そう思う（計）』は50歳代（18.5％）と60歳代（19.4％）で比較的高くなっている。『そう思わない（計）』は20歳代から40歳代で6割を超えて比較的高くなっている。

○性別／年代別



③地域別

『そう思う（計）』は川越比企地域（20.1%）と秩父地域（19.5%）で約2割と高くなっている。
『そう思わない（計）』は北部地域（69.3%）で約7割、西部地域（68.4%）で7割弱と比較的高くなっている。

④性・年代別

『そう思う（計）』は男性の60歳代（19.6%）と70歳以上（19.3%）、女性60歳代（19.1%）で約2割と高い。『そう思わない（計）』は女性の20歳代（69.5%）で約7割と高くなっている。

⑤職業別

『そう思わない（計）』は無職（計）（56.3%）で5割半ばと低くなっている。

⑥ライフステージ別

『そう思う（計）』は家族成熟期（18.7%）で2割弱と最も高くなっている。『そう思わない（計）』は家族成長前期（71.1%）で7割を超えて高くなっている。

○地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	まったくそうだと思う	まあそうだと思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	わからない	無回答
全 体	2253	1.8	13.3	35.7	24.4	23.9	0.9

地域別

南部地域	232	2.6	12.9	31.5	26.3	26.7	-
南西部地域	226	3.5	12.4	39.4	15.9	27.0	1.8
東部地域	321	0.3	17.8	35.2	23.7	21.8	1.2
さいたま地域	365	1.1	8.5	31.2	24.7	32.3	2.2
県央地域	181	1.7	9.4	34.8	23.2	30.9	-
川越比企地域	263	1.5	18.6	35.7	21.3	22.4	0.4
西部地域	247	2.0	15.0	41.7	26.7	13.4	1.2
利根地域	204	2.5	13.2	36.3	30.4	17.2	0.5
北部地域	173	1.7	9.8	38.7	30.6	19.1	-
秩父地域	41	2.4	17.1	36.6	17.1	26.8	-

性・年代別

男性・20歳代	105	2.9	12.4	30.5	35.2	19.0	-
30歳代	200	1.5	11.0	33.5	29.5	24.0	0.5
40歳代	231	0.9	12.6	40.3	26.4	19.0	0.9
50歳代	181	1.7	17.1	41.4	22.7	16.6	0.6
60歳代	229	1.7	17.9	38.0	19.2	21.8	1.3
70歳以上	187	2.7	16.6	35.8	24.1	18.7	2.1
女性・20歳代	121	-	8.3	33.1	36.4	22.3	-
30歳代	200	1.5	8.0	41.5	24.5	24.5	-
40歳代	199	1.0	9.5	35.7	31.7	22.1	-
50歳代	181	2.2	16.0	33.1	18.8	28.7	1.1
60歳代	225	2.7	16.4	29.8	15.1	35.1	0.9
70歳以上	194	2.6	11.3	32.5	19.6	30.9	3.1

職業別

自営業・家族従業（計）	253	2.0	12.3	37.9	23.7	22.5	1.6
雇用者（計）	1149	1.7	13.6	35.5	27.1	21.6	0.5
無職（計）	846	1.8	13.4	35.6	20.7	27.3	1.3

ライフステージ別

独身期	280	0.7	11.1	35.0	27.9	25.0	0.4
家族形成期	214	2.3	7.9	31.8	35.0	22.9	-
家族成長前期	291	1.0	11.0	41.9	29.2	16.2	0.7
家族成長後期	182	1.6	12.1	41.2	23.6	21.4	-
家族成熟期	476	1.9	16.8	35.9	20.6	23.9	0.8
高齢期	501	2.6	15.2	35.9	18.0	26.5	1.8
その他	309	1.6	13.6	29.4	25.9	27.8	1.6

そう思う（計）	そう思わない（計）
15.1	60.1

15.5	57.8
15.9	55.3
18.1	58.9
9.6	55.9
11.1	58.0
20.1	57.0
17.0	68.4
15.7	66.7
11.5	69.3
19.5	53.7

15.3	65.7
12.5	63.0
13.5	66.7
18.8	64.1
19.6	57.2
19.3	59.9
8.3	69.5
9.5	66.0
10.5	67.4
18.2	51.9
19.1	44.9
13.9	52.1

14.3	61.6
15.3	62.6
15.2	56.3

11.8	62.9
10.2	66.8
12.0	71.1
13.7	64.8
18.7	56.5
17.8	53.9
15.2	55.3

（６）水辺の生き物が多い

「あまりそう思わない」（35.6％）が3割半ばと最も高くなっている。『そう思う（計）』（15.1％）は1割半ば、『そう思わない（計）』（58.2％）は6割弱となっている。

【平成20年調査との比較】

『そう思う（計）』は4.1ポイント増加し、『そう思わない（計）』が7.4ポイント減少している。

【属性別比較】

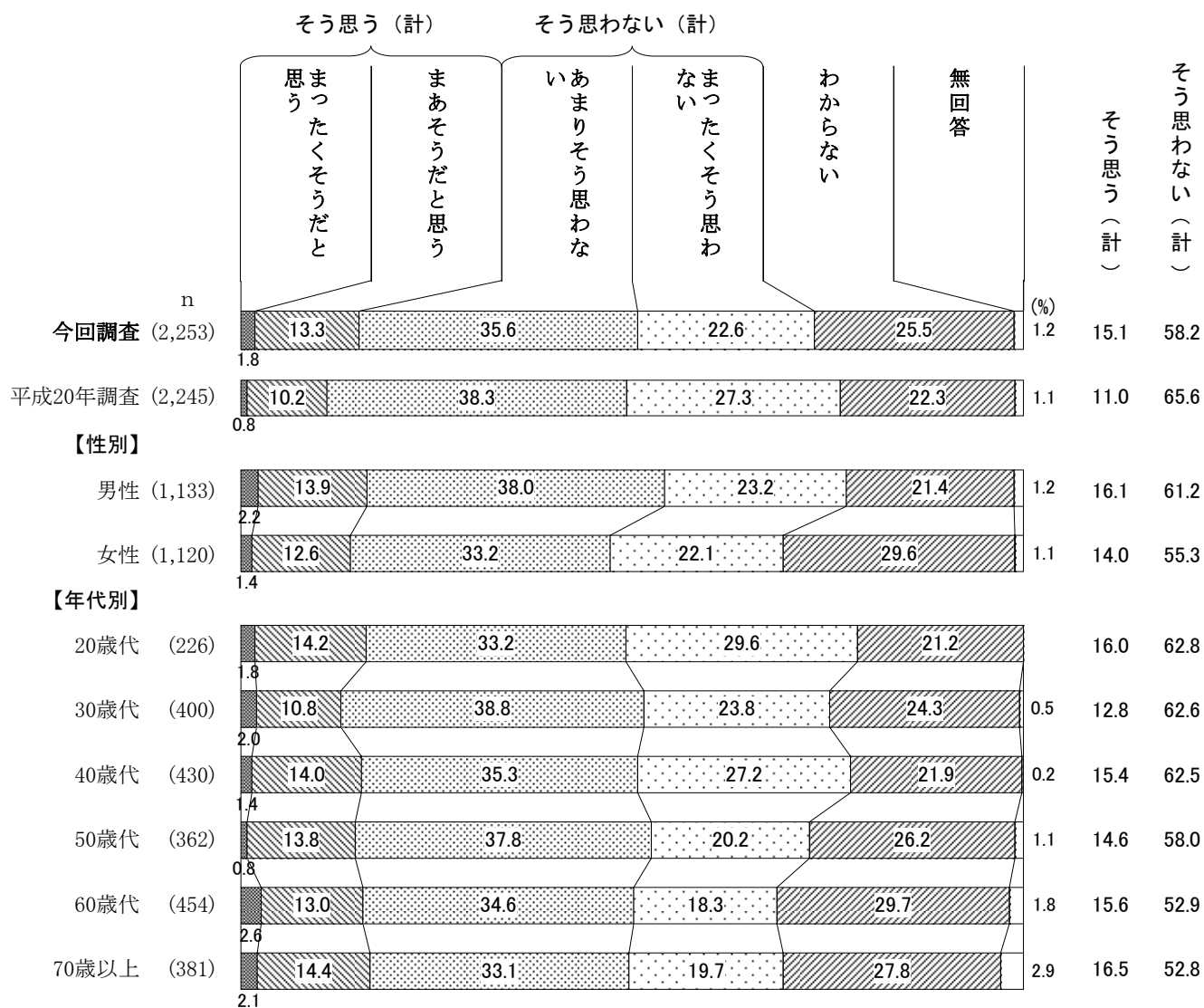
①性別

『そう思わない（計）』は男性（61.2％）のほうが女性（55.3％）よりも5.9ポイント高くなっている。

②年代別

『そう思わない（計）』は20歳代から40歳代で6割強と比較的高くなっている。

○性別／年代別



③地域別

『そう思う（計）』は北部地域（20.8％）で2割を超えて比較的高くなっている。『そう思わない（計）』は利根地域（68.2％）で7割弱と比較的高くなっている。

④性・年代別

『そう思う（計）』は男性70歳以上（20.3％）で約2割と高く、女性30歳代（9.5％）で1割を下回り低くなっている。

⑤職業別

『そう思わない（計）』は自営業・家族従業（計）（63.2％）で6割を超えて高くなっている。

⑥ライフステージ別

『そう思わない（計）』は家族形成期（64.9％）と家族成長前期（65.3％）で比較的高くなっている。

○地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	まったくそうだと思う	まあそうだと思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	わからない	無回答
全 体	2253	1.8	13.3	35.6	22.6	25.5	1.2
地域別							
南部地域	232	3.0	11.2	31.9	26.3	27.2	0.4
南西部地域	226	3.5	11.1	35.4	15.5	33.2	1.3
東部地域	321	1.2	13.4	36.1	22.7	25.5	0.9
さいたま地域	365	0.5	10.7	30.4	22.7	32.9	2.7
県央地域	181	1.1	8.8	33.7	24.9	30.4	1.1
川越比企地域	263	2.3	17.1	39.5	17.1	23.2	0.8
西部地域	247	1.6	16.6	40.9	24.7	15.0	1.2
利根地域	204	2.0	12.7	37.3	30.9	16.7	0.5
北部地域	173	1.7	19.1	35.8	21.4	21.4	0.6
秩父地域	41	2.4	12.2	41.5	17.1	26.8	-
性・年代別							
男性・20歳代	105	2.9	11.4	31.4	34.3	20.0	-
30歳代	200	2.5	13.5	37.5	24.5	21.5	0.5
40歳代	231	2.6	12.1	38.5	26.0	20.3	0.4
50歳代	181	1.7	13.8	42.0	21.0	21.0	0.6
60歳代	229	1.7	14.0	38.0	20.1	24.0	2.2
70歳以上	187	2.1	18.2	37.4	18.2	20.9	3.2
女性・20歳代	121	0.8	16.5	34.7	25.6	22.3	-
30歳代	200	1.5	8.0	40.0	23.0	27.0	0.5
40歳代	199	-	16.1	31.7	28.6	23.6	-
50歳代	181	-	13.8	33.7	19.3	31.5	1.7
60歳代	225	3.6	12.0	31.1	16.4	35.6	1.3
70歳以上	194	2.1	10.8	28.9	21.1	34.5	2.6
職業別							
自営業・家族従業（計）	253	2.8	8.7	39.5	23.7	23.3	2.0
雇用者（計）	1149	1.9	14.0	35.1	24.7	23.6	0.7
無職（計）	846	1.4	13.7	35.3	19.3	28.7	1.5
ライフステージ別							
独身期	280	1.4	13.6	35.7	23.9	25.0	0.4
家族形成期	214	2.3	9.8	35.0	29.9	22.4	0.5
家族成長前期	291	2.1	15.1	40.9	24.4	16.8	0.7
家族成長後期	182	1.1	13.7	39.6	21.4	24.2	-
家族成熟期	476	1.7	13.2	37.2	20.4	26.5	1.1
高齢期	501	2.2	14.4	34.3	18.4	28.7	2.0
その他	309	1.6	11.7	28.2	25.9	30.4	2.3

そう思う（計）	そう思わない（計）
15.1	58.2
14.2	58.2
14.6	50.9
14.6	58.8
11.2	53.1
9.9	58.6
19.4	56.6
18.2	65.6
14.7	68.2
20.8	57.2
14.6	58.6
14.3	65.7
16.0	62.0
14.7	64.5
15.5	63.0
15.7	58.1
20.3	55.6
17.3	60.3
9.5	63.0
16.1	60.3
13.8	53.0
15.6	47.5
12.9	50.0
11.5	63.2
15.9	59.8
15.1	54.6
15.0	59.6
12.1	64.9
17.2	65.3
14.8	61.0
14.9	57.6
16.6	52.7
13.3	54.1

（７）水遊びができる

「まったくそう思わない」（49.9％）が約５割で最も高くなっている。『そう思う（計）』（10.3％）は約１割、『そう思わない（計）』（74.8％）は７割半ばとなっている。

【平成20年調査との比較】

『そう思う（計）』は1.7ポイント増加し、『そう思わない（計）』が4.4ポイント減少している。

【属性別比較】

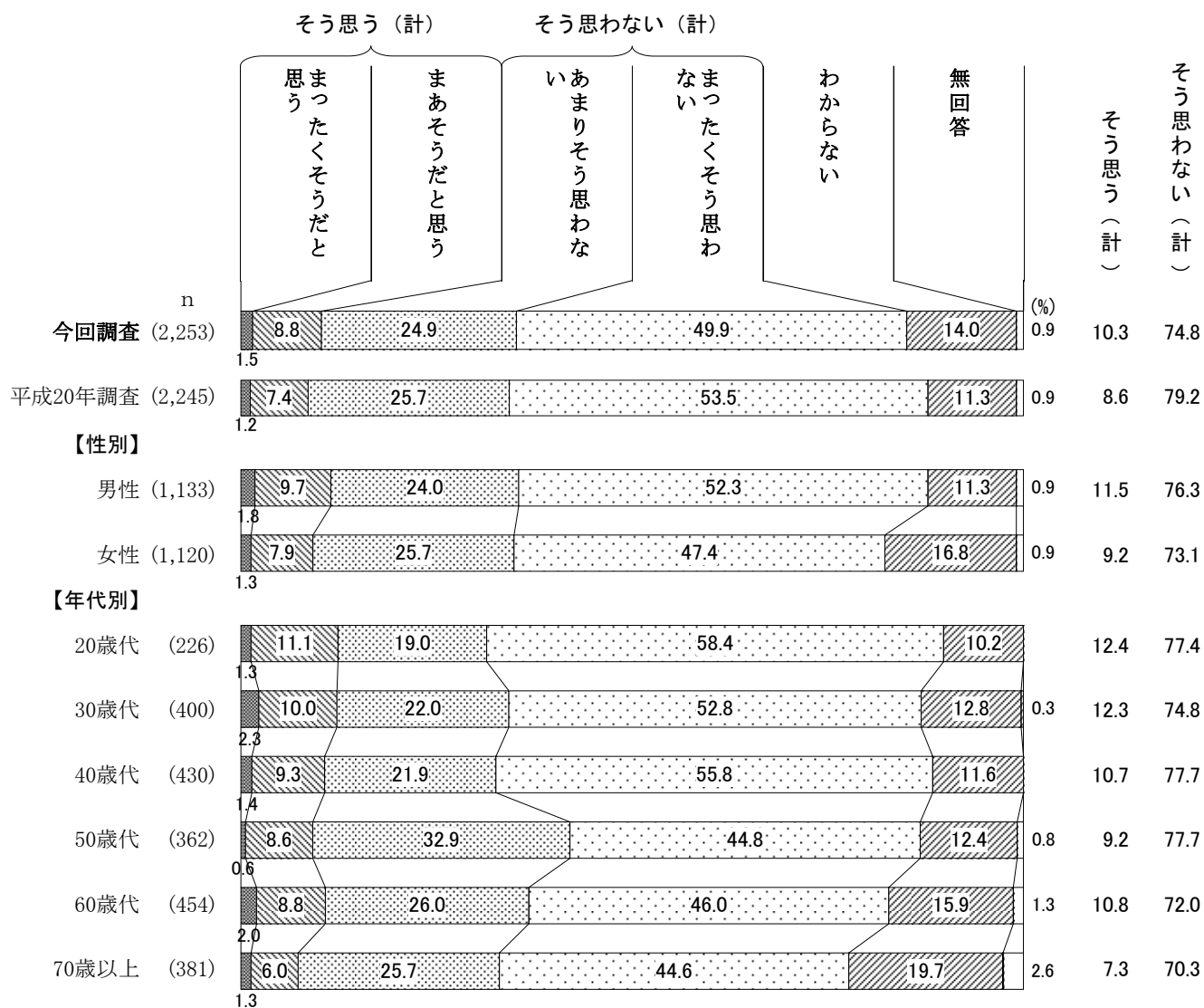
①性別

『そう思わない（計）』は男性（76.3％）のほうが女性（73.1％）よりも3.2ポイント高くなっている。

②年代別

『そう思う（計）』は20歳代（12.4％）と30歳代（12.3％）で１割強と比較的高くなっている。

○性別／年代別



③地域別

『そう思う（計）』は秩父地域（31.7%）で3割強、西部地域（24.7%）で2割半ばと高くなっている。『そう思わない（計）』は利根地域（91.7%）で9割強、東部地域（85.4%）で8割半ばと高くなっている。

④性・年代別

『そう思う（計）』は女性の20歳代（14.1%）で最も高く、男性では70歳以上（9.1%）を除いて1割を超えて高くなっている。

⑤職業別

『そう思う（計）』は雇用者（計）（12.6%）で1割強と比較的高くなっている。

⑥ライフステージ別

『そう思う（計）』は家族成長前期（15.5%）で1割半ばと比較的高くなっている。『そう思わない（計）』は家族成長後期（79.2%）で約8割と比較的高くなっている。

○地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	まったくそうだと思う	まあそうだと思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	わからない	無回答
全 体	2253	1.5	8.8	24.9	49.9	14.0	0.9

そう思う（計）	そう思わない（計）
10.3	74.8

地域別

南部地域	232	0.9	3.9	18.5	59.1	17.7	-
南西部地域	226	0.9	12.4	31.4	37.2	17.7	0.4
東部地域	321	0.9	1.2	23.4	62.0	11.8	0.6
さいたま地域	365	0.5	3.0	20.3	51.2	22.7	2.2
県央地域	181	1.1	5.5	18.8	57.5	16.0	1.1
川越比企地域	263	1.5	17.5	31.6	35.7	13.3	0.4
西部地域	247	4.9	19.8	27.9	38.5	6.9	2.0
利根地域	204	0.5	2.0	20.1	71.6	5.4	0.5
北部地域	173	2.3	15.6	31.2	40.5	10.4	-
秩父地域	41	4.9	26.8	39.0	19.5	9.8	-

4.8	77.6
13.3	68.6
2.1	85.4
3.5	71.5
6.6	76.3
19.0	67.3
24.7	66.4
2.5	91.7
17.9	71.7
31.7	58.5

性・年代別

男性・20歳代	105	1.0	9.5	12.4	64.8	12.4	-
30歳代	200	2.5	10.5	19.5	53.5	13.5	0.5
40歳代	231	2.2	10.8	20.8	56.3	10.0	-
50歳代	181	1.1	9.9	36.5	43.6	8.3	0.6
60歳代	229	1.7	9.6	25.8	50.7	10.9	1.3
70歳以上	187	1.6	7.5	25.1	49.7	13.4	2.7
女性・20歳代	121	1.7	12.4	24.8	52.9	8.3	-
30歳代	200	2.0	9.5	24.5	52.0	12.0	-
40歳代	199	0.5	7.5	23.1	55.3	13.6	-
50歳代	181	-	7.2	29.3	45.9	16.6	1.1
60歳代	225	2.2	8.0	26.2	41.3	20.9	1.3
70歳以上	194	1.0	4.6	26.3	39.7	25.8	2.6

10.5	77.2
13.0	73.0
13.0	77.1
11.0	80.1
11.3	76.5
9.1	74.8
14.1	77.7
11.5	76.5
8.0	78.4
7.2	75.2
10.2	67.5
5.6	66.0

職業別

自営業・家族従業（計）	253	1.6	8.7	24.9	51.4	12.3	1.2
雇用者（計）	1149	1.7	10.9	23.9	51.3	11.6	0.5
無職（計）	846	1.2	6.1	26.2	47.4	17.7	1.3

10.3	76.3
12.6	75.2
7.3	73.6

ライフステージ別

独身期	280	1.8	10.7	20.4	54.3	12.5	0.4
家族形成期	214	1.4	7.5	19.2	58.4	13.6	-
家族成長前期	291	2.1	13.4	21.6	55.0	7.2	0.7
家族成長後期	182	2.2	7.1	33.0	46.2	11.5	-
家族成熟期	476	1.1	9.2	26.3	48.5	14.3	0.6
高齢期	501	1.0	7.8	25.5	47.3	16.6	1.8
その他	309	1.9	5.8	27.8	43.7	19.1	1.6

12.5	74.7
8.9	77.6
15.5	76.6
9.3	79.2
10.3	74.8
8.8	72.8
7.7	71.5

(8) 水の量が多い

「あまりそう思わない」(41.9%) が4割強と最も高くなっている。『そう思う(計)』(21.1%) は2割強、『そう思わない(計)』(58.5%) は6割弱となっている。

【平成20年調査との比較】

『そう思う(計)』は2.3ポイント増加し、『そう思わない(計)』が2.9ポイント減少している。

【属性別比較】

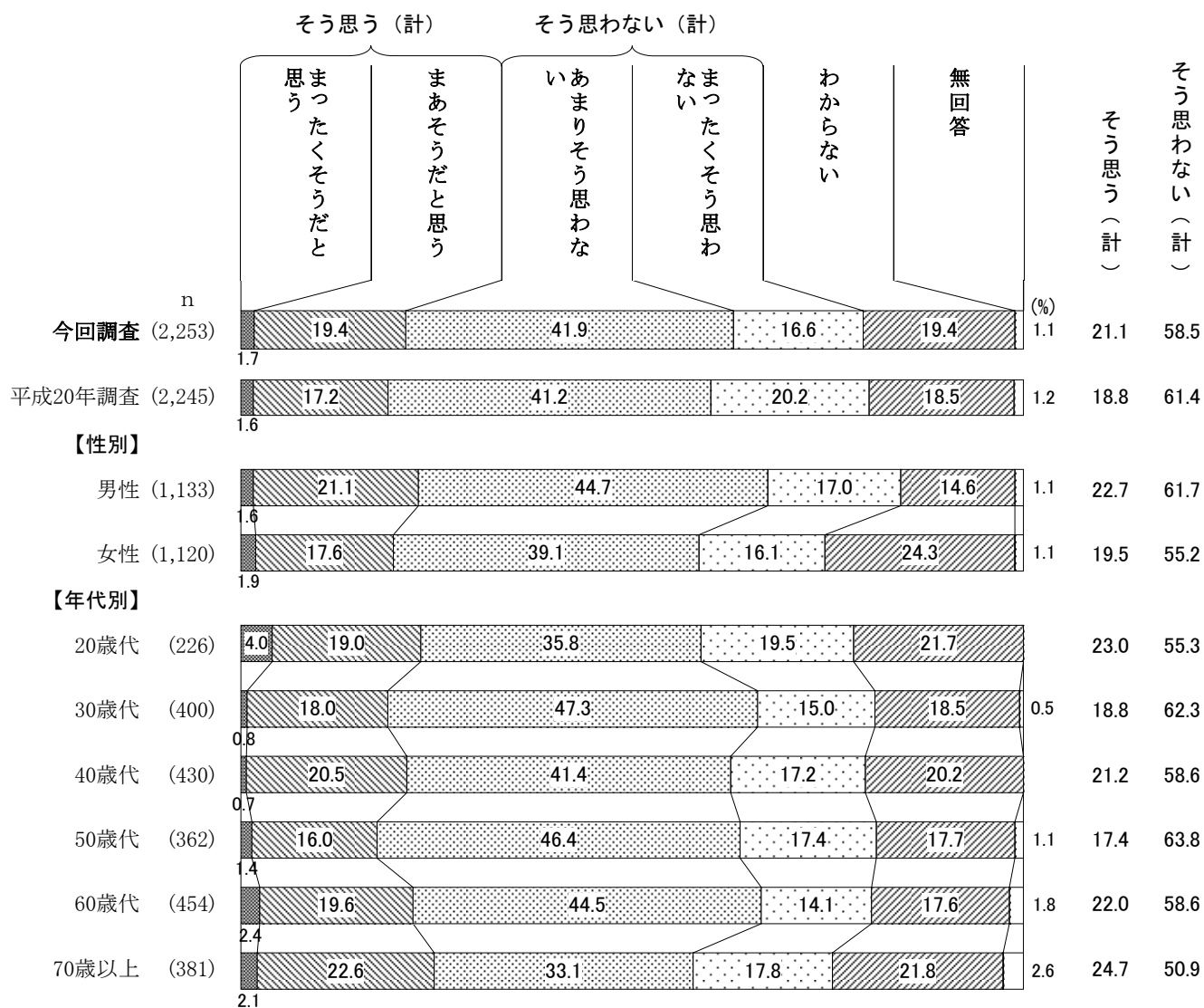
①性別

『そう思わない(計)』は男性(61.7%)のほうが女性(55.2%)よりも6.5ポイント高くなっている。

②年代別

『そう思う(計)』は70歳以上(24.7%)で最も高くなっている。『そう思わない(計)』は30歳代(62.3%)と50歳代(63.8%)で6割強と高くなっている。

○性別／年代別



③地域別

『そう思う（計）』は秩父地域（34.1%）で3割を超えて最も高くなっている。『そう思わない（計）』は西部地域（74.9%）で7割を超えて最も高くなっている。

④性・年代別

『そう思う（計）』は男性では50歳代（18.3%）を除いて2割を超えて高くなっている。女性では20歳代（24.8%）と70歳以上（25.8%）で2割半ばと比較的高くなっている。

⑤職業別

『そう思わない（計）』は自営業・家族従業（計）（64.5%）で比較的高くなっている。

⑥ライフステージ別

『そう思う（計）』は独身期（24.3%）と高齢期（23.2%）で比較的高くなっている。『そう思わない（計）』は家族成長後期（63.2%）で比較的高くなっている。

○地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	まったくそうだと思う	まあそうだと思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	わからない	無回答
全 体	2253	1.7	19.4	41.9	16.6	19.4	1.1

地域別

南部地域	232	2.6	20.7	37.1	16.4	23.3	-
南西部地域	226	0.9	20.8	44.2	13.7	19.5	0.9
東部地域	321	2.2	24.0	44.2	11.2	17.1	1.2
さいたま地域	365	1.1	16.7	34.2	14.2	31.5	2.2
県央地域	181	1.7	22.1	36.5	17.7	21.5	0.6
川越比企地域	263	0.4	16.3	45.6	20.9	16.3	0.4
西部地域	247	-	12.6	49.0	25.9	10.9	1.6
利根地域	204	3.9	23.5	38.7	15.7	16.2	2.0
北部地域	173	2.9	17.3	52.6	15.0	12.1	-
秩父地域	41	7.3	26.8	34.1	17.1	14.6	-

性・年代別

男性・20歳代	105	4.8	16.2	40.0	18.1	21.0	-
30歳代	200	0.5	20.0	50.0	13.5	15.0	1.0
40歳代	231	0.9	24.2	42.0	17.7	15.2	-
50歳代	181	1.7	16.6	48.1	20.4	12.7	0.6
60歳代	229	1.3	24.5	46.7	12.7	12.7	2.2
70歳以上	187	2.1	21.4	39.0	21.4	13.9	2.1
女性・20歳代	121	3.3	21.5	32.2	20.7	22.3	-
30歳代	200	1.0	16.0	44.5	16.5	22.0	-
40歳代	199	0.5	16.1	40.7	16.6	26.1	-
50歳代	181	1.1	15.5	44.8	14.4	22.7	1.7
60歳代	225	3.6	14.7	42.2	15.6	22.7	1.3
70歳以上	194	2.1	23.7	27.3	14.4	29.4	3.1

職業別

自営業・家族従業（計）	253	1.6	17.0	44.7	19.8	15.4	1.6
雇用者（計）	1149	1.4	19.8	44.4	16.1	17.7	0.7
無職（計）	846	2.2	19.5	37.8	16.2	22.8	1.4

ライフステージ別

独身期	280	2.9	21.4	36.8	16.1	22.1	0.7
家族形成期	214	0.9	18.7	44.9	16.4	19.2	-
家族成長前期	291	1.0	19.2	43.6	17.5	17.9	0.7
家族成長後期	182	1.1	17.6	46.7	16.5	18.1	-
家族成熟期	476	1.5	20.0	44.5	16.2	17.0	0.8
高齢期	501	2.2	21.0	39.3	17.4	18.6	1.6
その他	309	1.9	15.5	40.1	15.5	24.3	2.6

そう思う（計）	そう思わない（計）
21.1	58.5

23.3	53.5
21.7	57.9
26.2	55.4
17.8	48.4
23.8	54.2
16.7	66.5
12.6	74.9
27.4	54.4
20.2	67.6
34.1	51.2

21.0	58.1
20.5	63.5
25.1	59.7
18.3	68.5
25.8	59.4
23.5	60.4
24.8	52.9
17.0	61.0
16.6	57.3
16.6	59.2
18.3	57.8
25.8	41.7

18.6	64.5
21.2	60.5
21.7	54.0

24.3	52.9
19.6	61.3
20.2	61.1
18.7	63.2
21.5	60.7
23.2	56.7
17.4	55.6

(9) いやなにおいがしない

「あまりそう思わない」(31.2%)が3割強と最も高くなっている。『そう思う(計)』(32.2%)は3割強、『そう思わない(計)』(49.2%)は約5割となっている。

【平成20年調査との比較】

『そう思う(計)』は4.0ポイント増加し、『そう思わない(計)』が4.9ポイント減少している。

【属性別比較】

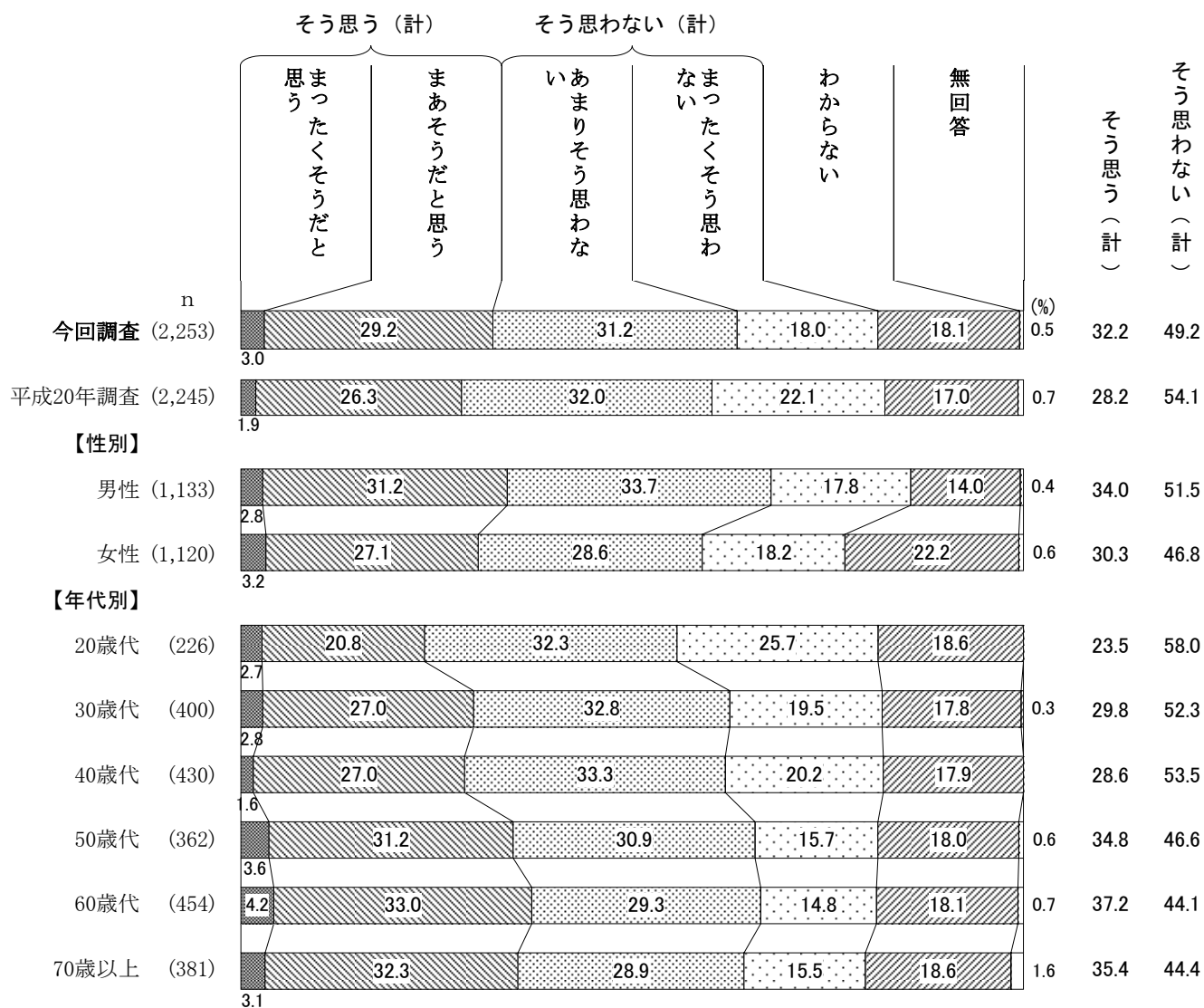
①性別

『そう思わない(計)』は男性(51.5%)のほうが女性(46.8%)よりも4.7ポイント高くなっている。

②年代別

『そう思う(計)』は50歳以上で3割を超えて高く、20歳代(23.5%)で最も低くなっている。
『そう思わない(計)』は20歳代(58.0%)で6割弱と高くなっている。

○性別／年代別



③地域別

『そう思う（計）』は秩父地域（61.0%）で6割強と最も高く、西部地域（40.5%）と北部地域（43.9%）でも4割を超えている。『そう思わない（計）』は南部地域（57.8%）、東部地域（55.8%）、利根地域（58.3%）で5割半ばを超えて比較的高くなっている。

④性・年代別

『そう思う（計）』は男性の50歳代（38.7%）と60歳代（38.4%）で4割弱と高くなっている。『そう思わない（計）』は男性20歳代（59.1%）で約6割と最も高くなっている。

⑤職業別

『そう思わない（計）』は雇用者（計）（51.0%）で5割を超えて比較的高くなっている。

⑥ライフステージ別

『そう思う（計）』は家族成熟期（36.1%）と高齢期（35.5%）で比較的高くなっている。『そう思わない（計）』は家族形成期（57.5%）と家族成長前期（55.7%）で比較的高くなっている。

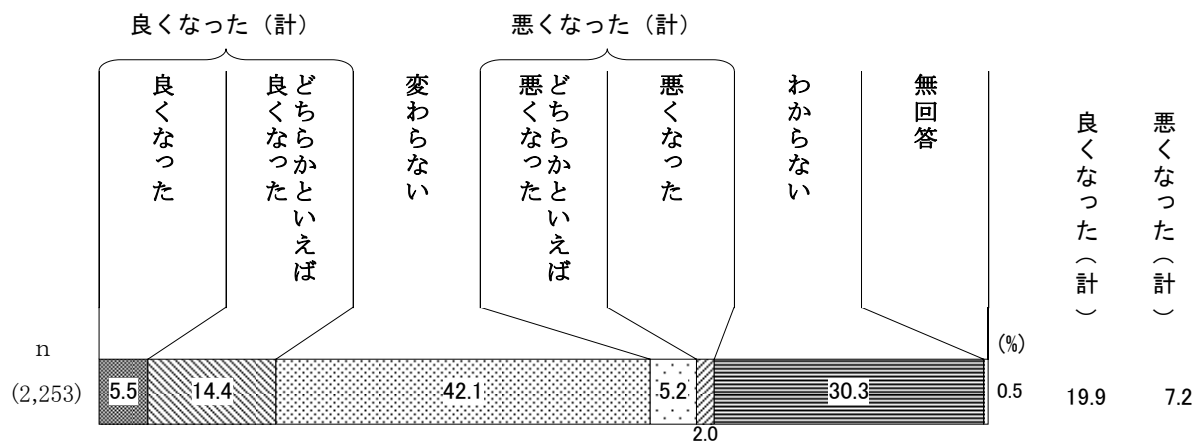
○地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	まったくそうだと思う	まあそうだと思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	わからない	無回答	そう思う（計）	そう思わない（計）
全 体	2253	3.0	29.2	31.2	18.0	18.1	0.5	32.2	49.2
地域別									
南部地域	232	3.9	20.3	30.6	27.2	18.1	—	24.2	57.8
南西部地域	226	3.1	34.1	25.7	13.7	23.0	0.4	37.2	39.4
東部地域	321	1.9	25.9	36.8	19.0	15.9	0.6	27.8	55.8
さいたま地域	365	1.6	23.6	29.9	18.9	24.4	1.6	25.2	48.8
県央地域	181	0.6	28.7	30.9	16.0	23.2	0.6	29.3	46.9
川越比企地域	263	2.7	31.9	33.5	14.4	17.5	—	34.6	47.9
西部地域	247	5.7	34.8	28.3	18.6	11.7	0.8	40.5	46.9
利根地域	204	1.0	27.9	34.8	23.5	12.7	—	28.9	58.3
北部地域	173	6.9	37.0	31.8	10.4	13.9	—	43.9	42.2
秩父地域	41	9.8	51.2	14.6	7.3	17.1	—	61.0	21.9
性・年代別									
男性・20歳代	105	1.9	20.0	28.6	30.5	19.0	—	21.9	59.1
30歳代	200	3.5	29.0	36.5	16.0	14.5	0.5	32.5	52.5
40歳代	231	2.2	29.0	35.5	18.6	14.7	—	31.2	54.1
50歳代	181	2.8	35.9	32.0	16.0	13.3	—	38.7	48.0
60歳代	229	3.5	34.9	31.4	16.2	13.1	0.9	38.4	47.6
70歳以上	187	2.7	33.2	35.8	15.5	11.8	1.1	35.9	51.3
女性・20歳代	121	3.3	21.5	35.5	21.5	18.2	—	24.8	57.0
30歳代	200	2.0	25.0	29.0	23.0	21.0	—	27.0	52.0
40歳代	199	1.0	24.6	30.7	22.1	21.6	—	25.6	52.8
50歳代	181	4.4	26.5	29.8	15.5	22.7	1.1	30.9	45.3
60歳代	225	4.9	31.1	27.1	13.3	23.1	0.4	36.0	40.4
70歳以上	194	3.6	31.4	22.2	15.5	25.3	2.1	35.0	37.7
職業別									
自営業・家族従業（計）	253	3.2	31.6	27.7	19.4	17.8	0.4	34.8	47.1
雇用者（計）	1149	3.3	28.4	33.0	18.0	16.9	0.4	31.7	51.0
無職（計）	846	2.6	29.7	29.7	17.6	19.7	0.7	32.3	47.3
ライフステージ別									
独身期	280	3.6	23.6	32.5	19.6	20.4	0.4	27.2	52.1
家族形成期	214	1.9	24.8	33.2	24.3	15.9	—	26.7	57.5
家族成長前期	291	2.1	26.8	35.1	20.6	15.5	—	28.9	55.7
家族成長後期	182	3.3	29.1	31.9	18.1	17.6	—	32.4	50.0
家族成熟期	476	2.9	33.2	30.9	14.7	17.4	0.8	36.1	45.6
高齢期	501	3.4	32.1	28.5	16.6	18.6	0.8	35.5	45.1
その他	309	3.6	28.5	29.1	17.2	20.7	1.0	32.1	46.3

(4) 3年前と比べた近くの川の印象

◇『良くなった(計)』が19.9%、「変わらない」は42.1%

問21 お住まいの近くの川の印象は、3年前と比べて良くなりましたか、それとも、悪くなりましたか。



3年前と比べた近くの川の印象は、「変わらない」(42.1%)が4割強で最も高くなっている。また、「良くなった」(5.5%)と「どちらかといえば良くなった」(14.4%)を合わせた『良くなった(計)』が19.9%で約2割となっている。一方、「どちらかといえば悪くなった」(5.2%)と「悪くなった」(2.0%)を合わせた『悪くなった(計)』は7.2%となっている。

【属性別比較】

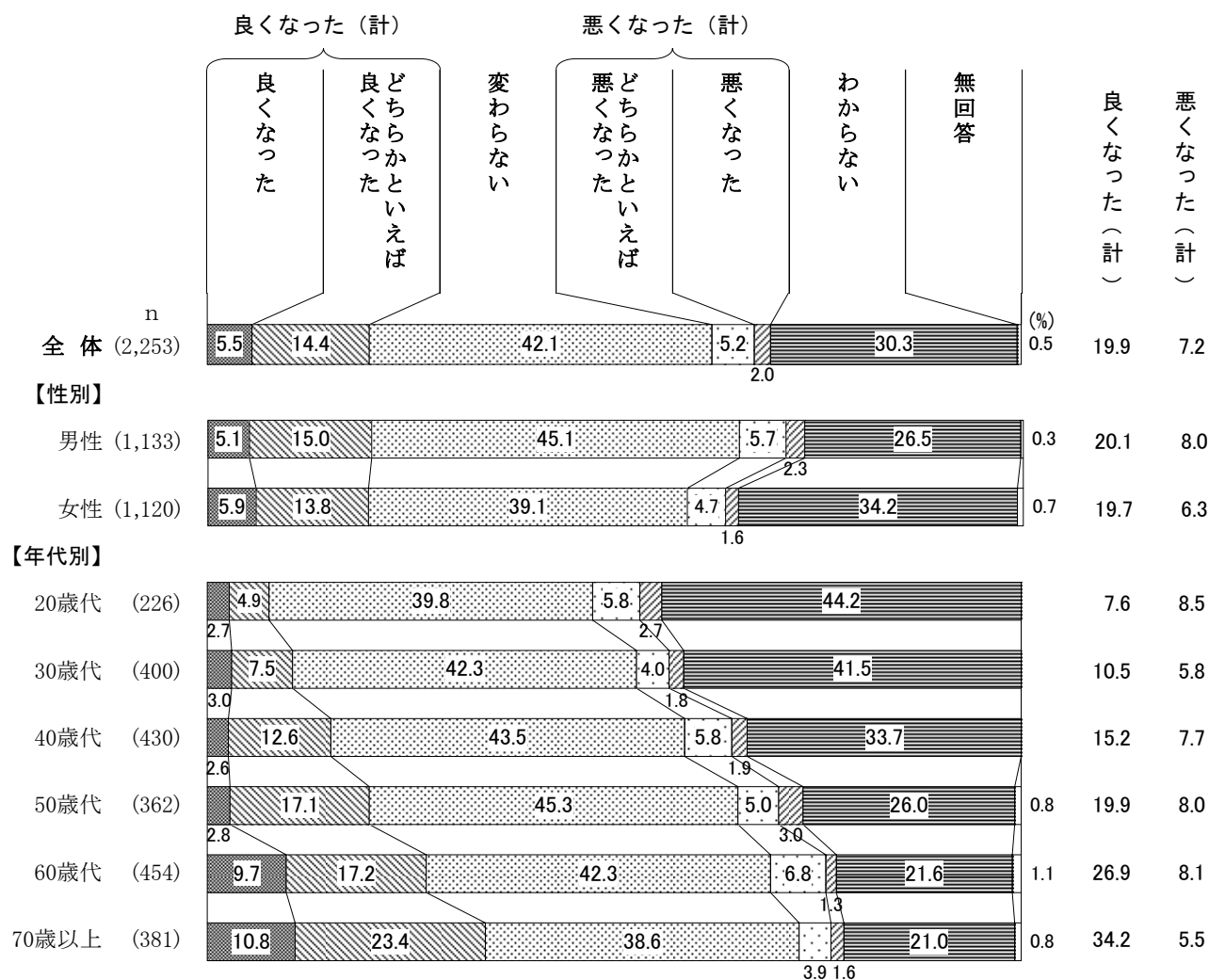
①性別

「変わらない」は男性（45.1%）のほうが女性（39.1%）よりも6.0ポイント高くなっている。

②年代別

『良くなった（計）』は年齢が高くなるほど割合が高くなっている。

○3年前と比べた近くの川の印象・性別／年代別



③地域別

『良くなった（計）』は川越比企地域（25.1％）で2割半ばと最も高く、利根地域（10.3％）で約1割と最も低くなっている。『悪くなった（計）』は秩父地域（21.9％）で2割を超えて高くなっている。

④性・年代別

『良くなった（計）』は男性では70歳以上（37.4％）、女性では60歳以上で3割を超えて高くなっている。『悪くなった（計）』は男性20歳代（10.5％）で1割を超えて高くなっている。

⑤職業別

『良くなった（計）』は雇用者（計）（16.4％）で比較的低くなっている。

⑥ライフステージ別

『良くなった（計）』は高齢期（33.4％）で3割強、家族成熟期（22.5％）で2割強と高くなっている。『悪くなった（計）』は家族成長後期（10.9％）で約1割と比較的高くなっている。

○3年前と比べた近くの川の印象・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	良くなった	どちらかといえば良くなった	変わらない	どちらかといえば悪くなった	悪くなった	わからない	無回答
全 体	2253	5.5	14.4	42.1	5.2	2.0	30.3	0.5

良くなった (計)	悪くなった (計)
19.9	7.2

地域別

南部地域	232	6.0	13.8	41.8	3.9	3.0	31.5	-
南西部地域	226	8.0	14.2	34.5	4.0	0.9	38.1	0.4
東部地域	321	4.7	18.4	44.5	3.7	2.8	25.5	0.3
さいたま地域	365	4.4	13.4	34.2	5.2	1.4	39.5	1.9
県央地域	181	1.1	16.0	38.7	3.3	2.2	38.7	-
川越比企地域	263	8.0	17.1	39.5	5.7	1.9	27.8	-
西部地域	247	8.1	12.6	43.3	5.7	1.2	28.7	0.4
利根地域	204	2.9	7.4	58.3	5.9	2.9	22.1	0.5
北部地域	173	6.9	14.5	50.9	8.1	1.2	18.5	-
秩父地域	41	-	17.1	43.9	19.5	2.4	17.1	-

19.8	6.9
22.2	4.9
23.1	6.5
17.8	6.6
17.1	5.5
25.1	7.6
20.7	6.9
10.3	8.8
21.4	9.3
17.1	21.9

性・年代別

男性・20歳代	105	2.9	5.7	47.6	5.7	4.8	33.3	-
30歳代	200	4.0	7.5	39.5	5.0	2.5	41.5	-
40歳代	231	1.7	12.6	45.0	5.6	1.7	33.3	-
50歳代	181	1.7	20.4	49.7	4.4	3.3	19.9	0.6
60歳代	229	7.0	16.2	48.0	8.3	1.3	18.8	0.4
70歳以上	187	12.8	24.6	41.7	4.8	1.6	13.9	0.5
女性・20歳代	121	2.5	4.1	33.1	5.8	0.8	53.7	-
30歳代	200	2.0	7.5	45.0	3.0	1.0	41.5	-
40歳代	199	3.5	12.6	41.7	6.0	2.0	34.2	-
50歳代	181	3.9	13.8	40.9	5.5	2.8	32.0	1.1
60歳代	225	12.4	18.2	36.4	5.3	1.3	24.4	1.8
70歳以上	194	8.8	22.2	35.6	3.1	1.5	27.8	1.0

8.6	10.5
11.5	7.5
14.3	7.3
22.1	7.7
23.2	9.6
37.4	6.4
6.6	6.6
9.5	4.0
16.1	8.0
17.7	8.3
30.6	6.6
31.0	4.6

職業別

自営業・家族従業（計）	253	6.7	15.8	43.1	6.3	2.0	24.9	1.2
雇用者（計）	1149	4.0	12.4	42.6	5.4	2.2	33.2	0.3
無職（計）	846	7.2	16.8	41.0	4.7	1.7	28.1	0.5

22.5	8.3
16.4	7.6
24.0	6.4

ライフステージ別

独身期	280	3.6	7.1	42.1	5.7	1.8	39.6	-
家族形成期	214	0.9	2.8	36.9	4.2	1.9	53.3	-
家族成長前期	291	4.5	12.0	49.1	3.4	1.4	29.6	-
家族成長後期	182	1.6	13.7	40.7	7.1	3.8	33.0	-
家族成熟期	476	5.7	16.8	43.7	7.4	1.5	24.4	0.6
高齢期	501	11.2	22.2	40.7	4.0	1.4	19.6	1.0
その他	309	4.2	15.2	39.8	4.9	3.2	31.7	1.0

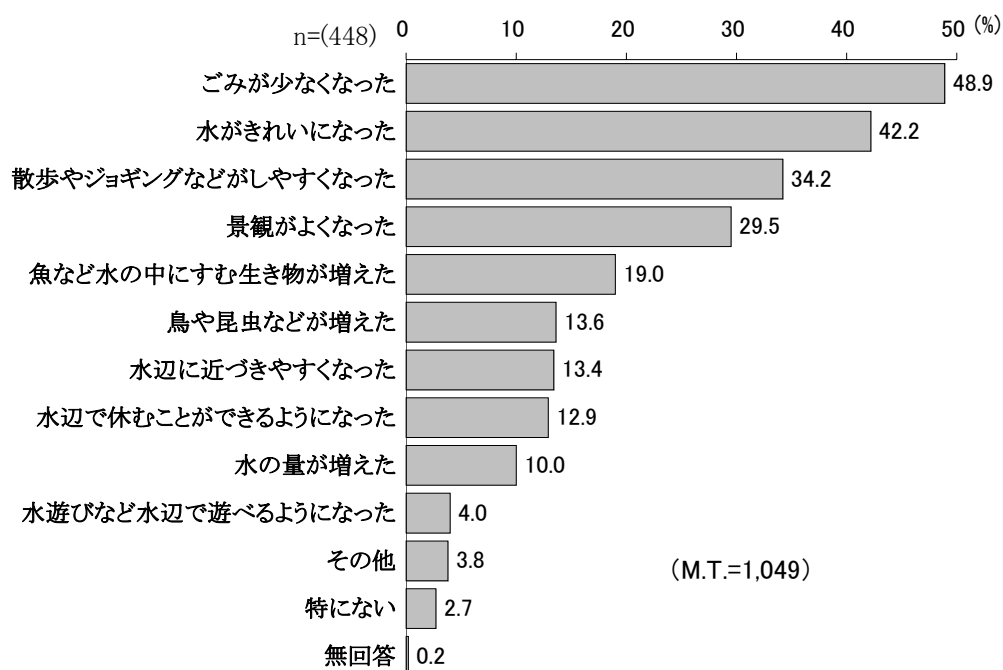
10.7	7.5
3.7	6.1
16.5	4.8
15.3	10.9
22.5	8.9
33.4	5.4
19.4	8.1

(4-1) 印象が良くなった理由

◇「ごみが少なくなった」が48.9%、「水がきれいになった」が42.2%

(問21で「良くなった」「どちらかといえば良くなった」のいずれかを答えた方に)

問21-1 その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。



印象が良くなった理由は、「ごみが少なくなった」が48.9%、「水がきれいになった」が42.2%で4割を超えて高く、次いで「散歩やジョギングなどがしやすくなった」(34.2%)、「景観がよくなった」(29.5%)、「魚など水の中にすむ生き物が増えた」(19.0%)の順となっている。

【属性別比較】

①地域別

「ごみが少なくなった」は県央地域（74.2%）で7割を超えて高くなっている。「水がきれいになった」は西部地域（58.8%）で6割弱と高くなっている。「散歩やジョギングなどがしやすくなった」は南西部地域（48.0%）で5割弱と高くなっている。

②性別

「ごみが少なくなった」は女性（50.9%）のほうが男性（46.9%）よりも4.0ポイント高くなっている。逆に「魚など水の中にすむ生き物が増えた」は男性（22.4%）のほうが女性（15.5%）よりも6.9ポイント高くなっている。

③年代別

「ごみが少なくなった」は50歳以上で5割を超えて高くなっている。「水がきれいになった」は60歳代（48.4%）で5割弱と高く、「散歩やジョギングなどがしやすくなった」は30歳代（40.5%）で約4割と高くなっている。

④性・年代別

「ごみが少なくなった」は女性の70歳以上（58.3%）で6割弱と最も高く、男女ともに50歳以上で5割を超えている。「水がきれいになった」は男性50歳代（50.0%）で5割と高くなっている。「散歩やジョギングなどがしやすくなった」は女性30歳代（42.1%）で4割を超えて高くなっている。

⑤職業別

「ごみが少なくなった」と「水がきれいになった」は自営業・家族従業（計）で比較的高くなっている。

⑥ライフステージ別

「ごみが少なくなった」は家族成熟期（55.1%）と高齢期（55.7%）で5割半ば、家族成長前期（50.0%）で5割と高くなっている。

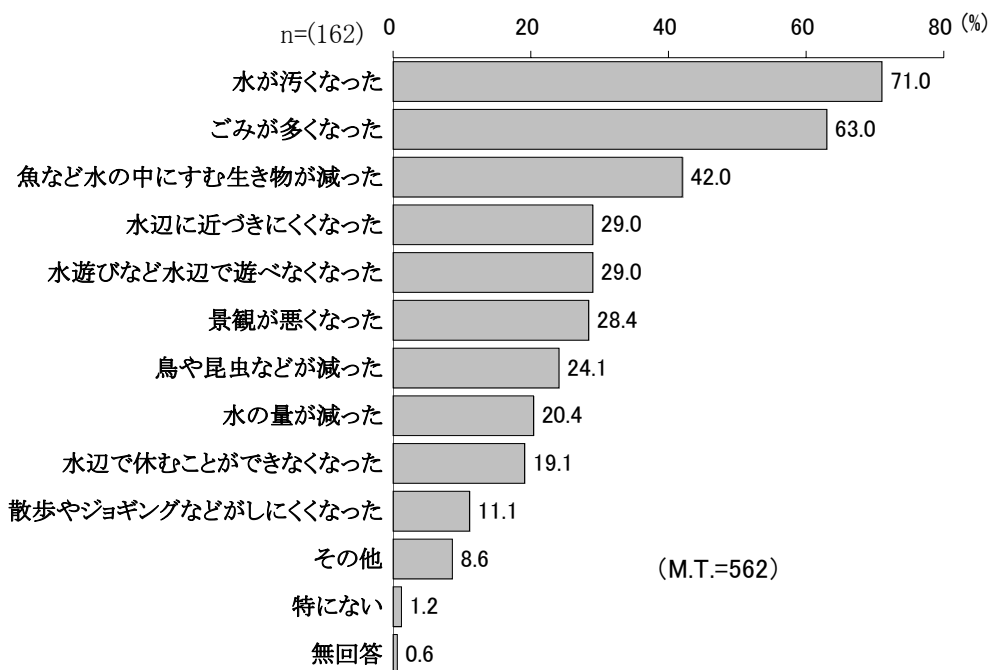
○印象が良くなった理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

	調査数	ごみが少なくなった	水がきれいになった	散歩やジョギングなどがしやすくなった	景観がよくなった	魚など水の中にすむ生き物が増えた	鳥や昆虫などが増えた	水辺に近づきやすくなった	水辺で休むことができた	水の量が増えた	水遊びなど水辺で遊べるようになった	その他	特にない	無回答
全 体	448	48.9	42.2	34.2	29.5	19.0	13.6	13.4	12.9	10.0	4.0	3.8	2.7	0.2
地域別														
南部地域	46	43.5	47.8	32.6	30.4	30.4	19.6	21.7	15.2	19.6	4.3	2.2	-	-
南西部地域	50	48.0	46.0	48.0	28.0	22.0	10.0	18.0	24.0	8.0	4.0	4.0	-	-
東部地域	74	51.4	29.7	44.6	23.0	17.6	13.5	6.8	17.6	10.8	1.4	5.4	2.7	-
さいたま地域	65	44.6	27.7	32.3	44.6	12.3	9.2	12.3	7.7	9.2	-	4.6	7.7	-
県央地域	31	74.2	41.9	22.6	35.5	9.7	9.7	9.7	3.2	6.5	-	3.2	-	-
川越比企地域	66	45.5	53.0	42.4	27.3	16.7	24.2	21.2	16.7	3.0	6.1	-	4.5	-
西部地域	51	45.1	58.8	19.6	25.5	27.5	13.7	17.6	13.7	13.7	15.7	7.8	-	2.0
利根地域	21	52.4	28.6	19.0	19.0	28.6	4.8	-	9.5	14.3	-	9.5	4.8	-
北部地域	37	51.4	40.5	29.7	27.0	13.5	8.1	2.7	-	8.1	2.7	-	2.7	-
秩父地域	7	28.6	71.4	-	28.6	-	14.3	14.3	-	14.3	-	-	-	-
性別														
男性	228	46.9	43.4	33.8	28.5	22.4	12.7	12.7	12.3	11.4	4.8	3.9	2.6	0.4
女性	220	50.9	40.9	34.5	30.5	15.5	14.5	14.1	13.6	8.6	3.2	3.6	2.7	-
年代別														
20歳代	17	17.6	35.3	17.6	35.3	-	5.9	11.8	5.9	-	-	11.8	5.9	-
30歳代	42	38.1	42.9	40.5	31.0	14.3	14.3	16.7	16.7	7.1	7.1	7.1	4.8	-
40歳代	65	36.9	32.3	30.8	30.8	9.2	10.8	13.8	12.3	9.2	3.1	7.7	3.1	-
50歳代	72	54.2	44.4	34.7	36.1	23.6	19.4	12.5	13.9	8.3	2.8	-	1.4	-
60歳代	122	54.1	48.4	38.5	26.2	23.8	11.5	14.8	13.1	11.5	6.6	0.8	0.8	-
70歳以上	130	54.6	40.8	31.5	26.9	20.8	14.6	11.5	12.3	12.3	2.3	4.6	3.8	0.8
性・年代別														
男性・20歳代	9	11.1	44.4	11.1	22.2	-	11.1	22.2	11.1	-	-	11.1	-	-
30歳代	23	34.8	47.8	39.1	26.1	17.4	17.4	8.7	13.0	13.0	8.7	4.3	8.7	-
40歳代	33	42.4	36.4	33.3	33.3	15.2	3.0	12.1	9.1	12.1	-	9.1	-	-
50歳代	40	52.5	50.0	32.5	40.0	20.0	20.0	15.0	12.5	12.5	2.5	-	2.5	-
60歳代	53	50.9	47.2	39.6	18.9	32.1	11.3	17.0	11.3	15.1	11.3	-	-	-
70歳以上	70	51.4	38.6	31.4	28.6	24.3	12.9	8.6	14.3	8.6	2.9	5.7	4.3	1.4
女性・20歳代	8	25.0	25.0	25.0	50.0	-	-	-	-	-	-	12.5	12.5	-
30歳代	19	42.1	36.8	42.1	36.8	10.5	10.5	26.3	21.1	-	5.3	10.5	-	-
40歳代	32	31.3	28.1	28.1	28.1	3.1	18.8	15.6	15.6	6.3	6.3	6.3	6.3	-
50歳代	32	56.3	37.5	37.5	31.3	28.1	18.8	9.4	15.6	3.1	3.1	-	-	-
60歳代	69	56.5	49.3	37.7	31.9	17.4	11.6	13.0	14.5	8.7	2.9	1.4	1.4	-
70歳以上	60	58.3	43.3	31.7	25.0	16.7	16.7	15.0	10.0	16.7	1.7	3.3	3.3	-
職業別														
自営業・家族従業（計）	57	56.1	50.9	35.1	31.6	24.6	12.3	7.0	12.3	12.3	1.8	1.8	5.3	-
雇用者（計）	188	42.0	39.9	37.2	33.0	16.0	13.3	18.6	13.3	11.7	5.3	3.7	2.7	-
無職（計）	203	53.2	41.9	31.0	25.6	20.2	14.3	10.3	12.8	7.9	3.4	4.4	2.0	0.5
ライフステージ別														
独身期	30	23.3	40.0	43.3	33.3	6.7	13.3	10.0	10.0	10.0	3.3	10.0	6.7	-
家族形成期	8	-	50.0	-	37.5	25.0	12.5	12.5	12.5	-	25.0	-	12.5	-
家族成長前期	48	50.0	41.7	31.3	33.3	14.6	10.4	20.8	12.5	8.3	2.1	4.2	-	-
家族成長後期	28	46.4	39.3	39.3	28.6	28.6	21.4	14.3	17.9	3.6	7.1	3.6	3.6	-
家族成熟期	107	55.1	47.7	32.7	29.0	21.5	11.2	11.2	13.1	14.0	2.8	1.9	1.9	-
高齢期	167	55.7	43.7	36.5	28.7	19.2	13.8	13.8	13.2	8.4	4.2	2.4	2.4	0.6
その他	60	38.3	30.0	30.0	26.7	18.3	16.7	11.7	11.7	13.3	3.3	8.3	3.3	-

(4-2) 印象が悪くなった理由

◇「水が汚くなった」が71.0%

(問21で「どちらかといえば悪くなった」「悪くなった」のいずれかを答えた方に)
問21-2 その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。



印象が悪くなった理由は、「水が汚くなった」(71.0%)が7割強と最も高く、次いで「ごみが多くなった」(63.0%)、「魚など水の中にすむ生き物が減った」(42.0%)、「水辺に近づきにくくなった」(29.0%)、「水遊びなど水辺で遊べなくなった」(29.0%)の順となっている。

【属性別比較】

①地域別

回答者が少ないものの「水が汚くなった」は南部地域（81.3%）で8割強、さいたま地域（79.2%）、西部地域（76.5%）、利根地域（77.8%）で7割を超えて高くなっている。「ごみが多くなった」は南西部地域（72.7%）、東部地域（71.4%）、さいたま地域（70.8%）、利根地域（72.2%）で7割を超えて高くなっている。

②性別

「水が汚くなった」は女性（81.7%）のほうが男性（62.6%）よりも19.1ポイント高くなっている。逆に「ごみが多くなった」で6.7ポイント、「水辺に近づきにくくなった」と「水遊びなど水辺で遊べなくなった」で11.6ポイント、男性のほうが女性よりも高くなっている。

③年代別

「水が汚くなった」は20歳代（89.5%）で約9割、50歳以上（82.8%）で8割強と高くなっている。「ごみが多くなった」は50歳代（69.0%）で約7割、20歳代（68.4%）で7割弱と高くなっている。「魚など水の中にすむ生き物が減った」は50歳代（55.2%）で5割半ばと高くなっている。

④性・年代別

回答者が少ないものの「水が汚くなった」は女性の20歳代で全数、40歳代（93.8%）で9割を超えて高くなっている。「ごみが多くなった」は男性50歳代（85.7%）で8割半ばと高くなっている。

⑤職業別

「水が汚くなった」は無職（計）（77.8%）、「ごみが多くなった」は自営業・家族従業（計）（76.2%）で最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

「水が汚くなった」は独身期（85.7%）で8割半ばと最も高くなっている。「魚など水の中にすむ生き物が減った」は家族成長後期（60.0%）で6割と最も高くなっている。

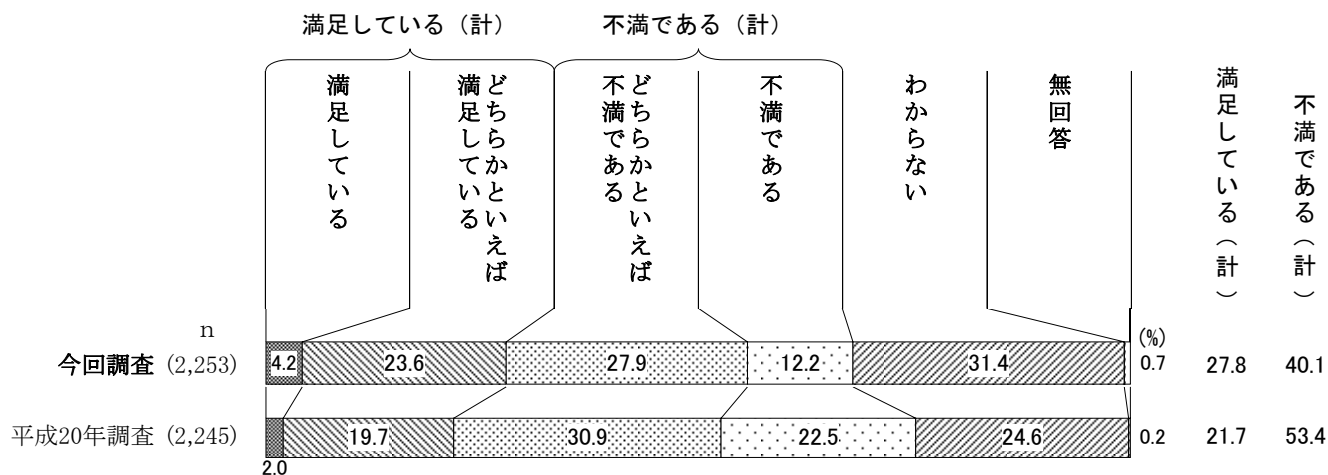
○印象が悪くなった理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	水が汚くなった	ごみが多くなった	魚など水の中にすむ生き物が減った	水辺に近づきにくくなった	水遊びなど水辺で遊べなくなった	景観が悪くなった	鳥や昆虫などが減った	水の量が減った	水辺で休むことができなくなった	散歩やジョギングなどがしにくくなった	その他	特になし	無回答
全 体	162	71.0	63.0	42.0	29.0	29.0	28.4	24.1	20.4	19.1	11.1	8.6	1.2	0.6
地域別														
南部地域	16	81.3	62.5	37.5	37.5	31.3	31.3	25.0	12.5	18.8	25.0	6.3	-	-
南西部地域	11	63.6	72.7	27.3	45.5	36.4	18.2	27.3	36.4	36.4	9.1	-	-	9.1
東部地域	21	66.7	71.4	42.9	14.3	23.8	28.6	19.0	9.5	23.8	19.0	23.8	4.8	-
さいたま地域	24	79.2	70.8	37.5	41.7	20.8	37.5	25.0	16.7	33.3	12.5	4.2	-	-
県央地域	10	60.0	50.0	30.0	30.0	40.0	50.0	30.0	20.0	20.0	10.0	20.0	-	-
川越比企地域	20	65.0	45.0	40.0	40.0	30.0	25.0	30.0	35.0	15.0	10.0	10.0	5.0	-
西部地域	17	76.5	58.8	58.8	11.8	17.6	23.5	17.6	11.8	11.8	11.8	11.8	-	-
利根地域	18	77.8	72.2	44.4	27.8	33.3	38.9	27.8	22.2	11.1	5.6	-	-	-
北部地域	16	68.8	68.8	25.0	6.3	37.5	18.8	18.8	25.0	12.5	-	-	-	-
秩父地域	9	55.6	44.4	88.9	44.4	33.3	-	22.2	22.2	-	-	11.1	-	-
性別														
男性	91	62.6	65.9	42.9	34.1	34.1	28.6	26.4	18.7	25.3	15.4	7.7	-	1.1
女性	71	81.7	59.2	40.8	22.5	22.5	28.2	21.1	22.5	11.3	5.6	9.9	2.8	-
年代別														
20歳代	19	89.5	68.4	31.6	26.3	26.3	31.6	26.3	21.1	21.1	10.5	10.5	-	-
30歳代	23	65.2	60.9	47.8	39.1	47.8	17.4	26.1	26.1	30.4	8.7	8.7	-	-
40歳代	33	66.7	57.6	39.4	36.4	27.3	27.3	15.2	9.1	15.2	6.1	6.1	-	-
50歳代	29	82.8	69.0	55.2	31.0	41.4	44.8	31.0	17.2	20.7	17.2	13.8	-	3.4
60歳代	37	62.2	64.9	32.4	13.5	13.5	21.6	24.3	24.3	8.1	8.1	5.4	2.7	-
70歳以上	21	66.7	57.1	47.6	33.3	23.8	28.6	23.8	28.6	28.6	19.0	9.5	4.8	-
性・年代別														
男性・20歳代	11	81.8	72.7	45.5	45.5	36.4	27.3	36.4	27.3	27.3	18.2	-	-	-
30歳代	15	66.7	60.0	46.7	53.3	53.3	20.0	33.3	20.0	40.0	13.3	13.3	-	-
40歳代	17	41.2	52.9	47.1	35.3	35.3	29.4	11.8	-	23.5	11.8	5.9	-	-
50歳代	14	85.7	85.7	50.0	28.6	50.0	50.0	35.7	21.4	28.6	21.4	7.1	-	7.1
60歳代	22	50.0	68.2	27.3	13.6	9.1	22.7	22.7	18.2	4.5	9.1	4.5	-	-
70歳以上	12	66.7	58.3	50.0	41.7	33.3	25.0	25.0	33.3	41.7	25.0	16.7	-	-
女性・20歳代	8	100.0	62.5	12.5	-	12.5	37.5	12.5	12.5	12.5	-	25.0	-	-
30歳代	8	62.5	62.5	50.0	12.5	37.5	12.5	12.5	37.5	12.5	-	-	-	-
40歳代	16	93.8	62.5	31.3	37.5	18.8	25.0	18.8	18.8	6.3	-	6.3	-	-
50歳代	15	80.0	53.3	60.0	33.3	33.3	40.0	26.7	13.3	13.3	13.3	20.0	-	-
60歳代	15	80.0	60.0	40.0	13.3	20.0	20.0	26.7	33.3	13.3	6.7	6.7	6.7	-
70歳以上	9	66.7	55.6	44.4	22.2	11.1	33.3	22.2	22.2	11.1	11.1	-	11.1	-
職業別														
自営業・家族従業（計）	21	57.1	76.2	47.6	33.3	28.6	38.1	28.6	23.8	19.0	14.3	14.3	-	-
雇用者（計）	87	70.1	64.4	36.8	29.9	31.0	31.0	21.8	17.2	20.7	10.3	8.0	-	1.1
無職（計）	54	77.8	55.6	48.1	25.9	25.9	20.4	25.9	24.1	16.7	11.1	7.4	3.7	-
ライフステージ別														
独身期	21	85.7	61.9	33.3	23.8	23.8	33.3	23.8	23.8	14.3	14.3	9.5	-	-
家族形成期	13	76.9	76.9	38.5	30.8	30.8	23.1	15.4	15.4	30.8	7.7	-	-	-
家族成長前期	14	78.6	50.0	35.7	50.0	57.1	7.1	28.6	21.4	28.6	-	7.1	-	-
家族成長後期	20	60.0	65.0	60.0	35.0	35.0	25.0	25.0	15.0	20.0	10.0	10.0	-	5.0
家族成熟期	42	71.4	64.3	42.9	23.8	26.2	31.0	26.2	23.8	9.5	7.1	9.5	-	-
高齢期	27	74.1	55.6	40.7	22.2	25.9	25.9	29.6	25.9	14.8	14.8	11.1	7.4	-
その他	25	56.0	68.0	40.0	32.0	20.0	40.0	16.0	12.0	32.0	20.0	8.0	-	-

（５）近くの川の満足度

◇『満足している（計）』が27.8%、『不満である（計）』は40.1%

問22 あなたはお住まいの近くの川について満足していますか。



近くの川の満足度は、「どちらかといえば不満である」が27.9%で最も高く、これに「不満である」（12.2%）を合わせた『不満である（計）』（40.1%）が約4割となっている。一方、「満足している」（4.2%）と「どちらかといえば満足している」（23.6%）を合わせた『満足している（計）』（27.8%）が3割弱となっている。

【平成20年調査との比較】

『満足している（計）』が6.1ポイント増加した。また、『不満である（計）』は13.3ポイント減少している。

【属性別比較】

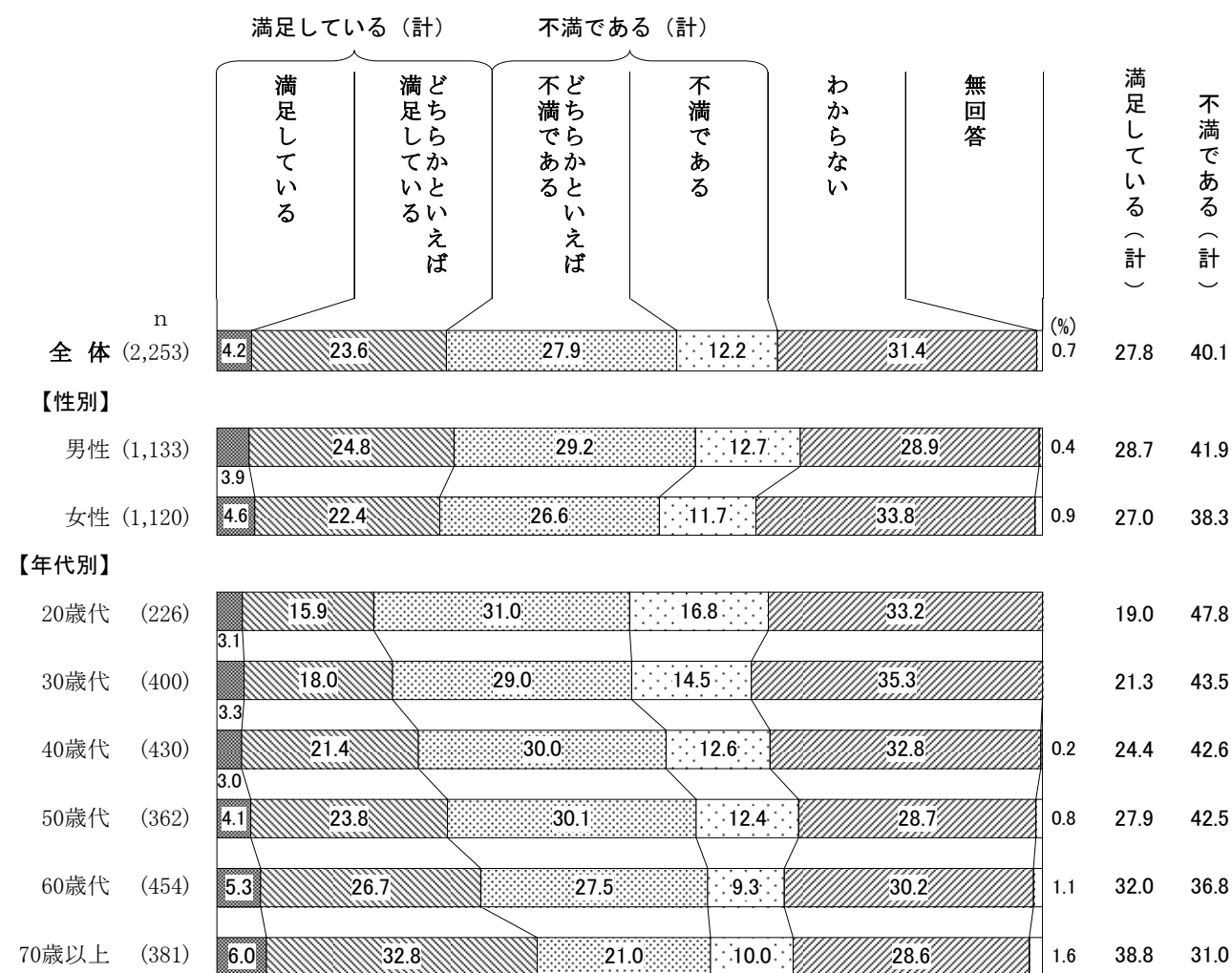
①性別

『不満である（計）』は男性（41.9%）のほうが女性（38.3%）よりも3.6ポイント高くなっている。

②年代別

『満足している（計）』は高年代ほど高くなる傾向が見られ、70歳以上（38.8%）で最も高く、20歳代（19.0%）で最も低くなっている。『不満である（計）』は20歳代から50歳代で4割を超えて高くなっている。

○近くの川の満足度・性別／年代別



③地域別

『満足している（計）』は秩父地域（48.8％）で5割弱、北部地域（41.1％）で4割強と高くなっている。一方、『不満である（計）』は利根地域（57.4％）で6割弱と最も高く、南部地域（47.0％）、東部地域（45.5％）、県央地域（42.0％）で4割を超えて高くなっている。

④性・年代別

『満足している（計）』は男性70歳以上（43.8％）で最も高く、男性20歳代（16.2％）で1割半ばと低くなっている。一方、『不満である（計）』は男性20歳代（50.4％）で5割を超えて高くなっている。

⑤職業別

『満足している（計）』は自営業・家族従業（計）（32.8％）で3割を超えて高くなっている。

⑥ライフステージ別

『満足している（計）』は高齢期（38.5％）で4割弱と高くなっている。一方、『不満である（計）』は家族成長前期（49.2％）で約5割と高くなっている。

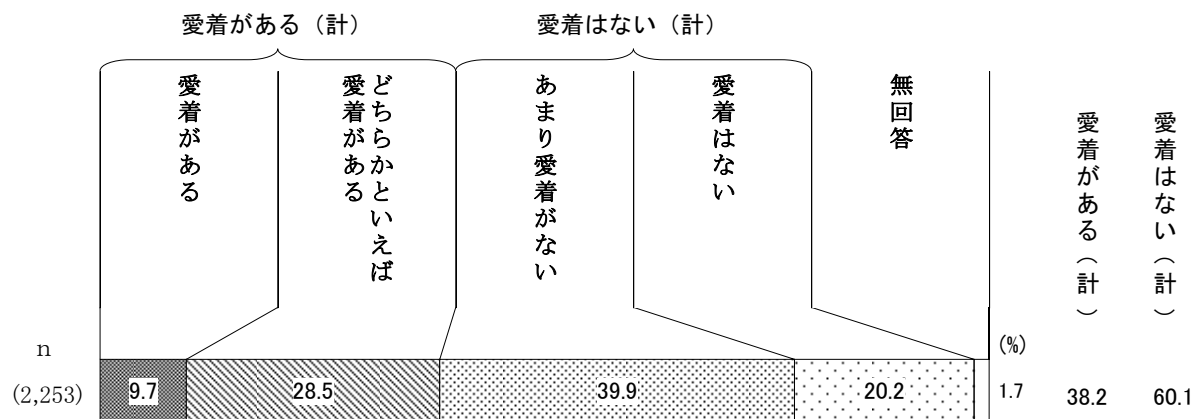
○近くの川の満足度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	満足している	満足どちらかといえ	不満どちらかといえ	不満である	わからない	無回答	(計)満足している	(計)不満である
全 体	2253	4.2	23.6	27.9	12.2	31.4	0.7	27.8	40.1
地域別									
南部地域	232	2.6	17.7	30.2	16.8	32.3	0.4	20.3	47.0
南西部地域	226	4.9	27.0	23.9	4.4	39.4	0.4	31.9	28.3
東部地域	321	1.9	26.2	31.2	14.3	26.5	-	28.1	45.5
さいたま地域	365	3.0	18.1	21.1	12.6	43.0	2.2	21.1	33.7
県央地域	181	2.2	14.9	30.4	11.6	40.3	0.6	17.1	42.0
川越比企地域	263	6.5	30.4	30.8	7.6	24.3	0.4	36.9	38.4
西部地域	247	6.1	28.3	25.5	12.6	26.7	0.8	34.4	38.1
利根地域	204	4.4	13.7	36.3	21.1	24.5	-	18.1	57.4
北部地域	173	6.4	34.7	27.2	9.2	22.0	0.6	41.1	36.4
秩父地域	41	12.2	36.6	19.5	7.3	24.4	-	48.8	26.8
性・年代別									
男性・20歳代	105	2.9	13.3	31.4	19.0	33.3	-	16.2	50.4
30歳代	200	4.0	18.5	25.0	16.5	36.0	-	22.5	41.5
40歳代	231	1.7	24.2	30.7	11.3	32.0	-	25.9	42.0
50歳代	181	3.9	22.7	30.9	14.4	27.6	0.6	26.6	45.3
60歳代	229	4.4	27.5	31.0	8.7	27.5	0.9	31.9	39.7
70歳以上	187	6.4	37.4	26.7	10.2	18.2	1.1	43.8	36.9
女性・20歳代	121	3.3	18.2	30.6	14.9	33.1	-	21.5	45.5
30歳代	200	2.5	17.5	33.0	12.5	34.5	-	20.0	45.5
40歳代	199	4.5	18.1	29.1	14.1	33.7	0.5	22.6	43.2
50歳代	181	4.4	24.9	29.3	10.5	29.8	1.1	29.3	39.8
60歳代	225	6.2	25.8	24.0	9.8	32.9	1.3	32.0	33.8
70歳以上	194	5.7	28.4	15.5	9.8	38.7	2.1	34.1	25.3
職業別									
自営業・家族従業（計）	253	4.7	28.1	26.1	13.0	26.9	1.2	32.8	39.1
雇用者（計）	1149	4.0	21.6	27.2	13.4	33.3	0.4	25.6	40.6
無職（計）	846	4.4	25.1	29.4	10.4	30.0	0.7	29.5	39.8
ライフステージ別									
独身期	280	4.3	18.9	27.5	15.4	33.9	-	23.2	42.9
家族形成期	214	2.3	15.4	29.0	15.4	37.9	-	17.7	44.4
家族成長前期	291	2.4	19.9	33.7	15.5	28.5	-	22.3	49.2
家族成長後期	182	1.6	23.1	26.4	12.1	36.8	-	24.7	38.5
家族成熟期	476	5.3	23.3	31.3	12.4	26.9	0.8	28.6	43.7
高齢期	501	6.6	31.9	23.6	9.2	27.9	0.8	38.5	32.8
その他	309	3.2	24.3	24.9	8.7	36.6	2.3	27.5	33.6

（６）近くの川への愛着

◇『愛着がある（計）』が38.2%、『愛着がない（計）』は60.1%

問23 あなたはお住まいの近くの川にどのくらい愛着がありますか。



近くの川への愛着は、「あまり愛着がない」が39.9%で最も高く、これに「愛着はない」（20.2%）を合わせた『愛着がない（計）』（60.1%）が6割となっている。一方、「愛着がある」（9.7%）と「どちらかといえば愛着がある」（28.5%）を合わせた『愛着がある（計）』が38.2%となっている。

【属性別比較】

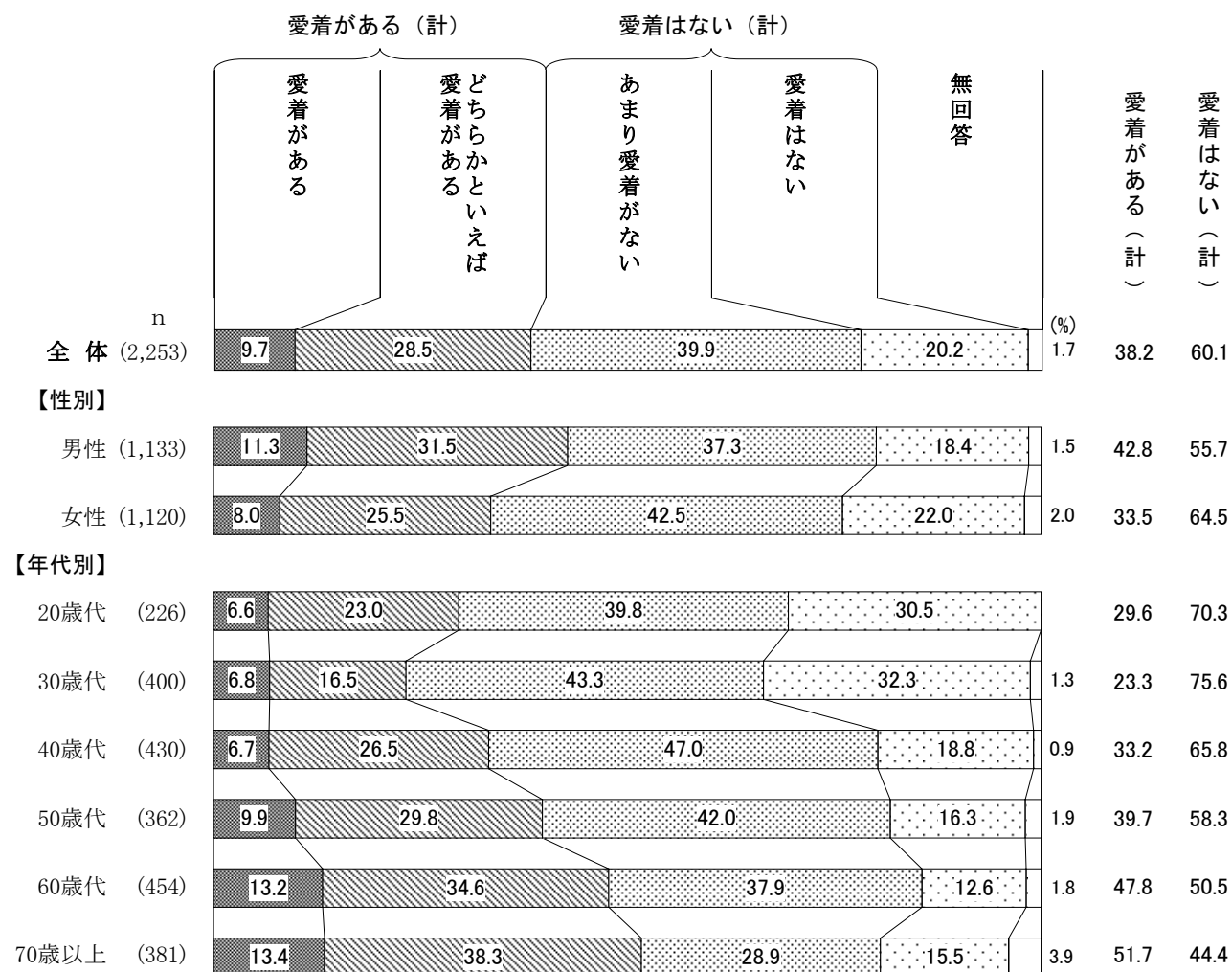
①性別

『愛着がある（計）』は男性（42.8%）が女性（33.5%）よりも9.3ポイント高くなっている。

②年代別

『愛着がある（計）』は30歳代（23.3%）で最も低く、おおむね高年代になるほど高く、70歳以上（51.7%）で5割強となっている。

○近くの川への愛着・性別／年代別



③地域別

『愛着がある（計）』は秩父地域（65.8%）で6割半ばと最も高くなっている。一方、『愛着がない（計）』は南部地域（64.2%）、さいたま地域（66.1%）、県央地域（64.6%）で6割半ばと比較的高くなっている。

④性・年代別

『愛着がある（計）』は男性の70歳以上（59.3%）で約6割、60歳代（51.5%）で5割強と高く、女性30歳代（17.0%）で2割弱と低くなっている。一方、『愛着がない（計）』は女性30歳代（82.0%）で8割強、男性20歳代（73.3%）と女性40歳代（71.3%）で7割を超えて高くなっている。

⑤職業別

『愛着がない（計）』は雇用者（計）（64.7%）で高くなっている。

⑥ライフステージ別

『愛着がある（計）』は家族形成期（20.1%）で最も低く、ライフステージが進むにつれおおむね割合が高くなっている。

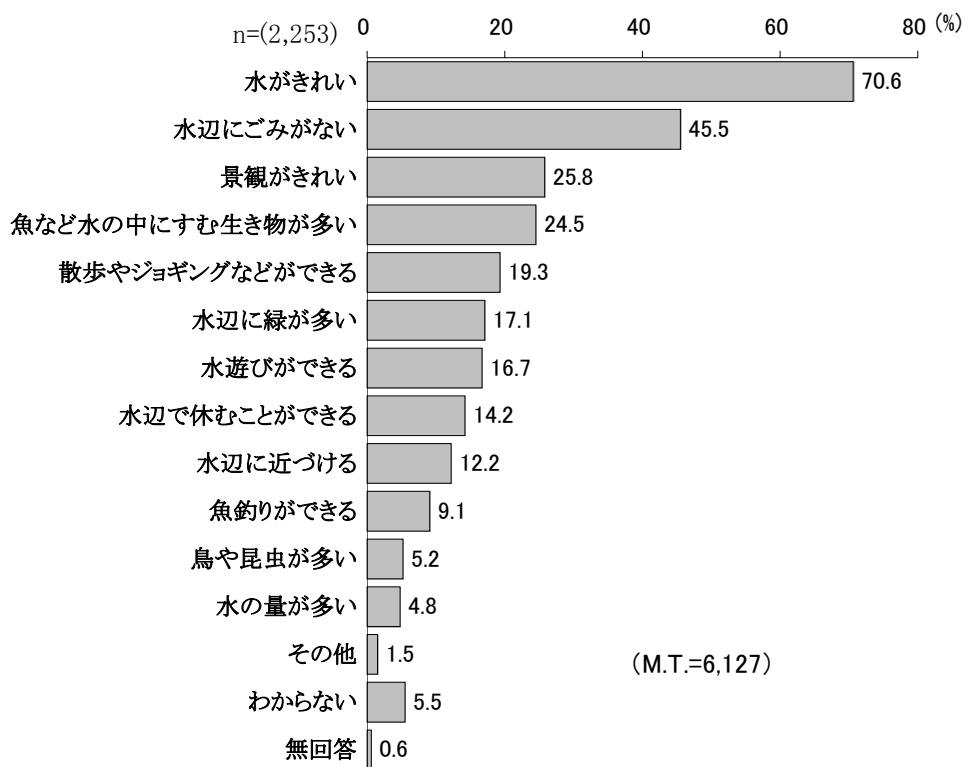
○近くの川への愛着・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	愛着がある	ばど愛ち 愛着らが あるとい え	いあまり 愛着がな	愛着はない	無回答	（計） 愛着がある	（計） 愛着がない
全 体	2253	9.7	28.5	39.9	20.2	1.7	38.2	60.1
地域別								
南部地域	232	8.6	25.9	34.9	29.3	1.3	34.5	64.2
南西部地域	226	10.6	27.4	42.0	18.6	1.3	38.0	60.6
東部地域	321	5.6	35.8	40.8	17.8	-	41.4	58.6
さいたま地域	365	9.0	19.2	42.5	23.6	5.8	28.2	66.1
県央地域	181	5.5	28.2	42.5	22.1	1.7	33.7	64.6
川越比企地域	263	9.9	34.2	42.6	12.2	1.1	44.1	54.8
西部地域	247	13.4	29.1	35.6	20.2	1.6	42.5	55.8
利根地域	204	12.7	27.0	36.3	24.0	-	39.7	60.3
北部地域	173	9.8	30.1	42.8	16.2	1.2	39.9	59.0
秩父地域	41	26.8	39.0	29.3	4.9	-	65.8	34.2
性・年代別								
男性・20歳代	105	6.7	20.0	39.0	34.3	-	26.7	73.3
30歳代	200	9.0	20.5	38.5	30.5	1.5	29.5	69.0
40歳代	231	6.5	31.2	44.6	16.5	1.3	37.7	61.1
50歳代	181	13.8	31.5	35.9	17.1	1.7	45.3	53.0
60歳代	229	14.4	37.1	36.2	10.9	1.3	51.5	47.1
70歳以上	187	16.0	43.3	28.9	9.1	2.7	59.3	38.0
女性・20歳代	121	6.6	25.6	40.5	27.3	-	32.2	67.8
30歳代	200	4.5	12.5	48.0	34.0	1.0	17.0	82.0
40歳代	199	7.0	21.1	49.7	21.6	0.5	28.1	71.3
50歳代	181	6.1	28.2	48.1	15.5	2.2	34.3	63.6
60歳代	225	12.0	32.0	39.6	14.2	2.2	44.0	53.8
70歳以上	194	10.8	33.5	28.9	21.6	5.2	44.3	50.5
職業別								
自営業・家族従業（計）	253	10.7	34.4	38.3	14.6	2.0	45.1	52.9
雇用者（計）	1149	9.1	25.2	43.1	21.6	1.0	34.3	64.7
無職（計）	846	10.2	31.4	36.1	19.9	2.5	41.6	56.0
ライフステージ別								
独身期	280	7.5	23.2	40.0	28.6	0.7	30.7	68.6
家族形成期	214	5.6	14.5	38.8	39.7	1.4	20.1	78.5
家族成長前期	291	8.6	23.7	47.1	19.9	0.7	32.3	67.0
家族成長後期	182	6.0	29.1	47.8	15.9	1.1	35.1	63.7
家族成熟期	476	13.4	29.2	41.6	14.1	1.7	42.6	55.7
高齢期	501	12.4	39.5	32.3	13.4	2.4	51.9	45.7
その他	309	7.4	28.5	38.8	22.0	3.2	35.9	60.8

（７）近くの川に求める姿

◇「水がきれい」が70.6%

問24 あなたは、お住まいの近くの川にどのような姿を求めますか。次の中から3つまで選んでください。



近くの川に求める姿は、「水がきれい」（70.6%）が約7割で最も高く、次いで「水辺にごみがない」（45.5%）、「景観がきれい」（25.8%）、「魚など水の中にすむ生き物が多い」（24.5%）、「散歩やジョギングなどができる」（19.3%）の順となっている。

【属性別比較】

①地域別

「水辺にごみがない」は県央地域（51.4%）と利根地域（52.0%）で5割強と高くなっている。「景観がきれい」は県央地域（32.6%）で3割強と高く、「魚など水の中にすむ生き物が多い」は北部地域（31.2%）で3割強と高くなっている。

②性別

「水辺にごみがない」は女性（47.9%）のほうが男性（43.2%）よりも4.7ポイント高くなっている。逆に「魚釣りができる」は男性（12.2%）のほうが女性（6.0%）よりも6.2ポイント高くなっている。

③年代別

「水辺にごみがない」は40歳代（49.3%）で約5割と最も高くなっている。「景観がきれい」は20歳代（30.1%）と50歳代（31.8%）で3割を超えて高く、70歳以上（17.8%）で2割弱と低くなっている。「水遊びができる」は20歳代（30.1%）で約3割と高くなっている。

④性・年代別

「水がきれい」は女性の20歳代（81.0%）で8割を超えて高くなっている。「水辺にごみがない」は女性の20歳代から40歳代で5割を超えて高くなっている。「魚など水の中にすむ生き物が多い」は男性の60歳代（31.4%）で3割を超えて比較的高くなっている。

⑤職業別

職業別で大きな差はない。

⑥ライフステージ別

「水がきれい」と「水辺にごみがない」は家族成長前期で最も高くなっている。「景観がきれい」は家族成長後期（33.0%）で3割を超えて高くなっている。「魚など水の中にすむ生き物が多い」は家族成長後期（29.1%）と家族成熟期（29.0%）で約3割と高くなっている。「水遊びができる」は家族形成期（37.4%）で4割弱と高くなっている。

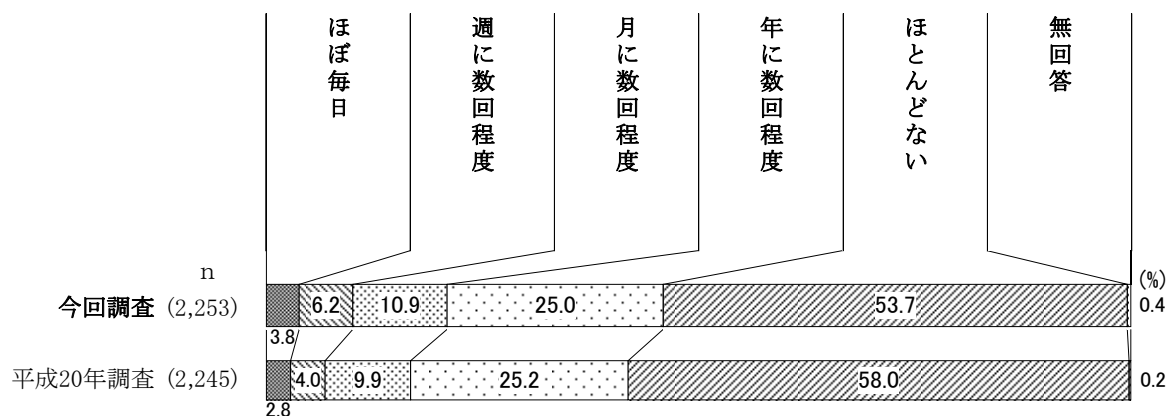
○近くの川に求める姿・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	水がきれい	水辺にごみがない	景観がきれい	魚など水の中にすむ生き物が多い	散歩やジョギングなどができる	水辺に緑が多い	水遊びができる	水辺で休むことができる	水辺に近づく	魚釣りができる	鳥や昆虫が多い	水の量が多い	その他	わからない	無回答
全 体	2253	70.6	45.5	25.8	24.5	19.3	17.1	16.7	14.2	12.2	9.1	5.2	4.8	1.5	5.5	0.6
地域別																
南部地域	232	69.8	44.8	26.3	23.7	17.7	22.0	12.5	16.8	13.4	9.1	3.4	3.9	0.9	7.3	-
南西部地域	226	73.5	40.7	26.1	24.8	21.7	17.3	18.1	15.9	15.0	6.6	5.3	4.9	1.8	4.0	0.4
東部地域	321	67.6	43.9	23.1	16.5	22.7	19.6	12.8	15.9	8.7	10.6	3.4	4.0	2.5	7.8	-
さいたま地域	365	69.0	44.7	28.8	23.3	18.6	17.3	15.1	14.2	13.4	7.1	7.1	3.0	1.9	5.2	1.9
県央地域	181	74.6	51.4	32.6	23.2	22.7	8.3	15.5	16.6	13.3	9.9	5.0	3.9	1.7	3.9	0.6
川越比企地域	263	74.5	43.7	24.7	25.9	18.6	16.3	22.8	14.4	14.1	8.0	5.7	5.3	0.8	4.2	-
西部地域	247	72.1	47.0	26.3	30.0	10.1	16.6	16.6	11.7	13.8	7.7	7.3	7.3	1.2	6.1	1.2
利根地域	204	66.7	52.0	24.5	27.0	20.6	17.6	13.7	9.3	10.8	10.8	6.4	4.9	1.0	5.4	0.5
北部地域	173	70.5	45.7	20.2	31.2	23.7	15.6	26.0	12.1	6.4	11.6	2.3	5.8	0.6	4.6	-
秩父地域	41	63.4	39.0	22.0	26.8	12.2	19.5	19.5	9.8	12.2	22.0	2.4	14.6	2.4	2.4	-
性別																
男性	1133	69.0	43.2	24.7	25.8	18.2	15.4	17.2	14.9	13.1	12.2	5.9	6.3	1.4	5.6	0.4
女性	1120	72.1	47.9	27.0	23.3	20.4	18.9	16.2	13.4	11.3	6.0	4.5	3.4	1.5	5.4	0.7
年代別																
20歳代	226	73.9	46.0	30.1	23.0	19.5	16.8	30.1	11.5	12.4	6.6	6.2	3.5	1.3	2.7	-
30歳代	400	71.0	44.0	28.8	24.3	14.3	13.3	28.8	14.0	16.8	8.5	5.8	3.0	2.0	4.3	-
40歳代	430	74.0	49.3	28.4	24.2	16.0	15.8	17.7	16.0	12.1	7.2	4.2	2.8	1.9	3.7	0.2
50歳代	362	70.4	48.3	31.8	24.6	21.8	20.7	9.4	13.0	13.8	8.6	3.9	5.5	1.4	3.9	0.6
60歳代	454	69.6	44.1	20.7	28.0	20.5	19.6	11.7	13.7	9.7	12.6	6.4	4.8	0.9	7.5	0.9
70歳以上	381	65.6	41.5	17.8	22.0	24.1	16.5	7.9	15.5	8.9	9.7	5.0	9.2	1.3	9.4	1.6
性・年代別																
男性・20歳代	105	65.7	39.0	32.4	21.0	20.0	11.4	28.6	11.4	11.4	11.4	9.5	6.7	1.9	5.7	-
30歳代	200	69.0	38.0	26.5	26.0	14.5	14.0	27.5	14.5	19.0	10.5	6.5	1.5	2.5	6.0	-
40歳代	231	71.0	44.6	26.4	25.5	13.9	14.7	20.8	14.7	13.4	8.2	5.2	3.0	1.3	5.2	0.4
50歳代	181	72.9	48.1	33.7	24.3	20.4	17.1	9.9	12.2	13.3	11.6	5.0	9.9	1.1	2.2	0.6
60歳代	229	68.6	44.5	18.8	31.4	17.9	17.5	11.4	15.3	10.9	17.5	5.7	7.4	0.9	5.7	0.4
70歳以上	187	65.2	42.8	15.0	23.0	24.6	15.5	9.6	19.8	9.6	13.4	5.3	10.2	1.1	8.6	1.1
女性・20歳代	121	81.0	52.1	28.1	24.8	19.0	21.5	31.4	11.6	13.2	2.5	3.3	0.8	0.8	-	-
30歳代	200	73.0	50.0	31.0	22.5	14.0	12.5	30.0	13.5	14.5	6.5	5.0	4.5	1.5	2.5	-
40歳代	199	77.4	54.8	30.7	22.6	18.6	17.1	14.1	17.6	10.6	6.0	3.0	2.5	2.5	2.0	-
50歳代	181	68.0	48.6	29.8	24.9	23.2	24.3	8.8	13.8	14.4	5.5	2.8	1.1	1.7	5.5	0.6
60歳代	225	70.7	43.6	22.7	24.4	23.1	21.8	12.0	12.0	8.4	7.6	7.1	2.2	0.9	9.3	1.3
70歳以上	194	66.0	40.2	20.6	21.1	23.7	17.5	6.2	11.3	8.2	6.2	4.6	8.2	1.5	10.3	2.1
職業別																
自営業・家族従業（計）	253	69.2	43.1	21.7	25.3	18.2	15.4	15.4	14.2	15.8	14.6	7.1	6.7	1.2	4.3	0.8
雇用者（計）	1149	71.5	45.7	27.9	24.5	19.0	17.8	19.1	15.3	12.1	8.4	5.2	4.3	1.7	4.5	0.3
無職（計）	846	70.0	46.0	24.3	24.5	20.0	16.4	13.8	12.6	11.3	8.4	4.6	5.1	1.3	7.0	0.8
ライフステージ別																
独身期	280	72.5	42.1	28.9	23.9	19.6	17.1	21.8	13.2	11.8	7.9	7.9	5.4	2.1	3.9	-
家族形成期	214	69.2	47.7	29.0	23.4	15.0	15.9	37.4	12.1	21.0	5.1	4.2	0.9	1.4	2.3	-
家族成長前期	291	76.3	50.2	28.5	22.3	13.1	11.3	28.2	13.4	15.1	9.3	2.7	3.4	1.0	3.1	-
家族成長後期	182	71.4	48.9	33.0	29.1	15.4	12.6	12.6	19.2	12.1	9.9	4.4	2.2	1.1	4.4	-
家族成熟期	476	71.2	44.7	22.7	29.0	22.5	18.7	10.5	14.3	12.4	10.5	4.4	5.3	1.7	5.5	0.2
高齢期	501	69.1	44.1	21.6	23.6	24.2	18.8	9.8	14.8	7.4	11.6	6.0	7.2	0.8	7.0	1.4
その他	309	65.4	44.0	25.9	20.1	17.2	21.0	10.0	12.9	11.3	6.1	6.1	5.5	2.3	9.4	1.6

（８）近くの川を訪れた経験

◇「年に数回程度」は25.0%で、「ほとんどない」は53.7%

問25 あなたは過去1年間を振り返ってみて、散策や釣り、川遊び、美化活動などでお住まいの近くの川を訪れたことがどのくらいの回数でありましたか。次の中から1つだけ選んでください。



近くの川を訪れた経験は、「ほとんどない」（53.7%）が5割を超えて高くなっている。次いで、「年に数回程度」（25.0%）が2割半ばとなっている。

【平成20年調査との比較】

「ほとんどない」は4.3ポイント減少している。

【属性別比較】

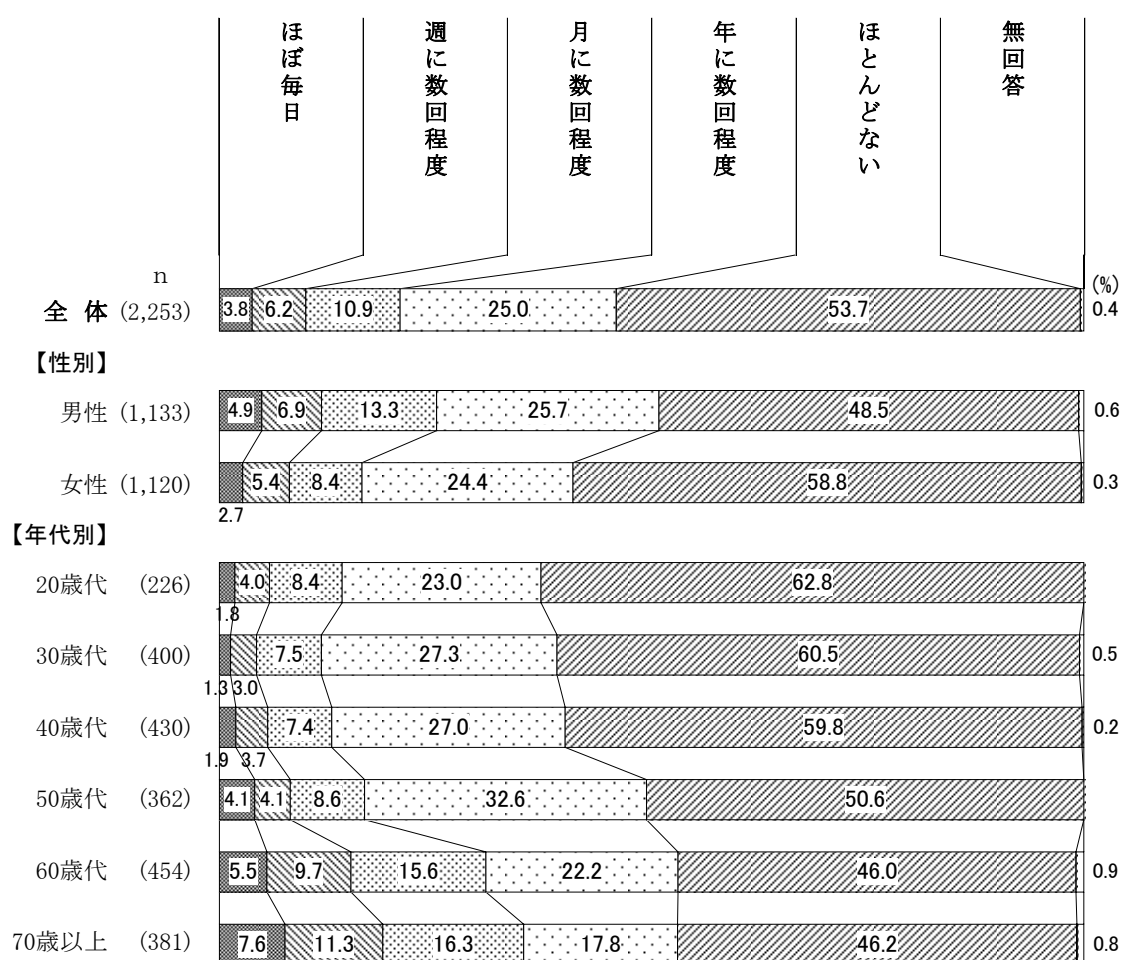
①性別

「ほとんどない」は女性（58.8%）が男性（48.5%）より10.3ポイント高くなっている。「月に数回程度」は男性（13.3%）が女性（8.4%）より4.9ポイント高くなっている。

②年代別

「ほぼ毎日」、「週に数回程度」、「月に数回程度」は高年代ほど高くなる傾向がみられ、70歳以上（7.6%、11.3%、16.3%）でそれぞれ最も高い。「年に数回程度」は50歳代（32.6%）で3割強と最も高くなっている。一方、「ほとんどない」は20歳代（62.8%）で6割強と最も高く、30歳代（60.5%）と40歳代（59.8%）でも約6割となっている。

○近くの川を訪れた経験・性別／年代別



③地域別

「週に数回程度」は東部地域（11.8%）で1割強と高くなっている。「月に数回程度」と「年に数回程度」は秩父地域で最も高くなっている。一方、「ほとんどない」はさいたま地域（65.5%）で6割半ばと高くなっている。

④性・年代別

「ほぼ毎日」は男性70歳以上（10.7%）で1割を超えて高くなっている。「週に数回程度」は男性の60歳以上、女性の70歳以上（10.8%）で1割を超えて高くなっている。「月に数回程度」は男性70歳以上（20.9%）で2割を超えて最も高くなっている。一方、「ほとんどない」は女性の20歳代から40歳代で6割を超えて比較的高くなっている。

⑤職業別

職業別で大きな差はない。

⑥ライフステージ別

「ほぼ毎日」、「週に数回程度」、「月に数回程度」は高齢期（6.8%、11.0%、16.4%）でそれぞれ最も高くなっている。一方、「ほとんどない」は独身期（63.2%）と家族形成期（65.4%）で6割を超えて比較的高くなっている。

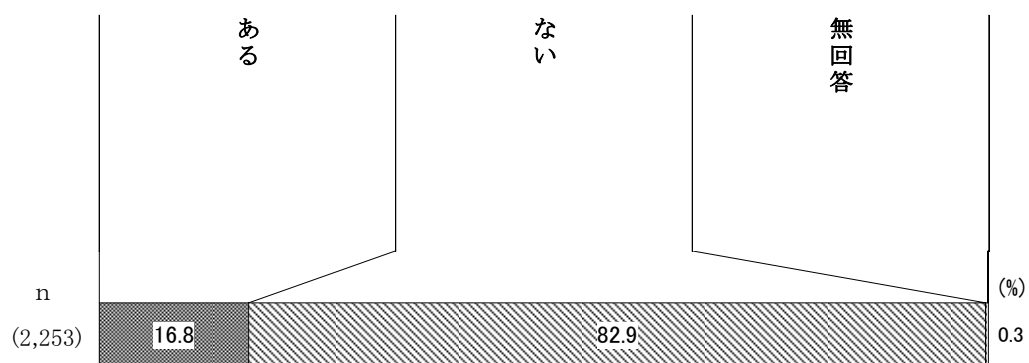
○近くの川を訪れた経験・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	ほぼ毎日	週に数回程度	月に数回程度	年に数回程度	ほとんどない	無回答
全 体	2253	3.8	6.2	10.9	25.0	53.7	0.4
地域別							
南部地域	232	6.0	8.6	9.5	19.8	56.0	－
南西部地域	226	1.8	6.2	13.7	25.2	52.2	0.9
東部地域	321	5.6	11.8	9.0	20.6	52.6	0.3
さいたま地域	365	3.3	3.3	8.8	18.1	65.5	1.1
県央地域	181	1.1	1.7	11.0	26.5	59.7	－
川越比企地域	263	2.3	4.9	11.4	33.8	47.1	0.4
西部地域	247	2.4	6.1	9.7	30.8	50.2	0.8
利根地域	204	8.3	8.3	12.3	24.0	47.1	－
北部地域	173	3.5	3.5	14.5	30.1	48.6	－
秩父地域	41	2.4	2.4	17.1	36.6	41.5	－
性・年代別							
男性・20歳代	105	3.8	5.7	11.4	21.9	57.1	－
30歳代	200	1.0	2.5	10.5	27.0	58.0	1.0
40歳代	231	2.6	2.6	9.5	27.3	57.6	0.4
50歳代	181	5.0	5.0	9.9	35.4	44.8	－
60歳代	229	6.6	13.1	17.0	23.1	39.3	0.9
70歳以上	187	10.7	11.8	20.9	18.2	37.4	1.1
女性・20歳代	121	－	2.5	5.8	24.0	67.8	－
30歳代	200	1.5	3.5	4.5	27.5	63.0	－
40歳代	199	1.0	5.0	5.0	26.6	62.3	－
50歳代	181	3.3	3.3	7.2	29.8	56.4	－
60歳代	225	4.4	6.2	14.2	21.3	52.9	0.9
70歳以上	194	4.6	10.8	11.9	17.5	54.6	0.5
職業別							
自営業・家族従業（計）	253	5.5	5.9	11.1	28.1	48.6	0.8
雇用者（計）	1149	2.3	4.8	9.1	27.8	55.8	0.3
無職（計）	846	5.4	8.2	13.1	20.4	52.2	0.6
ライフステージ別							
独身期	280	1.8	3.9	8.2	22.9	63.2	－
家族形成期	214	0.5	2.8	7.5	23.8	65.4	－
家族成長前期	291	2.7	3.4	8.2	31.6	53.3	0.7
家族成長後期	182	1.1	6.0	8.2	28.0	56.6	－
家族成熟期	476	5.0	7.6	10.9	27.5	48.9	－
高齢期	501	6.8	11.0	16.4	20.4	44.7	0.8
その他	309	3.9	3.2	10.7	23.6	57.3	1.3

（９）川の美化活動への参加経験

◇「ない」が82.9%

問26 あなたは、過去５年間に川の美化活動（ごみ拾い、草刈りなど）に参加したことがありますか。



川の美化活動への参加経験は、「ある」が16.8%となっている。一方、「ない」（82.9%）は8割強を占めている。

【属性別比較】

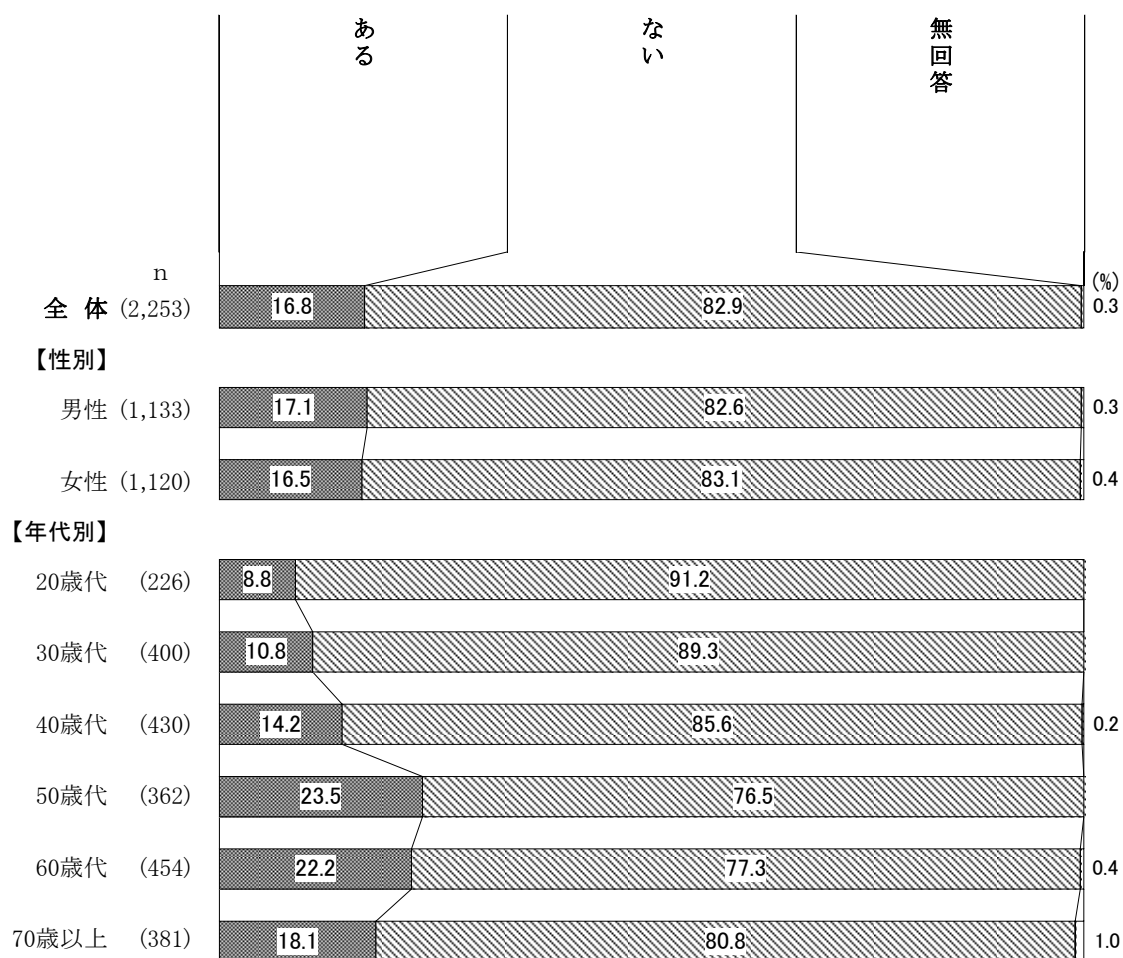
①性別

男女間で特に違いはみられない。

②年代別

「ある」は50歳代（23.5%）と60歳代（22.2%）で比較的高く、20歳代（8.8%）と30歳代（10.8%）で低くなっている。

〇川の美化活動への参加経験・性別／年代別



③地域別

「ある」は利根地域（38.2%）で4割弱、秩父地域（31.7%）で3割強と高くなっている。一方、「ない」は南部地域（92.7%）とさいたま地域（93.4%）で9割を超えて高く、南西部地域（88.1%）、東部地域（81.6%）、県央地域（86.7%）で8割を超えて高くなっている。

④性・年代別

「ある」は男性50歳代（27.6%）で最も高く、男性30歳代（8.5%）と女性20歳代（6.6%）で1割を下回り低くなっている。

⑤職業別

「ある」は自営業・家族従業（計）（24.1%）で高くなっている。

⑥ライフステージ別

「ある」は家族成熟期（21.2%）と高齢期（21.0%）で2割を超えて高く、独身期（7.9%）と家族形成期（7.0%）で1割を下回り低くなっている。

○川の美化活動への参加経験・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

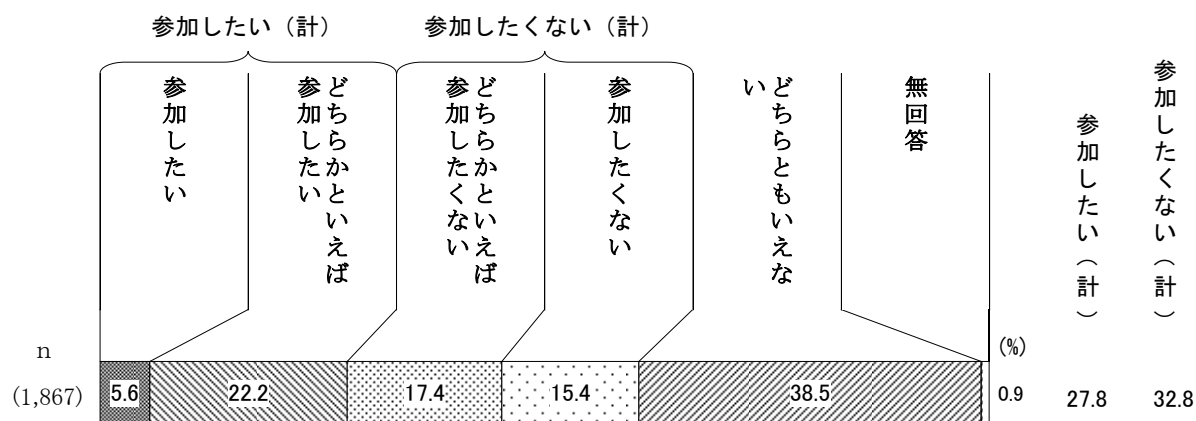
	調査数	ある	ない	無回答
全 体	2253	16.8	82.9	0.3
地域別				
南部地域	232	7.3	92.7	—
南西部地域	226	11.5	88.1	0.4
東部地域	321	17.8	81.6	0.6
さいたま地域	365	5.8	93.4	0.8
県央地域	181	13.3	86.7	—
川越比企地域	263	20.9	79.1	—
西部地域	247	19.8	79.8	0.4
利根地域	204	38.2	61.8	—
北部地域	173	22.5	77.5	—
秩父地域	41	31.7	68.3	—
性・年代別				
男性・20歳代	105	11.4	88.6	—
30歳代	200	8.5	91.5	—
40歳代	231	10.4	89.6	—
50歳代	181	27.6	72.4	—
60歳代	229	23.1	76.4	0.4
70歳以上	187	20.3	78.6	1.1
女性・20歳代	121	6.6	93.4	—
30歳代	200	13.0	87.0	—
40歳代	199	18.6	80.9	0.5
50歳代	181	19.3	80.7	—
60歳代	225	21.3	78.2	0.4
70歳以上	194	16.0	83.0	1.0
職業別				
自営業・家族従業（計）	253	24.1	75.5	0.4
雇用者（計）	1149	15.8	84.1	0.1
無職（計）	846	16.0	83.5	0.6
ライフステージ別				
独身期	280	7.9	92.1	—
家族形成期	214	7.0	93.0	—
家族成長前期	291	19.2	80.8	—
家族成長後期	182	18.7	81.3	—
家族成熟期	476	21.2	78.8	—
高齢期	501	21.0	78.2	0.8
その他	309	14.9	84.1	1.0

（９－１）川の美化活動への参加意向

◇『参加したい（計）』が27.8%、『参加したくない（計）』は32.8%

（問26で「ない」と答えた方に）

問26－１ あなたは、今後、川の美化活動（ごみ拾い、草刈りなど）に参加してみたいと思いますか。



川の美化活動への参加意向は、「どちらともいえない」が38.5%と最も高くなっている。また、「参加したい」（5.6%）と「どちらかといえば参加したい」（22.2%）を合わせた『参加したい（計）』が27.8%となっている。一方、「どちらかといえば参加したくない」（17.4%）と「参加したくない」（15.4%）を合わせた『参加したくない（計）』は32.8%となっている。

【属性別比較】

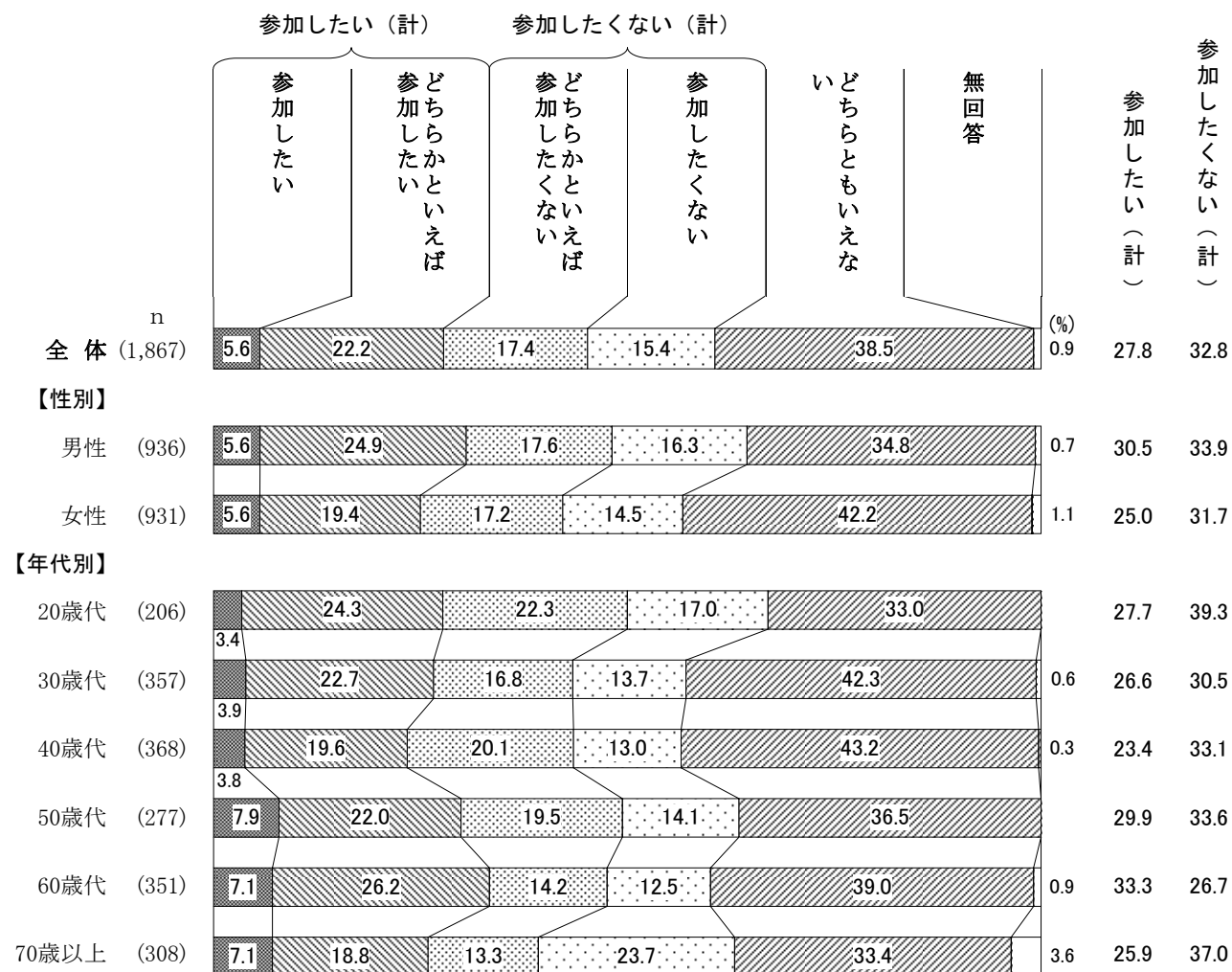
①性別

『参加したい（計）』は男性（30.5%）が女性（25.0%）よりも5.5ポイント高くなっている。

②年代別

『参加したい（計）』は60歳代（33.3%）で高く、40歳代（23.4%）で最も低い。『参加したくない（計）』は20歳代（39.3%）で約4割と高く、60歳代を除く年代で3割を超えている。

〇川の美化活動への参加意向・性別／年代別



③地域別

『参加したい（計）』は秩父地域（35.7%）で3割半ば、利根地域（33.3%）で3割強、県央地域（30.0%）で3割と高くなっている。一方、『参加したくない（計）』は東部地域（37.8%）で4割弱、さいたま地域（36.4%）と西部地域（34.0%）で3割半ばと比較的高くなっている。

④性・年代別

『参加したい（計）』は男性の60歳以上で比較的高くなっている。一方、『参加したくない（計）』は男性20歳代（49.5%）で約5割、女性70歳以上（44.1%）で4割半ばと高くなっている。

⑤職業別

職業別で大きな差はない。

⑥ライフステージ別

『参加したい（計）』は家族成熟期（34.7%）で3割半ばと最も高くなっている。『参加したくない（計）』は家族成長後期（41.2%）で4割強、その他（38.1%）で4割弱と高くなっている。

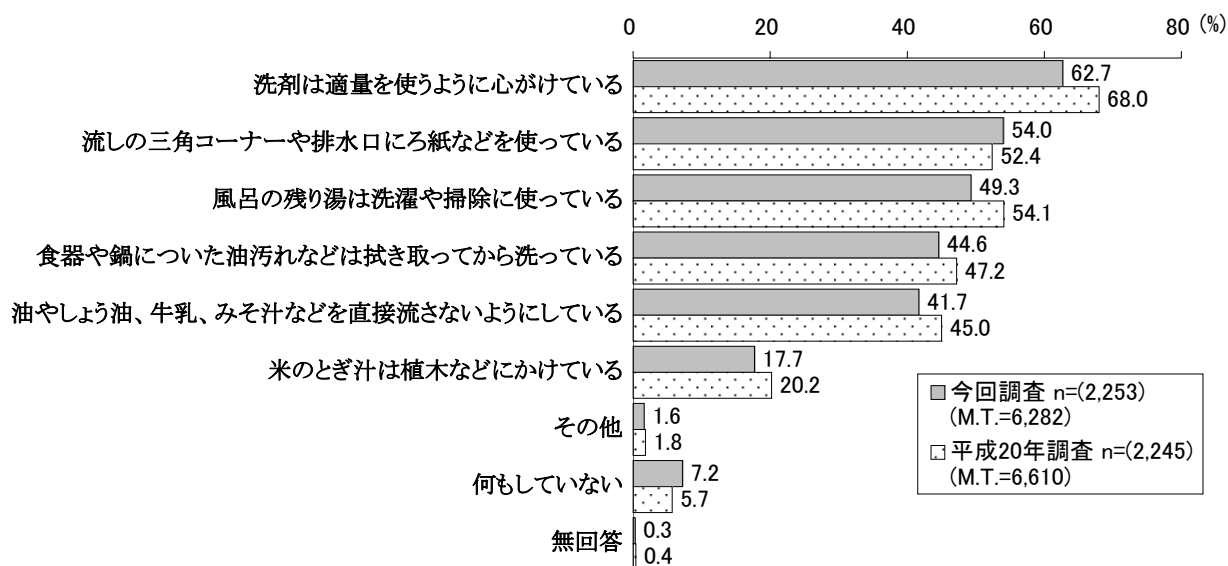
○川の美化活動への参加意向・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	参加したい	どちらかといえば参加したい	どちらかといえば参加したくない	参加したくない	どちらともいえない	無回答		参加したい（計）	参加したくない（計）
全 体	1867	5.6	22.2	17.4	15.4	38.5	0.9		27.8	32.8
地域別										
南部地域	215	5.6	21.9	15.3	16.7	40.0	0.5		27.5	32.0
南西部地域	199	7.5	21.1	17.1	13.1	40.2	1.0		28.6	30.2
東部地域	262	4.6	20.2	16.8	21.0	37.4	-		24.8	37.8
さいたま地域	341	5.0	19.6	18.2	18.2	37.2	1.8		24.6	36.4
県央地域	157	6.4	23.6	17.8	14.6	36.9	0.6		30.0	32.4
川越比企地域	208	5.3	24.0	17.3	12.5	40.9	-		29.3	29.8
西部地域	197	2.5	24.9	18.3	15.7	35.5	3.0		27.4	34.0
利根地域	126	6.3	27.0	15.9	8.7	42.1	-		33.3	24.6
北部地域	134	8.2	20.9	19.4	11.9	38.8	0.7		29.1	31.3
秩父地域	28	10.7	25.0	21.4	7.1	35.7	-		35.7	28.5
性・年代別										
男性・20歳代	93	3.2	26.9	22.6	26.9	20.4	-		30.1	49.5
30歳代	183	4.4	24.0	17.5	16.9	36.1	1.1		28.4	34.4
40歳代	207	4.8	21.7	20.3	13.5	39.6	-		26.5	33.8
50歳代	131	7.6	21.4	20.6	19.1	31.3	-		29.0	39.7
60歳代	175	6.3	28.6	13.7	11.4	39.4	0.6		34.9	25.1
70歳以上	147	6.8	27.9	12.9	16.3	33.3	2.7		34.7	29.2
女性・20歳代	113	3.5	22.1	22.1	8.8	43.4	-		25.6	30.9
30歳代	174	3.4	21.3	16.1	10.3	48.9	-		24.7	26.4
40歳代	161	2.5	16.8	19.9	12.4	47.8	0.6		19.3	32.3
50歳代	146	8.2	22.6	18.5	9.6	41.1	-		30.8	28.1
60歳代	176	8.0	23.9	14.8	13.6	38.6	1.1		31.9	28.4
70歳以上	161	7.5	10.6	13.7	30.4	33.5	4.3		18.1	44.1
職業別										
自営業・家族従業（計）	191	4.2	22.5	18.3	15.2	39.3	0.5		26.7	33.5
雇用者（計）	966	5.2	22.8	18.2	14.0	39.5	0.3		28.0	32.2
無職（計）	706	6.5	21.4	16.0	17.4	37.0	1.7		27.9	33.4
ライフステージ別										
独身期	258	5.0	23.6	18.6	17.8	34.5	0.4		28.6	36.4
家族形成期	199	3.5	22.1	20.6	13.1	40.7	-		25.6	33.7
家族成長前期	235	3.0	23.8	13.2	13.6	46.0	0.4		26.8	26.8
家族成長後期	148	1.4	18.2	28.4	12.8	39.2	-		19.6	41.2
家族成熟期	375	8.3	26.4	13.1	13.1	38.7	0.5		34.7	26.2
高齢期	392	7.1	20.9	14.5	18.9	36.7	1.8		28.0	33.4
その他	260	6.2	17.3	21.9	16.2	36.2	2.3		23.5	38.1

(10) 川を汚さないために家庭で実行していること

◇「洗剤は適量を使うように心がけている」が62.7%

問27 生活排水が川の汚れの約7割を占めています。川の水をきれいにするためには、下水道の整備のほか、個々のご家庭での取り組みが必要です。そこで、あなたご自身を含むご家庭で実行していることは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。



川を汚さないために家庭で実行していることは、「洗剤は適量を使うように心がけている」(62.7%) が6割強と最も高く、次いで「流しの三角コーナーや排水口にろ紙などを使っている」(54.0%)、「風呂の残り湯は洗濯や掃除に使っている」(49.3%)、「食器や鍋についた油汚れなどは拭き取ってから洗っている」(44.6%)、「油やしょう油、牛乳、みそ汁などを直接流さないようにしている」(41.7%) の順となっている。

【平成20年調査との比較】

「洗剤は適量を使うように心がけている」(5.3ポイント減)、「風呂の残り湯は洗濯や掃除に使っている」(4.8ポイント減)、「油やしょう油、牛乳、みそ汁などを直接流さないようにしている」(3.3ポイント減) などが減少している。

【属性別比較】

①地域別

「洗剤は適量を使うように心がけている」は県央地域（75.1%）で7割半ばと高くなっている。「流しの三角コーナーや排水口にろ紙などを使っている」は川越比企地域（61.2%）と北部地域（60.7%）で6割を超えて比較的高くなっている。

②性別

実行している項目すべてで女性が男性よりも高く、特に「食器や鍋についた油汚れなどは拭き取ってから洗っている」で20.9ポイント、「油やしょう油、牛乳、みそ汁などを直接流さないようにしている」で15.4ポイント、「洗剤は適量を使うように心がけている」で12.4ポイント上回っている。

③年代別

「洗剤は適量を使うように心がけている」と「流しの三角コーナーや排水口にろ紙などを使っている」は60歳代で最も高くなっている。「風呂の残り湯は洗濯や掃除に使っている」は30歳代（55.3%）と40歳代（51.9%）で5割を超えて比較的高くなっている。「食器や鍋についた油汚れなどは拭き取ってから洗っている」、「油やしょう油、牛乳、みそ汁などを直接流さないようにしている」、「米のとぎ汁は植木などにかけている」は20歳代と30歳代で低く、高年代ほど高くなる傾向がみられる。

④性・年代別

「洗剤は適量を使うように心がけている」は女性60歳代（77.3%）で8割弱と最も高くなっている。「流しの三角コーナーや排水口にろ紙などを使っている」、「食器や鍋についた油汚れなどは拭き取ってから洗っている」、「油やしょう油、牛乳、みそ汁などを直接流さないようにしている」は女性の50歳以上で高くなっている。「何もしていない」は男性20歳代（20.0%）で2割と高くなっている。

⑤職業別

実行している項目すべてで無職（計）が最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

「洗剤は適量を使うように心がけている」は家族形成期（69.6%）で最も高く、独身期（51.8%）で最も低くなっている。「流しの三角コーナーや排水口にろ紙などを使っている」、「食器や鍋についた油汚れなどは拭き取ってから洗っている」、「油やしょう油、牛乳、みそ汁などを直接流さないようにしている」は家族成熟期と高齢期で比較的高くなっている。「風呂の残り湯は洗濯や掃除に使っている」は家族成長前期（59.1%）で約6割と高くなっている。

○川を汚さないために家庭で実行していること・地域別／性別／年代別／性・年代別
／職業別／ライフステージ別

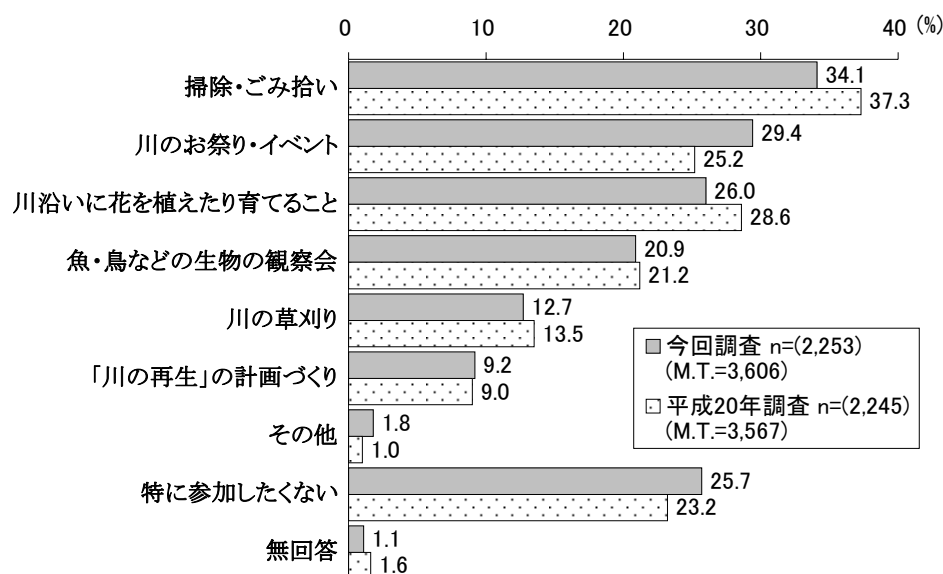
	調査数	に洗剤が適量を使っている	排水口の三角コーナーや紙などを流す	風呂の残り湯は洗濯や掃除に使う	食器や鍋につけて油を拭き取る	みそやしょう油、牛乳、油などを直接流さない	米のとぎ汁は植木などに使う	その他	何もしない	無回答
全 体	2253	62.7	54.0	49.3	44.6	41.7	17.7	1.6	7.2	0.3
地域別										
南部地域	232	64.2	55.6	44.0	39.7	41.8	16.8	1.3	9.5	-
南西部地域	226	67.7	46.5	45.6	43.8	35.0	13.3	1.3	9.3	-
東部地域	321	58.3	51.1	50.5	41.1	44.5	22.4	0.9	8.1	0.9
さいたま地域	365	65.2	58.6	50.7	47.9	44.7	18.9	2.2	4.9	0.3
県央地域	181	75.1	50.3	50.3	47.5	37.6	14.4	3.3	4.4	-
川越比企地域	263	65.4	61.2	47.5	49.0	46.4	19.8	1.5	4.9	-
西部地域	247	53.8	51.4	55.1	43.7	36.0	17.0	1.6	10.1	0.4
利根地域	204	58.3	51.0	52.5	42.6	40.2	15.2	0.5	6.4	-
北部地域	173	58.4	60.7	48.0	43.9	43.4	16.8	1.7	8.7	0.6
秩父地域	41	58.5	41.5	41.5	51.2	53.7	22.0	-	4.9	-
性別										
男性	1133	56.5	49.7	48.5	34.2	34.1	14.6	1.0	10.7	0.4
女性	1120	68.9	58.4	50.2	55.1	49.5	20.9	2.1	3.8	0.2
年代別										
20歳代	226	52.2	42.5	43.8	35.0	22.1	10.2	2.2	12.4	-
30歳代	400	64.5	51.5	55.3	37.5	31.3	8.3	0.8	6.3	0.3
40歳代	430	58.4	55.6	51.9	40.2	35.3	11.9	1.9	7.9	0.2
50歳代	362	63.3	56.1	46.1	46.4	44.8	13.5	1.9	7.2	-
60歳代	454	69.8	58.4	48.0	51.1	52.0	24.2	1.8	4.6	0.2
70歳以上	381	62.7	54.6	48.0	53.3	56.4	34.9	1.0	7.6	0.8
性・年代別										
男性・20歳代	105	42.9	36.2	38.1	30.5	20.0	6.7	-	20.0	-
30歳代	200	60.5	49.0	51.5	27.0	24.0	6.0	0.5	9.5	0.5
40歳代	231	49.8	52.4	52.4	30.3	27.7	10.4	0.9	11.7	0.4
50歳代	181	58.0	51.4	43.1	35.4	35.4	14.9	1.1	10.5	-
60歳代	229	62.4	53.3	47.2	38.9	43.2	16.2	1.7	7.4	0.4
70歳以上	187	59.4	48.7	52.9	42.2	48.1	31.0	1.1	9.6	0.5
女性・20歳代	121	60.3	47.9	48.8	38.8	24.0	13.2	4.1	5.8	-
30歳代	200	68.5	54.0	59.0	48.0	38.5	10.5	1.0	3.0	-
40歳代	199	68.3	59.3	51.3	51.8	44.2	13.6	3.0	3.5	-
50歳代	181	68.5	60.8	49.2	57.5	54.1	12.2	2.8	3.9	-
60歳代	225	77.3	63.6	48.9	63.6	60.9	32.4	1.8	1.8	-
70歳以上	194	66.0	60.3	43.3	63.9	64.4	38.7	1.0	5.7	1.0
職業別										
自営業・家族従業（計）	253	56.5	53.8	43.9	37.2	45.5	15.0	2.4	9.9	0.4
雇用者（計）	1149	61.0	53.4	49.1	40.2	34.0	12.1	1.6	7.7	0.1
無職（計）	846	66.8	54.8	51.3	52.8	50.9	26.2	1.3	5.9	0.5
ライフステージ別										
独身期	280	51.8	42.1	41.8	30.4	23.2	10.4	2.1	14.6	0.4
家族形成期	214	69.6	55.1	58.4	40.2	25.2	6.1	0.9	4.2	-
家族成長前期	291	59.8	53.6	59.1	39.5	37.5	10.0	1.4	4.1	0.3
家族成長後期	182	65.9	57.7	54.9	46.2	36.8	14.3	1.6	6.0	-
家族成熟期	476	65.3	58.6	48.7	51.7	49.4	18.7	2.3	5.3	-
高齢期	501	67.7	58.5	50.7	52.7	55.7	30.7	1.2	5.4	0.4
その他	309	56.3	47.9	35.9	40.5	42.4	19.1	1.0	12.3	0.6

(11)「川の再生」で参加したいこと

◇「掃除・ごみ拾い」が34.1%、「川のお祭り・イベント」が29.4%

問28 県では、平成20年度から、県民誰もが川に愛着を持ち、ふるさとを実感できる川の国埼玉を目指し、①清流復活、②安らぎとにぎわいの空間創出の2つの柱で「川の再生」に取り組んでいます。

あなたは、「川の再生」の計画づくりや維持管理など地域住民が参加して行う川づくりの機会があったら、どのようなことに参加したいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。



「川の再生」で参加したいことは、「掃除・ごみ拾い」(34.1%)が3割を超えて最も高く、次いで「川のお祭り・イベント」(29.4%)、「川沿いに花を植えたり育てること」(26.0%)、「魚・鳥などの生物の観察会」(20.9%)の順となっている。また、「特に参加したくない」(25.7%)は2割半ばとなっている。

【平成20年調査との比較】

「川のお祭り・イベント」が4.2ポイント増加している。一方、「掃除・ごみ拾い」(3.2ポイント減)、「川沿いに花を植えたり育てること」(2.6ポイント減)などが減少している。

【属性別比較】

①地域別

「掃除・ごみ拾い」は川越比企地域（41.4%）と利根地域（44.1%）で4割を超えて高くなっている。「川のお祭り・イベント」は南西部地域（36.3%）と北部地域（34.1%）で比較的高い。「川の草刈り」は秩父地域（24.4%）で2割半ばと高くなっている。

②性別

「川沿いに花を植えたり育てること」は女性（31.6%）が男性（20.5%）よりも11.1ポイント高くなっている。

③年代別

「掃除・ごみ拾い」は50歳代（40.3%）と60歳代（43.2%）で4割を超えて高くなっている。「川のお祭り・イベント」は20歳代（49.6%）で約5割、30歳代（44.8%）で4割半ばと高くなっている。「川沿いに花を植えたり育てること」と「川の草刈り」は60歳代（35.0%、20.0%）で高くなっている。

④性・年代別

「川のお祭り・イベント」は女性20歳代（54.5%）で5割を超えて高くなっている。「川沿いに花を植えたり育てること」は女性の60歳代（41.8%）で4割強、20歳代（39.7%）で約4割と高くなっている。また、「特に参加したくない」は女性70歳以上（45.9%）で4割半ば、男性20歳代（35.2%）で3割半ばと高くなっている。

⑤職業別

「川のお祭り・イベント」で雇用者（計）（35.9%）が高くなっている。

⑥ライフステージ別

「掃除・ごみ拾い」と「川沿いに花を植えたり育てること」は家族成熟期と高齢期で比較的高くなっている。「川のお祭り・イベント」は家族形成期（49.5%）と家族成長前期（51.9%）で高くなっている。「魚・鳥などの生物の観察会」は家族成長前期（25.4%）と家族成長後期（24.2%）で高くなっている。また、「特に参加したくない」は高齢期（30.9%）とその他（33.0%）で3割を超えて高くなっている。

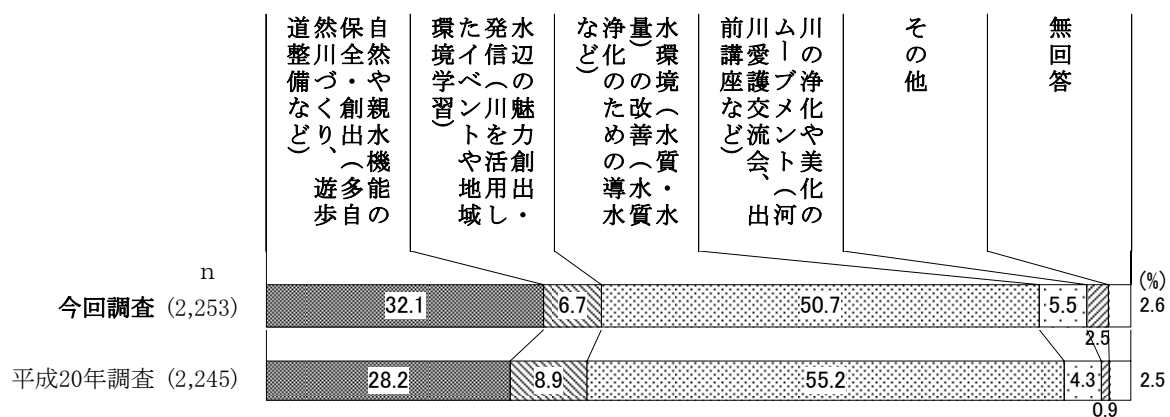
○「川の再生」で参加したいこと・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

	調査数	掃除・ごみ拾い	川のお祭り・イベント	川沿いに花を植えたり 育てること	魚・鳥などの生物の観察会	川の草刈り	く「川の再生」の計画づくり	その他	特に参加したくない	無回答
全 体	2253	34.1	29.4	26.0	20.9	12.7	9.2	1.8	25.7	1.1
地域別										
南部地域	232	27.6	31.5	27.6	23.7	10.3	8.6	0.4	26.3	0.4
南西部地域	226	33.2	36.3	28.8	19.5	8.8	13.3	1.8	23.0	0.4
東部地域	321	29.3	27.1	21.5	16.5	10.0	9.0	2.5	33.3	1.2
さいたま地域	365	30.7	29.9	27.7	24.1	9.9	7.7	2.2	24.4	1.1
県央地域	181	35.4	31.5	28.2	25.4	14.9	11.0	1.7	21.5	1.1
川越比企地域	263	41.4	27.0	22.4	20.9	17.5	6.8	2.3	27.0	0.8
西部地域	247	33.2	27.1	26.3	22.7	11.3	9.3	2.0	24.3	3.2
利根地域	204	44.1	23.0	27.0	19.1	19.6	13.2	1.5	22.1	1.0
北部地域	173	38.7	34.1	28.3	17.9	13.9	5.2	0.6	26.0	-
秩父地域	41	29.3	26.8	19.5	12.2	24.4	9.8	4.9	26.8	-
性別										
男性	1133	32.8	29.8	20.5	21.7	14.5	11.8	1.7	25.9	0.9
女性	1120	35.4	29.0	31.6	20.2	11.0	6.6	2.0	25.5	1.3
年代別										
20歳代	226	27.9	49.6	26.5	15.9	5.3	9.7	-	25.7	-
30歳代	400	30.5	44.8	24.3	23.5	10.0	10.5	1.0	20.5	1.8
40歳代	430	30.2	38.4	19.1	21.9	10.7	7.7	1.4	26.7	0.2
50歳代	362	40.3	26.5	27.9	23.8	13.8	10.2	1.9	22.9	0.8
60歳代	454	43.2	14.5	35.0	22.7	20.0	10.1	2.2	21.4	1.1
70歳以上	381	29.4	11.8	22.8	15.5	12.6	7.3	3.7	38.1	2.1
性・年代別										
男性・20歳代	105	21.9	43.8	11.4	14.3	3.8	13.3	-	35.2	-
30歳代	200	25.5	43.5	20.0	23.5	10.0	14.0	0.5	24.0	2.5
40歳代	231	29.4	39.0	14.3	21.2	11.7	9.1	1.3	27.7	-
50歳代	181	38.7	28.2	23.2	26.0	16.0	13.3	1.1	24.9	0.6
60歳代	229	42.4	16.2	28.4	23.1	23.1	14.4	2.2	19.2	0.4
70歳以上	187	33.7	14.4	21.4	18.7	16.6	7.5	4.3	29.9	1.6
女性・20歳代	121	33.1	54.5	39.7	17.4	6.6	6.6	-	17.4	-
30歳代	200	35.5	46.0	28.5	23.5	10.0	7.0	1.5	17.0	1.0
40歳代	199	31.2	37.7	24.6	22.6	9.5	6.0	1.5	25.6	0.5
50歳代	181	42.0	24.9	32.6	21.5	11.6	7.2	2.8	21.0	1.1
60歳代	225	44.0	12.9	41.8	22.2	16.9	5.8	2.2	23.6	1.8
70歳以上	194	25.3	9.3	24.2	12.4	8.8	7.2	3.1	45.9	2.6
職業別										
自営業・家族従業（計）	253	30.8	22.5	24.5	18.6	13.8	11.1	1.6	30.0	2.8
雇用者（計）	1149	34.7	35.9	25.0	21.6	12.8	10.1	1.1	23.1	0.5
無職（計）	846	34.3	22.8	27.7	20.9	12.3	7.6	2.8	28.1	1.3
ライフステージ別										
独身期	280	28.2	40.7	22.9	17.9	8.6	11.4	0.7	28.2	1.4
家族形成期	214	27.1	49.5	28.5	21.5	7.5	9.3	0.9	17.8	0.5
家族成長前期	291	34.7	51.9	20.6	25.4	10.7	9.6	0.3	18.6	0.3
家族成長後期	182	35.2	37.9	23.6	24.2	12.6	8.8	1.1	26.9	-
家族成熟期	476	40.3	19.7	30.0	20.6	17.4	9.9	2.9	21.6	0.6
高齢期	501	37.1	13.0	30.9	19.8	15.2	7.8	2.4	30.9	1.6
その他	309	28.8	20.7	19.4	19.7	11.0	8.4	2.6	33.0	2.3

(12)「川の再生」で重点を置くべき施策

◇「水環境（水質・水量）の改善」が50.7%、「自然や親水機能の保全・創出」が32.1%

問29 「川の再生」の施策で、あなたが最も重点を置いたらよいと思うものを次の中から1つだけ選んでください。



「川の再生」で重点を置くべき施策は、「水環境（水質・水量）の改善」（50.7%）が5割を超えて最も高くなっている。次いで、「自然や親水機能の保全・創出」（32.1%）が3割強となっている。

【平成20年調査との比較】

「自然や親水機能の保全・創出」が3.9ポイント増加している。一方、「水環境（水質・水量）の改善」が4.5ポイント、「水辺の魅力創出・発信」が2.2ポイント減少している。

【属性別比較】

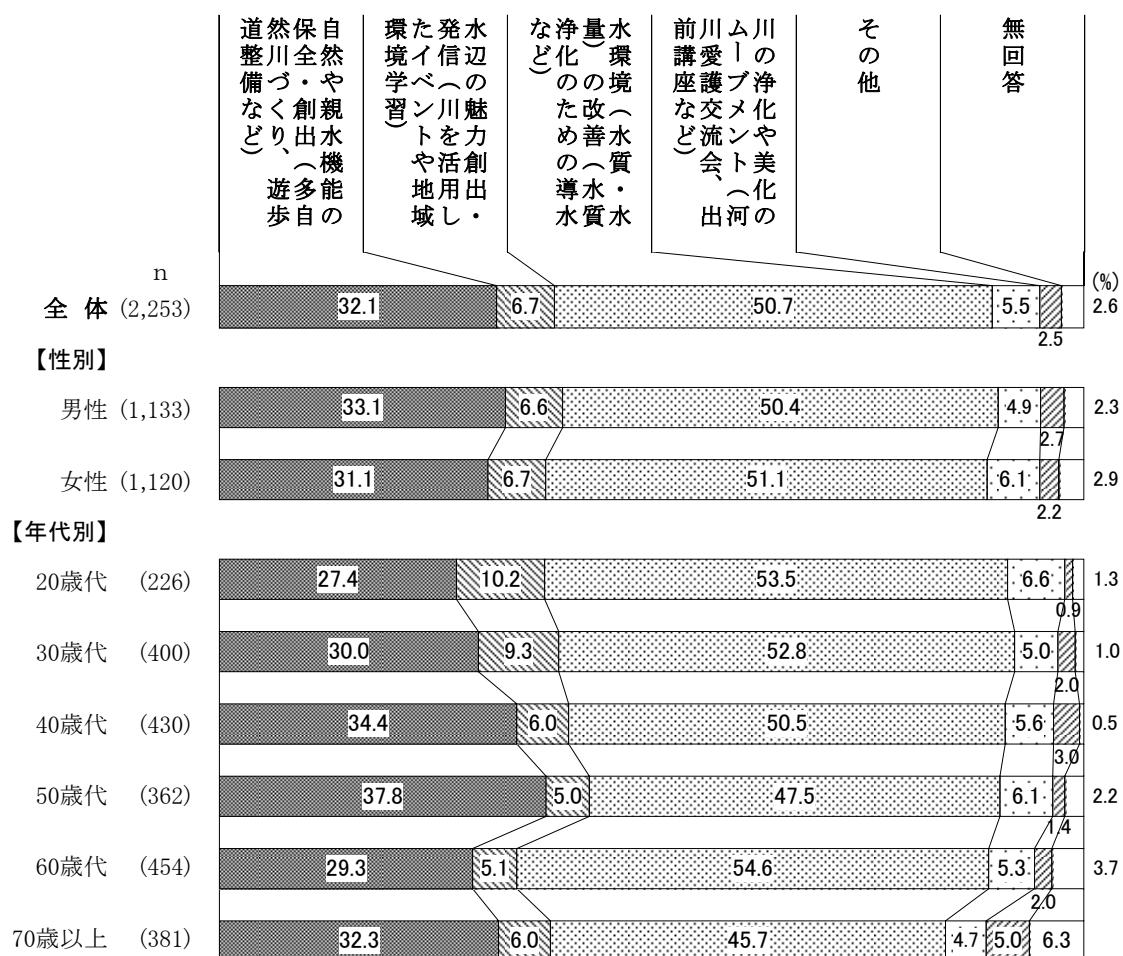
①性別

性別で大きな差はない。

②年代別

「水環境（水質・水量）の改善」は20歳代（53.5%）、30歳代（52.8%）、60歳代（54.6%）で比較的高くなっている。「自然や親水機能の保全・創出」は50歳代（37.8%）で最も高くなっている。

○「川の再生」で重点を置くべき施策・性別／年代別



③地域別

「自然や親水機能の保全・創出」は県央地域（37.6%）で4割弱、南西部地域（36.3%）、川越比企地域（35.4%）で3割半ばと比較的高くなっている。「水辺の魅力創出・発信」は北部地域（13.9%）と秩父地域（14.6%）で1割を超えて高くなっている。

④性・年代別

「水環境（水質・水量）の改善」は男性60歳代（58.5%）と女性20歳代（58.7%）で6割弱と高く、「自然や親水機能の保全・創出」は男性70歳以上（38.5%）と女性50歳代（38.7%）で4割弱と高くなっている。「水辺の魅力創出・発信」は男性20歳代（11.4%）と女性30歳代（11.0%）で1割を超えて高くなっている。

⑤職業別

「水環境（水質・水量）の改善」は雇用者（計）（52.7%）で5割強と比較的高くなっている。

⑥ライフステージ別

「水環境（水質・水量）の改善」は独身期（53.6%）で最も高くなっている。「自然や親水機能の保全・創出」は家族成長後期（37.4%）で最も高くなっている。

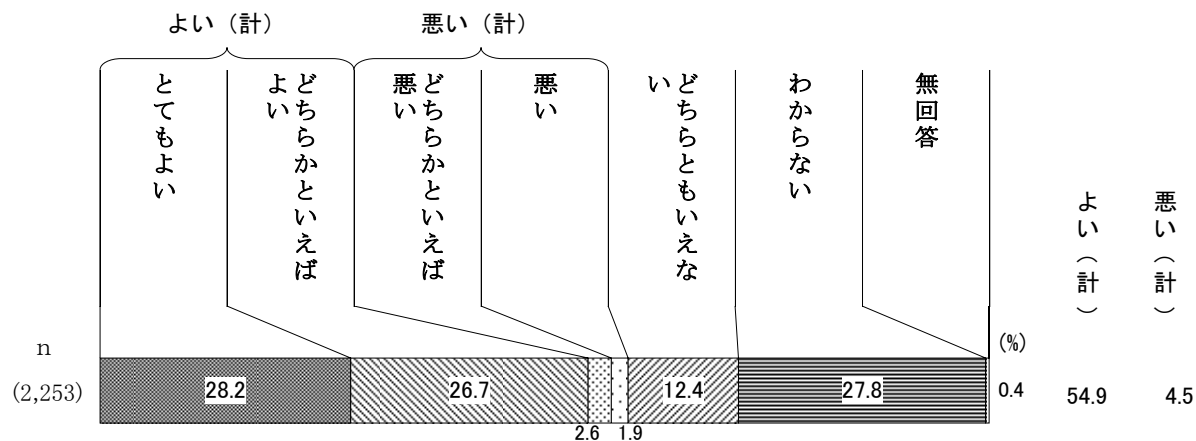
○「川の再生」で重点を置くべき施策・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	（備） く自然 りや親 や水機 親水能 機能の 保持 を全 つた 護岸 や遊 歩道 整備	ン水 ト辺 やの 地魅 域力 環創 境出 学・ 習発 の信 （川 を 活 用 し た イ ベ	堆た水 積めの した導 へ水、 ド家・ ロ庭水 のの量 し生 ゆ活 ん排 せ水 つ対 策 や 河 床 化 に の	ブ、交川 、流の 水会、 辺の出 の里前 親講座 など開 地催 域住や 民水す によま るし 活クラ 動）	その他	無回答
全 体	2253	32.1	6.7	50.7	5.5	2.5	2.6
地域別							
南部地域	232	31.0	3.9	48.7	6.0	3.0	7.3
南西部地域	226	36.3	7.1	50.0	4.4	2.2	－
東部地域	321	34.3	3.4	51.4	4.4	5.0	1.6
さいたま地域	365	29.9	6.3	53.7	6.3	1.4	2.5
県央地域	181	37.6	8.8	45.3	6.6	1.7	－
川越比企地域	263	35.4	5.7	49.8	6.1	1.5	1.5
西部地域	247	27.1	7.3	52.6	4.9	3.6	4.5
利根地域	204	30.9	5.9	50.0	5.4	2.9	4.9
北部地域	173	28.9	13.9	51.4	4.0	0.6	1.2
秩父地域	41	22.0	14.6	53.7	9.8	－	－
性・年代別							
男性・20歳代	105	28.6	11.4	47.6	9.5	1.0	1.9
30歳代	200	31.0	7.5	52.5	4.5	2.5	2.0
40歳代	231	34.6	6.1	49.4	4.8	4.3	0.9
50歳代	181	37.0	5.5	49.7	3.9	1.7	2.2
60歳代	229	27.9	5.2	58.5	3.9	1.7	2.6
70歳以上	187	38.5	6.4	41.7	4.8	4.3	4.3
女性・20歳代	121	26.4	9.1	58.7	4.1	0.8	0.8
30歳代	200	29.0	11.0	53.0	5.5	1.5	－
40歳代	199	34.2	6.0	51.8	6.5	1.5	－
50歳代	181	38.7	4.4	45.3	8.3	1.1	2.2
60歳代	225	30.7	4.9	50.7	6.7	2.2	4.9
70歳以上	194	26.3	5.7	49.5	4.6	5.7	8.2
職業別							
自営業・家族従業（計）	253	34.8	6.7	48.6	4.0	2.0	4.0
雇用者（計）	1149	31.9	7.1	52.7	5.7	1.7	1.0
無職（計）	846	31.7	6.0	48.7	5.6	3.8	4.3
ライフステージ別							
独身期	280	29.3	8.2	53.6	5.7	1.8	1.4
家族形成期	214	29.9	8.9	52.3	7.0	1.9	－
家族成長前期	291	30.2	9.6	52.2	5.2	2.1	0.7
家族成長後期	182	37.4	8.2	46.7	6.0	1.1	0.5
家族成熟期	476	34.5	5.7	49.8	5.3	2.3	2.5
高齢期	501	31.3	5.2	50.5	5.4	3.6	4.0
その他	309	32.4	3.9	49.8	4.5	3.2	6.1

(13)「川の再生」の取り組みへの評価

◇『よい（計）』が54.9%、『悪い（計）』は4.5%

問30 現在、県で進めている「川の再生」の取り組みについて、どのように思われますか。



「川の再生」の取り組みへの評価は、「とてもよい」が28.2%で最も高く、これに「どちらかといえばよい」（26.7%）を合わせた『よい（計）』（54.9%）が5割を超えている。一方、「どちらかといえば悪い」（2.6%）と「悪い」（1.9%）を合わせた『悪い（計）』（4.5%）は1割を下回っている。また、「どちらともいえない」が12.4%、「わからない」が27.8%となっている。

【属性別比較】

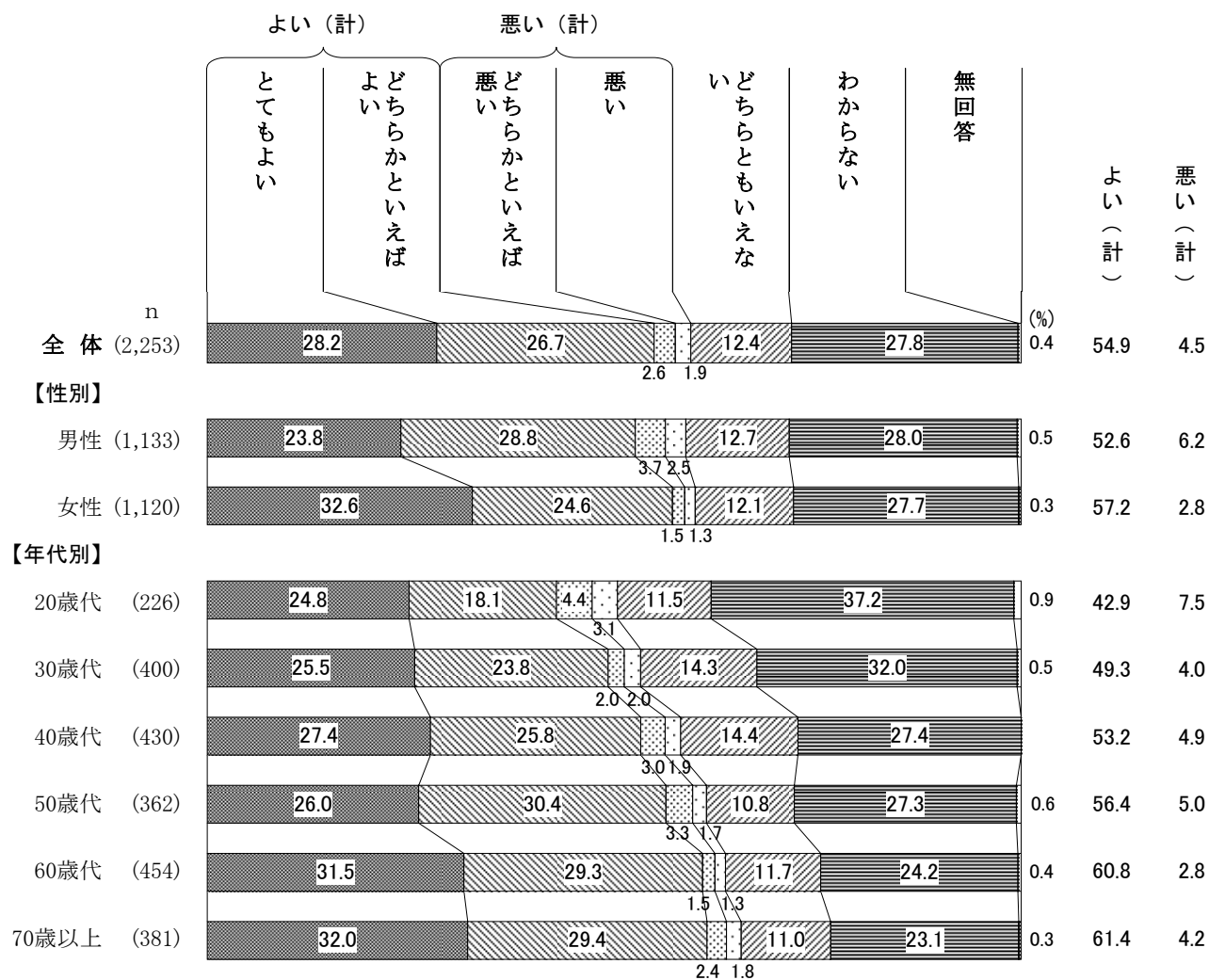
①性別

『よい（計）』は女性（57.2%）が男性（52.6%）よりも4.6ポイント高くなっている。

②年代別

『よい（計）』は年齢が高くなるほど割合が高くなっている。

○「川の再生」の取り組みへの評価・性別／年代別



③地域別

『よい（計）』は川越比企地域（60.1%）、北部地域（60.6%）、秩父地域（63.4%）で6割を超えて高くなっている。

④性・年代別

『よい（計）』は女性60歳代（67.6%）で最も高く、男女とも70歳以上は6割を超えている。一方、『悪い（計）』は男性20歳代（12.4%）で1割強と比較的高くなっている。

⑤職業別

『よい（計）』は無職（計）（57.6%）で比較的高くなっている。

⑥ライフステージ別

『よい（計）』は独身期（45.3%）で最も低く、ライフステージが進むにつれ割合が高くなっている。

○「川の再生」の取り組みへの評価・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	とてもよい	どちらかといえばよい	どちらかといえば悪い	悪い	どちらともいえない	わからない	無回答	よい（計）	悪い（計）
全 体	2253	28.2	26.7	2.6	1.9	12.4	27.8	0.4	54.9	4.5
地域別										
南部地域	232	34.5	24.6	2.2	0.4	13.4	25.0	—	59.1	2.6
南西部地域	226	31.4	24.3	2.7	0.9	12.4	27.9	0.4	55.7	3.6
東部地域	321	20.9	26.5	3.4	2.2	13.4	33.0	0.6	47.4	5.6
さいたま地域	365	27.7	28.5	2.2	2.7	10.1	28.5	0.3	56.2	4.9
県央地域	181	27.1	24.3	2.8	3.9	9.4	32.6	—	51.4	6.7
川越比企地域	263	32.7	27.4	3.0	1.1	12.2	23.6	—	60.1	4.1
西部地域	247	23.1	27.1	2.0	3.2	13.4	30.4	0.8	50.2	5.2
利根地域	204	25.5	28.9	2.9	1.0	9.8	30.9	1.0	54.4	3.9
北部地域	173	32.9	27.7	2.3	0.6	19.1	16.8	0.6	60.6	2.9
秩父地域	41	36.6	26.8	2.4	2.4	12.2	19.5	—	63.4	4.8
性・年代別										
男性・20歳代	105	22.9	15.2	7.6	4.8	13.3	36.2	—	38.1	12.4
30歳代	200	23.0	24.5	2.5	2.0	12.5	34.5	1.0	47.5	4.5
40歳代	231	26.0	26.8	4.3	2.6	13.9	26.4	—	52.8	6.9
50歳代	181	20.4	34.3	4.4	2.2	9.9	27.6	1.1	54.7	6.6
60歳代	229	23.1	31.0	2.2	1.7	14.8	26.6	0.4	54.1	3.9
70歳以上	187	26.7	35.3	3.2	2.7	11.2	20.3	0.5	62.0	5.9
女性・20歳代	121	26.4	20.7	1.7	1.7	9.9	38.0	1.7	47.1	3.4
30歳代	200	28.0	23.0	1.5	2.0	16.0	29.5	—	51.0	3.5
40歳代	199	29.1	24.6	1.5	1.0	15.1	28.6	—	53.7	2.5
50歳代	181	31.5	26.5	2.2	1.1	11.6	27.1	—	58.0	3.3
60歳代	225	40.0	27.6	0.9	0.9	8.4	21.8	0.4	67.6	1.8
70歳以上	194	37.1	23.7	1.5	1.0	10.8	25.8	—	60.8	2.5
職業別										
自営業・家族従業（計）	253	25.7	24.1	2.0	2.4	15.8	29.2	0.8	49.8	4.4
雇用者（計）	1149	26.7	27.4	3.0	2.0	12.4	28.3	0.3	54.1	5.0
無職（計）	846	31.0	26.6	2.4	1.5	11.5	26.7	0.4	57.6	3.9
ライフステージ別										
独身期	280	23.9	21.4	4.3	3.6	12.5	33.9	0.4	45.3	7.9
家族形成期	214	27.1	22.0	1.9	2.3	11.2	35.5	—	49.1	4.2
家族成長前期	291	27.8	22.7	1.4	1.7	14.8	31.3	0.3	50.5	3.1
家族成長後期	182	25.8	31.9	2.2	—	14.8	25.3	—	57.7	2.2
家族成熟期	476	29.4	29.4	2.3	1.5	10.9	26.3	0.2	58.8	3.8
高齢期	501	33.1	30.7	2.2	1.6	11.2	20.6	0.6	63.8	3.8
その他	309	24.6	24.9	4.2	2.3	13.6	29.4	1.0	49.5	6.5

5 県政への要望 (問31)

- 「県政への要望」は、昭和43年度の第1回県政世論調査から、おおむね継続して実施してきました。

平成16年度調査において、社会状況等の変化を踏まえ、平成7年度から平成15年度まで継続していた選択肢を一部見直しました。

分析において、平成15年度以前の調査結果と比較する場合は、見直し前の対応する選択肢についての結果を使用しています。

5 県政への要望

◇「高齢者の福祉を充実する」が28.5%、「医療サービス体制を整備する」が23.9%で上位

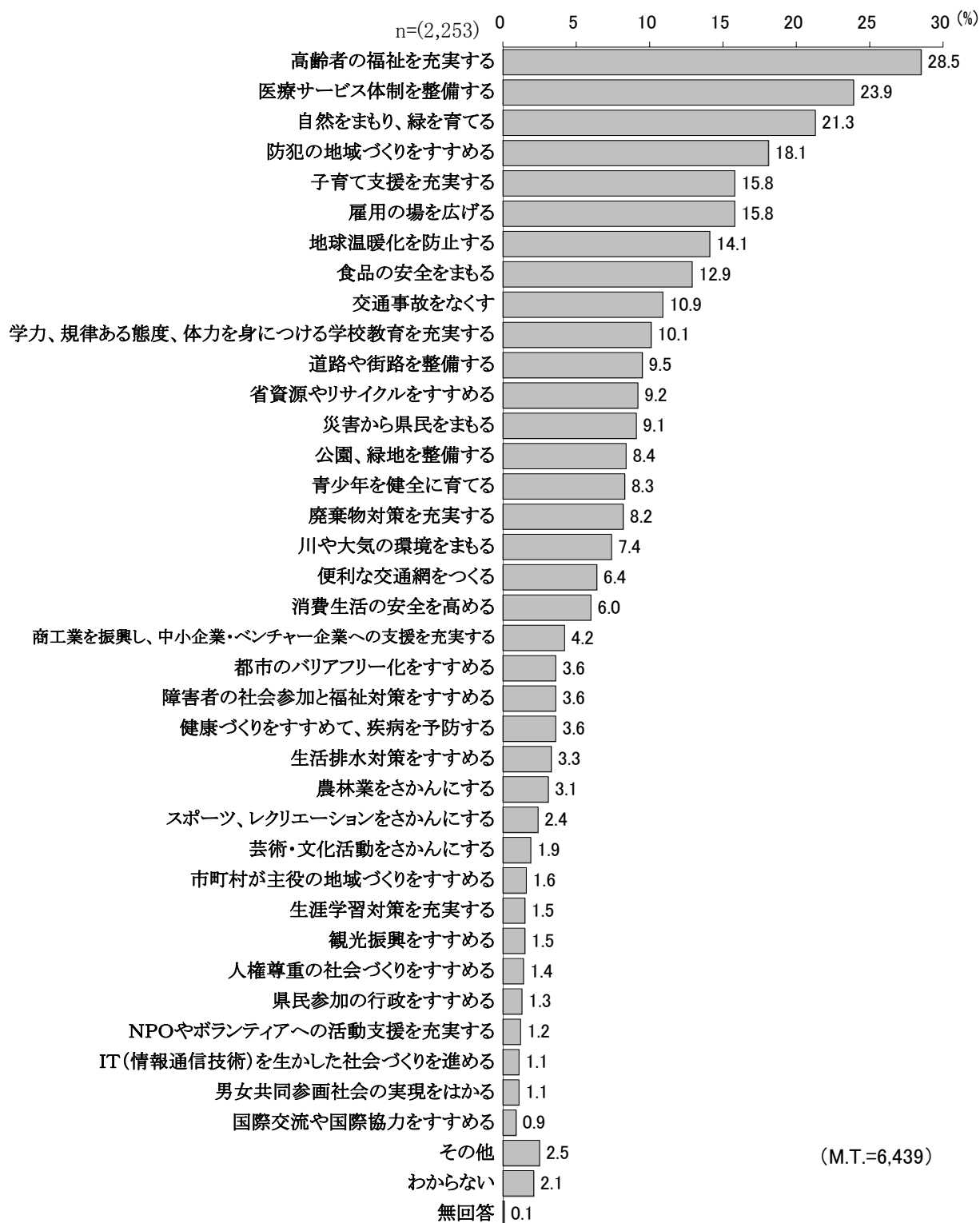
問31 埼玉県行政全般の中で、現在、あなたが最も重点をおいてほしいもの、特に必要だと思うものを、次の中から3つまで選んでください。

	今 回	前 回	(増減差)
1位 高齢者の福祉を充実する	28.5%	30.8% (1位)	△ 2.3
2位 医療サービス体制を整備する	23.9	27.7 (2位)	△ 3.8
3位 自然をまもり、緑を育てる	21.3	19.7 (3位)	1.6
4位 防犯の地域づくりをすすめる	18.1	17.4 (4位)	0.7
5位 子育て支援を充実する	15.8	17.3 (5位)	△ 1.5
雇用を広げる		12.7 (8位)	3.1
7位 地球温暖化を防止する	14.1	16.0 (7位)	△ 1.9
8位 食品の安全をまもる	12.9	16.8 (6位)	△ 3.9
9位 交通事故をなくす	10.9	7.7 (15位)	3.2
10位 学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する	10.1	8.5 (12位)	1.6

【前回（平成21年）調査との比較】

今回の上位10項目と前回を比較すると、「高齢者の福祉を充実する」「医療サービス体制を整備する」「自然をまもり、緑を育てる」「防犯の地域づくりをすすめる」「子育て支援を充実する」までの順位には変化がない。また、同率5位の「雇用を広げる」が順位を上げる一方、「食品の安全をまもる」は順位を下げている。また、9位の「交通事故をなくす」は大きく順位を上げている。

前回との増減をみると、「交通事故をなくす」(3.2ポイント増)、「雇用を広げる」(3.1ポイント増)が増加している。一方、「食品の安全をまもる」(3.9ポイント減)、「医療サービス体制を整備する」(3.8ポイント減)、「高齢者の福祉を充実する」(2.3ポイント減)などが減少している。



【上位10項目の属性別比較】

□第1位／高齢者の福祉を充実する

地域別では秩父地域（39.0％）で約4割と高くなっている。性別では女性（30.4％）で3割を超えて高くなっている。年代別では高年代ほど高くなっており、70歳以上（50.7％）では5割を超えている。性・年代別でも同様に、男女とも高年代ほど高くなる傾向がみられる。職業別では無職（計）（38.7％）で4割弱となっている。ライフステージ別では高齢期（45.9％）で4割半ばと特に高くなっている。

□第2位／医療サービス体制を整備する

地域別では南西部地域（29.2％）と北部地域（34.1％）で高くなっている一方で、東部地域（19.9％）と秩父地域（17.1％）では2割を下回り低くなっている。年代別では20歳代（18.1％）で2割弱と低くなっている。性・年代別では女性の40歳代（29.6％）と50歳代（30.4％）で約3割と比較的高くなっている。

□第3位／自然をまもり、緑を育てる

地域別では県央地域（29.3％）と秩父地域（29.3％）で約3割と高くなっている。市郡規模別では人口10万未満の市（25.0％）で2割半ばと高くなっている。性・年代別では男性の50歳代（26.0％）と60歳代（26.2％）で比較的高くなっている。ライフステージ別では家族成長後期（15.4％）で1割半ばと低くなっている。

□第4位／防犯の地域づくりをすすめる

地域別では南部地域（22.4％）、南西部地域（24.3％）、東部地域（22.7％）で2割を超えて高く、秩父地域（2.4％）で唯一1割を下回り低くなっている。年代別では30歳代（24.3％）と40歳代（24.4％）で比較的高くなっている。職業別では雇用者（計）（22.0％）で2割強と高くなっている。ライフステージ別では独身期から家族成長後期で2割を超えてやや高くなっている。

□第5位／子育て支援を充実する

地域別では西部地域（20.6％）で2割を超えて高く、秩父地域（4.9％）で最も低くなっている。性別では女性（18.3％）のほうが男性（13.3％）よりも5.0ポイント高くなっている。年代別では30歳代（39.5％）で約4割と最も高く、20歳代（21.2％）、40歳代（18.6％）と続いている。性・年代別では女性30歳代（45.5％）で4割半ば、男性の30歳代（33.5％）で3割強と高くなっている。職業別では雇用者（計）（19.8％）が他の職業と比べて高くなっている。ライフステージ別では家族形成期（54.2％）が最も高く、家族成長前期（36.4％）がこれに続いている。

□第5位／雇用の場を広げる

地域別では秩父地域（22.0％）でやや高くなっている。年代別では20歳代（21.2％）と50歳代（22.7％）で2割強と高く、性・年代別では男性20歳代（27.6％）、女性50歳代（26.5％）が高くなっている。職業別では雇用者（計）（19.0％）でやや高く、ライフステージ別では独身期（24.6％）と家族成長後期（22.5％）で高くなっている。

□第7位／地球温暖化を防止する

年代別では60歳代（17.4％）で最も高く、性・年代別では女性60歳代（18.7％）で2割弱と最も高くなっている。

□第8位／食品の安全をまもる

地域別では秩父地域（24.4%）で唯一2割を超えて高く、県央地域（8.8%）で最も低くなっている。性別では女性（15.9%）のほうが男性（9.9%）よりも6.0ポイント高くなっている。年代別では年齢が高くなるほど割合が高く、性・年代別では女性70歳以上（20.6%）で2割を超えている。ライフステージ別では高齢期（17.4%）で比較的高くなっている。

□第9位／交通事故をなくす

年代別では20歳代（15.9%）と70歳以上（15.7%）で1割半ばと高く、性・年代別では男性20歳代（18.1%）と男性70歳以上（18.2%）で2割弱と高くなっている。

□第10位／学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する

地域別では県央地域（16.0%）で最も高くなっている。年代別では40歳代（14.7%）でやや高くなっている。職業別では雇用者（計）（12.1%）で比較的高くなっている。ライフステージ別では家族成長前期（20.6%）で2割を超えて高くなっている。

○県政への要望・地域別／市郡規模別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

順位		1	2	3	4	5		7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	調査数	高齢者の福祉を充実する	医療サービス体制を整備する	自然をまもり、緑を育てる	防犯の地域づくりをすすめる	子育て支援を充実する	雇用の場を広げる	地球温暖化を防止する	食品の安全をまもる	交通事故をなくす	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する	道路や街路を整備する	省資源やリサイクルをすすめる	災害から県民をまもる	公園、緑地を整備する	青少年を健全に育てる	廃棄物対策を充実する	川や大気環境をまもる	
全 体		2253	28.5	23.9	21.3	18.1	15.8	15.8	14.1	12.9	10.9	10.1	9.5	9.2	9.1	8.4	8.3	8.2	7.4
地域別																			
南部地域	232	33.6	23.7	19.4	22.4	15.1	13.4	16.4	15.9	12.1	7.8	5.2	11.6	9.9	6.0	9.9	8.6	9.1	
南西部地域	226	25.2	29.2	22.6	24.3	18.1	19.0	11.9	15.9	11.1	10.2	10.2	8.8	7.5	9.7	7.5	5.8	4.4	
東部地域	321	25.2	19.9	18.7	22.7	14.0	11.5	15.9	11.2	12.1	7.8	7.5	9.0	11.5	9.7	9.3	7.2	7.8	
さいたま地域	365	29.3	21.4	21.9	18.4	13.7	14.8	14.0	12.6	12.3	12.1	11.2	9.0	9.3	9.0	10.4	6.0	8.8	
県央地域	181	27.1	26.5	29.3	15.5	15.5	17.7	9.9	8.8	9.4	16.0	10.5	10.5	8.3	6.6	6.6	7.7	7.2	
川越比企地域	263	31.6	21.3	17.5	13.7	14.4	16.7	16.7	14.4	8.0	10.3	11.4	8.4	8.0	8.7	6.8	10.6	6.1	
西部地域	247	25.1	23.9	23.9	15.4	20.6	17.4	10.9	10.1	9.3	9.7	11.3	9.3	9.7	5.7	6.9	4.9	8.1	
利根地域	204	26.0	22.5	22.5	13.7	17.2	16.7	15.2	11.3	13.7	9.8	8.3	9.3	8.8	9.8	6.4	14.2	5.9	
北部地域	173	31.8	34.1	16.8	16.8	17.9	17.3	14.5	13.3	11.6	6.9	8.1	6.9	8.1	11.0	10.4	9.8	8.7	
秩父地域	41	39.0	17.1	29.3	2.4	4.9	22.0	14.6	24.4	-	14.6	14.6	7.3	7.3	2.4	2.4	17.1	4.9	
市郡規模別																			
人口10万以上の市	1648	29.2	24.4	20.7	18.9	15.5	15.5	13.3	11.8	11.4	10.1	9.2	9.5	9.5	8.4	8.3	7.5	8.0	
人口10万未満の市	412	26.5	23.3	25.0	16.3	18.0	15.8	15.3	15.0	8.7	10.4	9.0	7.0	9.5	8.3	8.7	10.4	5.1	
郡部（町村）	193	26.4	20.7	19.2	14.5	13.5	18.7	18.7	17.6	11.4	9.8	13.0	11.4	5.7	8.3	7.3	9.3	6.7	
性別																			
男性	1133	26.5	21.7	22.9	17.0	13.3	16.1	13.5	9.9	11.6	10.1	11.1	8.4	8.1	8.8	7.1	9.6	8.9	
女性	1120	30.4	26.1	19.7	19.1	18.3	15.6	14.7	15.9	10.3	10.2	7.9	10.0	10.2	7.9	9.5	6.8	5.8	
年代別																			
20歳代	226	13.3	18.1	21.2	21.2	21.2	21.2	12.8	8.8	15.9	10.2	8.8	6.2	8.4	9.7	10.6	5.3	8.8	
30歳代	400	12.5	23.8	19.8	24.3	39.5	15.0	11.3	9.8	8.8	12.0	10.0	8.3	6.8	12.8	7.5	5.5	6.5	
40歳代	430	16.7	26.5	18.1	24.4	18.6	19.3	14.2	11.6	10.7	14.7	11.9	7.0	9.5	10.2	8.6	5.6	6.7	
50歳代	362	29.8	26.8	22.1	14.4	7.2	22.7	14.6	13.5	9.7	9.9	11.0	9.4	8.3	6.6	8.8	8.8	9.1	
60歳代	454	41.4	24.2	23.8	13.9	7.7	13.7	17.4	14.8	7.5	6.6	7.5	10.1	10.6	7.0	7.9	11.0	6.8	
70歳以上	381	50.7	21.3	23.1	11.0	2.4	5.8	13.4	17.1	15.7	7.3	7.6	13.1	10.8	4.2	7.3	11.8	7.1	
性・年代別																			
男性・20歳代	105	7.6	15.2	19.0	17.1	12.4	27.6	11.4	11.4	18.1	11.4	8.6	3.8	4.8	10.5	11.4	6.7	12.4	
30歳代	200	13.5	20.5	21.5	21.0	33.5	17.0	12.0	6.5	9.5	13.0	10.0	6.0	6.5	11.5	6.0	6.5	7.5	
40歳代	231	15.6	23.8	19.0	26.4	16.0	16.9	14.7	9.1	8.7	13.4	13.9	7.4	6.9	10.8	8.2	5.6	7.8	
50歳代	181	27.1	23.2	26.0	12.7	7.7	18.8	14.4	8.8	8.8	8.8	12.7	8.3	8.8	8.3	7.2	11.0	11.0	
60歳代	229	37.6	26.2	26.2	12.7	6.6	15.3	16.2	10.9	10.0	7.0	9.6	9.2	9.2	7.0	5.7	12.2	7.4	
70歳以上	187	50.3	17.1	24.6	10.7	2.7	5.9	10.7	13.4	18.2	7.0	10.7	13.9	11.2	5.3	6.4	15.0	9.6	
女性・20歳代	121	18.2	20.7	23.1	24.8	28.9	15.7	14.0	6.6	14.0	9.1	9.1	8.3	11.6	9.1	9.9	4.1	5.8	
30歳代	200	11.5	27.0	18.0	27.5	45.5	13.0	10.5	13.0	8.0	11.0	10.0	10.5	7.0	14.0	9.0	4.5	5.5	
40歳代	199	18.1	29.6	17.1	22.1	21.6	22.1	13.6	14.6	13.1	16.1	9.5	6.5	12.6	9.5	9.0	5.5	5.5	
50歳代	181	32.6	30.4	18.2	16.0	6.6	26.5	14.9	18.2	10.5	11.0	9.4	10.5	7.7	5.0	10.5	6.6	7.2	
60歳代	225	45.3	22.2	21.3	15.1	8.9	12.0	18.7	18.7	4.9	6.2	5.3	11.1	12.0	7.1	10.2	9.8	6.2	
70歳以上	194	51.0	25.3	21.6	11.3	2.1	5.7	16.0	20.6	13.4	7.7	4.6	12.4	10.3	3.1	8.2	8.8	4.6	
職業別																			
自営業・家族従業（計）	253	24.5	24.5	22.9	15.0	11.1	13.0	16.2	11.1	8.3	8.3	12.6	7.9	5.5	9.5	12.6	10.3	7.1	
雇用者（計）	1149	21.8	24.5	21.8	22.0	19.8	19.0	13.8	11.3	10.2	12.1	9.3	8.9	9.1	7.7	7.2	6.7	7.6	
無職（計）	846	38.7	23.0	20.3	13.7	11.9	12.5	13.7	15.5	12.6	7.9	8.9	9.9	10.0	9.0	8.4	9.7	7.2	
ライフステージ別																			
独身期	280	16.1	21.4	21.4	21.1	8.9	24.6	13.2	10.0	12.5	7.9	10.7	9.3	8.9	5.4	10.7	7.1	8.9	
家族形成期	214	10.7	20.6	20.1	20.6	54.2	12.1	12.1	9.8	9.3	12.6	8.4	7.0	7.5	17.8	7.0	2.8	6.1	
家族成長前期	291	12.4	26.8	18.2	26.8	36.4	11.7	9.3	10.0	12.0	20.6	9.3	7.9	6.9	14.4	8.2	6.9	6.2	
家族成長後期	182	17.0	26.9	15.4	28.6	14.8	22.5	16.5	11.5	10.4	11.0	11.0	3.3	6.0	7.7	13.2	4.4	6.6	
家族成熟期	476	35.3	24.2	22.3	13.4	9.7	18.9	14.7	12.8	10.3	9.5	11.1	9.9	9.2	5.9	7.6	8.0	9.0	
高齢期	501	45.9	24.6	23.0	12.6	4.4	9.2	15.6	17.4	11.0	7.4	7.2	11.8	11.8	6.6	8.0	11.0	6.2	
その他	309	35.0	22.3	24.6	15.2	4.5	16.5	16.2	13.9	10.7	5.5	9.7	10.0	10.0	6.1	5.8	12.3	7.7	

18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
利便な交通網をつくる	消費生活の安全を高める	商業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する	都市のバリアフリー化をすすめる	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる	健康づくりをすすめて、疾病を予防する	生活排水対策をすすめる	農林業をさかんにする	スポーツ、レクリエーションをさかんにする	芸術・文化活動をさかんにする	市町村が主役の地域づくりをすすめる	生涯学習対策を充実する	観光振興をすすめる	人権尊重の社会づくりをすすめる	県民参加の行政をすすめる	NPOやボランティアへの活動支援を充実する	IT（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める	男女共同参画社会の実現をはかる	国際交流や国際協力をすすめる	その他	わからない	無回答	
6.4	6.0	4.2	3.6	3.6	3.6	3.3	3.1	2.4	1.9	1.6	1.5	1.5	1.4	1.3	1.2	1.1	1.1	0.9	2.5	2.1	0.1	
6.9	5.2	3.9	2.2	2.2	3.0	2.2	0.9	1.3	2.2	1.3	1.3	0.9	2.2	0.9	1.3	1.3	0.4	0.4	2.6	3.4	-	
6.2	3.5	3.5	4.9	4.4	5.3	1.3	2.7	3.5	2.2	1.8	1.8	1.3	1.3	1.8	-	0.9	1.3	0.4	3.1	0.4	-	
5.0	4.4	3.7	3.7	3.7	3.7	4.0	2.5	1.6	1.9	0.3	0.6	0.3	2.2	0.9	0.9	0.9	0.3	1.2	3.1	5.3	0.3	
7.9	6.0	3.8	6.0	2.2	3.6	2.2	3.8	3.3	1.9	0.8	1.1	0.8	1.4	1.1	1.6	1.9	1.6	0.5	1.9	1.1	-	
6.6	5.0	6.6	5.5	3.3	3.3	0.6	2.2	3.9	0.6	1.7	2.8	2.8	-	0.6	0.6	2.2	0.6	2.2	3.3	-	-	
5.3	8.0	4.2	2.3	4.9	4.2	6.1	6.1	2.3	3.0	2.7	1.5	2.3	1.1	2.3	2.3	-	0.8	0.4	2.3	1.9	-	
5.3	9.3	5.7	4.0	5.3	3.2	3.6	2.8	1.6	1.2	3.2	0.8	1.6	1.2	2.0	1.6	0.8	1.2	1.2	3.2	2.4	0.4	
5.9	8.3	3.9	1.0	1.0	3.4	4.4	3.4	1.5	2.0	1.5	2.5	2.9	1.5	0.5	1.0	1.0	1.5	1.0	2.0	2.9	-	
6.4	5.2	2.9	1.7	5.8	2.3	3.5	2.3	2.9	1.2	1.7	1.7	1.7	1.2	2.3	1.7	1.2	1.7	1.2	1.7	-	-	
17.1	2.4	2.4	-	2.4	2.4	9.8	4.9	4.9	2.4	4.9	2.4	-	2.4	-	-	-	2.4	-	-	-	-	
6.6	5.9	3.8	4.2	3.2	3.5	3.1	2.6	2.4	1.9	1.3	1.5	1.0	1.4	1.6	1.2	1.4	1.0	1.0	2.7	2.5	-	
5.6	6.6	4.6	2.2	5.1	3.6	3.6	3.2	2.4	1.7	2.4	1.7	2.4	1.9	0.7	1.2	0.2	1.7	0.5	2.2	1.2	0.5	
6.7	6.2	6.7	1.0	3.6	4.1	4.1	7.3	2.6	2.1	3.1	0.5	3.6	0.5	0.5	1.6	0.5	0.5	0.5	2.1	0.5	-	
6.4	6.0	4.8	3.2	3.0	2.9	3.9	4.1	3.6	1.5	2.0	2.0	1.6	1.3	1.9	1.4	1.9	0.7	0.6	3.4	2.5	0.2	
6.3	6.1	3.6	4.0	4.1	4.3	2.7	2.1	1.3	2.2	1.3	0.9	1.3	1.5	0.8	1.1	0.3	1.4	1.2	1.6	1.7	-	
11.1	5.3	4.9	3.5	3.1	2.2	1.3	1.3	5.3	1.8	0.9	3.1	2.7	1.3	2.2	0.9	3.1	3.5	2.7	1.3	2.7	-	
7.0	4.3	4.3	3.5	3.3	2.0	2.5	3.0	2.8	2.8	1.8	1.0	1.3	1.0	0.5	0.8	2.5	1.8	1.3	3.0	2.0	0.3	
7.2	6.3	5.3	4.4	3.3	2.6	2.1	2.3	3.3	1.9	1.2	1.2	1.4	0.9	0.7	1.9	1.2	0.7	0.7	3.5	0.7	-	
4.1	5.5	5.5	4.4	5.5	2.2	5.2	5.0	2.8	2.2	1.4	0.8	1.7	1.4	1.9	1.4	0.6	0.8	0.8	2.2	1.4	-	
5.7	7.7	3.3	2.4	3.3	6.4	4.4	3.7	1.1	1.5	2.4	2.2	1.8	2.0	1.8	1.5	-	0.4	0.4	2.6	1.8	-	
5.0	6.6	2.1	3.4	2.9	5.2	3.4	2.6	0.8	1.0	1.8	1.0	0.5	1.8	1.3	0.8	0.3	0.3	0.3	1.8	4.5	0.3	
13.3	3.8	3.8	3.8	1.9	2.9	1.9	1.9	8.6	1.0	-	6.7	-	1.0	3.8	1.9	5.7	2.9	1.9	-	4.8	-	
6.0	4.0	5.0	2.0	3.5	1.5	3.0	3.0	3.5	2.0	3.0	1.0	2.5	1.5	0.5	1.0	5.0	2.0	1.0	5.0	2.5	0.5	
8.7	5.2	6.5	5.2	3.5	3.5	2.2	3.5	5.2	0.9	1.3	1.3	0.9	1.3	0.9	2.2	-	0.4	4.3	1.3	-	-	
5.0	6.1	7.2	4.4	3.3	1.7	4.4	7.7	5.0	2.2	2.2	1.1	1.7	1.1	1.7	1.7	0.6	0.6	0.6	3.9	1.7	-	
4.8	7.9	3.5	1.7	1.7	3.9	6.1	4.8	1.3	2.2	2.2	2.6	2.2	1.3	2.2	2.2	-	-	0.4	3.5	2.6	-	
3.7	8.0	2.1	2.1	3.7	3.7	4.8	2.7	0.5	0.5	2.7	1.6	1.1	2.1	2.7	1.1	-	-	-	2.1	3.2	0.5	
9.1	6.6	5.8	3.3	4.1	1.7	0.8	0.8	2.5	2.5	1.7	-	5.0	1.7	0.8	-	0.8	4.1	3.3	2.5	0.8	-	
8.0	4.5	3.5	5.0	3.0	2.5	2.0	3.0	2.0	3.5	0.5	1.0	-	0.5	0.5	0.5	-	1.5	1.5	1.0	1.5	-	
5.5	7.5	4.0	3.5	3.0	1.5	2.0	1.0	1.0	3.0	1.0	1.5	1.0	-	3.0	-	-	1.5	1.0	2.5	-	-	
3.3	5.0	3.9	4.4	7.7	2.8	6.1	2.2	0.6	2.2	0.6	0.6	1.7	1.7	2.2	1.1	0.6	1.1	1.1	0.6	1.1	-	
6.7	7.6	3.1	3.1	4.9	8.9	2.7	2.7	0.9	0.9	2.7	1.8	1.3	2.7	1.3	0.9	-	0.9	0.4	1.8	0.9	-	
6.2	5.2	2.1	4.6	2.1	6.7	2.1	2.6	1.0	1.5	1.0	0.5	-	1.5	-	0.5	0.5	0.5	0.5	1.5	5.7	-	
6.3	4.0	12.3	2.0	2.8	4.0	4.7	4.0	2.8	1.6	0.8	2.0	3.2	0.4	1.6	2.0	0.8	0.4	0.4	4.0	2.0	0.4	
7.1	6.5	3.7	4.0	3.5	2.7	2.9	3.5	3.0	2.0	1.8	1.7	1.4	1.9	1.3	1.3	1.7	1.6	1.0	2.4	1.1	-	
5.4	6.0	2.4	3.5	3.9	4.7	3.4	2.4	1.7	1.8	1.7	0.9	1.1	1.1	1.3	0.9	0.4	0.6	0.9	2.2	3.3	0.1	
11.8	3.9	4.6	3.6	4.3	1.8	2.1	1.8	4.6	3.2	1.1	3.2	1.8	1.8	1.4	1.4	4.3	3.6	2.1	1.8	2.9	0.4	
6.1	4.7	5.1	5.1	1.4	3.3	2.3	2.8	2.8	1.9	1.4	-	1.9	0.9	0.9	0.5	1.4	1.9	1.4	3.3	0.9	-	
4.5	5.2	5.5	2.4	3.4	0.3	1.7	3.8	3.1	2.1	1.4	1.0	1.0	1.4	0.7	1.4	1.0	0.7	1.0	2.7	1.0	-	
6.6	7.7	4.4	2.2	3.8	3.3	2.7	3.8	3.3	2.2	1.1	1.1	1.6	-	1.6	2.7	1.1	0.5	1.6	3.8	1.6	-	
6.1	6.5	4.0	3.2	3.6	4.8	5.3	4.0	1.7	2.5	1.3	1.7	2.1	1.9	1.5	1.7	0.4	0.4	0.4	2.7	1.5	-	
5.6	7.0	2.2	3.6	3.8	5.4	3.4	3.2	1.4	0.8	2.4	1.2	1.0	1.2	1.6	0.6	0.2	0.4	0.6	1.0	3.2	0.2	
5.2	6.5	5.2	5.2	3.9	3.9	3.6	1.9	1.9	1.0	2.3	1.6	1.0	1.9	1.3	1.0	0.6	1.0	-	3.9	2.6	-	

【平成18年以降の上位10項目の推移】

過去5年間の上位10項目の推移をみると、今回1位の「高齢者の福祉を充実する」（1位→1位→1位→1位→1位）と、2位の「医療サービス体制を整備する」（3位→2位→2位→2位→2位）はほぼ上位で固定している。3位の「自然をまもり、緑を育てる」（4位→3位→5位→3位→3位）も連続して5位以内で、平成21年、今回と3位を維持している。4位の「防犯の地域づくりをすすめる」（2位→7位→6位→4位→4位）は、平成19年までは順位を下げていたが、平成21年、今回と4位となっている。5位の「子育て支援を充実する」（5位→6位→7位→5位→5位）は小刻みに上昇・下降していたが、平成21年、今回と5位となっている。同率5位の「雇用の場を広げる」（9位→13位→12位→8位→5位）は、平成19年から連続して順位を上げている。7位の「地球温暖化を防止する」（8位→4位→4位→7位→7位）は、平成21年で順位を下げて、今回も7位となっている。8位の「食品の安全をまもる」（13位→5位→3位→6位→8位）は平成20年までは順位を上げていたが、平成21年と今回は順位を下けている。

順位	18年	19年	20年	21年	22年
1	高齢者の福祉を充実する 27.0%	高齢者の福祉を充実する 27.9%	高齢者の福祉を充実する 28.5%	高齢者の福祉を充実する 30.8%	高齢者の福祉を充実する 28.5%
2	防犯の地域づくりをすすめる 24.5%	医療サービス体制を整備する 22.7%	医療サービス体制を整備する 24.6%	医療サービス体制を整備する 27.7%	医療サービス体制を整備する 23.9%
3	医療サービス体制を整備する 20.7%	自然をまもり、緑を育てる 21.3%	食品の安全をまもる 20.8%	自然をまもり、緑を育てる 19.7%	自然をまもり、緑を育てる 21.3%
4	自然をまもり、緑を育てる 20.4%	地球温暖化を防止する 20.5%	地球温暖化を防止する 20.0%	防犯の地域づくりをすすめる 17.4%	防犯の地域づくりをすすめる 18.1%
5	子育て支援を充実する 19.3%	食品の安全をまもる 17.7%	自然をまもり、緑を育てる 18.6%	子育て支援を充実する 17.3%	子育て支援を充実する 15.8%
6	災害から県民をまもる 13.1%	子育て支援を充実する 15.8%	防犯の地域づくりをすすめる 17.9%	食品の安全をまもる 16.8%	雇用の場を広げる 15.8%
7	交通事故をなくす 11.1%	防犯の地域づくりをすすめる 12.7%	子育て支援を充実する 17.2%	地球温暖化を防止する 16.0%	地球温暖化を防止する 14.1%
8	地球温暖化を防止する 10.8%	災害から県民をまもる 10.4%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 11.8%	雇用の場を広げる 12.7%	食品の安全をまもる 12.9%
9	雇用の場を広げる 9.7%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 10.3%	消費生活の安全を高める 10.3%	川や大気環境をまもる 9.6%	交通事故をなくす 10.9%
10	道路や街路を整備する 9.2%	交通事故をなくす 9.9%	災害から県民をまもる 10.0%	災害から県民をまもる 9.4%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 10.1%

【上位4項目の10年間の推移】

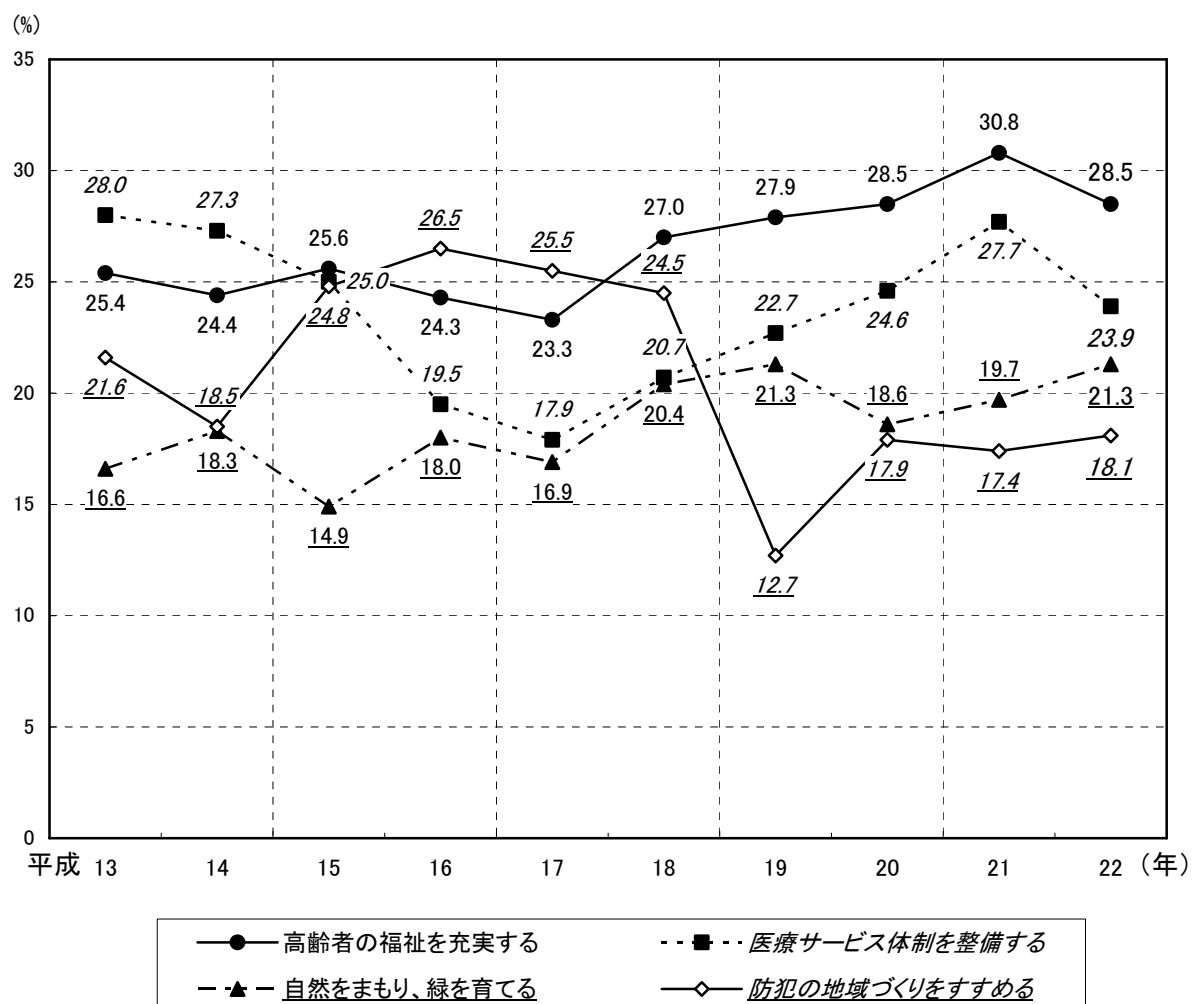
今回の調査で上位となった「高齢者の福祉を充実する」、「医療サービス体制を整備する」、「自然をまもり、緑を育てる（平成15年以前は「緑をまもり育てる」）」、「防犯の地域づくりをすすめる（平成15年以前は「犯罪から県民をまもる」）」の4項目について、平成13年以降の10年間の推移をみると次のようになっている。

まず、1位の「高齢者の福祉を充実する」は平成13年から平成16年までは2割半ばを推移し、17年以降増加して平成21年に3割を超えたものの、今回は再び3割を下回っている。

2位の「医療サービス体制を整備する」は平成13年から17年までの減少傾向から、18年からは2割を超えて増加傾向に転じていたが、今回は再び減少している。

3位の「自然をまもり、緑を育てる」は、おおむね15から20%の間を推移しており、今回は2割を超えて平成19年と同水準となっている。

4位の「防犯の地域づくりをすすめる」は平成18年から19年にかけて大きく減少したが、平成20年には2割弱まで戻り、今回もほぼ同率となっている。



【属性別の上位5項目】

■地域別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
南部地域 (n=232)	高齢者の福祉を充実する 33.6%	医療サービス体制を整備する 23.7%	防犯の地域づくりをすすめる 22.4%	自然をまもり、緑を育てる 19.4%	地球温暖化を防止する 16.4%
南西部地域 (n=226)	医療サービス体制を整備する 29.2%	高齢者の福祉を充実する 25.2%	防犯の地域づくりをすすめる 24.3%	自然をまもり、緑を育てる 22.6%	雇用の場を広げる 19.0%
東部地域 (n=321)	高齢者の福祉を充実する 25.2%	防犯の地域づくりをすすめる 22.7%	医療サービス体制を整備する 19.9%	自然をまもり、緑を育てる 18.7%	地球温暖化を防止する 15.9%
さいたま地域 (n=365)	高齢者の福祉を充実する 29.3%	自然をまもり、緑を育てる 21.9%	医療サービス体制を整備する 21.4%	防犯の地域づくりをすすめる 18.4%	雇用の場を広げる 14.8%
県央地域 (n=181)	自然をまもり、緑を育てる 29.3%	高齢者の福祉を充実する 27.1%	医療サービス体制を整備する 26.5%	雇用の場を広げる 17.7%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 16.0%
川越比企地域 (n=263)	高齢者の福祉を充実する 31.6%	医療サービス体制を整備する 21.3%	自然をまもり、緑を育てる 17.5%	地球温暖化を防止する／雇用の場を広げる 16.7%	
西部地域 (n=247)	高齢者の福祉を充実する 25.1%	自然をまもり、緑を育てる／医療サービス体制を整備する 23.9%		子育て支援を充実する 20.6%	雇用の場を広げる 17.4%
利根地域 (n=204)	高齢者の福祉を充実する 26.0%	自然をまもり、緑を育てる／医療サービス体制を整備する 22.5%		子育て支援を充実する 17.2%	雇用の場を広げる 16.7%
北部地域 (n=173)	医療サービス体制を整備する 34.1%	高齢者の福祉を充実する 31.8%	子育て支援を充実する 17.9%	雇用の場を広げる 17.3%	自然をまもり、緑を育てる／防犯の地域づくりをすすめる 16.8%
秩父地域 (n=41)	高齢者の福祉を充実する 39.0%	自然をまもり、緑を育てる 29.3%	食品の安全をまもる 24.4%	雇用の場を広げる 22.0%	廃棄物対策を充実する／便利な交通網をつくる／医療サービス体制を整備する 17.1%

■市郡規模別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
人口10万以上の市 (n=1648)	高齢者の福祉を充実する 29.2%	医療サービス体制を整備する 24.4%	自然をまもり、緑を育てる 20.7%	防犯の地域づくりをすすめる 18.9%	子育て支援を充実する 15.5%
人口10万未満の市 (n=412)	高齢者の福祉を充実する 26.5%	自然をまもり、緑を育てる 25.0%	医療サービス体制を整備する 23.3%	子育て支援を充実する 18.0%	防犯の地域づくりをすすめる 16.3%
郡部（町村） (n=193)	高齢者の福祉を充実する 26.4%	医療サービス体制を整備する 20.7%	自然をまもり、緑を育てる 19.2%	地球温暖化を防止する／雇用の場を広げる 18.7%	

■性別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (n=1133)	高齢者の福祉を充実する 26.5%	自然をまもり、緑を育てる 22.9%	医療サービス体制を整備する 21.7%	防犯の地域づくりをすすめる 17.0%	雇用の場を広げる 16.1%
女性 (n=1120)	高齢者の福祉を充実する 30.4%	医療サービス体制を整備する 26.1%	自然をまもり、緑を育てる 19.7%	防犯の地域づくりをすすめる 19.1%	子育て支援を充実する 18.3%

■性・年代別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳代 (n=226)	自然をまもり、緑を育てる／防犯の地域づくりをすすめる／子育て支援を充実する／雇用の場を広げる 21.2%				医療サービス体制を整備する 18.1%
30歳代 (n=400)	子育て支援を充実する 39.5%	防犯の地域づくりをすすめる 24.3%	医療サービス体制を整備する 23.8%	自然をまもり、緑を育てる 19.8%	雇用の場を広げる 15.0%
40歳代 (n=430)	医療サービス体制を整備する 26.5%	防犯の地域づくりをすすめる 24.4%	雇用の場を広げる 19.3%	子育て支援を充実する 18.6%	自然をまもり、緑を育てる 18.1%
50歳代 (n=362)	高齢者の福祉を充実する 29.8%	医療サービス体制を整備する 26.8%	雇用の場を広げる 22.7%	自然をまもり、緑を育てる 22.1%	地球温暖化を防止する 14.6%
60歳代 (n=454)	高齢者の福祉を充実する 41.4%	医療サービス体制を整備する 24.2%	自然をまもり、緑を育てる 23.8%	地球温暖化を防止する 17.4%	食品の安全をまもる 14.8%
70歳以上 (n=381)	高齢者の福祉を充実する 50.7%	自然をまもり、緑を育てる 23.1%	医療サービス体制を整備する 21.3%	食品の安全をまもる 17.1%	交通事故をなくする 15.7%

■性・年代別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性・20歳代 (n=105)	雇用を広げる 27.6%	自然をまもり、緑を育てる 19.0%	交通事故をなくす 18.1%	防犯の地域づくりをすすめる 17.1%	医療サービス体制を整備する 15.2%
30歳代 (n=200)	子育て支援を充実する 33.5%	自然をまもり、緑を育てる 21.5%	防犯の地域づくりをすすめる 21.0%	医療サービス体制を整備する 20.5%	雇用を広げる 17.0%
40歳代 (n=231)	防犯の地域づくりをすすめる 26.4%	医療サービス体制を整備する 23.8%	自然をまもり、緑を育てる 19.0%	雇用を広げる 16.9%	子育て支援を充実する 16.0%
50歳代 (n=181)	高齢者の福祉を充実する 27.1%	自然をまもり、緑を育てる 26.0%	医療サービス体制を整備する 23.2%	雇用を広げる 18.8%	地球温暖化を防止する 14.4%
60歳代 (n=229)	高齢者の福祉を充実する 37.6%	自然をまもり、緑を育てる／医療サービス体制を整備する 26.2%	地球温暖化を防止する 16.2%	雇用を広げる 15.3%	
70歳以上 (n=187)	高齢者の福祉を充実する 50.3%	自然をまもり、緑を育てる 24.6%	交通事故をなくす 18.2%	医療サービス体制を整備する 17.1%	廃棄物対策を充実する 15.0%
女性・20歳代 (n=121)	子育て支援を充実する 28.9%	防犯の地域づくりをすすめる 24.8%	自然をまもり、緑を育てる 23.1%	医療サービス体制を整備する 20.7%	高齢者の福祉を充実する 18.2%
30歳代 (n=200)	子育て支援を充実する 45.5%	防犯の地域づくりをすすめる 27.5%	医療サービス体制を整備する 27.0%	自然をまもり、緑を育てる 18.0%	公園、緑地を整備する 14.0%
40歳代 (n=199)	医療サービス体制を整備する 29.6%	防犯の地域づくりをすすめる／雇用を広げる 22.1%	子育て支援を充実する 21.6%	高齢者の福祉を充実する 18.1%	
50歳代 (n=181)	高齢者の福祉を充実する 32.6%	医療サービス体制を整備する 30.4%	雇用を広げる 26.5%	自然をまもり、緑を育てる／食品の安全をまもる 18.2%	
60歳代 (n=225)	高齢者の福祉を充実する 45.3%	医療サービス体制を整備する 22.2%	自然をまもり、緑を育てる 21.3%	地球温暖化を防止する／食品の安全をまもる 18.7%	
70歳以上 (n=194)	高齢者の福祉を充実する 51.0%	医療サービス体制を整備する 25.3%	自然をまもり、緑を育てる 21.6%	食品の安全をまもる 20.6%	地球温暖化を防止する 16.0%

■ライフステージ別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
独身期 (n=280)	雇用の場を広げる 24.6%	自然をまもり、緑を育てる／医療サービス体制を整備する 21.4%		防犯の地域づくりをすすめる 21.1%	高齢者の福祉を充実する 16.1%
家族形成期 (n=214)	子育て支援を充実する 54.2%	防犯の地域づくりをすすめる／医療サービス体制を整備する 20.6%		自然をまもり、緑を育てる 20.1%	公園、緑地を整備する 17.8%
家族成長前期 (n=291)	子育て支援を充実する 36.4%	防犯の地域づくりをすすめる／医療サービス体制を整備する 26.8%		学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 20.6%	自然をまもり、緑を育てる 18.2%
家族成長後期 (n=182)	防犯の地域づくりをすすめる 28.6%	医療サービス体制を整備する 26.9%	雇用の場を広げる 22.5%	高齢者の福祉を充実する 17.0%	地球温暖化を防止する 16.5%
家族成熟期 (n=476)	高齢者の福祉を充実する 35.3%	医療サービス体制を整備する 24.2%	自然をまもり、緑を育てる 22.3%	雇用の場を広げる 18.9%	地球温暖化を防止する 14.7%
高齢期 (n=501)	高齢者の福祉を充実する 45.9%	医療サービス体制を整備する 24.6%	自然をまもり、緑を育てる 23.0%	食品の安全をまもる 17.4%	地球温暖化を防止する 15.6%
その他 (n=309)	高齢者の福祉を充実する 35.0%	自然をまもり、緑を育てる 24.6%	医療サービス体制を整備する 22.3%	雇用の場を広げる 16.5%	地球温暖化を防止する 16.2%

県政への要望10年間の推移(平成13年～平成22年)

	H13	H14	H15	H16	H17
1	医療サービス体制を整備する 28.0%	医療サービス体制を整備する 27.3%	高齢者の福祉を充実する 25.6%	防犯の地域づくりをすすめる 26.5%	防犯の地域づくりをすすめる 25.5%
2	高齢者の福祉を充実する 25.4%	高齢者の福祉を充実する 24.4%	医療サービス体制を整備する 25.0%	高齢者の福祉を充実する 24.3%	高齢者の福祉を充実する 23.3%
3	犯罪から県民をまもる 21.6%	犯罪から県民をまもる 18.5%	犯罪から県民をまもる 24.8%	医療サービス体制を整備する 19.5%	医療サービス体制を整備する 17.9%
4	緑をまもり育てる 16.6%	緑をまもり育てる 18.3%	緑をまもり育てる 14.9%	自然をまもり、緑を育てる 18.0%	自然をまもり、緑を育てる 16.9%
5	廃棄物対策を充実する (ごみ処理など) 16.3%	廃棄物対策を充実する (ごみ処理など) 17.7%	青少年を健全に育てる 14.8%	地球温暖化を防止する 15.2%	地球温暖化を防止する 16.0%
6	省資源やリサイクルをすすめる 16.2%	省資源やリサイクルをすすめる 14.1%	廃棄物対策を充実する (ごみ処理など) 13.2%	青少年を健全に育てる 13.7%	子育て支援を充実する 15.3%
7	公害をなくす 14.1%	青少年を健全に育てる 12.9%	公害をなくす 11.4%	雇用の場を広げる 13.6%	青少年を健全に育てる 13.4%
8	青少年を健全に育てる 11.4%	公害をなくす 12.1%	便利な交通網をつくる 10.1%	食品の安全をまもる 13.0%	雇用の場を広げる 11.7%
9	交通事故をなくす 10.6%	交通事故をなくす 12.0%	省資源やリサイクルをすすめる 9.7%	子育て支援を充実する 12.5%	食品の安全をまもる 11.4%
10	便利な交通網をつくる 9.1%	道路や街路を整備する 11.2%	家庭、児童福祉を充実する 9.6%	川や大気環境をまもる 10.9%	災害から県民をまもる 10.0%
11	公園、緑地を整備する 8.8%	下水道を整備する 10.5%	道路や街路を整備する 8.5%	学力、規律ある態度、体力を身につける 学校教育を充実する 10.8%	川や大気環境をまもる 9.4%
12	働く人たちの福祉をたかめる 8.1%	便利な交通網をつくる 10.1%	交通事故をなくす 8.4%	省資源やリサイクルをすすめる 10.0%	学力、規律ある態度、体力を身につける 学校教育を充実する 9.1%
13	個性を生かす学校教育を充実する 7.9%	働く人たちの福祉をたかめる 10.0%	働く人たちの福祉をたかめる 7.9%	交通事故をなくす 9.9%	便利な交通網をつくる 8.5%
14	下水道を整備する 7.7%	公園、緑地を整備する 8.1%	公園、緑地を整備する 7.6%	廃棄物対策を充実する 8.3%	省資源やリサイクルをすすめる 8.4%
15	道路や街路を整備する 7.4%	家庭、児童福祉を充実する 7.0%	下水道を整備する 7.3%	便利な交通網をつくる 7.3%	交通事故をなくす/ 消費生活の安全をたかめる 8.2%
16	家庭、児童福祉を充実する 7.0%	商工業を振興し、 中小企業対策をすすめる 6.8%	個性を生かす学校教育を充実する 6.1%	災害から県民をまもる 7.2%	
17	障害者の社会参加と 福祉対策をすすめる 6.4%	衛生対策をすすめる (食品の安全確保など) 6.1%	消費者を保護する 5.7%	消費生活の安全をたかめる 6.3%	道路や街路を整備する 7.9%
18	生涯学習対策を充実する 5.3%	個性を生かす学校教育を充実する 5.9%	商工業を振興し、 中小企業対策をすすめる 5.6%	道路や街路を整備する 5.7%	廃棄物対策を充実する 6.4%
19	健康づくりをすすめて、 疾病を予防する 5.2%	消費者を保護する/ スポーツ・レクリエーションを さかんにする 5.1%	火災や災害から県民をまもる 4.4%	公園、緑地を整備する 5.5%	公園、緑地を整備する 5.9%
20	商工業を振興し、 中小企業対策をすすめる 5.1%		障害者の社会参加と 福祉対策をすすめる/ 県民参加の行政をすすめる 4.2%	都市のバリアフリー化をすすめる 5.1%	都市のバリアフリー化をすすめる 4.6%
21	スポーツ・レクリエーションを さかんにする 4.9%	障害者の社会参加と 福祉対策をすすめる/ 健康づくりをすすめて 疾病を予防する 5.0%	スポーツ・レクリエーションを さかんにする 3.7%	商工業を振興し、中小企業・ベン チャー企業への支援を充実する 4.5%	生活排水対策をすすめる 4.1%
22	消費者を保護する 4.8%	県民参加の行政をすすめる 4.7%	健康づくりをすすめて 疾病を予防する 3.3%	健康づくりをすすめて 疾病を予防する/ 市町村が主役の 地域づくりをすすめる 4.2%	障害者の社会参加と 福祉対策をすすめる/ 健康づくりをすすめて 疾病を予防する 4.0%
23	県民参加の行政をすすめる 4.4%	火災や災害から県民をまもる 4.3%	衛生対策をすすめる (食品の安全確保など) 3.2%	障害者の社会参加 と福祉対策をすすめる 3.9%	商工業を振興し、中小企業・ベン チャー企業への支援を充実する 3.4%
24	火災や災害から県民をまもる 3.6%	県や市町村が独自に行える仕事の範 囲を広くする(自治権の拡大) 3.3%	地域の文化をたかめる 2.6%	人権尊重の社会づくりをすすめる 3.0%	県民参加の行政をすすめる 3.0%
25	住宅対策をすすめる/ 情報システムの整備、 活用をすすめる 2.8%	生涯学習対策を充実する 3.0%	生涯学習対策を充実する 2.5%	スポーツ・レクリエーションを さかんにする 2.7%	市町村が主役の 地域づくりをすすめる 2.9%
26	県や市町村が独自に行える仕事の範 囲を広くする(自治権の拡大)/ 衛生対策をすすめる (食品の安全確保など) 2.7%	情報システムの整備、 活用をすすめる 2.9%	県や市町村が独自に行える仕事の範 囲を広くする(自治権の拡大) 2.4%	県民参加の行政をすすめる/ 芸術・文化活動をさかんにする 2.5%	人権尊重の社会づくりをすすめる 2.8%
27	衛生対策をすすめる (食品の安全確保など) 2.7%	地域の文化をたかめる 2.6%	コミュニティづくりをすすめる 2.2%	芸術・文化活動をさかんにする 2.5%	スポーツ・レクリエーションを さかんにする 2.5%
28	コミュニティづくりをすすめる/ 地域の文化をたかめる/ 男女平等社会の実現をはかる 2.5%	飲料水や工業用水、 農業用水を確保する 2.5%	住宅対策をすすめる 2.1%	生活排水対策をすすめる/ 生涯学習対策を充実する 1.9%	生涯学習対策を充実する 2.1%
29	地域文化をたかめる/ 男女平等社会の実現をはかる 2.5%	コミュニティづくりをすすめる 2.2%	土地対策を推進する(土地利用の適 正化、地価の安定など)/ 情報システムの整備、 活用をすすめる 2.0%	生涯学習対策を充実する 1.9%	農林業をさかんにする 1.7%
30	土地対策を推進する(土地利用の適 正化、地価の安定など) 2.2%	住宅対策をすすめる 2.0%	飲料水や工業用水、 農業用水を確保する 1.6%	農林業をさかんにする 1.6%	芸術・文化活動をさかんにする 1.4%
31	国際化をすすめる 2.1%	男女共同参画社会の実現をはかる/ 国際化をすすめる 1.9%	農林業をさかんにする/ 国際化をすすめる 1.5%	IT(情報通信技術)を生かした 社会づくりを進める/ NPOやボランティアへの 活動支援を充実する 1.4%	NPOやボランティアへの 活動支援を充実する 1.2%
32	農林業をさかんにする 1.8%	国際化をすすめる 1.9%	国際化をすすめる 1.5%	男女共同参画社会の実現をはかる 1.0%	IT(情報通信技術)を生かした 社会づくりを進める 0.9%
33	飲料水や工業用水、 農業用水を確保する 1.7%	農林業をさかんにする 1.7%	男女共同参画社会の実現をはかる 1.1%	国際交流や国際協力をすすめる 0.7%	国際交流や国際協力をすすめる 0.7%
34	同和問題を解決する 1.1%	同和問題を解決する 0.7%	同和問題を解決する 0.3%	観光振興をすすめる 0.4%	観光振興をすすめる 0.4%
35					
36					

	H18	H19	H20	H21	H22
1	高齢者の福祉を充実する 27.0%	高齢者の福祉を充実する 27.9%	高齢者の福祉を充実する 28.5%	高齢者の福祉を充実する 30.8%	高齢者の福祉を充実する 28.5%
2	防犯の地域づくりをすすめる 24.5%	医療サービス体制を整備する 22.7%	医療サービス体制を整備する 24.6%	医療サービス体制を整備する 27.7%	医療サービス体制を整備する 23.9%
3	医療サービス体制を整備する 20.7%	自然をまもり、緑を育てる 21.3%	食品の安全をまもる 20.8%	自然をまもり、緑を育てる 19.7%	自然をまもり、緑を育てる 21.3%
4	自然をまもり、緑を育てる 20.4%	地球温暖化を防止する 20.5%	地球温暖化を防止する 20.0%	防犯の地域づくりをすすめる 17.4%	防犯の地域づくりをすすめる 18.1%
5	子育て支援を充実する 19.3%	食品の安全をまもる 17.7%	自然をまもり、緑を育てる 18.6%	子育て支援を充実する 17.3%	子育て支援を充実する/ 雇用の場を広げる
6	災害から県民をまもる 13.1%	子育て支援を充実する 15.8%	防犯の地域づくりをすすめる 17.9%	食品の安全をまもる 16.8%	15.8%
7	交通事故をなくす 11.1%	防犯の地域づくりをすすめる 12.7%	子育て支援を充実する 17.2%	地球温暖化を防止する 16.0%	地球温暖化を防止する 14.1%
8	地球温暖化を防止する 10.8%	災害から県民をまもる 10.4%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 11.8%	雇用の場を広げる 12.7%	食品の安全をまもる 12.9%
9	雇用の場を広げる 9.7%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 10.3%	消費生活の安全を高める 10.3%	川や大気環境をまもる 9.6%	交通事故をなくす 10.9%
10	道路や街路を整備する 9.2%	交通事故をなくす 9.9%	災害から県民をまもる 10.0%	災害から県民をまもる 9.4%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 10.1%
11	川や大気環境をまもる 9.1%	省資源やリサイクルをすすめる 9.5%	省資源やリサイクルをすすめる 9.9%	省資源やリサイクルをすすめる 8.7%	道路や街路を整備する 9.5%
12	省資源やリサイクルをすすめる 8.9%	川や大気環境をまもる 9.3%	雇用の場を広げる 9.5%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 8.5%	省資源やリサイクルをすすめる 9.2%
13	食品の安全をまもる/ 8.4%	雇用の場を広げる 8.7%	青少年を健全に育てる 8.7%	消費生活の安全を高める 8.2%	災害から県民をまもる 9.1%
14	青少年を健全に育てる 8.6%	道路や街路を整備する/ 8.5%	便利な交通網をつくる 8.5%	便利な交通網をつくる 7.9%	公園、緑地を整備する 8.4%
15	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 8.5%	便利な交通網をつくる 8.0%	交通事故をなくす 8.3%	交通事故をなくす 7.7%	青少年を健全に育てる 8.3%
16	便利な交通網をつくる 8.4%	消費生活の安全を高める 7.2%	川や大気環境をまもる 7.5%	道路や街路を整備する 6.8%	廃棄物対策を充実する 8.2%
17	廃棄物対策を充実する 7.8%	青少年を健全に育てる 7.1%	道路や街路を整備する 7.2%	青少年を健全に育てる 6.2%	川や大気環境をまもる 7.4%
18	公園、緑地を整備する/ 6.5%	公園、緑地を整備する 6.8%	公園、緑地を整備する 5.4%	公園、緑地を整備する 5.9%	便利な交通網をつくる 6.4%
19	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる 6.5%	廃棄物対策を充実する 5.5%	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる 4.8%	廃棄物対策を充実する 5.0%	消費生活の安全を高める 6.0%
20	都市のバリアフリー化をすすめる 5.9%	健康づくりをすすめて疾病を予防する 4.6%	廃棄物対策を充実する 4.5%	農林業をさかんにする 3.9%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 4.2%
21	健康づくりをすすめて疾病を予防する 5.6%	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる 4.5%	都市のバリアフリー化をすすめる 3.7%	都市のバリアフリー化をすすめる 3.8%	都市のバリアフリー化をすすめる/ 障害者の社会参加と福祉対策をすすめる/ 健康づくりをすすめて疾病を予防する 3.6%
22	消費生活の安全をたかめる 5.5%	都市のバリアフリー化をすすめる 4.4%	農林業をさかんにする 3.0%	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる 3.6%	健康づくりをすすめて疾病を予防する 3.6%
23	市町村が主役の地域づくりをすすめる 4.2%	芸術・文化活動をさかんにする/ 生活排水対策をすすめる 2.4%	健康づくりをすすめて疾病を予防する/ 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.8%	健康づくりをすすめて疾病を予防する 3.3%	生活排水対策をすすめる 3.3%
24	生活排水対策をすすめる 3.8%	生涯学習対策を充実する/ 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する/ 3.0%	生活排水対策をすすめる 2.4%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.7%	農林業をさかんにする 3.1%
25	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する/ 3.0%	生涯学習対策を充実する/ 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する/ 2.9%	生涯学習対策を充実する/ スポーツ・レクリエーションをさかんにする 2.3%	生活排水対策をすすめる 2.5%	スポーツ・レクリエーションをさかんにする 2.4%
26	芸術・文化活動をさかんにする 2.9%	スポーツ・レクリエーションをさかんにする 2.3%	スポーツ・レクリエーションをさかんにする 2.3%	芸術・文化活動をさかんにする 1.9%	芸術・文化活動をさかんにする 1.9%
27	県民参加の行政をすすめる 2.6%	人権尊重の社会づくりをすすめる/ 市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.0%	人権尊重の社会づくりをすすめる/ 市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.9%	人権尊重の社会づくりをすすめる 1.8%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.6%
28	人権尊重の社会づくりをすすめる 2.4%	生涯学習対策を充実する 1.8%	生涯学習対策を充実する 1.6%	生涯学習対策を充実する 1.6%	生涯学習対策を充実する/ 観光振興をすすめる 1.5%
29	生涯学習対策を充実する 2.3%	県民参加の行政をすすめる 1.4%	生涯学習対策を充実する 1.6%	生涯学習対策を充実する 1.6%	人権尊重の社会づくりをすすめる 1.4%
30	IT(情報通信技術)を生かした社会づくりを進める 1.9%	農林業をさかんにする 1.4%	生涯学習対策を充実する 1.6%	生涯学習対策を充実する 1.6%	県民参加の行政をすすめる 1.3%
31	男女共同参画社会の実現をはかる/ 1.2%	男女共同参画社会の実現をはかる 1.2%	男女共同参画社会の実現をはかる 1.5%	男女共同参画社会の実現をはかる 1.3%	NPOやボランティアへの活動支援を充実する 1.2%
32	農林業をさかんにする/ 1.1%	NPOやボランティアへの活動支援を充実する 1.1%	国際交流や国際協力をすすめる 1.2%	観光振興をすすめる 1.0%	IT(情報通信技術)を生かした社会づくりを進める/ 男女共同参画社会の実現をはかる 1.1%
33	国際交流や国際協力をすすめる 1.3%	国際交流や国際協力をすすめる 0.8%	NPOやボランティアへの活動支援を充実する 0.9%	NPOやボランティアへの活動支援を充実する/ 国際交流や国際協力をすすめる 0.8%	国際交流や国際協力をすすめる 0.9%
34	NPOやボランティアへの活動支援を充実する 1.1%	観光振興をすすめる 0.7%	観光振興をすすめる 0.8%	国際交流や国際協力をすすめる 0.8%	男女共同参画社会の実現をはかる 1.1%
35	観光振興をすすめる 1.0%	IT(情報通信技術)を生かした社会づくりを進める 0.6%	IT(情報通信技術)を生かした社会づくりを進める 0.4%	IT(情報通信技術)を生かした社会づくりを進める 0.7%	国際交流や国際協力をすすめる 0.9%

Ⅲ 調査票・単純集計結果

埼玉県政世論調査

(平成22年7月)

調査実施主体 埼玉県

【担当 県民生活部 広聴広報課】

【048(830)2850】

調査実施機関

株式会社 サーベイリサーチセンター

東京都荒川区西日暮里2-40-10

0120(227)244 (フリーダイヤル)

I 生活意識

問1 さっそくですが、お宅の暮らし向きは、昨年の今ごろと比べて楽になりましたか、それとも、苦しくなりましたか。

1.1 楽になった	27.7 少し苦しくなった	44.0 変わらない
3.8 少し楽になった	21.3 苦しくなった	2.0 わからない

↓
(問1で「少し苦しくなった」～「苦しくなった」のいずれかを答えた方に)

問1-1 その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

64.5	賃金などの収入が増えない、または減った	
16.7	失業、退職、病気などで働き手が減った	
4.8	事業などの経費が増えた	
18.4	家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた	
19.3	教育費が増えた	
16.5	家や自動車、家電などの支出が増えた	
31.6	税金や保険料などの支払いが増えた	
13.7	結婚、出産、病気など特別な出費が増えた	
8.3	金利が低い	
5.2	その他 ()	
0.5	特にない	
0.2	わからない	
0.2	無回答	

問2 お宅の現在の生活程度は、世間一般からみて、この中のどれに属すると思いますか。

0.2	上の上	23.0	中の上	14.2	下の上	16.4	わからない
1.0	上の下	38.5	中の下	6.3	下の下	0.3	無回答

問3 あなたは、現在の生活について、全体としてどの程度満足していますか。

3.0	大変満足している	38.8	やや不満である	4.6	わからない
40.5	まあ満足している	12.9	大変不満である	0.3	無回答

問4 では、次にあげる5つの生活面について、あなたはどの程度満足していますか。

	大変満足 している	まあ満足 している	やや不満 である	大変不満 である	わからない	無回答
(1) 自分や家族の健康について	10.6	54.6	24.6	7.4	2.3	0.5
(2) 近所や職場での人間関係について	7.5	63.2	18.6	3.8	6.3	0.6
(3) 家庭内の夫婦・親子関係について	21.7	57.8	12.2	2.8	4.3	1.2
(4) 収入や預貯金など経済的な面について	1.7	28.7	41.9	24.2	3.1	0.5
(5) 精神的な充実感について	5.4	50.6	30.3	8.2	4.7	0.8

Ⅱ 日常生活

問5 次に、あなたの日常生活などについておたずねいたします。

- (1) あなたは、過去1年間に、自治会活動（清掃活動、防犯パトロール又は地域運動会への参加など）やPTA活動、子ども会活動、学校応援団（読み聞かせボランティアなど）、障害者や高齢者の方々のための活動、青少年健全育成のための活動、みどりと川の再生活動など、地域活動やボランティア活動に参加したことがありますか。

38.2 ある

61.7 ない

0.1 無回答

((1)で「ない」と答えた方に)

(1) - 1 その理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。

35.5 仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない	17.7 興味がない
11.1 団体・活動についての情報が得られない	11.7 その他
27.2 参加するきっかけが得られない	10.4 特にな
8.3 参加したいと思う団体や活動がない	2.0 わからない
	1.2 無回答

(2) あなたは、現在、自主的な文化芸術活動を行っていますか。

※文化芸術活動とは、以下のような分野での活動です。

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------------|
| ・音楽（クラシック、ロック、ポピュラー、コーラス、演歌など） | ・舞踊（バレエ、ダンスなど） |
| ・美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸など） | ・伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、日本舞踊、和太鼓、箏曲、神楽、獅子舞など） |
| ・写真（ポートレート、風景、スナップ写真など） | ・演劇（現代劇、ミュージカルなど） |
| ・文芸（小説、詩、俳句、短歌など） | ・演芸（落語、漫談、漫才など） |
| ・生活文化（書道、華道、盆栽など） | ・映画・漫画・アニメ・コンピューターグラフィックス |
| ・国民娯楽（囲碁、将棋など） | |

27.4 行っている

72.0行っていない

0.6 無回答

(3) あなたは、この１年間にこのような文化芸術活動を鑑賞するためにホール、美術館、映画館、博物館などに出かけたことがありますか。

53.9 ある

45.8 ない

0.4 無回答

(4) あなたは、日常生活の中で文化芸術を鑑賞したり、文化活動を行ったりする機会や環境について、満足していますか。

10.4 満足している

20.5 どちらかといえば満足していない

34.4 わからない

23.5 どちらかといえば満足している

10.2 満足していない

1.1 無回答

問6 埼玉県では、週に１回以上スポーツをすることを推奨しています。あなたは、過去一年間に、スポーツ・レクリエーション活動をする機会がどのくらいありましたか。ウォーキングや軽い体操（※１）、レクリエーション活動（※２）、スポーツ通勤（※３）なども含めます。

19.7 週に３回以上

8.8 月に１～２回程度

2.8 わからない

10.4 週に２回程度

12.1 年に数回程度

0.2 無回答

17.5 週に１回程度

28.5 ない

※１ ウォーキングや軽い体操・・・散歩やストレッチ、ラジオ体操などを含む。

※２ レクリエーション活動・・・余暇に自ら楽しむために行う活動。具体的には、釣り、キャンプ、ゲートボール、サイクリング、フォークダンス、民謡踊りなど。

※３ スポーツ通勤・・・通勤時に自転車を利用したり、意識的にウォーキングをしたりすること。

(問6で「月に１～２回程度」「年に数回程度」「ない」のいずれかを答えた方に)

問6－１ 週に１回以上活動する機会がなかった理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

47.8 仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから

17.5 費用がかかるから

8.0 体が弱いから

10.5 運動やスポーツは好きでないから

14.6 年をとったから

23.9 機会がなかったから

10.1 身近に場所や施設がないから

6.4 その他（ ）

11.3 仲間がいないから

9.4 特に理由はない

1.7 指導者がいないから

0.7 わからない

0.7 無回答

問7 食品の安全性についておたずねいたします。あなたは、食品の安全性に不安がありますか。

16.3 非常にある	17.2 あまりない
52.2 多少ある	4.5 ほとんどない
9.7 どちらともいえない	0.1 無回答

問8 県内の外国人住民についておたずねいたします。

(1) 県内の外国人住民は12万人を超えており、今後も増えていくことが予想されています。
あなたは、お住まいの地域に外国人が増えていくことをどう思いますか。

6.3 よいことだと思う
24.3 どちらかといえばよいことだと思う
30.7 あまり、よいことだとは思わない
7.8 よいことだとは思わない
29.3 わからない
1.6 無回答

((1) で「よいことだと思う」「どちらかといえばよいことだと思う」のいずれかを答えた方に)

(1) - 1 その理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。

59.4 異なる文化に触れる機会が増える	17.5 地域が活性化される
15.7 少子・高齢化が進む中で、人材が確保される	2.3 その他 ()
21.6 新たな視点が加わり魅力ある地域づくりができる	4.3 特にない
44.2 国際的な感覚が養われる	0.4 わからない
	0.4 無回答

▶ ((1) で「あまり、よいことだとは思わない」「よいことだとは思わない」のいずれかを答えた方に)

(1) - 2 その理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。

63.6 言葉や習慣、生活ルールなどの問題で、トラブルが起こる	66.6 治安が悪化する(犯罪が増える)
12.8 自治会などの地域活動が難しくなる	1.8 その他 ()
3.1 地域の伝統や文化が損なわれる	1.8 特にない
14.4 日本人の雇用機会が奪われる	0.5 わからない
	0.6 無回答

問9 あなたは、埼玉県に関する情報を主にどこから入手していますか。次の中から3つまで選んでください。

59.6 県広報紙「彩の国だより」	30.3 テレビ・ラジオのニュース（2、3以外）
11.4 県広報テレビ番組「テレ玉 週刊彩の国ニュース」（土曜 9:00～9:30）	6.3 ミニコミ紙やタウン紙
2.6 県広報ラジオ番組「FM NACK5 モーニングスクエア」（月～金 8:15～8:25）	2.9 ケーブルテレビ・コミュニティFM
4.5 県ホームページ	8.6 インターネット（4、5、7以外）
0.6 県メールマガジン「彩の国メールマガジン」	0.5 県庁・県の地域機関から直接（窓口、出前講座等）
41.2 市町村の広報紙	0.6 市町村から直接（窓口、出前講座等）
3.7 市町村ホームページ	14.2 自治会・婦人会・老人会などの回覧
42.3 新聞の記事	8.9 ロコミ
	1.7 その他（ ）
	0.7 無回答

問10 県広報紙「彩の国だより」を読んだことがありますか。

20.1 毎回読んでいる	45.4 ときどき読んでいる
12.6 ほとんど読んでいる	15.3 読んだことがない
	6.3 「彩の国だより」を知らない
	0.4 無回答

Ⅲ 消費生活について

問11 下記の消費者問題のうち、あなたが最近関心のあるものは何ですか。次の中から3つまで選んでください。

63.0 食品の品質・安全性	
20.0 製品、施設やサービスの品質・安全性	
22.9 食品の表示・広告	
9.8 製品、施設やサービスの表示・広告	
24.6 個人情報保護	
23.1 強引な勧誘や不正な販売などの悪質商法	
26.9 架空請求・不当請求・振り込め詐欺	
40.0 省エネ・エコなどの環境問題	
16.0 高齢者等に関する契約トラブル	
0.9 その他（ ）	
5.7 関心はない	
0.2 無回答	

問12 あなたは、過去1年間に、次のような事例で困ったり、嫌な思いをした経験がありますか。
あてはまるものをすべて選んでください。

- 12.6 自宅を訪問され商品などの購入を勧誘された
 - 2.3 「当選しました！あなたは選ばれました！」と呼び出され、英会話教材やパソコンなどの購入を勧誘された
 - 2.4 アンケートと言われて路上で呼び止められ、チケットや商品などの購入を勧誘された
 - 7.0 インターネット、携帯電話、郵便で身に覚えのない支払い請求を受けた
 - 33.7 電話により商品やサービスなどの購入を勧誘された
 - 0.8 空き店舗などの締め切った会場で台所用品などをもらい、興奮状態となったところで、最後に高額の商品を売りつけられた
 - 2.1 友達を誘って商品を売れば、マージンが入り儲かると言われ、入会や商品の購入を勧誘された
 - 2.0 通信販売で商品などを購入したら、希望のものと異なるものが届いた
 - 1.0 高額の入金をうたい文句に、その仕事に必要であるとして商品などの購入を勧誘された
 - 0.7 自宅に突然、申込みもしていない商品が送りつけられてきた
 - 2.0 その他 ()
- 53.4 困ったことはなかった
- 0.2 無回答

▶ (問12で「困ったことはなかった」と答えた方以外に)

問12-1 あなたは困ったり、嫌な思いをしたとき、どうしましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 65.7 自分で解決した
- 20.4 家族や友人などに相談した
- 3.9 消費生活センター（または消費生活の相談窓口など）に相談した
- 3.5 警察に相談した
- 1.6 仕方なく商品等を購入した
- 1.2 弁護士など法律の専門家に相談した
- 3.6 その他 ()
- 15.0 特に相談などの対処はしなかった
- 1.0 無回答

問13 あなたは、過去1年間に、次のような事例でヒヤリとしたり、実際に事故にあった経験はありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 2.7 調理器具（鍋やフライパンなど）に関する事故
- 2.9 台所周り製品（ガスコンロや電子レンジなど）による事故
- 0.4 空調関係の製品（空気清浄機やエアコン、加湿器など）による事故
- 1.8 電化製品（パソコンやテレビなど（空調を除く））に関する事故
- 0.3 介護用品（ベッドや車いすなど）に関する事故
- 17.9 自転車や自動車などに関する事故
- 1.6 はしごや脚立などに関する事故
- 1.1 食品に関する中毒・窒息などの事故
- 0.2 上記以外の製品に関する事故
- 0.5 工作物（公園の遊具など）による事故
- 0.7 施設（エレベーターやプールなど）に関する事故
- 0.3 サービス（エステティックや介護など）に関する事故
- 1.0 その他（)
- 74.3 特にヒヤリとしたり、事故にあった経験はなかった
- 0.2 無回答

▶（問13で「特にヒヤリとしたり、事故にあった経験はなかった」と答えた方以外に）

問13-1 あなたは製品等でヒヤリとしたり、事故にあったとき、どうしましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 55.6 自分で解決した
- 21.8 家族や友人などに相談した
- 0.9 消費生活センター（または消費生活の相談窓口など）に相談した
- 11.8 警察に相談した
- 3.7 製造者に連絡・相談した
- 9.2 販売店等に連絡・相談した
- 0.9 弁護士など法律の専門家に相談した
- 3.1 その他（)
- 15.2 特に相談などの対処はしなかった
- 0.5 無回答

問14 あなたは契約トラブルの相談・助言や商品テストを行っている消費生活センター（または消費生活相談窓口）を知っていますか。

- 46.9 名前も、行っていることも知っている
 36.1 名前は知っているが、何を行っているか知らない
 16.6 名前も何を行っているところかも知らない
 0.4 無回答

▶（問14で「名前も、行っていることも知っている」「名前は知っているが、何を行っているか知らない」のいずれかを答えた方に）

問14-1 あなたは消費生活センター（または消費生活相談窓口）を何で知りましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

- | | |
|----------------|-------------------|
| 30.4 自治体の広報紙 | 1.4 啓発講座やイベントなど |
| 66.4 テレビ、ラジオなど | 5.6 パンフレット、リーフレット |
| 29.6 新聞 | 2.4 各種相談窓口からの紹介 |
| 6.6 インターネット | 10.5 友人・知人等 |
| 3.0 学校 | 3.2 その他（ ） |
| | 0.6 無回答 |

問15 消費生活センター（または消費生活窓口）で特に力を入れて欲しいと思うことは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 59.2 消費者からの苦情・問い合わせへの助言、あっせん
 44.3 国や関係機関（警察、保健所、福祉施設等）との連携の強化
 24.7 消費者事故に係る情報の一元化
 21.6 相談員の能力向上
 16.2 商品による被害を分析するための商品テスト
 9.5 消費者への様々な研修・啓発事業
 12.7 他の分野の相談員（民生委員、ケースワーカーなど）との連携
 5.2 その他（ ）
 4.0 無回答

問16 あなたは消費者支援のためにどのような取り組みが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- | | |
|----------------------------|-----------------------------|
| 72.5 悪質な事業者の取締りや事業者名の公表 | 16.1 商品に関する危害や商品テスト等情報提供の充実 |
| 36.6 法律による規制の強化 | 9.6 各種広報媒体による情報提供の強化 |
| 35.6 事業者に対する罰則の強化 | 6.3 消費者教育の充実 |
| 19.7 誇大広告の取締りや表示の適正化 | 8.7 商品の調査や検査体制の充実 |
| 20.9 相談窓口の強化 | 0.4 その他（ ） |
| 17.4 消費者被害救済のための支援体制の整備 | 6.9 特にない |
| 1.5 事業者団体等の自主行動基準（※）策定への支援 | 0.4 無回答 |

※ 法令遵守などの経営姿勢や消費者への対応などの方針を示したもの

問17 今後、情報提供や学習活動の分野で、さらに力を入れていく必要があると思われるものは何ですか。次の中から3つまで選んでください。

- | | |
|------|---|
| 64.9 | テレビ、ラジオを利用した情報提供 |
| 41.9 | 新聞などを利用した情報提供 |
| 29.0 | 印刷物（生活情報誌、高齢者・若者向けパンフレットなど）による情報提供 |
| 26.9 | インターネットを利用した情報提供 |
| 8.5 | 消費生活フェア等のイベント開催 |
| 9.0 | 消費者に対する講座・教室の開催 |
| 4.0 | 消費生活について体系的に学習できる講座の実施（消費者大学など） |
| 20.1 | 学校での消費者教育の充実・促進 |
| 6.0 | 教員に対する講座の実施及び情報提供 |
| 10.8 | 地域・職域で活動する消費生活リーダー等の人材育成 |
| 5.1 | 消費者団体や消費者問題を学習しようとするグループに対する講師の派遣・紹介や学習室の提供 |
| 0.5 | その他（ |
| 8.6 | 特になし |
| 0.4 | 無回答 |

Ⅳ 川の再生について

問18 あなたは、森林や河川などの自然環境に関する様々な問題について関心がありますか。

- | | | | |
|------|---------------|------|-----------------|
| 25.1 | とても関心がある | 19.3 | どちらかといえば関心がない |
| 50.2 | どちらかといえば関心がある | 5.2 | ほとんど（まったく）関心がない |
| | | 0.1 | 無回答 |

問19 県では、県民参加の下で自然環境を再生するため、「みどりと川の再生」に向けた事業を平成20年度から重点的に取り組んでいます。あなたはこの「みどりと川の再生」の取り組みをご存じでしたか。

- | | | | |
|------|--------------------|------|------------------|
| 18.3 | 知っていた | 11.3 | 「川の再生」については知っていた |
| 4.7 | 「みどりの再生」については知っていた | 65.5 | 知らなかった |
| | | 0.1 | 無回答 |

問20 あなたはお住まいの近くの川について、現在どのように感じていますか。（１）から（９）のそれぞれについて、あなたの考えに近いものをお選びください。

	だ ま っ た く 思 う	思 ま あ そ う だ と	わ あ ま り そ う 思	思 ま っ た く そ う わ な い	わ か ら な い	無 回 答
（１）水がきれいである	2.6	20.0	40.6	26.3	10.2	0.4
（２）ごみが少ない	2.2	23.0	39.0	24.6	10.6	0.5
（３）水辺に近づきやすい	3.2	19.1	37.2	27.6	11.7	1.2
（４）水辺の景観がよい	2.4	24.3	38.5	21.3	12.2	1.2
（５）魚が多い	1.8	13.3	35.7	24.4	23.9	0.9
（６）水辺の生き物が多い	1.8	13.3	35.6	22.6	25.5	1.2
（７）水遊びができる	1.5	8.8	24.9	49.9	14.0	0.9
（８）水の量が多い	1.7	19.4	41.9	16.6	19.4	1.1
（９）いやなにおいがしない	3.0	29.2	31.2	18.0	18.1	0.5

問21 お住まいの近くの川の印象は、３年前と比べて良くなりましたか、それとも、悪くなりましたか。

5.5 良くなった	5.2 どちらかといえば悪くなった	→（問21－１へ）
14.4 どちらかといえば良くなった	2.0 悪くなった	
42.1 変わらない	30.3 わからない	
	0.5 無回答	

→（問21で「良くなった」「どちらかといえば良くなった」のいずれかを答えた方に）

問21－１ その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

42.2 水がきれいになった	4.0 水遊びなど水辺で遊べるようになった
10.0 水の量が増えた	29.5 景観がよくなった
48.9 ごみが少なくなった	19.0 魚など水の中にすむ生き物が増えた
34.2 散歩やジョギングなどがしやすくなった	13.6 鳥や昆虫などが増えた
12.9 水辺で休むことができるようになった	3.8 その他（ ）
13.4 水辺に近づきやすくなった	2.7 特にない
	0.2 無回答

(問21で「どちらかといえば悪くなった」「悪くなった」のいずれかを答えた方に)

問21-2 その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

71.0	水が汚くなった	29.0	水遊びなど水辺で遊べなくなった
20.4	水の量が減った	28.4	景観が悪くなった
63.0	ごみが多くなった	42.0	魚など水の中にすむ生き物が減った
11.1	散歩やジョギングなどがしにくくなった	24.1	鳥や昆虫などが減った
19.1	水辺で休むことができなくなった	8.6	その他 ()
29.0	水辺に近づきにくくなった	1.2	特にな
		0.6	無回答

問22 あなたはお住まいの近くの川について満足していますか。

4.2	満足している	27.9	どちらかといえば不満である	31.4	わからない
23.6	どちらかといえば満足している	12.2	不満である	0.7	無回答

問23 あなたはお住まいの近くの川にどのくらい愛着がありますか。

9.7	愛着がある	39.9	あまり愛着がない
28.5	どちらかといえば愛着がある	20.2	愛着はない
		1.7	無回答

問24 あなたは、お住まいの近くの川にどのような姿を求めますか。次の中から3つまで選んでください。

70.6	水がきれい	12.2	水辺に近づける
4.8	水の量が多い	17.1	水辺に緑が多い
45.5	水辺にごみがない	25.8	景観がきれい
14.2	水辺で休むことができる	24.5	魚など水の中にすむ生き物が多い
19.3	散歩やジョギングなどができる	5.2	鳥や昆虫が多い
16.7	水遊びができる	1.5	その他 ()
9.1	魚釣りができる	5.5	わからない
		0.6	無回答

問25 あなたは過去1年間を振り返ってみて、散歩や釣り、川遊び、美化活動などでお住まいの近くの川を訪れたことがどのくらいの回数でありましたか。次の中から1つだけ選んでください。

3.8	ほぼ毎日	10.9	月に数回程度	53.7	ほとんどない
6.2	週に数回程度	25.0	年に数回程度	0.4	無回答

問26 あなたは、過去5年間に川の美化活動（ごみ拾い、草刈りなど）に参加したことがありますか。

16.8 ある	82.9 ない	0.3 無回答
---------	---------	---------

（問26で「ない」と答えた方に）

問26－1 あなたは、今後、川の美化活動（ごみ拾い、草刈りなど）に参加してみたいと思いますか。

5.6 参加したい	15.4 参加したくない
22.2 どちらかといえば参加したい	38.5 どちらともいえない
17.4 どちらかといえば参加したくない	0.9 無回答

問27 生活排水が川の汚れの約7割を占めています。川の水をきれいにするためには、下水道の整備のほか、個々のご家庭での取り組みが必要です。そこで、あなたご自身を含むご家庭で実行していることは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

54.0 流しの三角コーナーや排水口にろ紙などを使っている
49.3 風呂の残り湯は洗濯や掃除に使っている
62.7 洗剤は適量を使うように心がけている
41.7 油やしょう油、牛乳、みそ汁などを直接流さないようにしている
44.6 食器や鍋についた油汚れなどは拭き取ってから洗っている
17.7 米のとぎ汁は植木などにかけている
1.6 その他（ ）
7.2 何もしていない
0.3 無回答

問28 県では、平成20年度から、県民誰もが川に愛着を持ち、ふるさとを実感できる川の国埼玉を目指し、①清流復活、②安らぎとにぎわいの空間創出の2つの柱で「川の再生」に取り組んでいます。

あなたは、「川の再生」の計画づくりや維持管理など地域住民が参加して行う川づくりの機会があったら、どのようなことに参加したいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

9.2 「川の再生」の計画づくり	29.4 川のお祭り・イベント
12.7 川の草刈り	20.9 魚・鳥などの生物の観察会
34.1 掃除・ごみ拾い	1.8 その他（ ）
26.0 川沿いに花を植えたり育てること	25.7 特に参加したくない
	1.1 無回答

問29 「川の再生」の施策で、あなたが最も重点を置いたらよいと思うものを次の中から1つだけ選んでください。

- | |
|--|
| 32.1 自然や親水機能の保全・創出（多自然川づくりや親水機能を持った護岸や遊歩道整備） |
| 6.7 水辺の魅力創出・発信（川を活用したイベントや地域環境学習の開催） |
| 50.7 水環境（水質・水量）の改善（水質浄化のための導水、家庭の生活排水対策や河床に堆積したヘドロのしゅんせつ） |
| 5.5 川の浄化や美化のムーブメント（河川愛護交流会、出前講座の開催や水すましクラブ、水辺の里親など地域住民による活動） |
| 2.5 その他（ |
| 2.6 無回答 |

問30 現在、県で進めている「川の再生」の取り組みについて、どのように思われますか。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 28.2 とてもよい | 1.9 悪い |
| 26.7 どちらかといえばよい | 12.4 どちらともいえない |
| 2.6 どちらかといえば悪い | 27.8 わからない |
| | 0.4 無回答 |

県政への要望

問31 埼玉県行政全般の中で、現在、あなたが最も重点をおいてほしいもの、特に必要だと思ふものを、次の中から3つまで選んでください。

- | | |
|------------------------------|-----------------------------------|
| 9.2 省資源やリサイクルをすすめる | 12.9 食品の安全をまもる |
| 14.1 地球温暖化を防止する | 1.1 男女共同参画社会の実現をはかる |
| 21.3 自然をまもり、緑を育てる | 1.4 人権尊重の社会づくりをすすめる |
| 7.4 川や大気環境をまもる | 1.5 生涯学習対策を充実する |
| 8.2 廃棄物対策を充実する | 10.1 学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する |
| 10.9 交通事故をなくす | 8.3 青少年を健全に育てる |
| 9.1 災害から県民をまもる | 3.1 農林業をさかんにする |
| 6.0 消費生活の安全を高める | 1.5 観光振興をすすめる |
| 18.1 防犯の地域づくりをすすめる | 4.2 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する |
| 9.5 道路や街路を整備する | 15.8 雇用の場を広げる |
| 3.3 生活排水対策をすすめる | 1.6 市町村が主役の地域づくりをすすめる |
| 8.4 公園、緑地を整備する | 1.3 県民参加の行政をすすめる |
| 6.4 便利な交通網をつくる | 1.2 NPOやボランティアへの活動支援を充実する |
| 3.6 都市のバリアフリー化をすすめる | 1.9 芸術・文化活動をさかんにする |
| 1.1 IT（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める | 2.4 スポーツ、レクリエーションをさかんにする |
| 28.5 高齢者の福祉を充実する | 0.9 国際交流や国際協力をすすめる |
| 3.6 障害者の社会参加と福祉対策をすすめる | 2.5 その他（ |
| 15.8 子育て支援を充実する | 2.1 わからない |
| 23.9 医療サービス体制を整備する | 0.1 無回答 |
| 3.6 健康づくりをすすめて、疾病を予防する | |

フェースシート

ご意見をお伺いすることは以上で終わりですが、統計解析に必要な事項を少し伺わせてください。

F 1 【性別】

50.3 男 性

49.7 女 性

F 2 【年齢】あなたのお年は満でいくつですか。

5.3 20～24歳

10.3 35～39歳

7.6 50～54歳

8.9 65～69歳

4.7 25～29歳

9.8 40～44歳

8.4 55～59歳

16.9 70歳以上

7.5 30～34歳

9.3 45～49歳

11.2 60～64歳

F 3 【職業】あなたのお仕事は何ですか。

8.9 自営業主

2.4 家族従業（家業手伝い）

37.0 勤め（全日）

14.0 勤め（パートタイム）

18.7 無職の主婦・主夫

1.7 学生

17.1 その他の無職（年金、配当、仕送りなどで暮らしている人。無職の人）

0.2 無回答

（F 3で「自営業主」「家族従業（家業手伝い）」のいずれかを答えた方に）←

F 3－1 あなたの仕事の内容は何ですか。

9.1 農林漁業

17.4 自由業（開業医、弁護士、芸術家など）

72.7 商工・サービス業

0.8 無回答

（F 3－1の次はF 4へ）

→（F 3で「勤め（全日）」「勤め（パートタイム）」のいずれかを答えた方に）

F 3－2 あなたの働き方は何ですか。

63.0 正社員、正規職員

36.8 非正社員（派遣、契約、嘱託、パート・アルバイトなど）

0.2 無回答

（F 3－2の次はF 3－3へ）

(F3で「勤め(全日)」「勤め(パートタイム)」のいずれかを答えた方に)

F3-3 あなたの仕事の内容は何ですか。

- | | |
|------|-----------------------------------|
| 8.5 | 経営・管理職(民間会社・団体の部長以上、官公庁の課長以上) |
| 19.8 | 専門・技術職(教員、勤務医、看護師、技術者、研究員など) |
| 21.5 | 事務職(事務員、オペレーターなど) |
| 19.8 | 生産工程・労務職(工場などの生産工程従事者、大工、土木作業員など) |
| 22.1 | 販売・サービス職(販売員、理美容師、調理師など) |
| 5.7 | その他 |
| (|) |
| 2.4 | 無回答 |

F4 【県内居住年数】あなたは、埼玉県にお住まいになって何年になりますか。

- | | | | | | |
|-----|---------|-----|-----------|------|-----------|
| 0.8 | 1年未満 | 5.9 | 5年～10年未満 | 18.0 | 20年～30年未満 |
| 2.9 | 1年～3年未満 | 5.9 | 10年～15年未満 | 57.8 | 30年以上 |
| 2.4 | 3年～5年未満 | 5.5 | 15年～20年未満 | 0.6 | 無回答 |

F5 【出生地】あなたは、埼玉県のお生まれですか。

- | | | | | | |
|------|---------|------|-----------|-----|-----|
| 44.5 | はい(埼玉県) | 55.3 | いいえ(埼玉県外) | 0.2 | 無回答 |
|------|---------|------|-----------|-----|-----|

▼
(F5で「いいえ(埼玉県外)」と答えた方に)

F5-1 あなたの出身県はどちらですか。

(都道府県名)

(調査員記入欄)

F6 【家族人数】いま一緒に暮らしているご家族は、あなたを含めて何人ですか。

- | | | | | | | | |
|------|----|------|----|-----|----|-----|------|
| 8.7 | 1人 | 27.3 | 3人 | 8.8 | 5人 | 2.6 | 7人以上 |
| 26.8 | 2人 | 21.1 | 4人 | 4.4 | 6人 | 0.3 | 無回答 |

F7 【結婚】あなたは結婚していますか。

- | | | | | | | | |
|------|------------|------|--------|------|--------|-----|-----|
| 18.2 | 未婚 ⇒ (F8へ) | 70.1 | 既婚・有配偶 | 11.1 | 既婚・離死別 | 0.6 | 無回答 |
|------|------------|------|--------|------|--------|-----|-----|

▼
(F7で「既婚・有配偶」「既婚・離死別」のいずれかを答えた方に)

F7-1 お子さんは何人いらっしゃいますか。同居、別居は問いません。

- | | | | | | | | |
|------|----|------|----|-----|------|-----|-----|
| 21.2 | 1人 | 15.3 | 3人 | 0.7 | 5人以上 | 9.6 | いない |
| 50.4 | 2人 | 2.5 | 4人 | | | 0.3 | 無回答 |

▼
(次ページF7-1-1へ)

(F7-1で「いる」と答えた方に)

F7-1-1 お子さんはそれぞれどんな段階ですか。

10.2 0～3歳	2.1 短大生・専門学校生
6.8 4歳以上で小学校入学前	7.8 大学生・大学院生
16.9 小学生	32.3 学校教育終了・未婚
10.5 中学生	41.7 学校教育終了・既婚
9.4 高校生	1.5 その他 ()
	0.8 無回答

F8 【家族形態】お宅の家族形態は、このように分けるとどれにあたりますか。

9.1 単身	55.4 二世帯世帯(親と子)	2.2 その他 ()
20.8 夫婦のみ	12.3 三世帯世帯(親と子と孫)	0.2 無回答

F9 【居住形態】お宅のお住まいはこの中のどれにあたりますか。

68.3 持家(一戸建)	4.5 UR都市機構(旧公団)・公社・公営の賃貸住宅・アパート
9.7 持家(分譲マンションなど集合住宅)	1.1 社宅・公務員住宅など給与住宅
15.4 民間の借家(賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など)	0.6 住み込み、寮、寄宿舎など
	0.3 その他 ()
	0.1 無回答

長時間にわたりご協力いただきまして、ありがとうございました。

(参考) 都道府県コード一覧

都道府県コード	都道府県名称
01	北海道
02	青森県
03	岩手県
04	宮城県
05	秋田県
06	山形県
07	福島県
08	茨城県
09	栃木県
10	群馬県

都道府県コード	都道府県名称
11	埼玉県
12	千葉県
13	東京都
14	神奈川県
15	新潟県
16	富山県
17	石川県
18	福井県
19	山梨県
20	長野県

都道府県コード	都道府県名称
21	岐阜県
22	静岡県
23	愛知県
24	三重県
25	滋賀県
26	京都府
27	大阪府
28	兵庫県
29	奈良県
30	和歌山県

都道府県コード	都道府県名称
31	鳥取県
32	島根県
33	岡山県
34	広島県
35	山口県
36	徳島県
37	香川県
38	愛媛県
39	高知県
40	福岡県

都道府県コード	都道府県名称
41	佐賀県
42	長崎県
43	熊本県
44	大分県
45	宮崎県
46	鹿児島県
47	沖縄県
48	海外
99	不明

(参考資料)

世論調査実施状況

- 本県では、昭和43年度から世論調査を実施しており、今回が46回目となります。参考資料に、過去の調査実施状況をまとめました。

(参考資料)

世論調査実施状況

回	年度	調査時期	テーマ	標本数	調査方法	回収率
1	昭和43年度	8月16日～9月2日	県政全般(県政への関心、暮らし向き、青少年、教育、保健、スポーツ、社会福祉、住宅、環境等)	1,500	個別面接聴取法	84.0%
2	昭和44年度	7月15日～31日	県政全般(自治意識、暮らし向き、青少年、教育、保健、社会福祉、住宅、環境、消費生活等)	1,500	個別面接聴取法	81.3%
3	昭和45年度	9月20日～10月10日	県政全般(自治意識、青少年、教育、保健、社会福祉、住宅、公害、消費生活、農業等)	1,500	個別面接聴取法	86.5%
4		11月9日～24日	広報、具体的な広報の媒体、広聴	1,500	個別面接聴取法	89.1%
5	昭和46年度	9月20日～10月3日	近隣社会、居住環境	1,500	個別面接聴取法	90.7%
6		11月26日～12月9日	大災害に関すること(一般的関心、地震、防火、避難、近隣組織、職場・外出先での対策、地震に対する備えについて)	1,500	個別面接聴取法	86.6%
7	昭和47年度	10月26日～11月4日	県政全般(公害・交通問題、県民の健康とくらし、教育・文化・スポーツを伸ばす等)	1,500	個別面接聴取法	82.5%
8	昭和48年度	11月14日～26日	県政全般(広報、自然環境と開発、福祉、消費生活、ごみ処理、保健、商工、農林、労働、都市環境、教育等)	1,500	個別面接聴取法	84.7%
9	昭和49年度	8月15日～27日	県政全般(現在の住まい、広報、公害、交通、健康、県民のくらし、学校教育、自然保護等)	1,500	個別面接聴取法	80.9%
10	昭和50年度	8月上旬～中旬	県政全般(公害、交通安全、災害、警察、医療、福祉、教育、自然保護と開発、水、住宅、ごみ、商工、農林等)	1,500	個別面接聴取法	77.1%
11		3月9日～18日	学校教育、生活環境、自然環境	1,500	個別面接聴取法	83.0%
12	昭和51年度	7月20日～31日	水問題、福祉問題、コミュニティ問題	1,500	個別面接聴取法	83.9%
13	昭和52年度	6月15日～30日	地域社会、地域福祉、文化活動、医療、献血、暴走族、県政への満足度、県民討論会、県政全般	1,500	個別面接聴取法	83.6%
14	昭和53年度	7月14日～26日	文化の問題、婦人の問題、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	83.1%
15	昭和54年度	7月10日～26日	みどりの環境、地震災害、県政全般	1,500	個別面接聴取法	81.9%
16	昭和55年度	7月25日～8月11日	老人福祉、21世紀のまちづくり、地価及び宅地問題、県政全般	1,500	留置記入依頼法	87.5%
17	昭和56年度	7月25日～8月14日	水問題、障害者福祉、県政全般	1,500	個別面接聴取法	84.1%
18	昭和57年度	7月23日～8月12日	交通安全、行政改革、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	82.5%
19	昭和58年度	7月20日～8月14日	21世紀の県民生活、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	83.7%
20	昭和59年度	7月20日～8月12日	みどり、快適な環境、文化活動、サービス業、県税、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	80.4%
21	昭和60年度	7月18日～8月11日	高齢化社会、コミュニティ、学校教育、平和、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	78.4%
22	昭和61年度	7月9日～8月14日	国際交流、健康、快適な環境、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	77.1%
23	昭和62年度	6月1日～6月30日	住環境、景観、交通網、生涯学習、ボランティア活動、社会意識、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	80.2%

回	年度	調査時期	テーマ	標本数	調査方法	回収率
24	昭和63年度	7月1日～7月31日	県民生活、土地問題、ごみ処理、文化活動、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	75.7%
25	平成元年度	6月23日～7月23日	高度情報化施策、男女平等意識、青少年健全育成、埼玉コロシム・埼玉メッセ、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	76.4%
26	平成2年度	7月4日～7月29日	環境保全、交通安全、県税、お墓、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	78.1%
27	平成3年度	7月5日～8月4日	スポーツ・レクリエーション活動、道路整備、ペット問題、商品包装、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	77.5%
28	平成4年度	6月26日～7月26日	住宅問題、防災、高度情報化施策、個人情報の保護、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	75.0%
29	平成5年度	7月9日～8月4日	新しくにづくり、人と環境にやさしいリサイクル県づくり、国際化とまちづくり、住みよさ、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	77.2%
30	平成6年度	7月8日～8月10日	消費生活、ボランティア活動・福祉活動への参加について、子どもと家族、県の広報について、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	76.4%
31	平成7年度	7月1日～7月31日	21世紀の彩の国さいたまの将来像、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	78.3%
32	平成8年度	7月10日～8月11日	ごみ減量化について、身近な自然について、健康と医療サービスについて、高度情報化施策について、生活意識、住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	74.3%
33	平成9年度	8月16日～9月15日	県政情報、安全な暮らし(防災、高齢者の交通安全、犯罪)、墓地、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	77.8%
34	平成10年度	7月10日～8月9日	国民体育大会、青少年問題、公園、高齢者福祉、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	76.9%
35	平成11年度	7月9日～8月8日	埼玉県の緑、子育て支援、ボランティア活動、生活意識、住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	73.3%
36	平成12年度	7月8日～8月7日	環境全般・環境学習について、公害問題について、廃棄物問題・リサイクルについて、有害な化学物質について、地球温暖化について、環境保全活動について、今後の県の取り組み、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	76.7%
37	平成13年度	6月30日～7月30日	保健・医療、文化・芸術、国際交流・国際協力、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	77.2%
38	平成14年度	7月6日～8月5日	農林業の役割、屋外照明による生活環境への影響、日常生活、生活意識、住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	73.3%
39	平成15年度	7月15日～8月5日	防犯、水環境、食の安全、日常生活、生活意識、定住意向、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	67.3%
40	平成16年度	7月13日～8月10日	生活意識、日常生活、森林環境、地球温暖化、子どもの虐待、スポーツ振興、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.4%
41	平成17年度	7月2日～8月1日	生活意識、日常生活、子育て支援、みどりの環境税制、消費生活、まちづくり・住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.9%
42	平成18年度	7月8日～8月14日	生活意識、日常生活、生活規範とまちづくり、外国人との共生、団塊世代等の人材活用、定住意向、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	65.3%
43	平成19年度	7月13日～8月6日	生活意識、日常生活、消費生活、子どもの安全対策、県民のスポーツ振興、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	73.4%
44	平成20年度	7月11日～8月8日	生活意識、日常生活、住みよさ、みどりと川の再生、大学と地域の連携、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	74.8%
45	平成21年度	7月10日～8月3日	生活意識、日常生活、定住意向、スポーツ振興、水道の未来づくり、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.0%
46	平成22年度	7月9日～8月2日	生活意識、日常生活、消費生活、川の再生、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.1%

本報告書の調査データを引用された場合は、
掲載資料 1 部を下記の担当課へ送付願います。

平成22年度

埼玉県政世論調査

平成22年11月発行

埼玉県県民生活部広聴広報課

〒330-9301

埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1



埼玉県のマスコット「コバトン」